

令和5年度 敬老優待乗車証利用実態等調査 報告書

調査期間:令和5年12月22日(金)～令和6年1月18日(木)

令和6年3月
札幌市

目 次

第1章 調査概要

(1) 調査目的	2
(2) 調査期間	2
(3) 調査対象	2
(4) 調査方法	2
(5) 回答状況	2
(6) 集計・分析上の注意事項	2
(7) 回答者の特性	3

第2章 調査結果

I 70歳以上調査結果

① 本人とご家族の状況について

図1-1 健康状態	6
図1-2 健康状態（年齢・男女別）	7
図2-1 通院頻度	8
図2-2 通院頻度（年齢・男女別）	9
図3-1 経済的ゆとり感	10
図3-2 経済的ゆとり感（年齢別）	10
図4-1 本人の収入	11
図4-2 本人の収入（年齢別）	11
図4-3 本人の収入（男女別）	12
図5 世帯の収入	12
図6-1 運転免許	13
図6-2 運転免許（年齢・男女別）	14

② 健康に関する考え等について

図7-1 健康寿命	15
図7-2 健康寿命（年齢別）	15
図8 人生の過ごし方	16

③ デジタル機器の活用について

図9-1 スマートフォンの保有	17
図9-2 スマートフォンの保有（年齢・男女別）	18
図10-1 スマートフォンを持って便利になったこと	19
図10-2 スマートフォンを持って便利になったこと（年齢別）	20
図10-3 スマートフォンを持って便利になったこと（男女別）	21

④ 外出や公共交通機関の利用の状況について

図11-1 外出頻度	22
図11-2 外出頻度（年齢・男女別）	23
図11-3 外出頻度（仕事の有無別）	24
図12-1 公共交通機関の利用頻度	25
図12-2 公共交通機関の利用頻度（年齢・男女別）	26

図12-3	公共交通機関の利用頻度（仕事の有無別）	27
図13-1	公共交通機関や移動手段の利用頻度	28
図13-2	公共交通機関や移動手段の利用頻度（地下鉄）（年齢・男女別）	29
図13-3	公共交通機関や移動手段の利用頻度（バス）（年齢・男女別）	30
図13-4	公共交通機関や移動手段の利用頻度（市電）（年齢・男女別）	31
図13-5	公共交通機関や移動手段の利用頻度（JR（鉄道））（年齢・男女別）	32
図13-6	公共交通機関や移動手段の利用頻度（タクシー）（年齢・男女別）	33
図13-7	公共交通機関や移動手段の利用頻度（自家用車）（年齢・男女別）	34
図13-8	公共交通機関や移動手段の利用頻度（自転車）（年齢・男女別）	35
図14-1	公共交通機関等の利用目的	36
図14-2	目的別の公共交通機関等の利用者層（買い物）（年齢・男女別）	37
図14-3	目的別の公共交通機関等の利用頻度（買い物）（交通機関別）	38
図14-4	目的別の公共交通機関等の利用者層（通院）（年齢・男女別）	39
図14-5	目的別の公共交通機関等の利用頻度（通院）（交通機関別）	40
図14-6	目的別の公共交通機関等の利用者層（趣味）（年齢・男女別）	41
図14-7	目的別の公共交通機関等の利用頻度（趣味）（交通機関別）	42
図14-8	目的別の公共交通機関等の利用者層（家族や友人と会う） （年齢・男女別）	43
図14-9	目的別の公共交通機関等の利用頻度（家族や友人と会う）（交通機関別）	44
図14-10	目的別の公共交通機関等の利用者層（ボランティア活動） （年齢・男女別）	45
図14-11	目的別の公共交通機関等の利用頻度（ボランティア活動）（交通機関別）	46
図14-12	目的別の公共交通機関等の利用者層（通勤）（年齢・男女別）	47
図14-13	目的別の公共交通機関等の利用頻度（通勤）（交通機関別）	48
図15-1	5年前と比較した公共交通機関の利用頻度	49
図15-2	5年前と比較した公共交通機関の利用頻度（年齢別）	49
図16-1	公共交通機関の利用が増えた理由	50
図16-2	公共交通機関の利用が増えた理由（年齢別）	51
⑤	敬老優待乗車証（敬老パス）の制度について	
図17-1	敬老優待乗車証の交付状況	52
図17-2	敬老優待乗車証の交付状況（年齢・男女別）	53
図17-3	敬老優待乗車証の交付状況（運転免許の状況別）	54
図18-1	敬老優待乗車証の交付を受けていない理由	54
図18-2	敬老優待乗車証の交付を受けていない理由（年齢別）	55
図19	敬老優待乗車証未交付者の公共交通機関の利用月額	56
図20-1	昨年度の敬老優待乗車証のチャージ金額	56
図20-2	昨年度の敬老優待乗車証のチャージ金額（年齢・男女別）	57
図21-1	昨年度の敬老優待乗車証の利用金額	58
図21-2	昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（年齢・男女別）	59
図21-3	昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（免許の有無別）	60
図21-4	昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（世帯構成別）	60
図21-5	昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（収入別）	61

図21-6	昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（健康状態別）	62
図22-1	敬老優待乗車証で外出した際の平均歩行時間	63
図22-2	敬老優待乗車証で外出した際の平均歩行時間（年齢・男女別）	64
図23-1	敬老優待乗車証で外出した際の平均使用金額	65
図23-2	敬老優待乗車証で外出した際の平均使用金額（年齢・男女別）	66
図24	敬老優待乗車証による外出への影響	67
図25-1	利用金額が減った場合の公共交通機関の利用頻度	67
図25-2	利用金額が減った場合の公共交通機関の利用頻度（収入別）	68
図26	敬老優待乗車証制度の効果	69
図27	敬老優待乗車証制度の運営にかかる市税負担について	70
図28-1	敬老優待乗車証の自己負担について	70
図28-2	敬老優待乗車証の自己負担について（年齢別）	71
図28-3	敬老優待乗車証の自己負担について（収入別）	71
図29-1	敬老優待乗車証制度の対象年齢について	72
図29-2	敬老優待乗車証制度の対象年齢について（年齢別）	72
図29-3	敬老優待乗車証制度の対象年齢について（収入別）	73
図30-1	「敬老健康パス」の素案について	74
図30-2	「敬老健康パス」の素案について（年齢・男女別）	75

II 70歳未満調査結果

① 健康に関する考え等について

図1-1	健康寿命	77
図1-2	健康寿命（年齢別）	78
図2	高齢者に過ごしてほしい人生	79

② デジタル機器の活用について

図3-1	スマートフォンの保有	80
図3-2	スマートフォンの保有（年齢別）	80
図4	スマートフォンを持って便利になったこと	81

③ 敬老優待乗車証（敬老パス）の制度について

図5-1	敬老優待乗車証について	82
図5-2	敬老優待乗車証について（年齢別）	82
図6	敬老優待乗車証制度の運営にかかる市税負担について	83
図7	敬老優待乗車証制度の効果	84
図8-1	敬老優待乗車証の自己負担について	85
図8-2	敬老優待乗車証の自己負担について（年齢別）	85
図9-1	敬老優待乗車証の対象年齢について	86
図9-2	敬老優待乗車証の対象年齢について（年齢別）	86
図10	「敬老健康パス」の素案について	87

第3章 自由記載意見

(1) 敬老健康パス制度の素案について課題と感じた点

①	70歳以上	89
②	70歳未満	109

(2) 敬老パス及び敬老健康パスに関するご意見やご要望（充実を望むことなど）

① 70歳以上-----	130
② 70歳未満-----	151
第4章 調査票	
I 同封文	173
II 70歳以上調査表	175
III 70歳未満調査表	181

第 1 章 調査概要

(1) 調査目的

札幌市では、数年に1度、敬老優待乗車証（敬老パス）に関する実態調査を行い、利用実態を把握して、事業運営の参考にしてきたところです。

前回調査（平成30年度）から一定期間が経過したこと、また、敬老健康パスの素案を公表したことを受け、このたび敬老優待乗車証の利用実態等に関する調査を実施しました。

(2) 調査期間

令和5年12月22日（金）～令和6年1月18日（木）

(3) 調査対象

札幌市内に居住する18歳以上の方から無作為に抽出した10,000人

内訳：18～69歳 5,000人

70歳以上 5,000人

(4) 調査方法

対象者に調査票を郵送し、郵送又はWEB上の回答フォームにより回答

(5) 回答状況**ア) 70歳以上**

発送数 5,000件

回答数 2,382件

回答率 47.6%

イ) 70歳未満

発送数 5,000件

回答数 1,492件

回答率 29.8%

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「n」で表記している。また、図表中の構成比（%）は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

(7) 回答者の特性

ア) 70歳以上

		実数	比率	
年齢	70～74歳	786人	33.0%	
	75～79歳	667人	28.0%	
	80～84歳	489人	20.5%	
	85～89歳	278人	11.7%	
	90歳以上	147人	6.2%	
	不明	15人	0.6%	
性別	男性	1060人	44.5%	
	女性	1307人	54.9%	
	不明	15人	0.6%	
居住区	中央区	265人	11.1%	
	北区	306人	12.8%	
	東区	302人	12.7%	
	白石区	204人	8.6%	
	厚別区	187人	7.9%	
	豊平区	235人	9.9%	
	清田区	171人	7.2%	
	南区	209人	8.8%	
	西区	273人	11.5%	
	手稲区	216人	9.1%	
	不明	14人	0.6%	
	住まい	自宅	2,050人	86.1%
		老人ホーム等の施設	114人	4.8%
その他		188人	7.9%	
不明		30人	1.3%	
世帯構成	本人と配偶者	1069人	44.9%	
	本人と配偶者と子	243人	10.2%	
	本人と子	251人	10.5%	
	単身世帯	563人	23.6%	
	その他	256人	10.7%	

(単位: %)

仕事	会社員	公務員	自営業	パート・ アルバイト	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	不明
全体 (n=2,382)	2.5	0.1	3.5	6.9	17.8	0.0	71.2	2.9	1.1
男性 (n=1,060)	4.8	0.2	5.3	7.8	1.0	0.0	78.4	3.6	0.5
女性 (n=1,307)	0.6	0.0	2.1	6.2	31.6	0.0	65.8	2.3	0.8
70～74歳 (n=786)	4.3	0.0	5.2	14.9	19.6	0.0	58.0	2.7	0.1
男性 (n=375)	7.7	0.0	6.9	14.4	0.0	0.0	68.5	3.5	0.0
女性 (n=411)	1.2	0.0	3.6	15.3	37.5	0.0	48.4	1.9	0.2
75～79歳 (n=667)	2.8	0.3	2.7	5.5	20.2	0.0	71.1	3.3	0.6
男性 (n=307)	5.5	0.7	4.2	7.8	1.6	0.0	77.9	3.6	0.3
女性 (n=360)	0.6	0.0	1.4	3.6	36.1	0.0	65.3	3.1	0.8
80～84歳 (n=489)	1.0	0.0	2.5	1.2	18.0	0.0	82.4	2.2	0.6
男性 (n=208)	1.9	0.0	4.8	1.0	1.0	0.0	89.9	1.9	1.0
女性 (n=280)	0.4	0.0	0.7	1.4	30.7	0.0	76.8	2.5	0.4
85～89歳 (n=278)	0.4	0.0	3.6	1.1	12.6	0.0	81.7	3.6	1.8
男性 (n=121)	0.8	0.0	5.0	2.5	1.7	0.0	86.0	5.0	1.7
女性 (n=156)	0.0	0.0	2.6	0.0	21.2	0.0	78.2	2.6	1.9
90歳以上 (n=147)	0.0	0.0	1.4	0.0	8.2	0.0	89.8	2.7	1.4
男性 (n=48)	0.0	0.0	2.1	0.0	4.2	0.0	89.6	8.3	0.0
女性 (n=98)	0.0	0.0	1.0	0.0	10.2	0.0	89.8	0.0	2.0

イ) 70 歳未満

		実数	比率 (%)
年齢	18～29歳	166人	11.1%
	30～39歳	262人	17.6%
	40～49歳	288人	19.3%
	50～59歳	325人	21.8%
	60～69歳	446人	29.9%
	不明	5人	0.3%
性別	男性	608人	40.8%
	女性	871人	58.4%
	不明	13人	0.9%
居住区	中央区	189人	12.7%
	北区	217人	14.5%
	東区	188人	12.6%
	白石区	162人	10.9%
	厚別区	101人	6.8%
	豊平区	180人	12.1%
	清田区	76人	5.1%
	南区	99人	6.6%
	西区	180人	12.1%
	手稲区	95人	6.4%
	不明	5人	0.3%
住まい	自宅	1,467人	98.3%
	老人ホーム等の施設	2人	0.1%
	その他	14人	0.9%
	不明	9人	0.6%
世帯構成	本人と配偶者	392人	26.3%
	本人と配偶者と子	436人	29.2%
	本人と子	57人	3.8%
	単身世帯	262人	17.6%
	その他	345人	23.1%

(単位:%)

仕事	会社員	公務員	自営業	パート・ アルバイト	主婦・ 主夫	学生	無職	その他	不明
全体 (n=1,492)	40.3	6.0	5.1	17.8	13.6	4.8	12.4	3.2	1.0
男性 (n=608)	54.1	10.4	6.9	6.6	0.5	4.6	14.1	3.8	1.2
女性 (n=871)	30.8	3.0	3.9	25.9	22.8	4.7	11.3	2.8	0.3
18～29歳 (n=166)	34.3	9.6	0.6	12.7	3.0	41.0	2.4	1.2	0.6
男性 (n=62)	37.1	16.1	0.0	6.5	0.0	43.5	0.0	0.0	1.6
女性 (n=101)	32.7	5.9	1.0	16.8	5.0	38.6	4.0	2.0	0.0
30～39歳 (n=262)	53.8	9.2	4.2	13.7	13.4	0.4	6.5	2.3	0.4
男性 (n=105)	67.6	13.3	7.6	6.7	1.0	1.0	4.8	1.9	0.0
女性 (n=157)	44.6	6.4	1.9	18.5	21.7	0.0	7.6	2.5	0.6
40～49歳 (n=288)	51.4	6.9	6.3	21.2	10.1	0.0	5.9	2.8	0.0
男性 (n=115)	71.3	11.3	7.0	2.6	0.9	0.0	5.2	2.6	0.0
女性 (n=171)	38.0	4.1	5.8	33.9	15.8	0.0	6.4	2.9	0.6
50～59歳 (n=325)	46.8	5.5	6.5	16.9	13.2	0.3	7.4	4.0	1.8
男性 (n=129)	62.0	12.4	9.3	1.6	0.0	0.0	8.5	3.9	3.1
女性 (n=194)	36.6	1.0	4.6	27.3	22.2	0.5	6.7	4.1	0.5
60～69歳 (n=446)	23.1	2.5	5.6	20.9	20.2	0.2	27.6	4.0	0.7
男性 (n=197)	37.1	5.1	7.1	12.2	0.5	0.0	32.5	6.6	1.0
女性 (n=247)	11.7	0.4	4.5	27.9	36.0	0.4	23.5	2.0	0.4

第 2 章 調査結果

I 70 歳以上調査

1 本人とご家族の状況について

図 1-1 健康状態

(問 1 関係)

自身の健康状態をたずねたところ、「どちらかといえば、健康である」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「健康である」(21.2%)、「どちらともいえない」「どちらかといえば、健康ではない」(14.0%)となっている。「健康である」と「どちらかといえば、健康である」を合わせると 62.1%となっている。

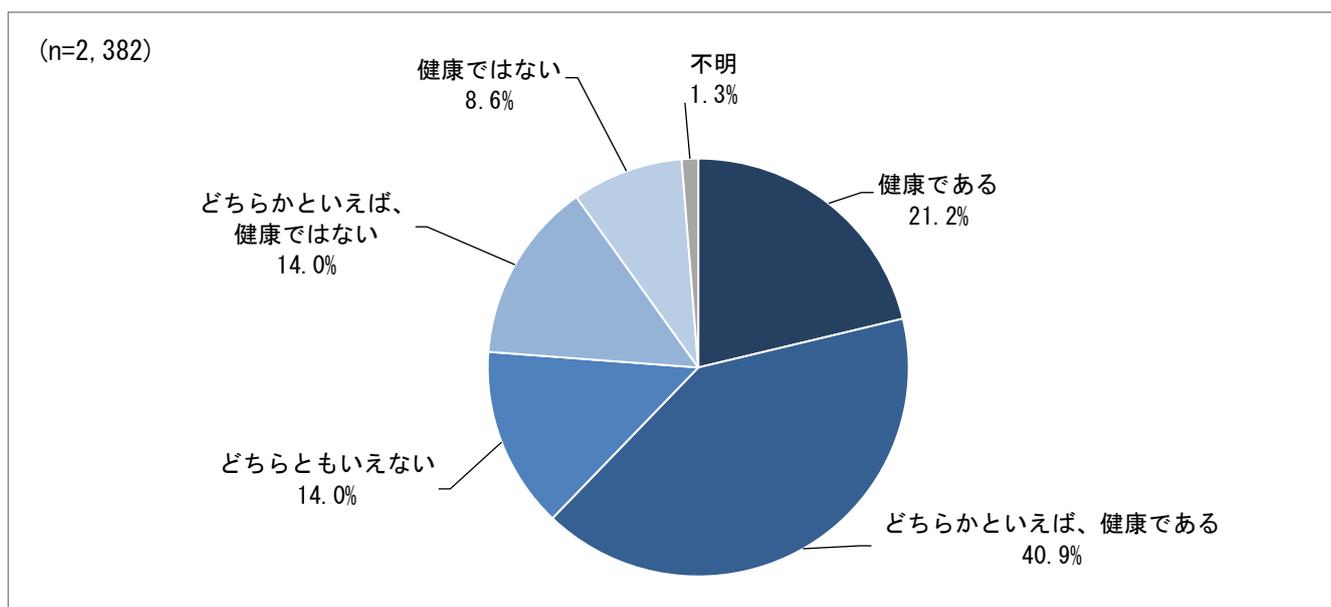


図 1-2 健康状態（年齢・男女別）

（問 1 関係）

健康状態を年齢・男女別にみると、すべての年代で「どちらかといえば、健康である」の割合が最も高くなっている。また、年齢が上がるほど「健康ではない」の割合が高くなっている。

男女別にみると、「健康である」「どちらかといえば、健康である」を合わせた割合が、すべての年代で女性に比べて男性の方が高くなっている。

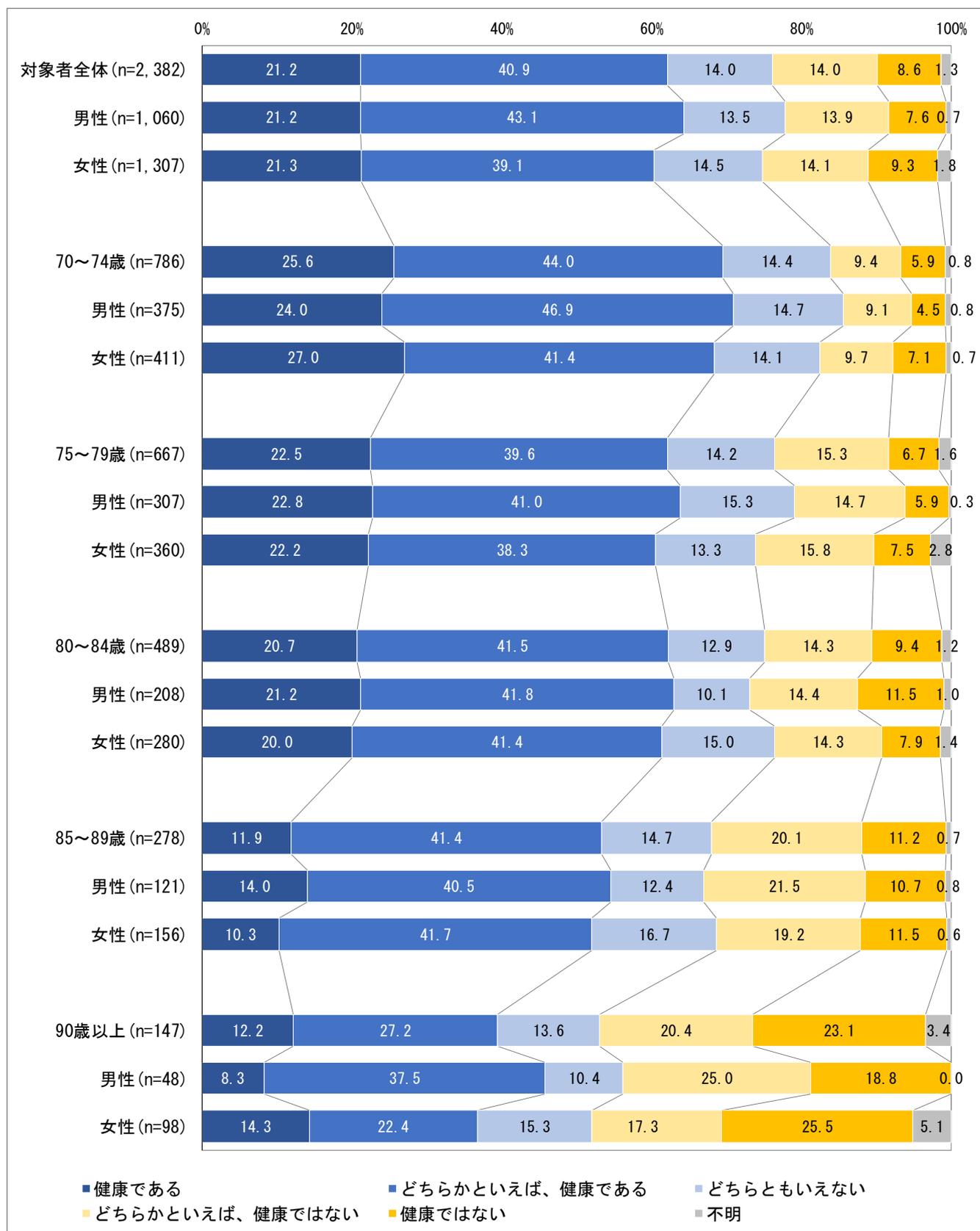


図 2-1 通院頻度

(問 2 関係)

通院の頻度をたずねたところ、「年に数回」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「月に数回」(42.0%)、「通院していない」(7.7%)となっている。

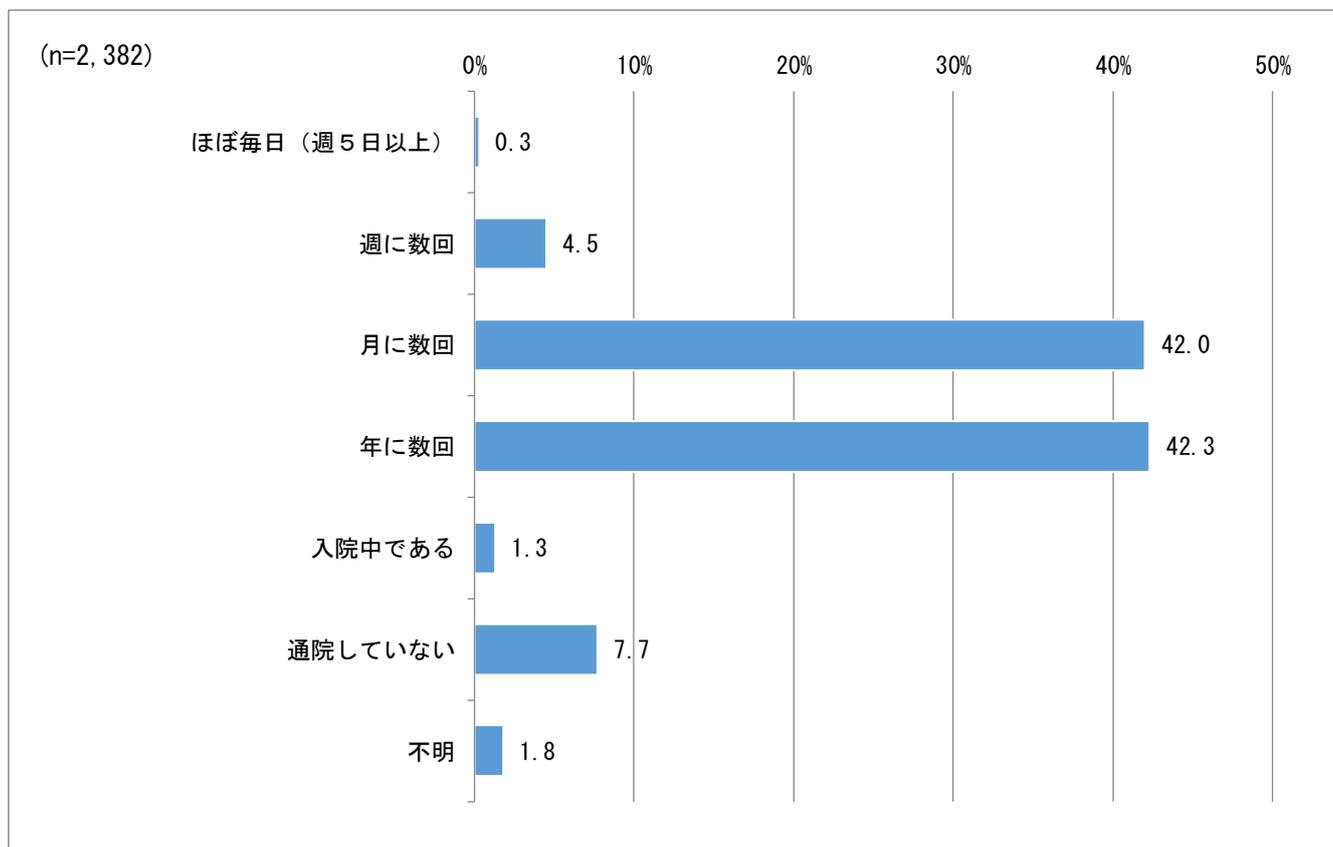


図 2-2 通院頻度（年齢・男女別）

（問 2 関係）

通院の頻度を年齢・男女別にみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は、女性に比べて男性が高い傾向にある。

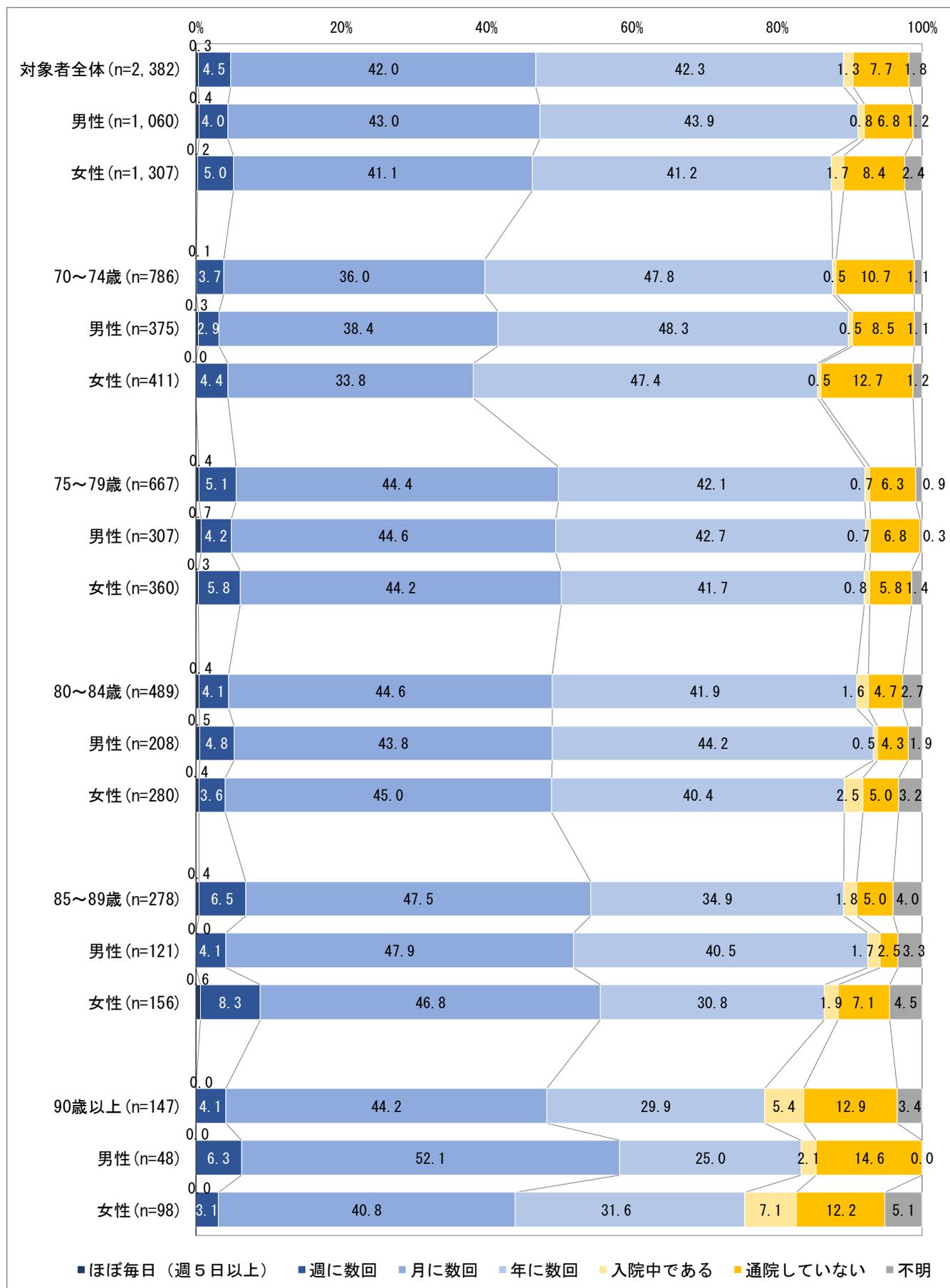


図 3-1 経済的ゆとり感

(問 3 関係)

現在の暮らしを経済的に見てどのように感じているかたずねたところ、「どちらともいえない」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば、ゆとりがない」(23.1%)、「どちらかといえば、ゆとりがある」(19.9%)となっている。

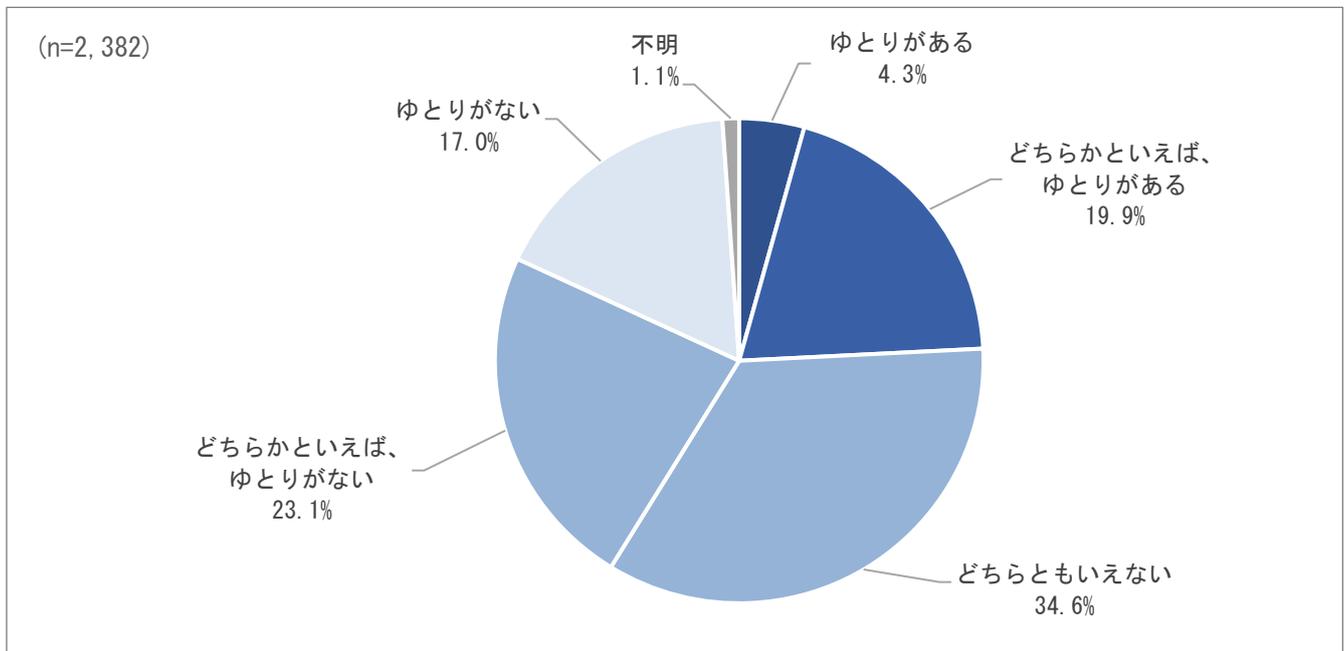


図 3-2 経済的ゆとり感 (年齢別)

(問 3 関係)

経済的ゆとり感を年齢別にみると、年齢が上がるほど、「どちらかといえば、ゆとりがない」「ゆとりがない」を合わせた割合が低くなっている。

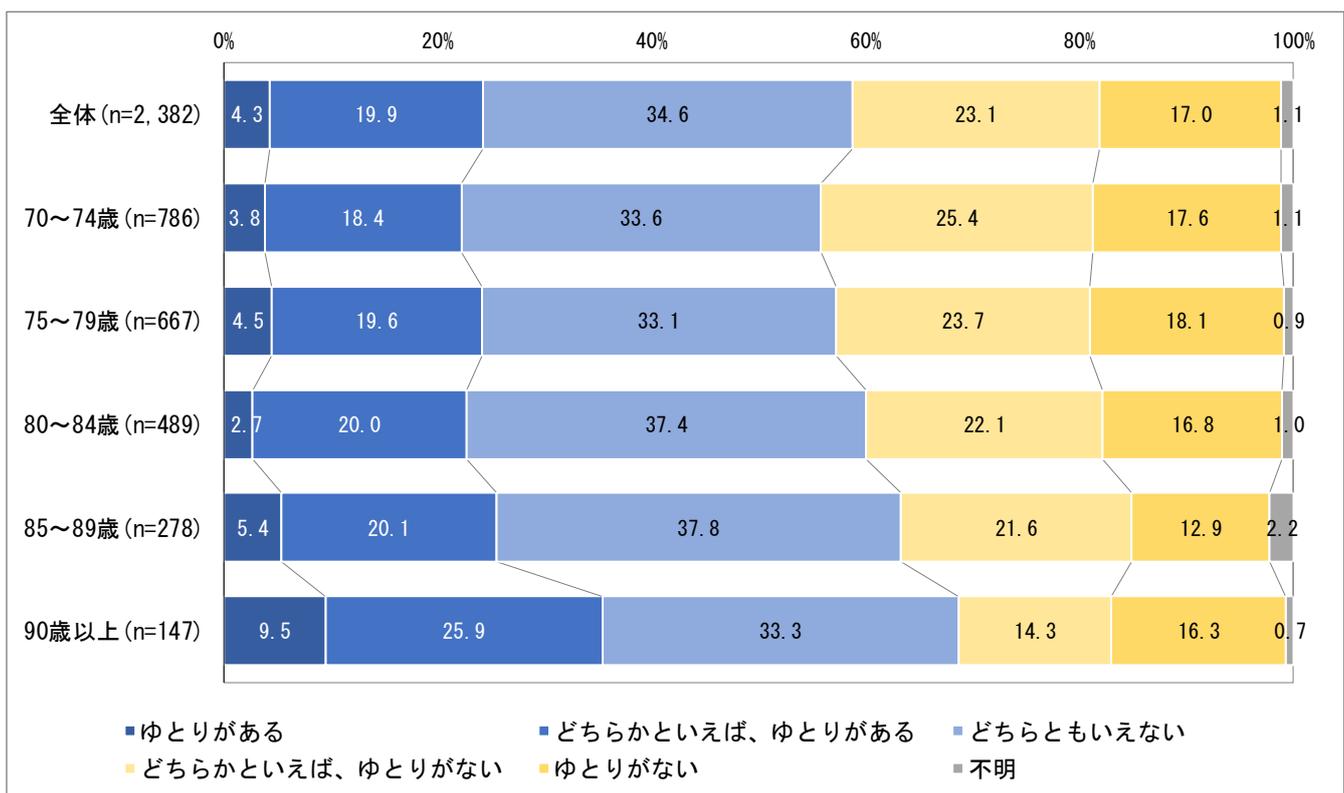


図 4-1 本人の収入

(問 4 関係)

昨年 1 年間の本人の収入をたずねたところ、「100 万円以上 200 万円未満」の割合が 36.8% と最も高く、次いで「100 万円未満」(25.8%)、「200 万円以上 300 万円未満」(24.9%) となっている。

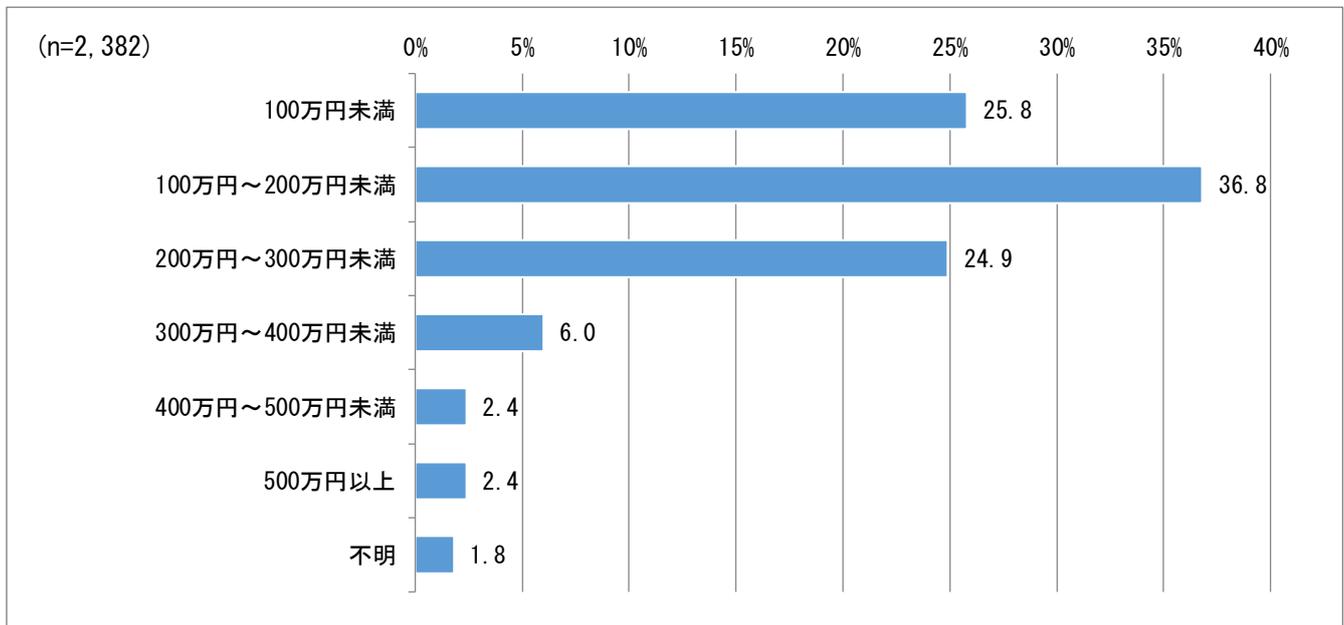


図 4-2 本人の収入 (年齢別)

(問 4 関係)

本人の収入を年齢別にみると、「100 万円未満」の割合は 75～79 歳が 28.8% と最も高くなっており、年齢が高くなるほど、「100 万円未満」の割合が低くなっている。

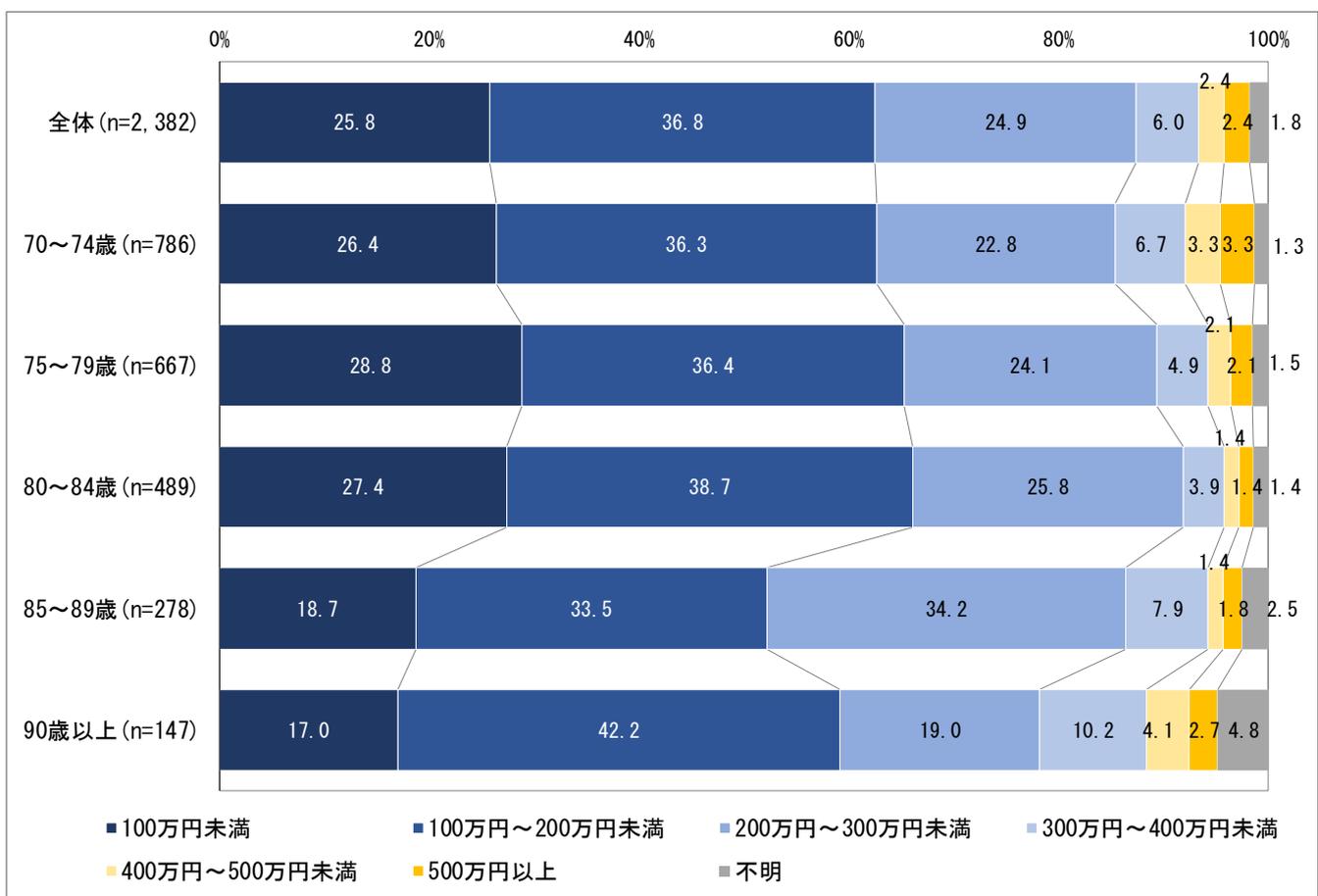


図 4-3 本人の収入（男女別）

（問 4 関係）

本人の収入を男女別にみると、男性は「200 万円以上 300 万円未満」の割合が 40.3%と最も高く、女性は「100 万円未満」が 41.2%と最も高くなっている。

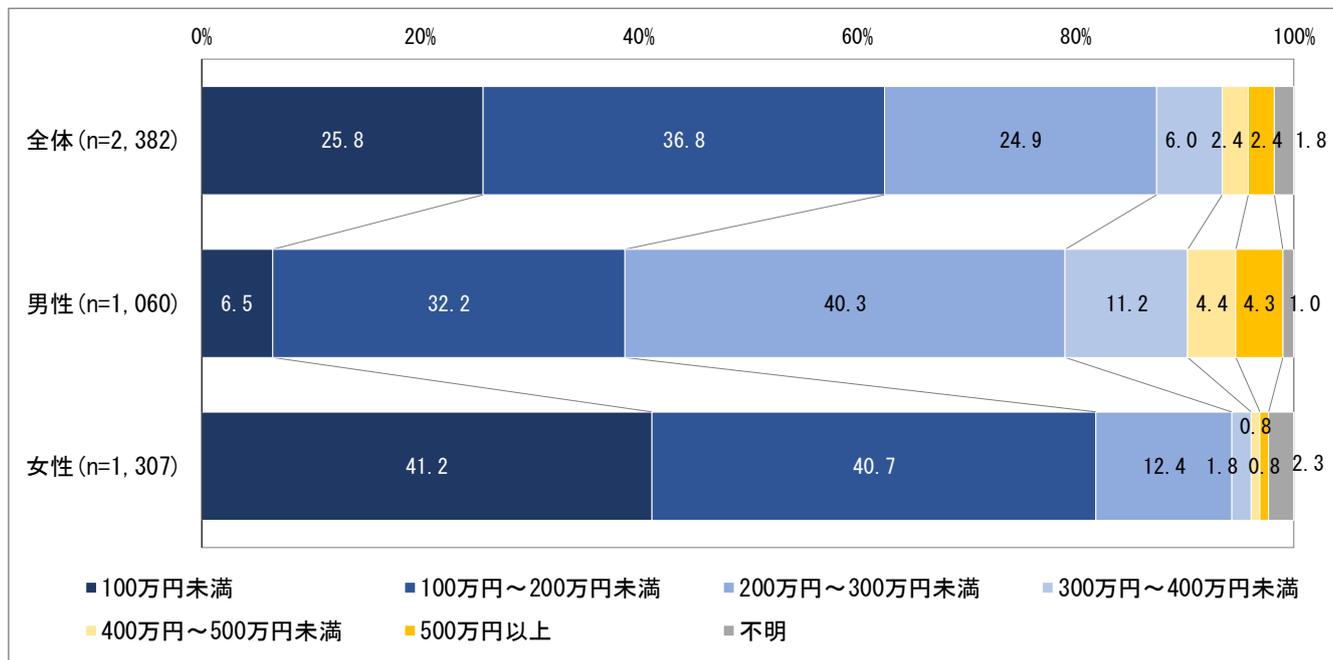


図 5 世帯の収入

（問 5 関係）

世帯（同居の家族全員）の昨年 1 年間の収入をたずねたところ、「200 万円以上 300 万円未満」の割合が 31.1%と最も高く、次いで「100 万円以上 200 万円未満」（26.4%）、「300 万円以上 400 万円未満」（14.6%）となっている。

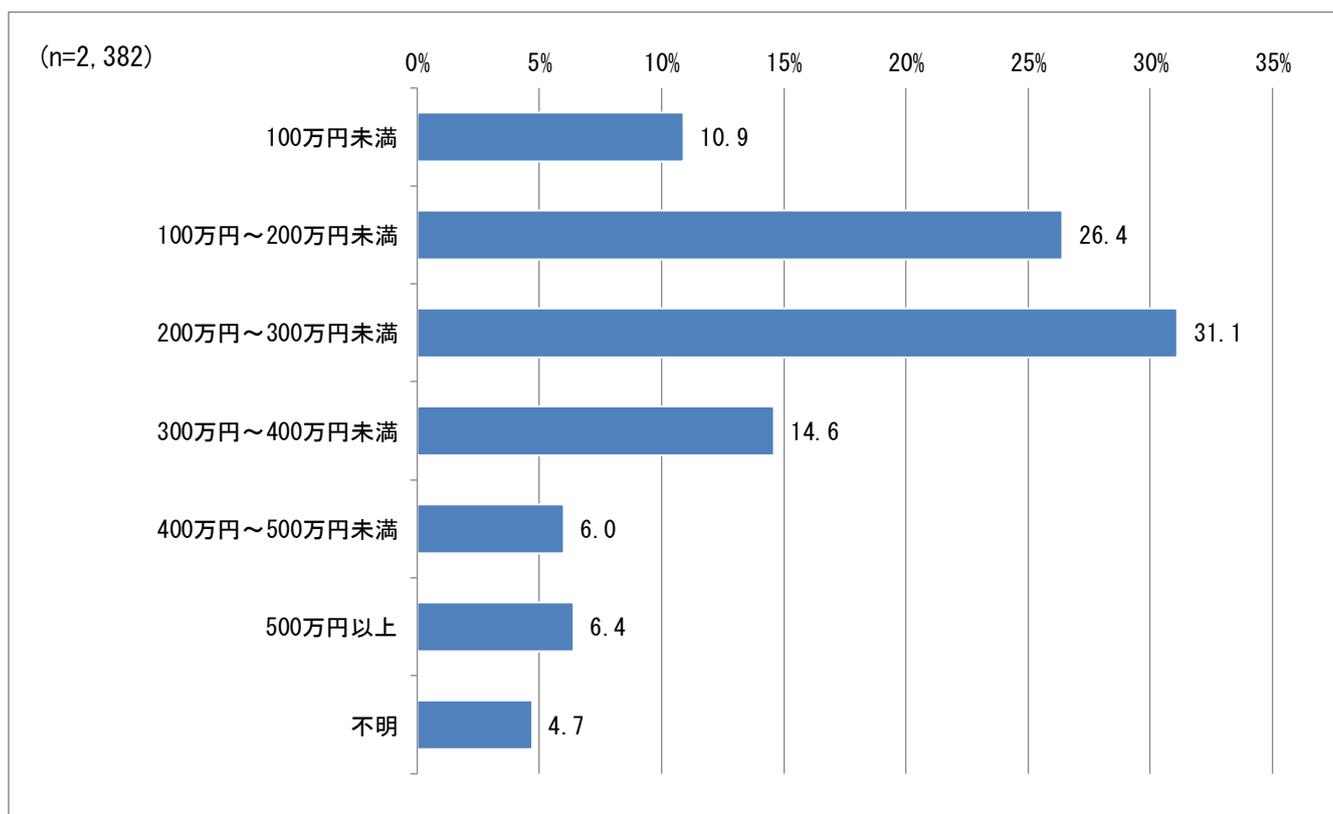


図 6-1 運転免許

(問 6 関係)

運転免許の状況についてたずねたところ、「免許を持っていて、運転している」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「免許を持ったことがない」(30.9%)、「免許を持っていたが、返納した」(26.7%)となっている。

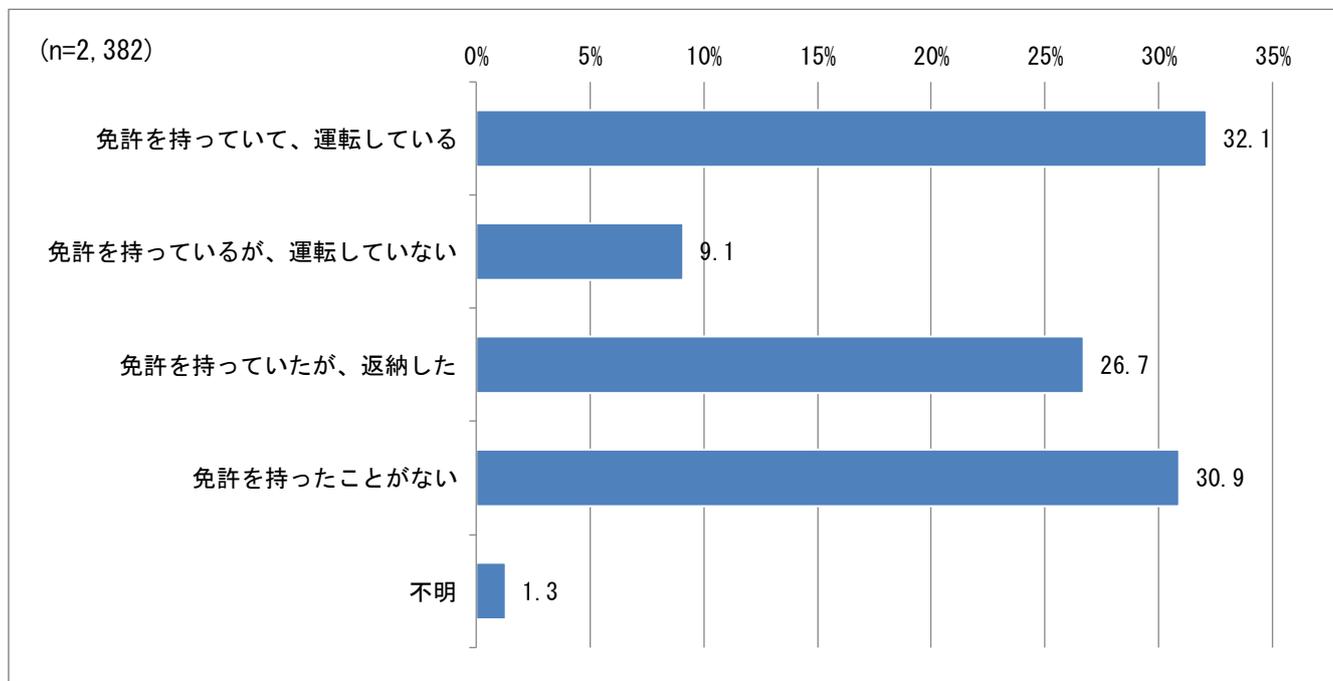
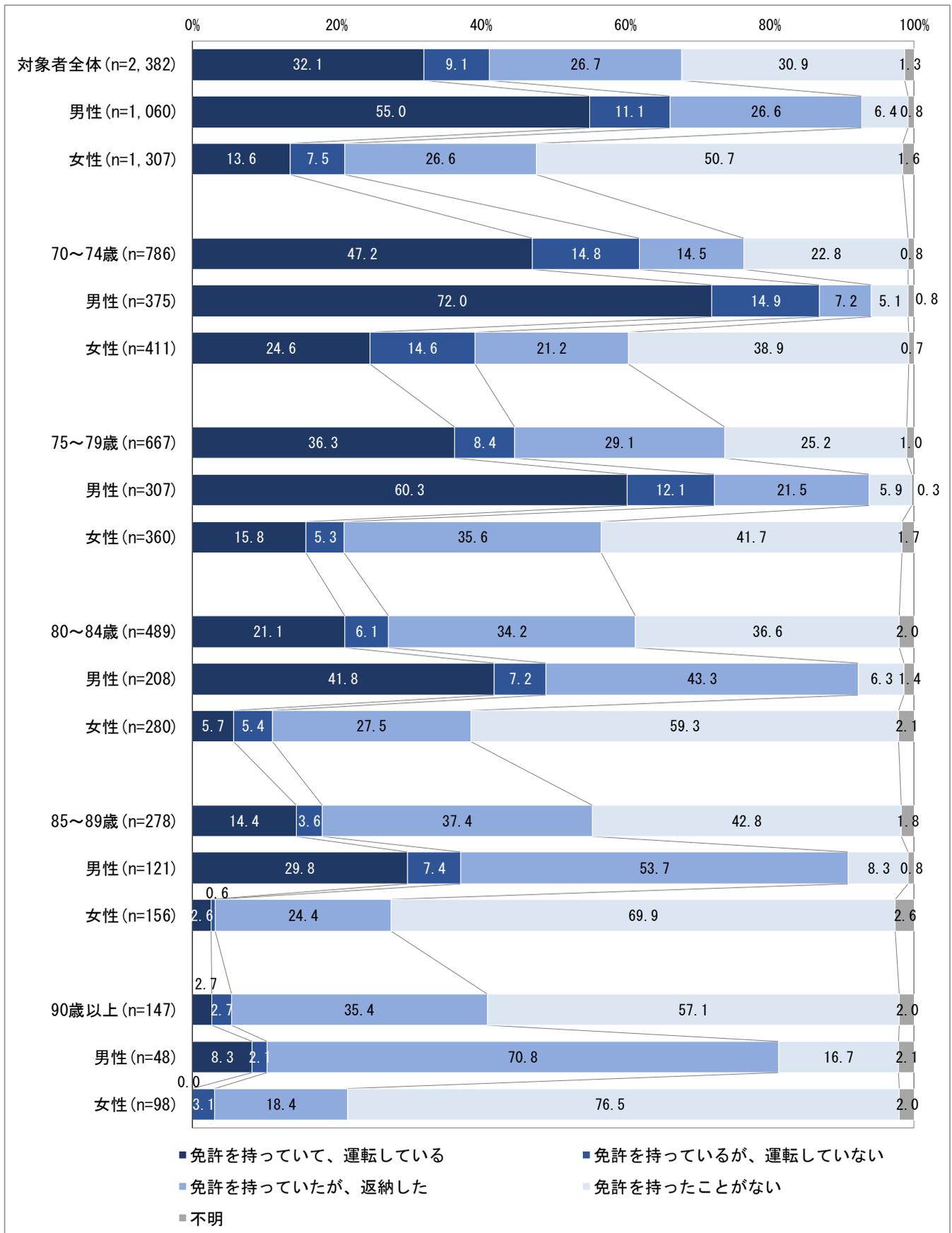


図 6-2 運転免許（年齢・男女別）

（問 6 関係）

運転免許の状況について年齢・男女別にみると、どの年代でも男女の差が大きく、女性に比べ男性が免許を持っている割合が高い。また、年代が上がるにつれて「免許を持っていて、運転している」の割合が低くなっている。



2 健康に関する考え等について

図 7-1 健康寿命

(問 7 関係)

健康寿命という言葉を知っていたかについてたずねたところ、「知っていた」の割合が 67.6%と最も高く、次いで「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」(21.2%)、「知らなかった」(9.7%)となっている。

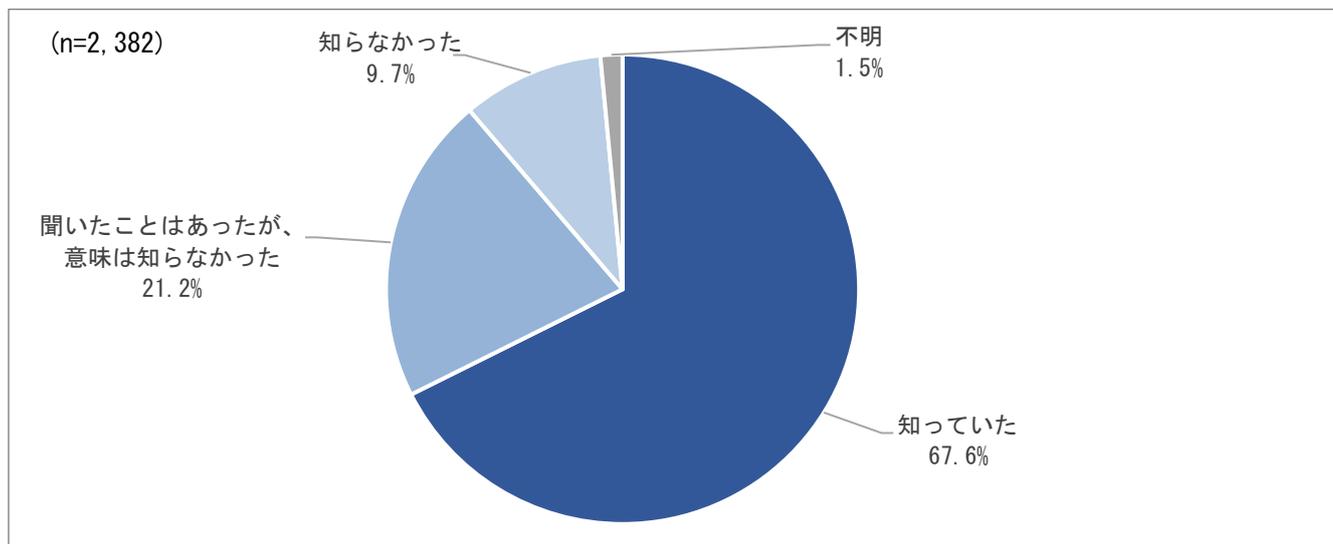


図 7-2 健康寿命 (年齢別)

(問 7 関係)

健康寿命という言葉を知っていたかを年齢別にみると、「知っていた」の割合は 75~79 歳が 72.1%と最も高くなっている。

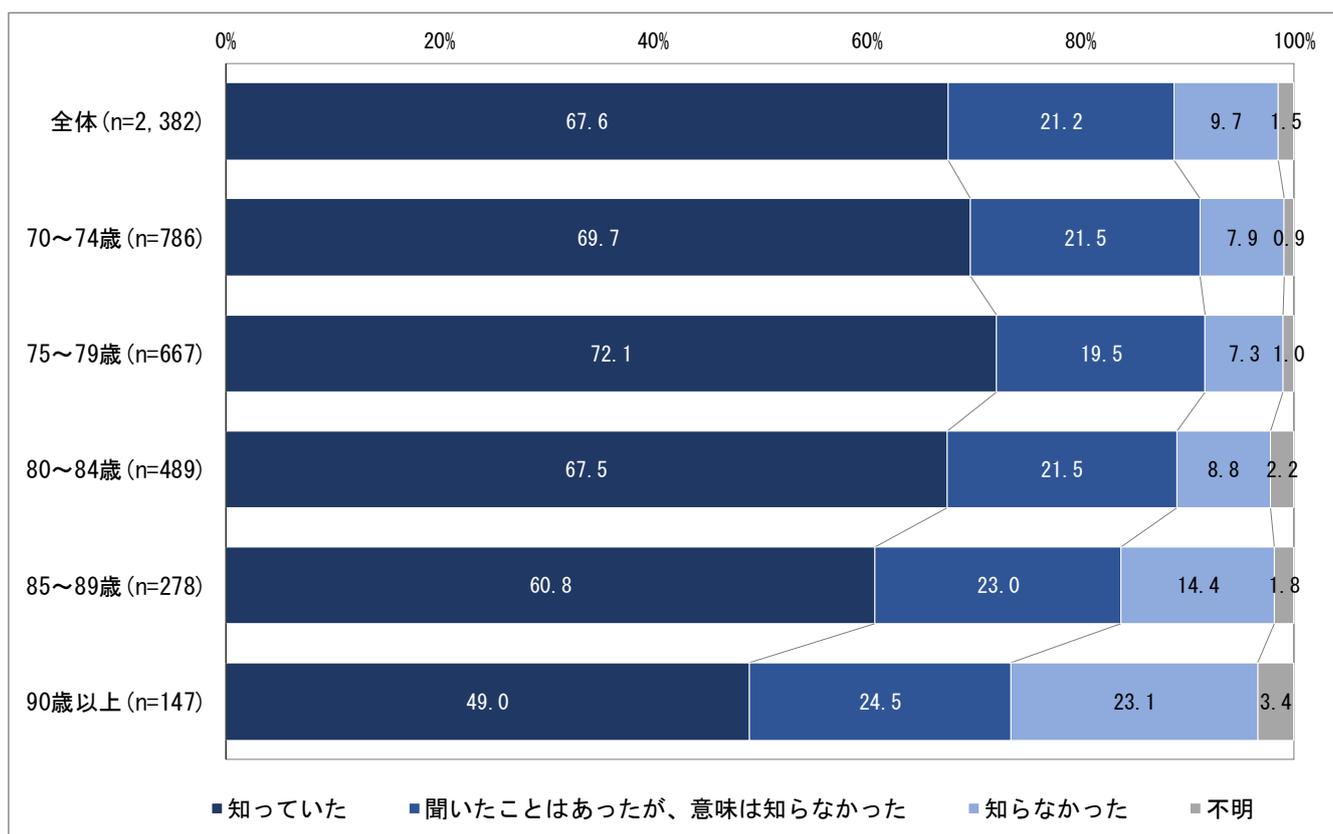
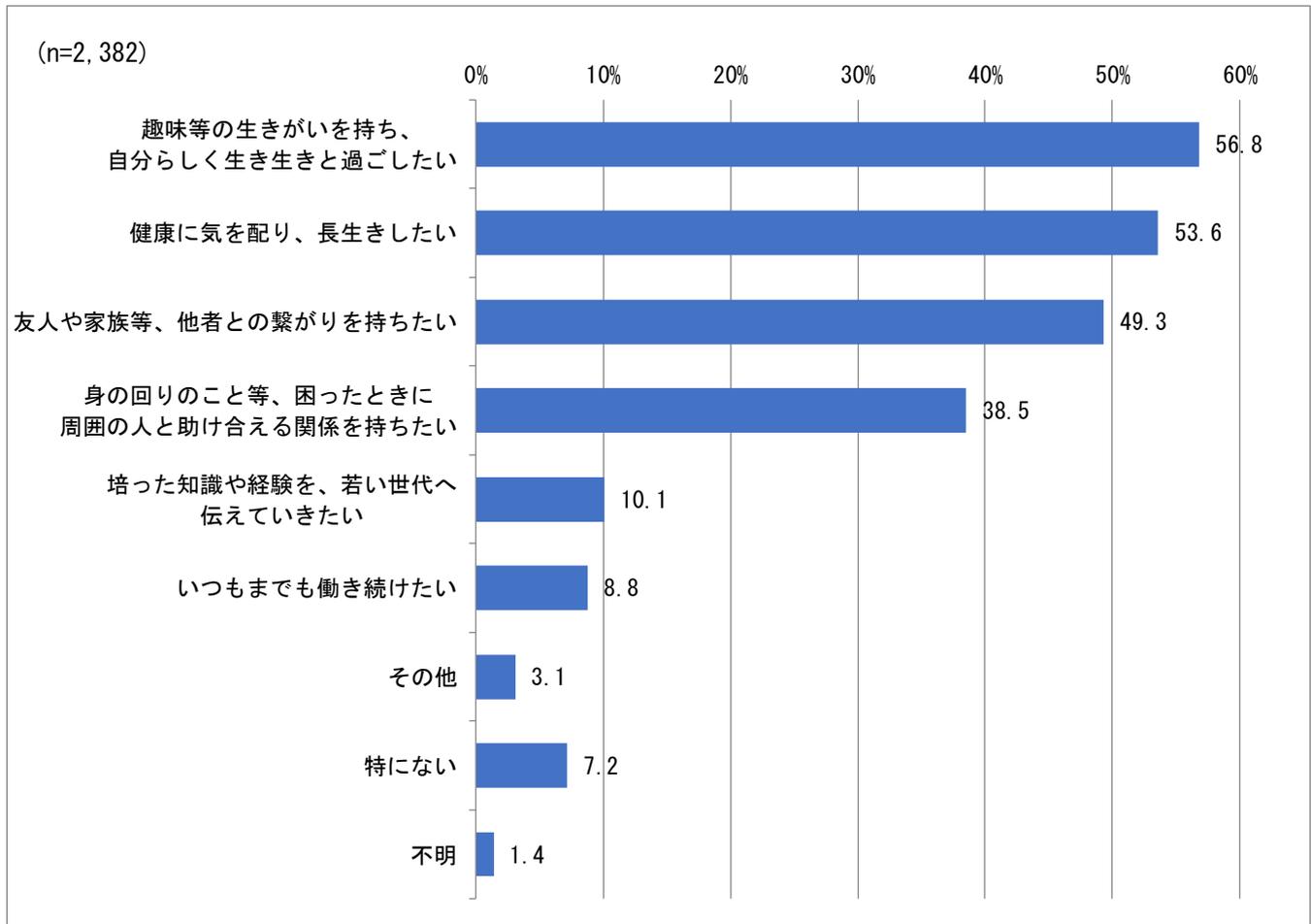


図 8 人生の過ごし方

(問 8 関係)

どのような人生を過ごしたいかをたずねたところ、「趣味等の生きがいを持ち、自分らしく生き生きと過ごしたい」が 56.8%と最も多く、次いで「健康に気を配り、長生きしたい」(53.6%)、「友人や家族等、他者との繋がりを持ちたい」(49.3%)となっている。



3 デジタル機器の活用について

図 9-1 スマートフォンの保有

(問 10 関係)

スマートフォンの保有についてたずねたところ、「はい」が 62.1%、「いいえ」が 35.8%となっている。

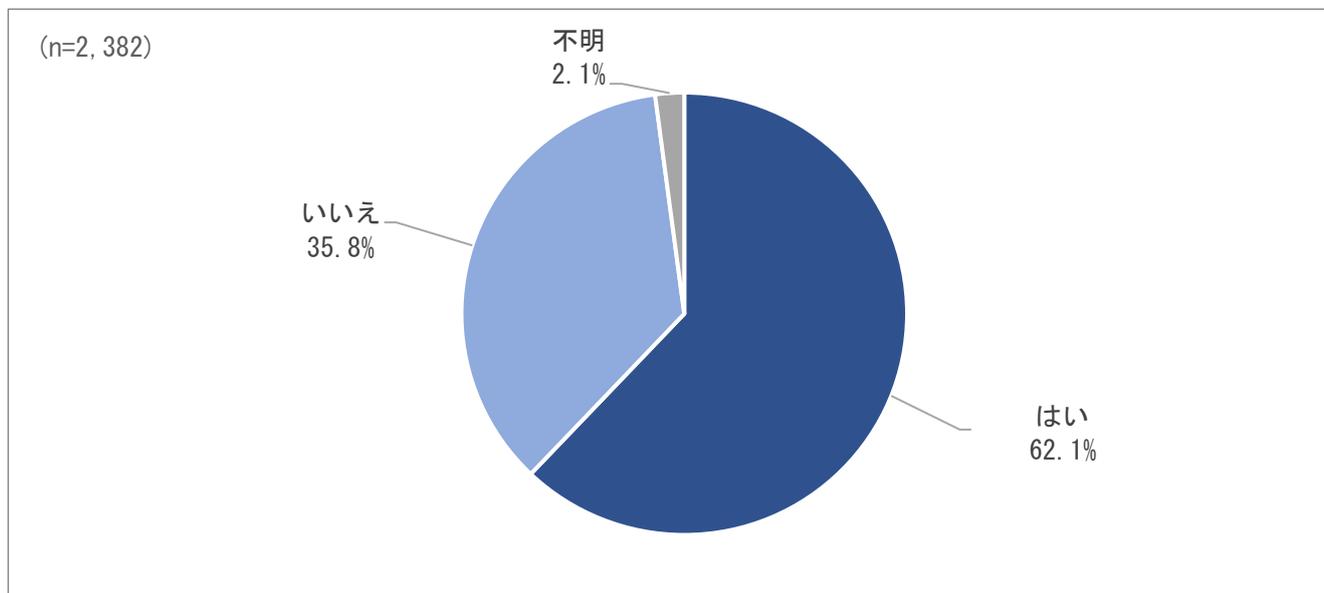


図 9-2 スマートフォンの保有（年齢・男女別）

（問 10 関係）

スマートフォンの保有について年齢・男女別にみると、70～74 歳で「はい」の割合が 82.7%と最も高く、年代が上がるにつれて「はい」の割合が低くなり、90 歳以上では 13.6%となっている。年代により若干の差はあるが、目立った男女差はみられない。

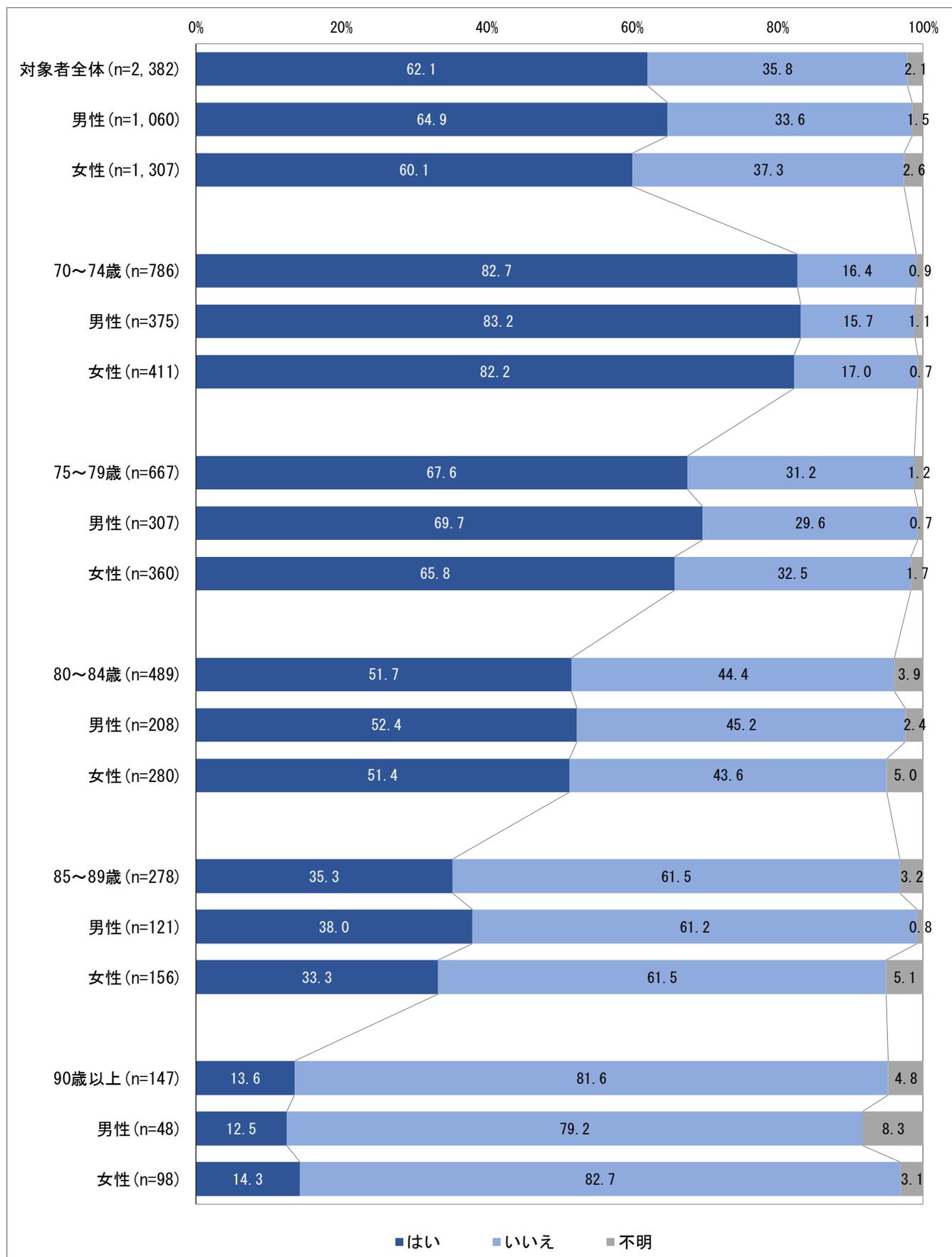


図 10-1 スマートフォンを持って便利になったこと

(問 11 関係)

スマートフォンを持っていると答えた方に、スマートフォンを持って便利になったことをたずねたところ、「アプリや SNS（※）等を通じて家族や友人等とコミュニケーションをとれること」が 60.5%と最も多く、次いで「カメラで写真やビデオを撮り、多くの思い出を保存できること」（55.3%）、「インターネット等で簡単に知りたい情報を得られるようになったこと」（50.1%）となっている。

※Facebook、X（旧 Twitter）、LINE、Instagram などのソーシャル・ネットワーキング・サービス

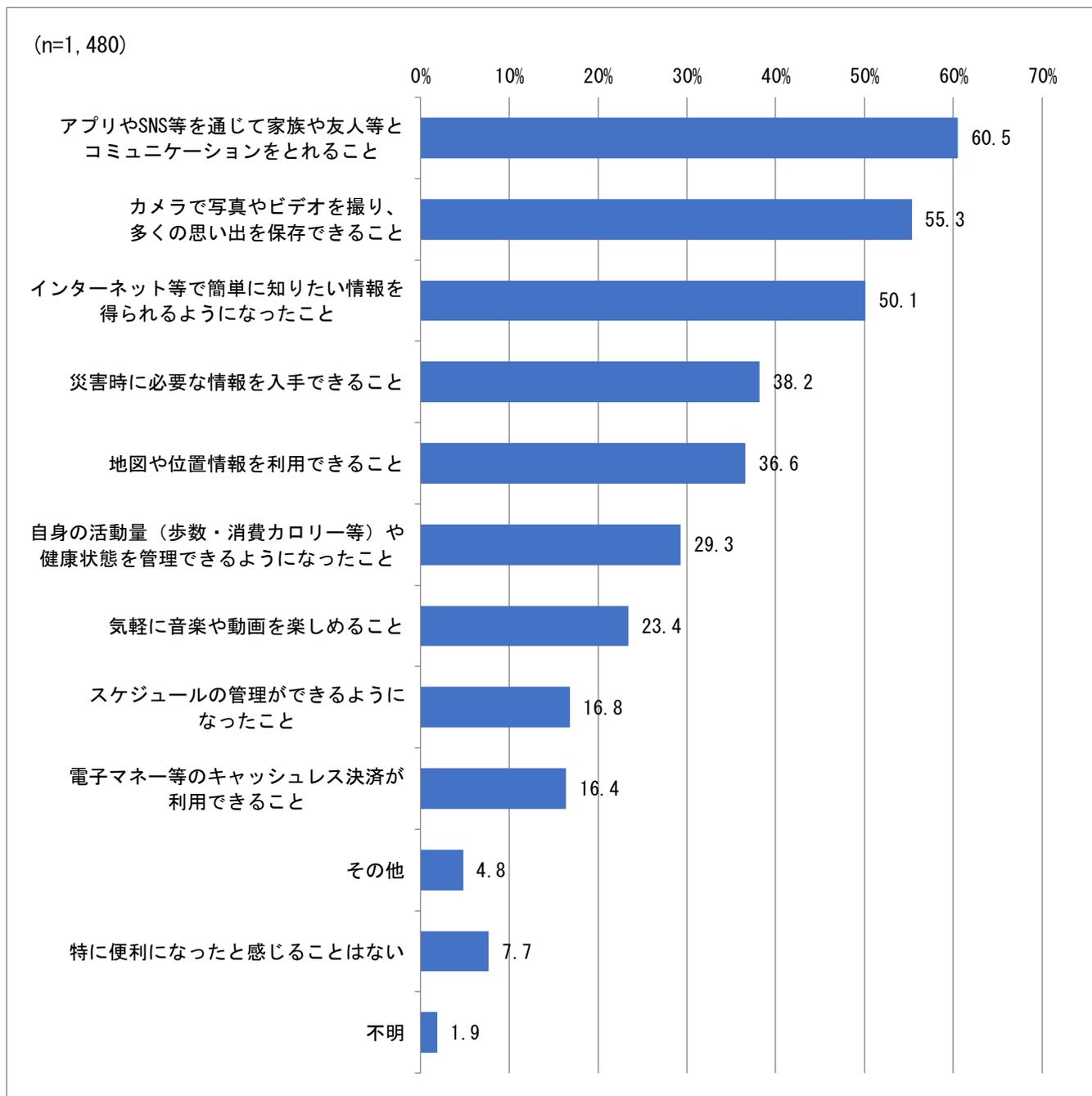


図 10-2 スマートフォンを持って便利になったこと（年齢別）

（問 11 関係）

スマートフォンを持って便利になったことを年齢別にみると、多くの項目で年代が上がるにつれて回答の割合が低くなる傾向がある。逆に「特に便利になったと感じることはない」と回答した割合は、年代が上がるにつれて高くなっている。

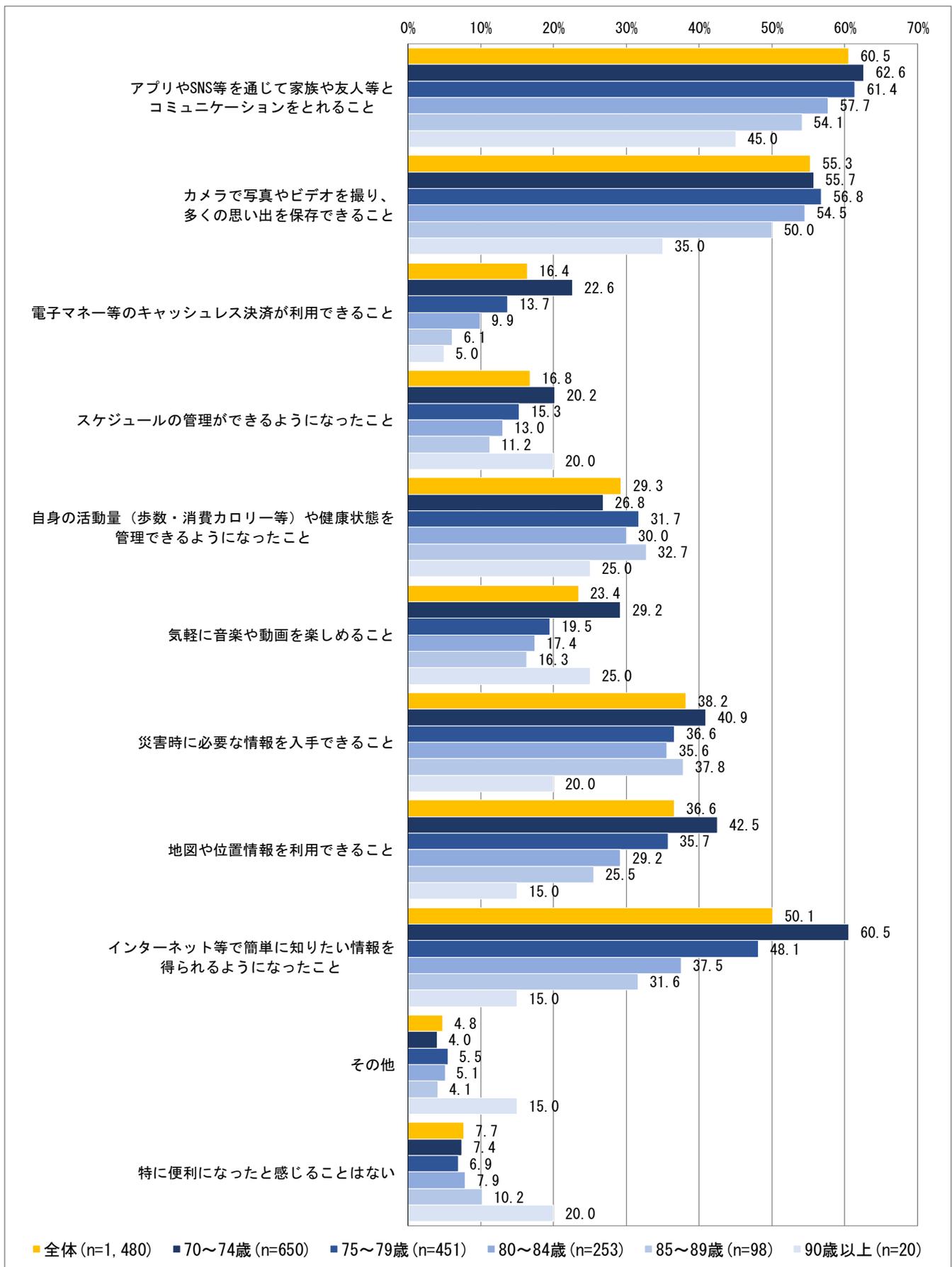
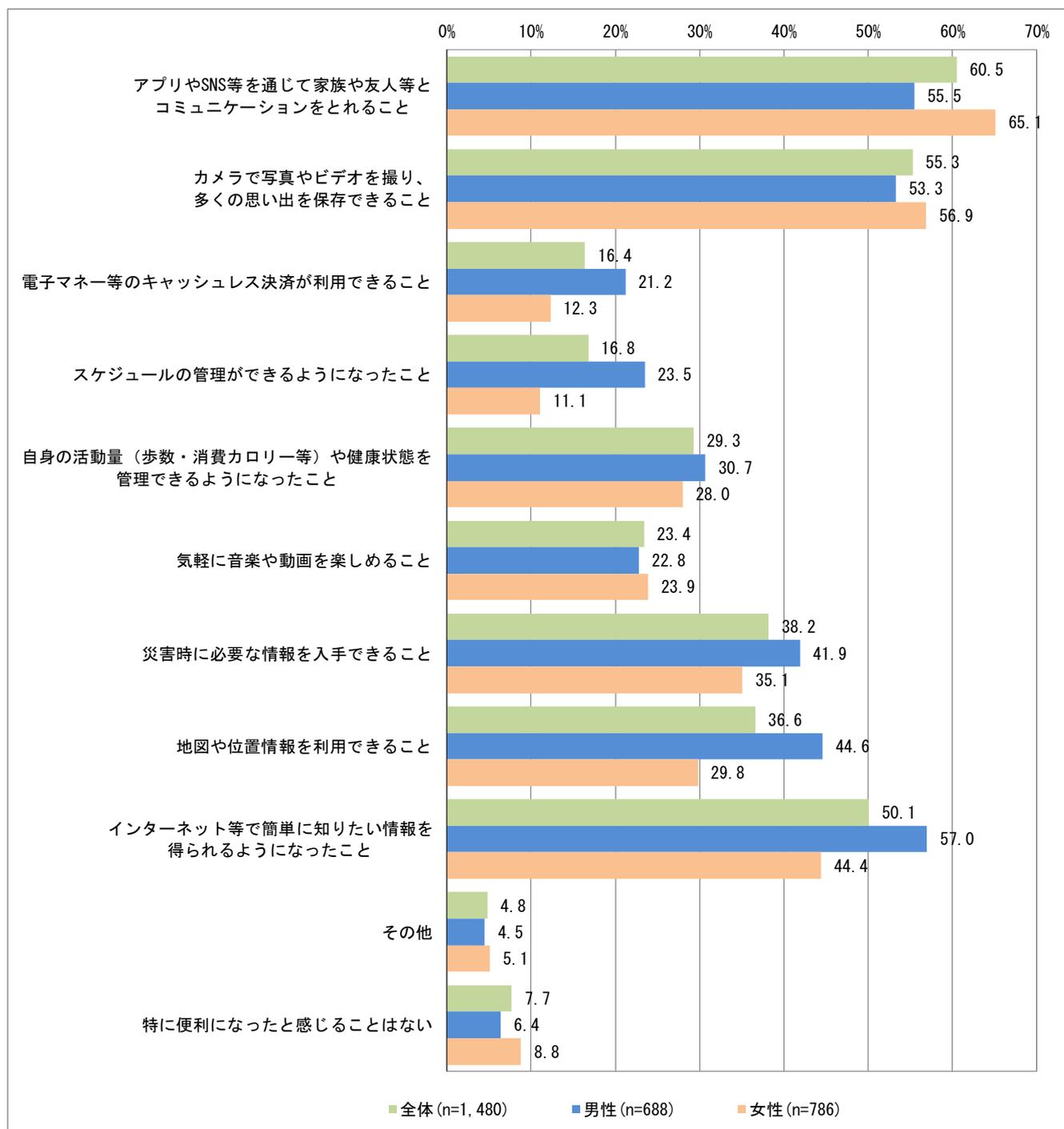


図 10-3 スマートフォンを持って便利になったこと(男女別)

(問 11 関係)

スマートフォンを持って便利になったことを男女別にみると、女性では全体と同じく「アプリや SNS を通じて家族や友人等とコミュニケーションをとれること」が 65.1% と最も多く、男性では「インターネット等で簡単に知りたい情報を得られるようになったこと」と回答した割合が 57.0% と最も高くなっている。



4 外出や公共交通機関の利用の状況について

図 11-1 外出頻度

(問 12 関係)

外出の頻度についてたずねたところ、「週に数回」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日（週 5 日以上）」（23.0%）、「月に数回」（20.5%）となっている。

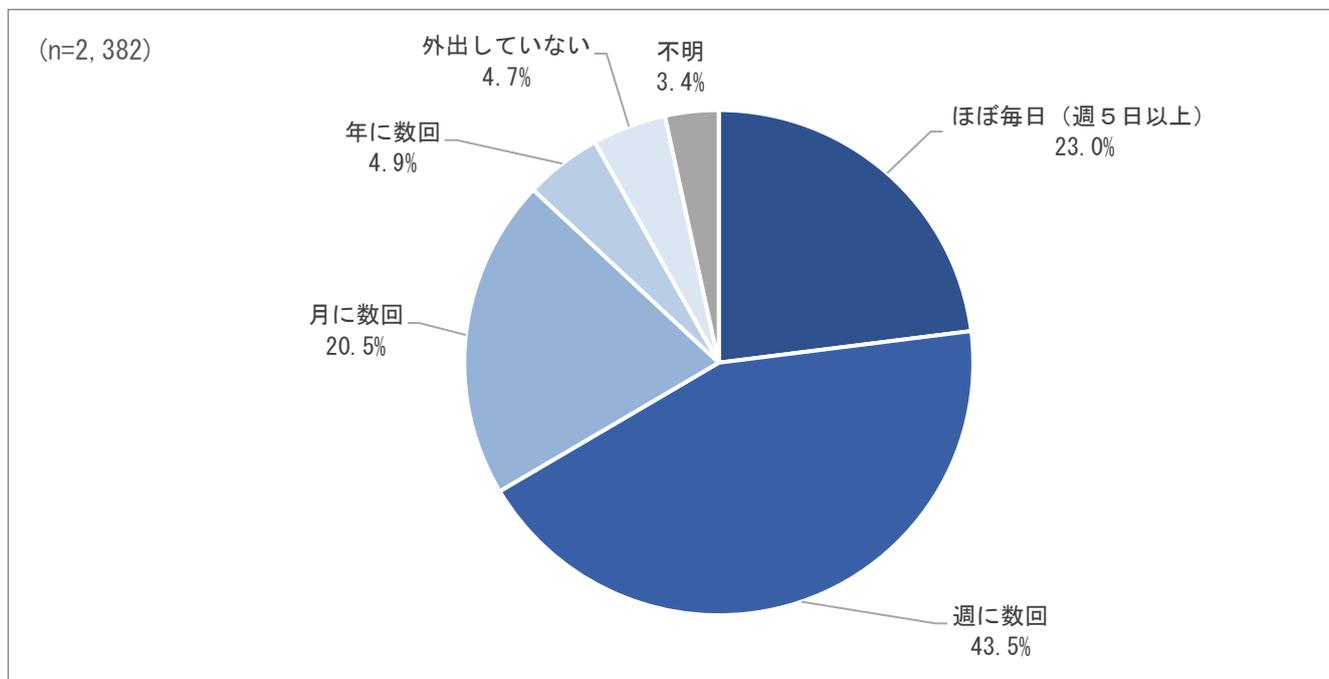


図 11-2 外出頻度（年齢・男女別）

（問 12 関係）

外出の頻度を年齢・男女別にみると、年齢が上がるほど、外出頻度が低下している。また、男性より女性の方が、外出頻度が低い傾向にある。

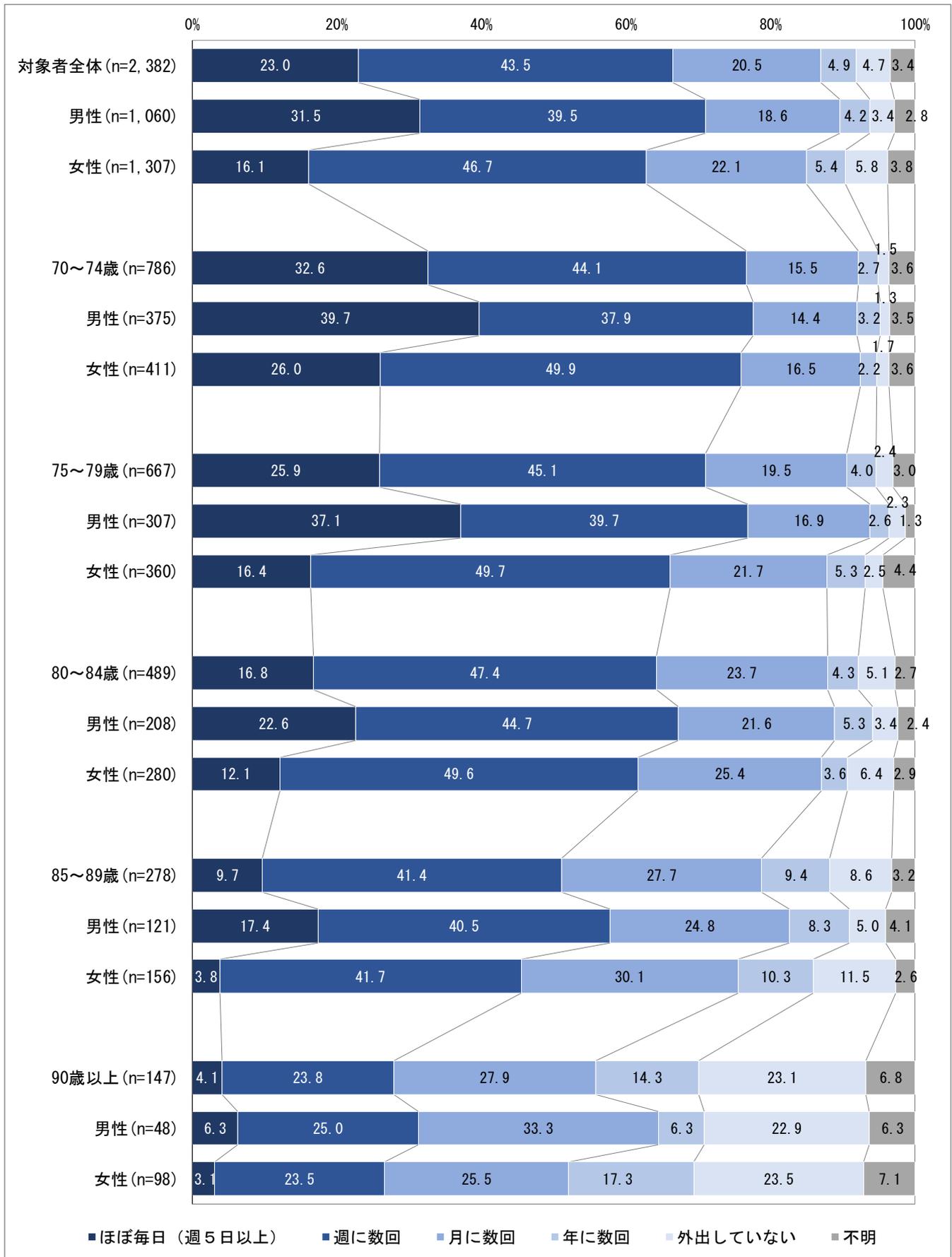


図 11-3 外出頻度（仕事の有無別）

（問 12 関係）

外出の頻度を仕事の有無別にみると、仕事がある方はない方に比べて「ほぼ毎日（週 5 日以上）」の割合が 30% 以上高くなっている。

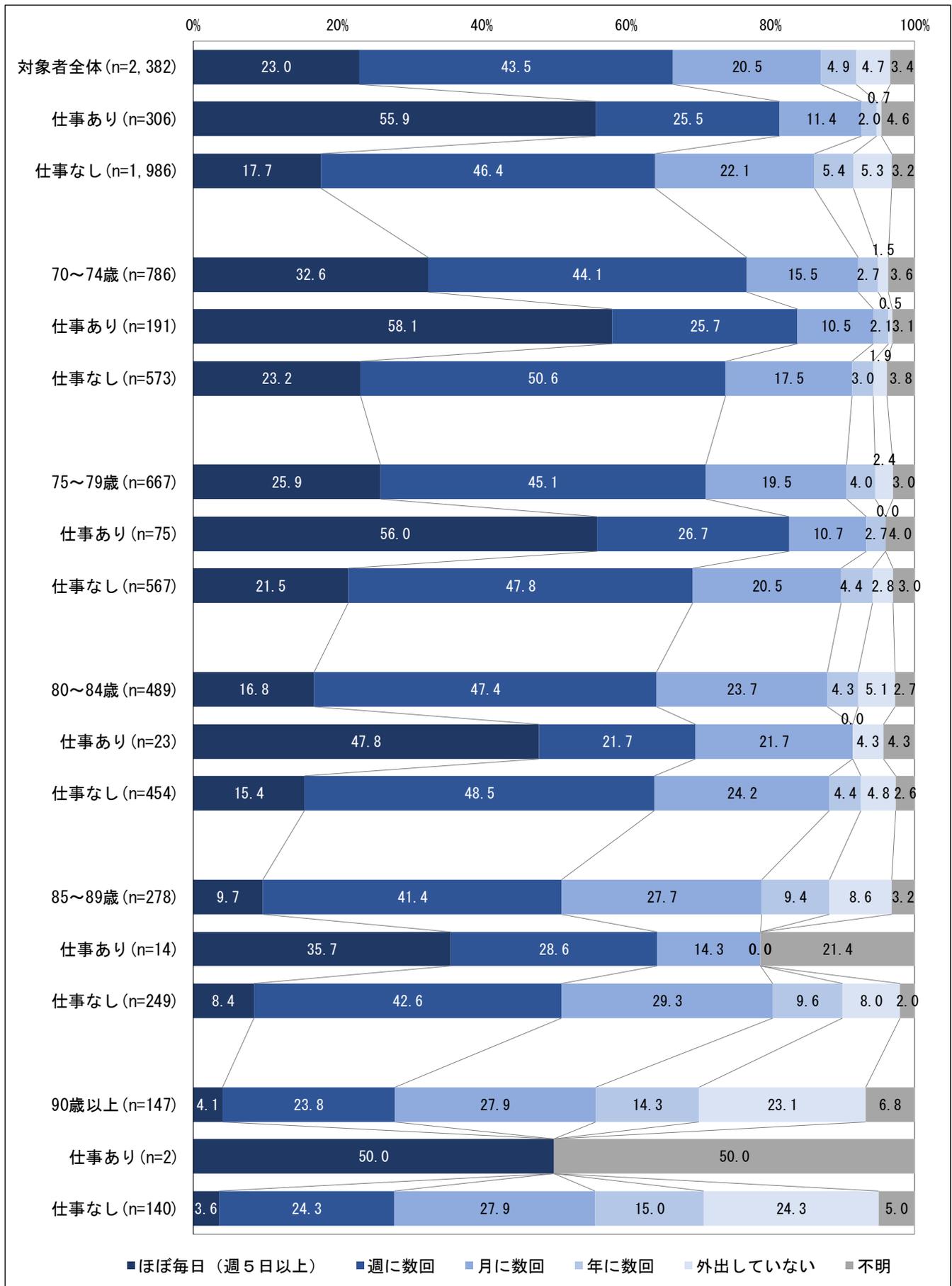


図 12-1 公共交通機関の利用頻度

(問 13 関係)

公共交通機関の利用頻度についてたずねたところ、「月に数回」の割合が 33.2% で最も高く、次いで「週に数回」(23.2%)、「年に数回」(19.9%) となっている。

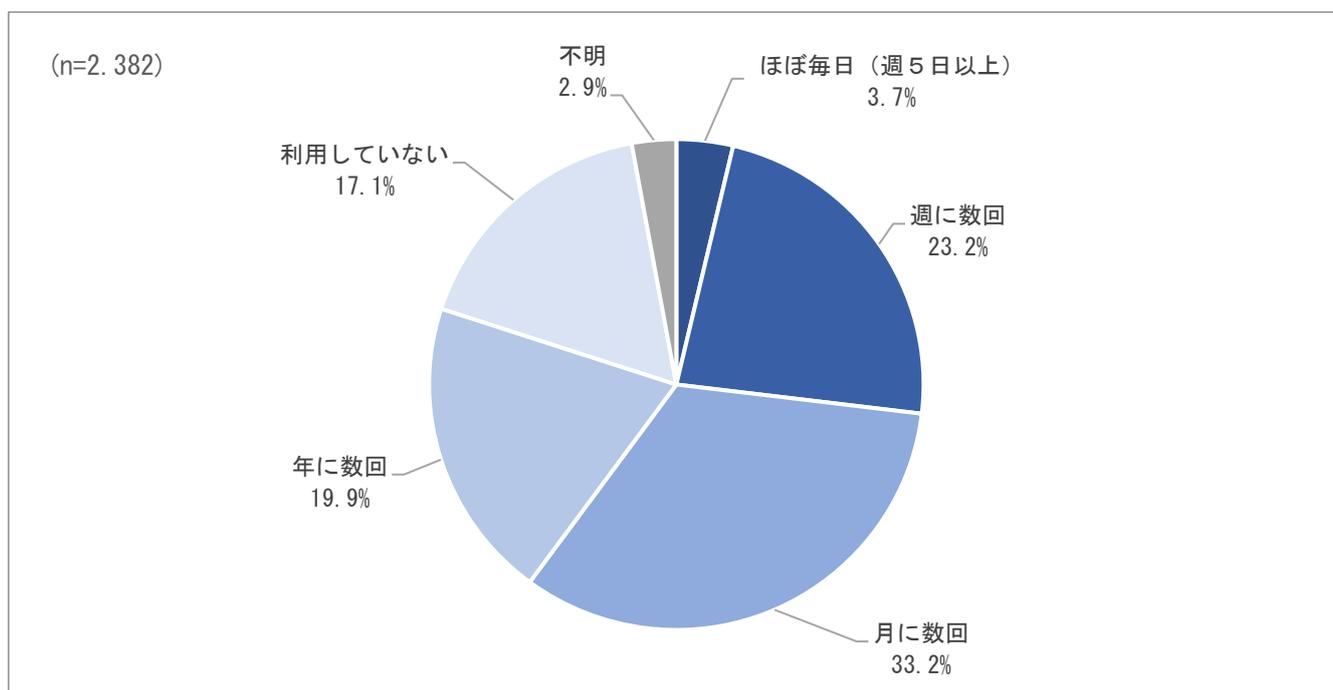


図 12-2 公共交通機関の利用頻度（年齢・男女別）

（問 13 関係）

公共交通機関の利用頻度を年齢・男女別にみると、80 歳代以上では男女ともに年齢が上がるほど、利用頻度は低くなっている。また、「ほぼ毎日（週 5 日以上）」「週に数回」を合わせた割合は、80 歳代までは男性に比べて女性の方が高くなっているが、90 歳以上では男性の方が高くなっている。90 歳以上の女性では「利用していない」が非常に高い。

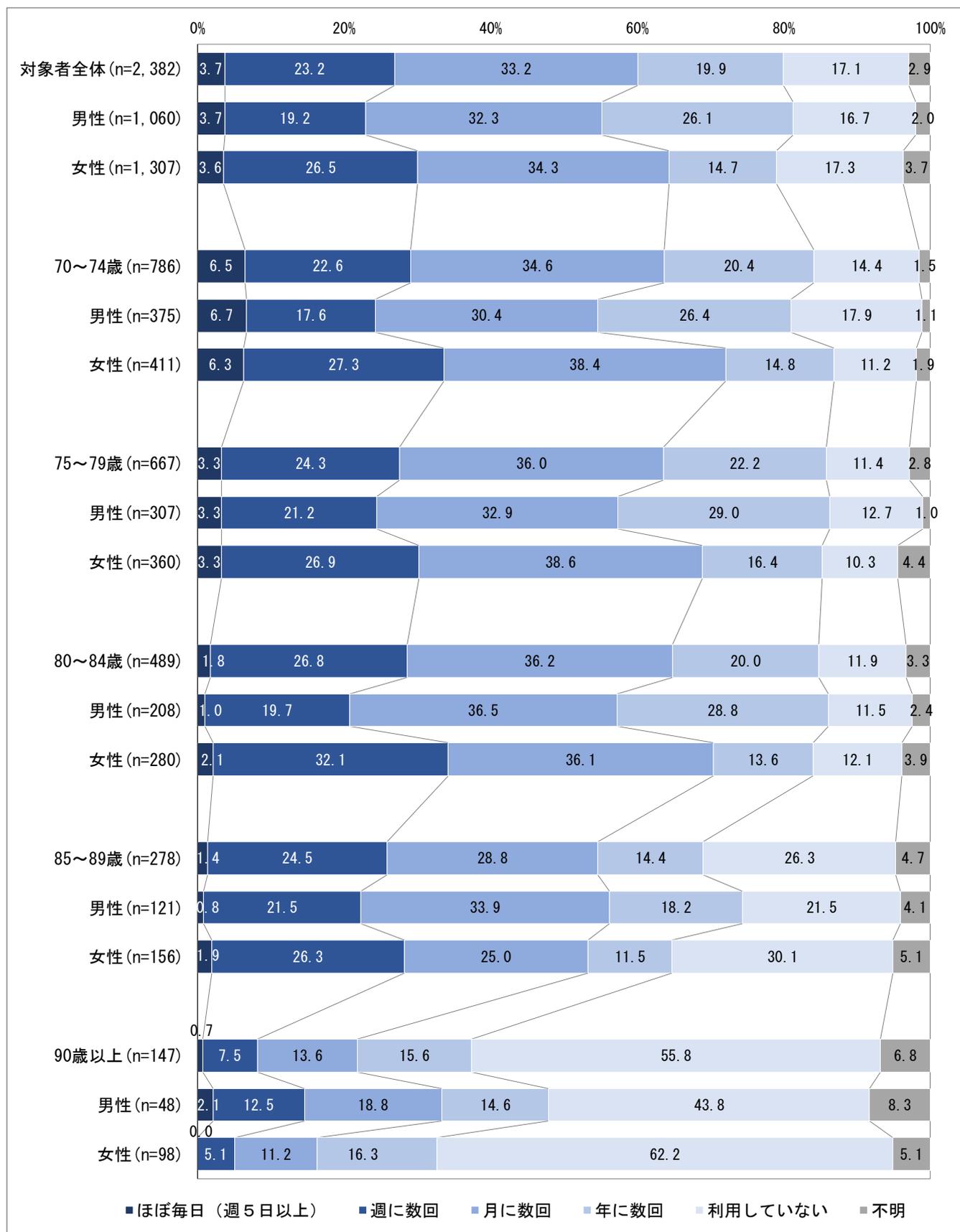


図 12-3 公共交通機関の利用頻度（仕事の有無別）

（問 13 関係）

公共交通機関の利用頻度を仕事の有無別にみると、仕事がある方は仕事がない方に比べて「ほぼ毎日（週 5 日以上）」の割合が 10% 以上高くなっているが、「週に数回」「月に数回」までを合わせると、その差は少なくなっている。

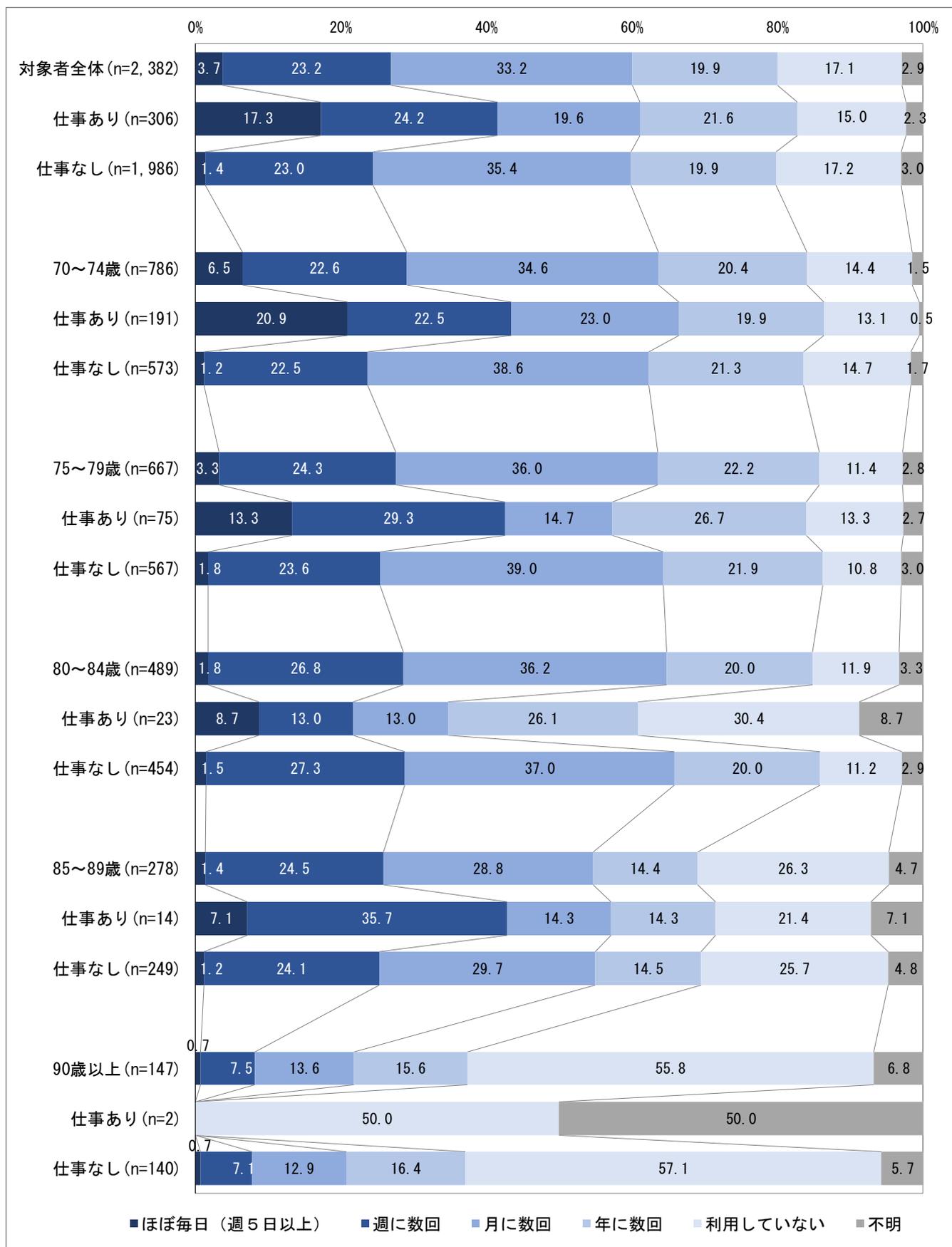


図 13-1 公共交通機関や移動手段の利用頻度

(問 14 関係)

公共交通機関や移動手段の利用頻度についてたずねたところ、「地下鉄」「バス」は「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合が 5 割前後と、他に比べて高くなっている。また、「自家用車」は「ほぼ毎日」が 14.7% と他の移動手段に比べて高くなっている。

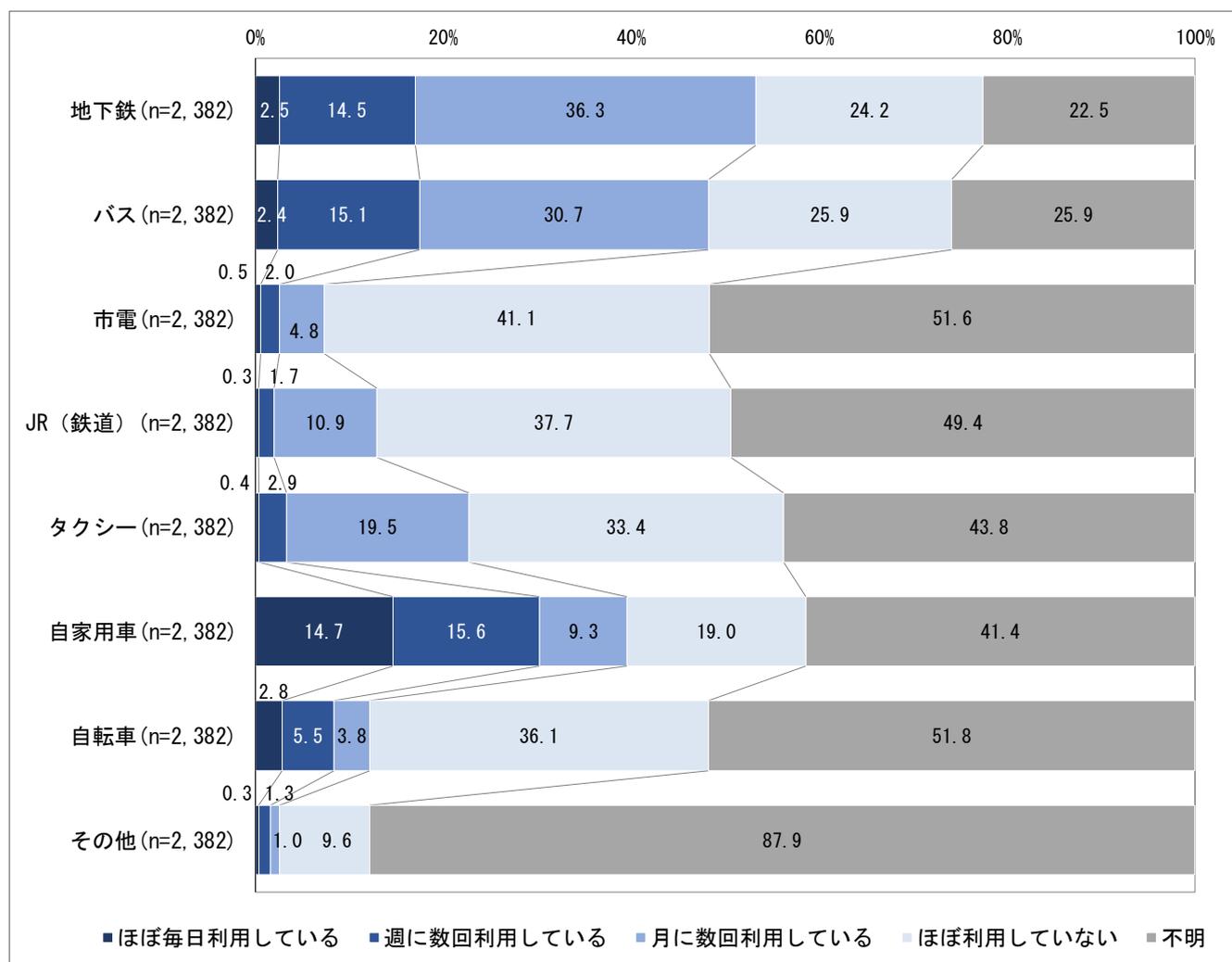


図 13-2 公共交通機関や移動手段の利用頻度（地下鉄）（年齢・男女別）

（問 14 関係）

地下鉄の利用頻度について年齢・男女別にみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は、70 歳代では女性の方が高いが、85 歳以上では男性の方が高い傾向となっている。また、90 歳以上では割合が大幅に低くなっている。

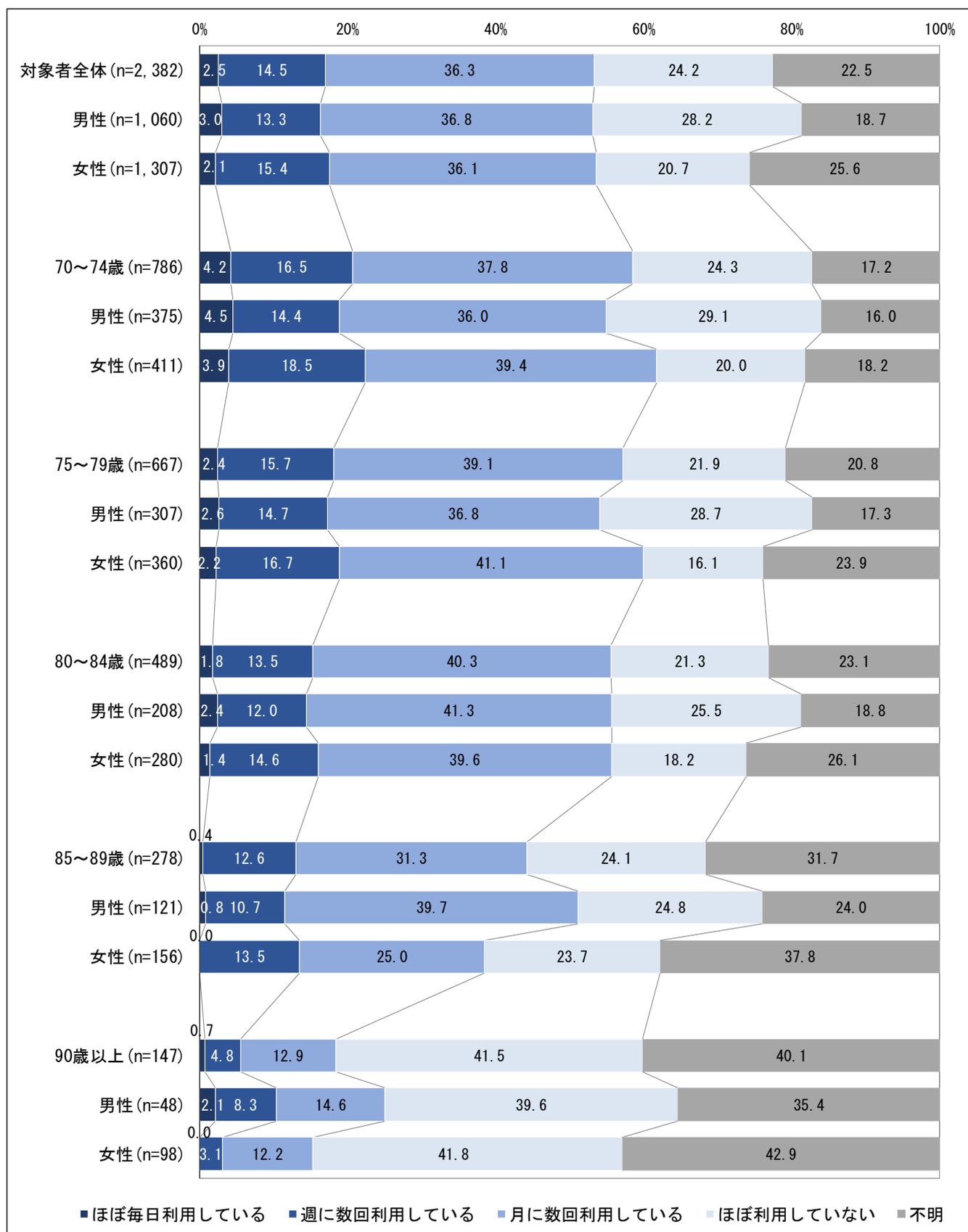


図 13-3 公共交通機関や移動手段の利用頻度（バス）（年齢・男女別）

（問 14 関係）

バスの利用頻度について年齢・男女別にみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は、男性に比べ女性の方が高い。また、90歳以上では「ほぼ利用していない」が約4割と他の年代に比べて高くなっている。

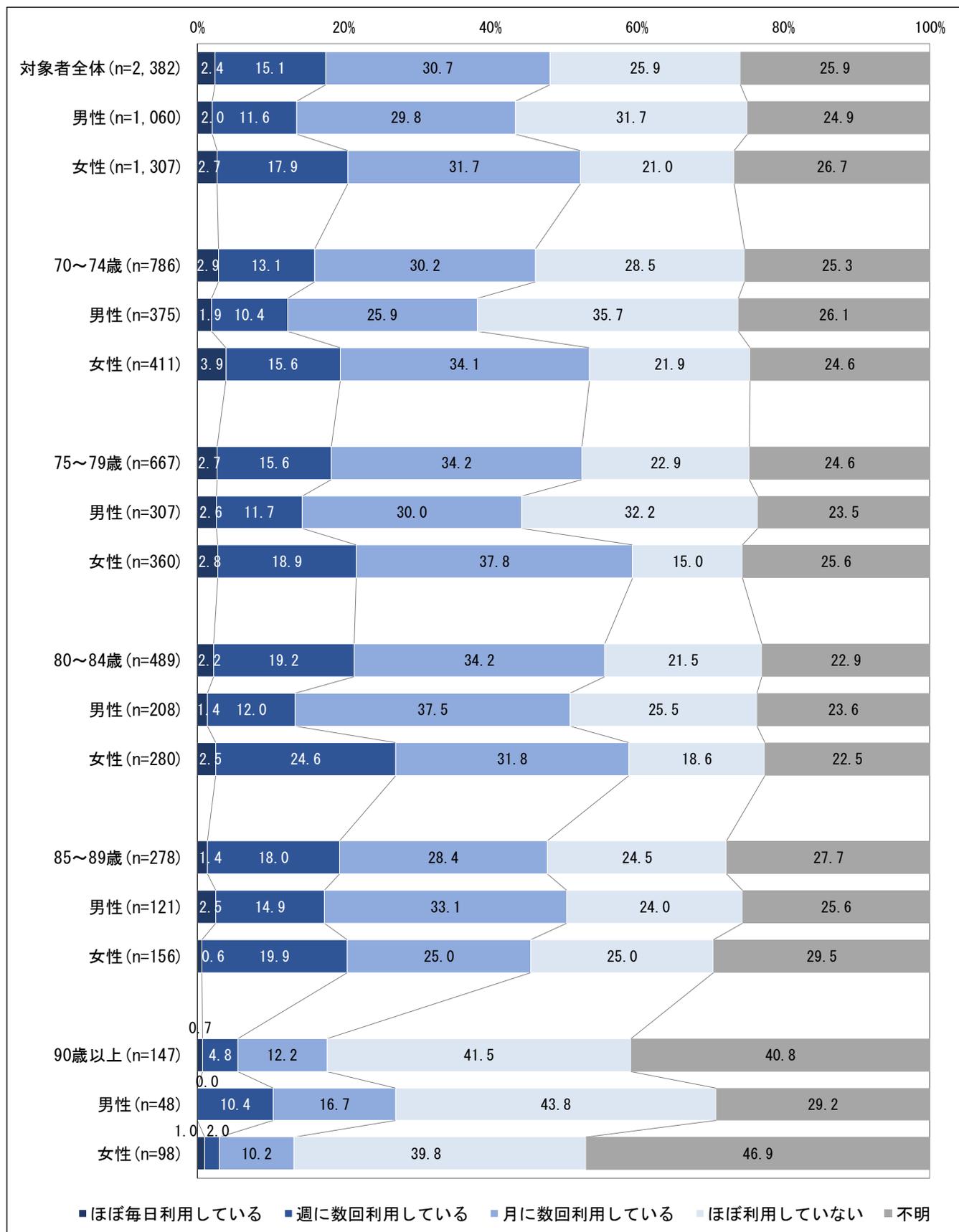


図 13-4 公共交通機関や移動手段の利用頻度（市電）（年齢・男女別）

（問 14 関係）

市電の利用頻度について年齢・男女別にみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は、女性に比べて男性の方がわずかに高い。

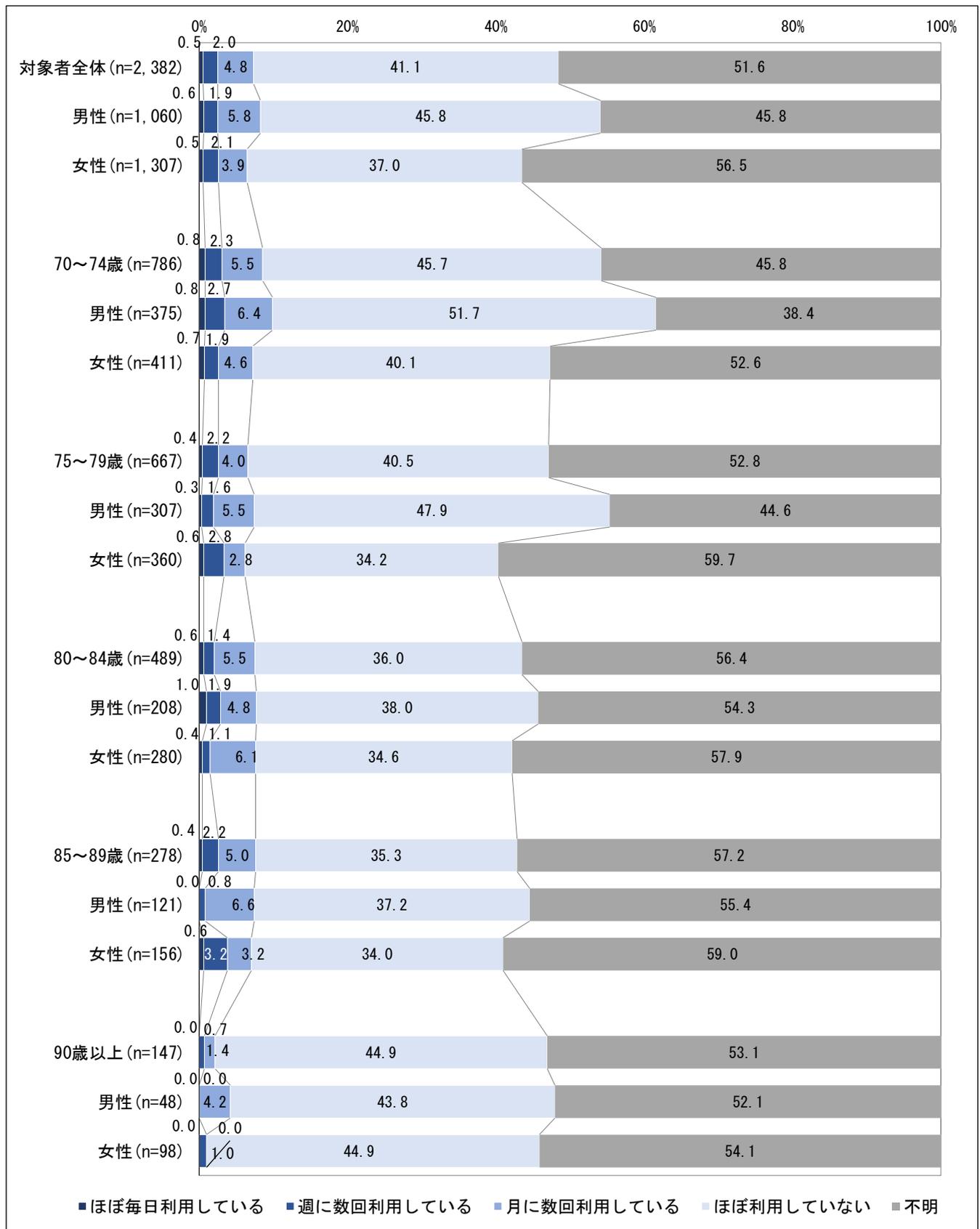


図 13-5 公共交通機関や移動手段の利用頻度（JR（鉄道））（年齢・男女別）

（問 14 関係）

JR（鉄道）の利用頻度について年齢・男女別にみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は、90 歳以上を除き年代が上がるにつれて低くなっている。

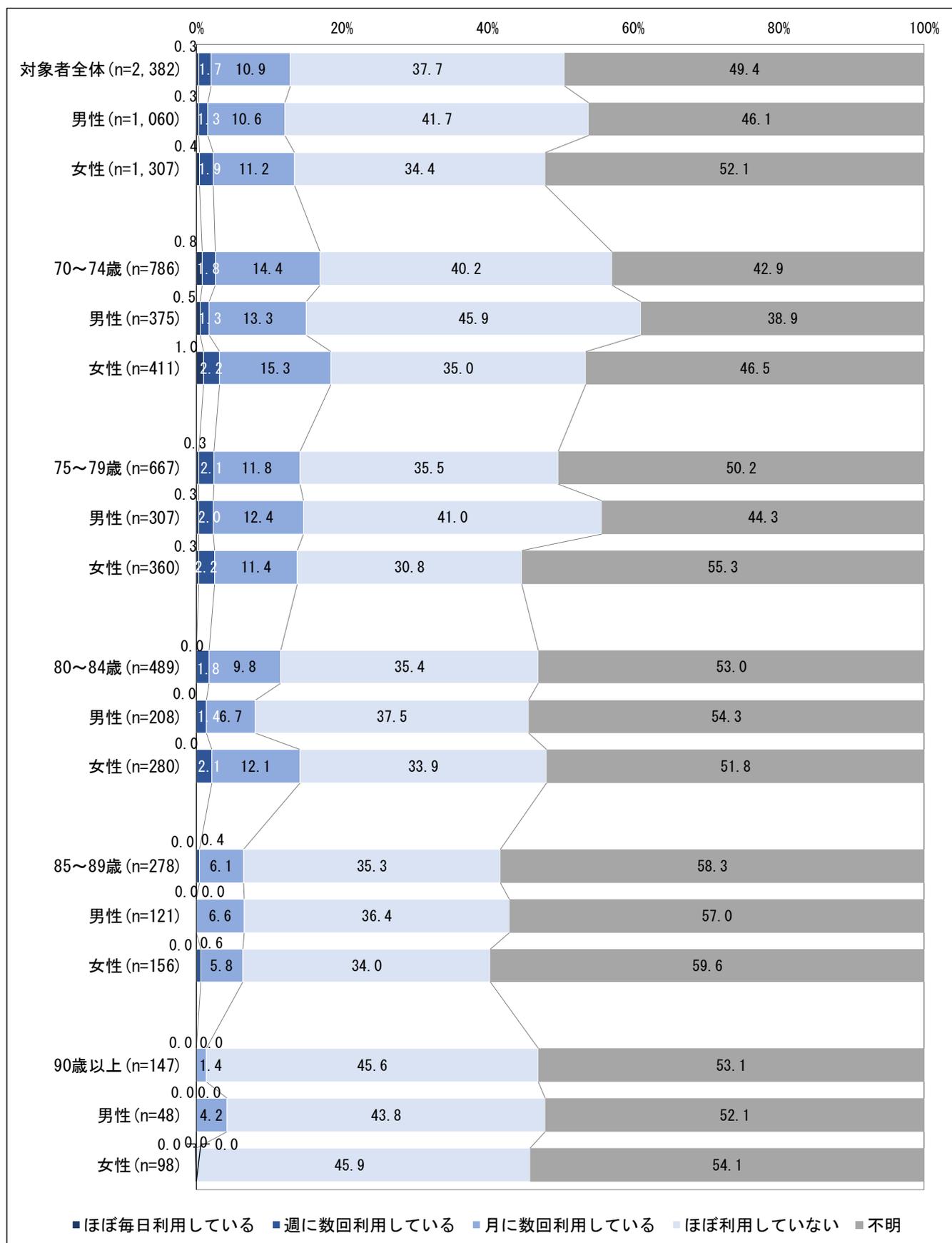


図 13-6 公共交通機関や移動手段の利用頻度（タクシー）（年齢・男女別）

（問 14 関係）

タクシーの利用頻度について年齢・男女別にみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は、75 歳以上では年代が上がるにつれて高くなっている。また、男性に比べて女性の方が割合は高い傾向となっている。

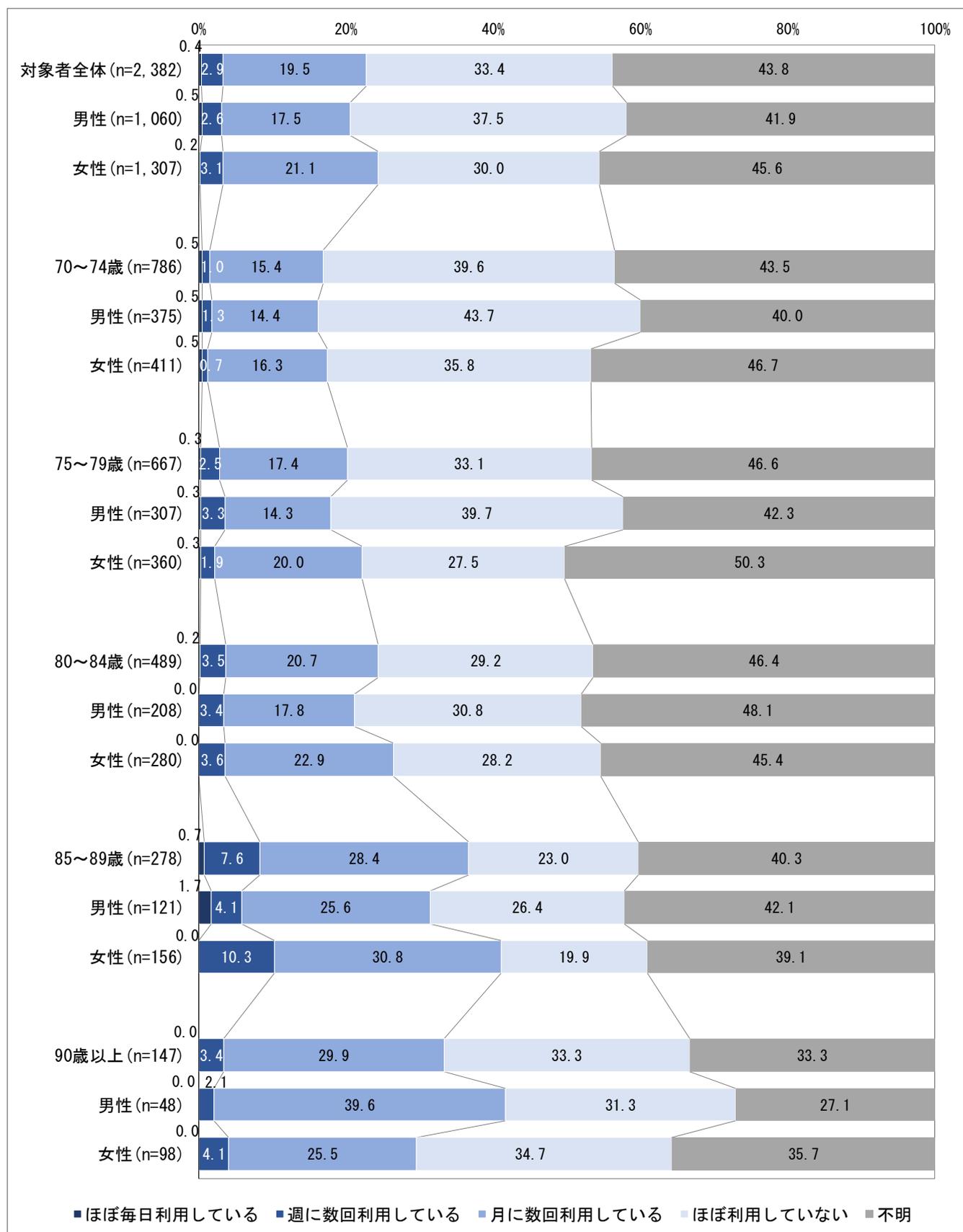


図 13-7 公共交通機関や移動手段の利用頻度（自家用車）（年齢・男女別）

（問 14 関係）

自家用車の利用頻度について年齢・男女別にみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は、90 歳以上を除き、女性に比べて男性の方が高くなっている。また、年代が上がるにつれて利用頻度が低くなっている。

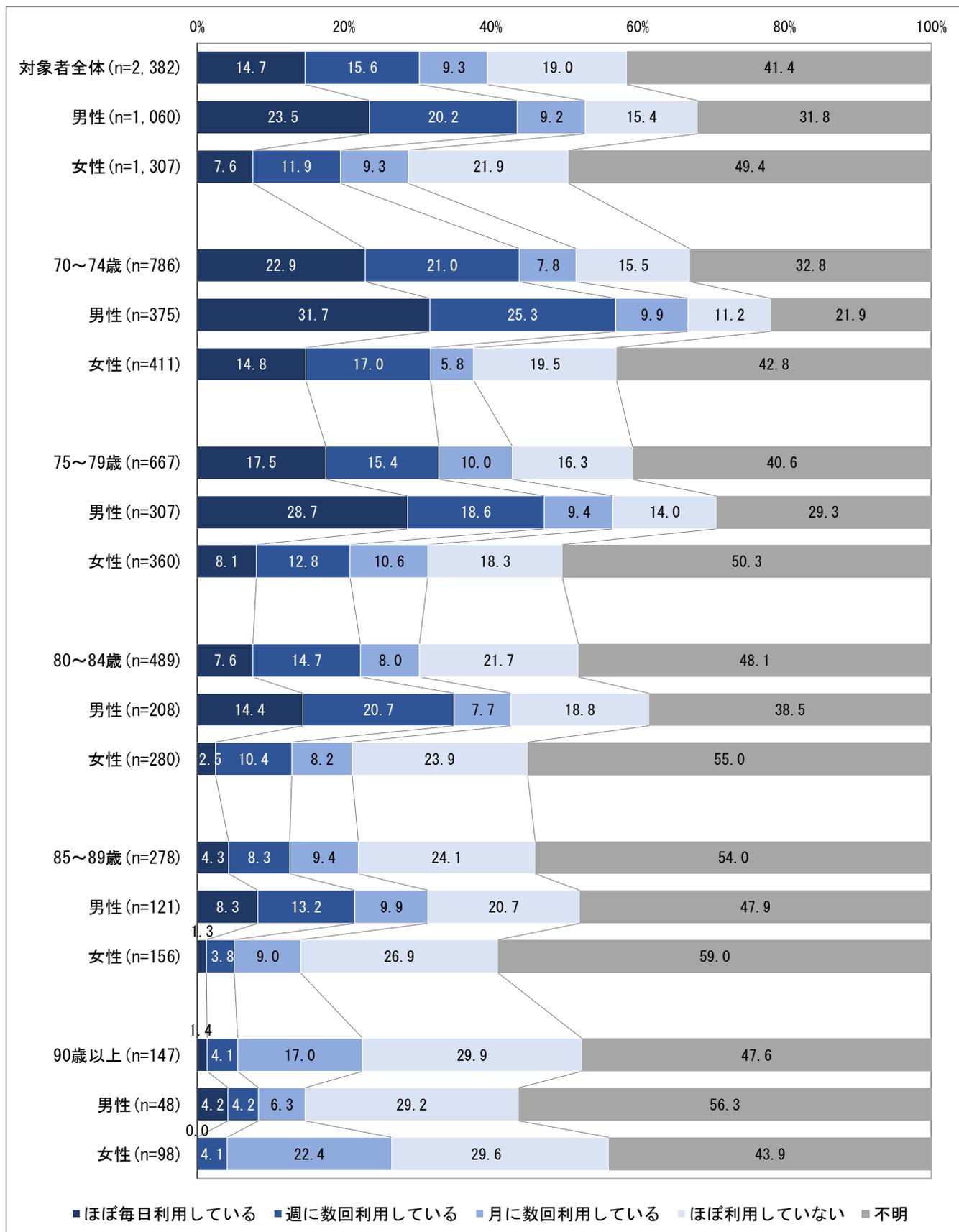


図 13-8 公共交通機関や移動手段の利用頻度（自転車）（年齢・男女別）

（問 14 関係）

自転車の利用頻度について年齢・男女別にみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は、90 歳以上を除き、女性に比べて男性の方が高くなっている。

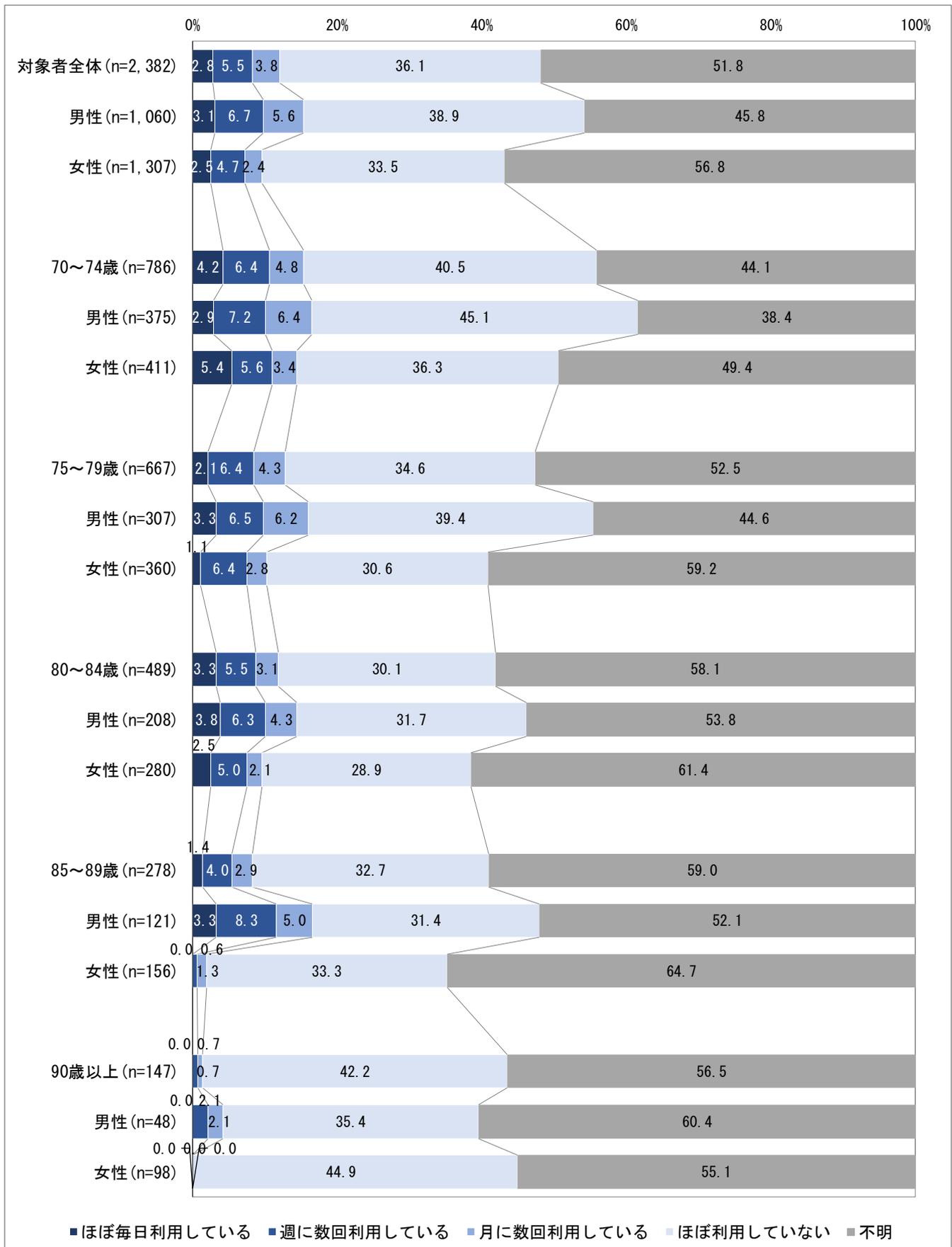


図 14-1 公共交通機関等の利用目的

(問 15 関係)

公共交通機関等の利用目的についてたずねたところ、「買い物」が 54.3%と最も多く、次いで「通院」(47.4%)、「家族や友人と会う」(38.0%)となっている。

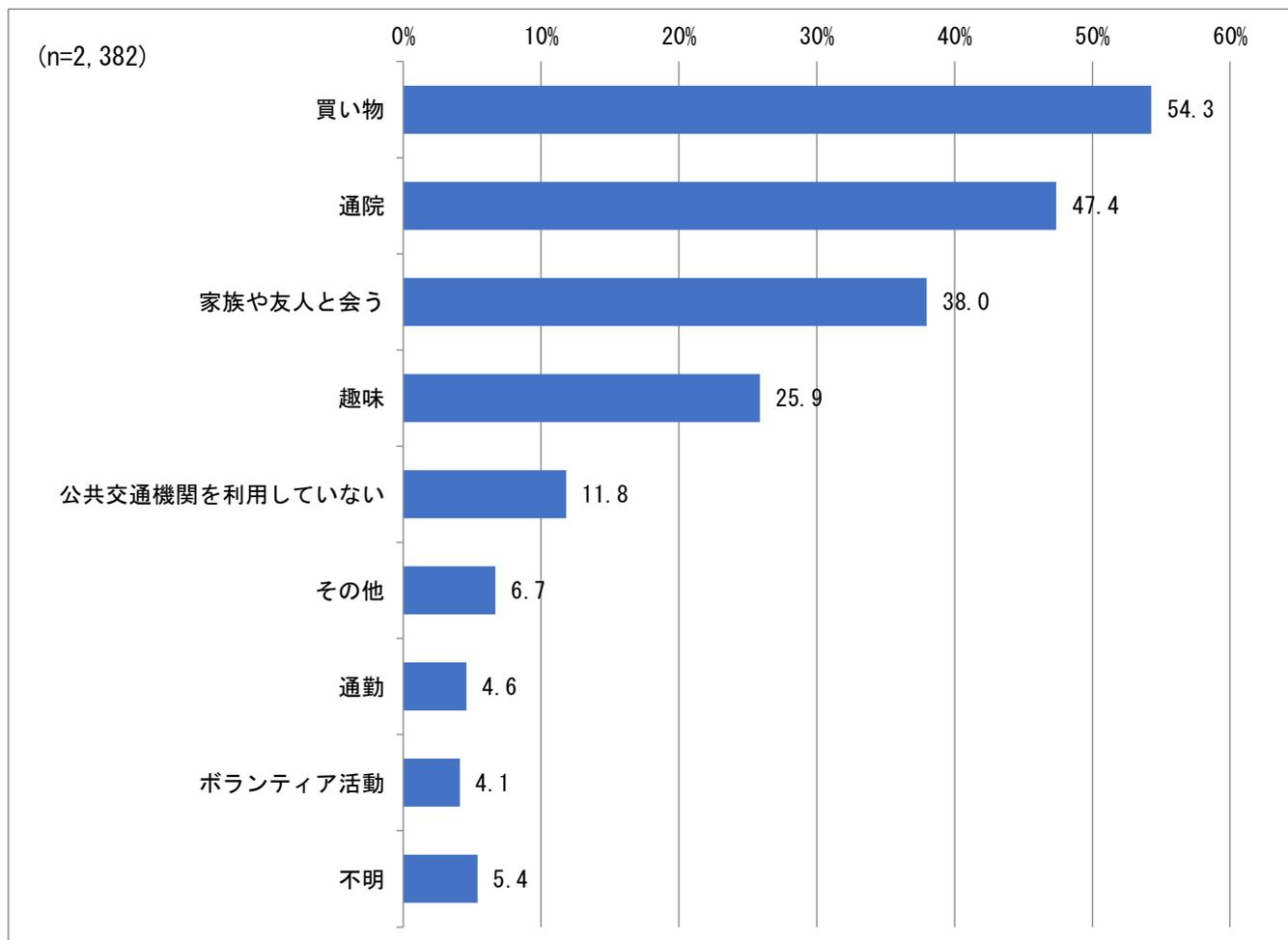


図 14-2 目的別の公共交通機関等の利用者層（買い物）（年齢・男女別）

（問 15 関係）

買い物で公共交通機関等を利用している方の状況をみると、男性に比べ女性の方が高い傾向にあるが、90 歳以上では男性が高くなっている。年代で見ると 75～79 歳が 58.6% と最も高くなっており、そこから年齢が上がるほど、利用頻度は低くなっている。

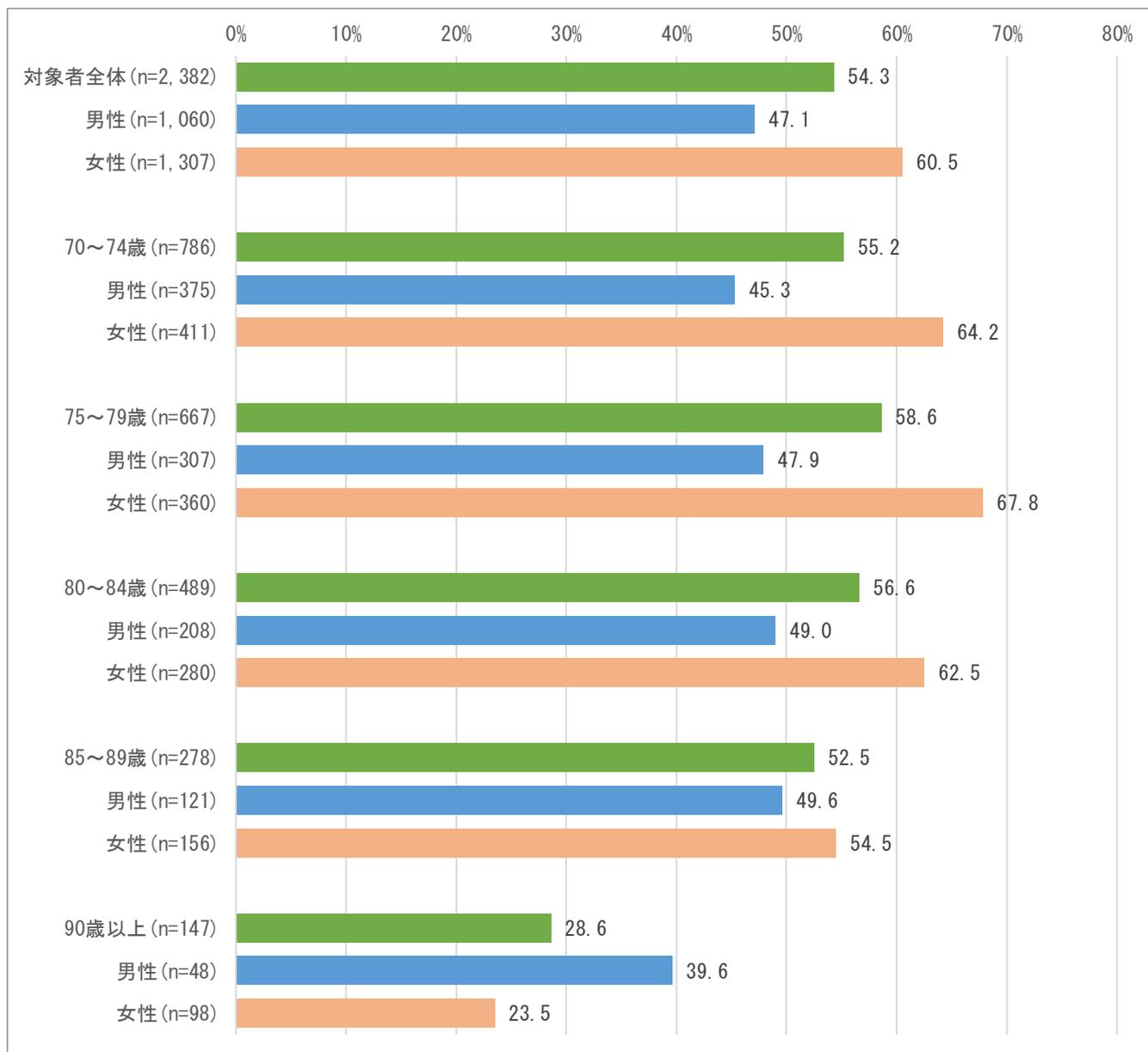


図 14-3 目的別の公共交通機関等の利用頻度（買い物）（交通機関別）

（問 14、15 関係）

買い物で公共交通機関等を利用している方の利用頻度をみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は「地下鉄」で 70.7%と最も高く、次いで「バス」が 64.4%となっている。また、「自家用車」を「ほぼ毎日利用している」方は 10.4%と、他の交通機関に比べて「ほぼ毎日利用している」方の割合が高くなっている。

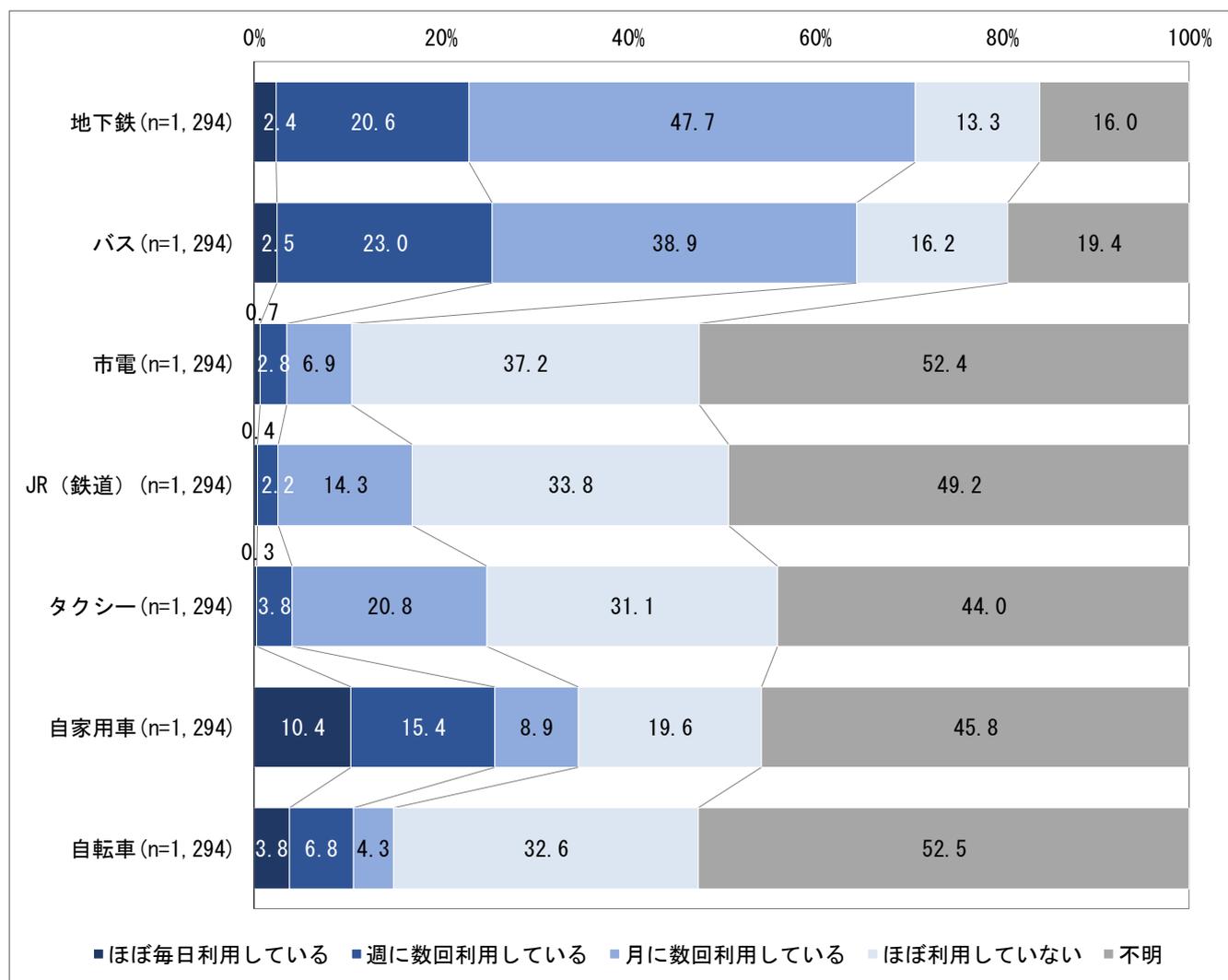


図 14-4 目的別の公共交通機関等の利用者層（通院）（年齢・男女別）

（問 15 関係）

通院で公共交通機関等を利用している方の年齢層をみると、男女ともに 80～84 歳が最も高い割合となっている。また、80～84 歳までは男性に比べ女性の割合が高いが、85～89 歳以上では男性の方が高い割合となっている。

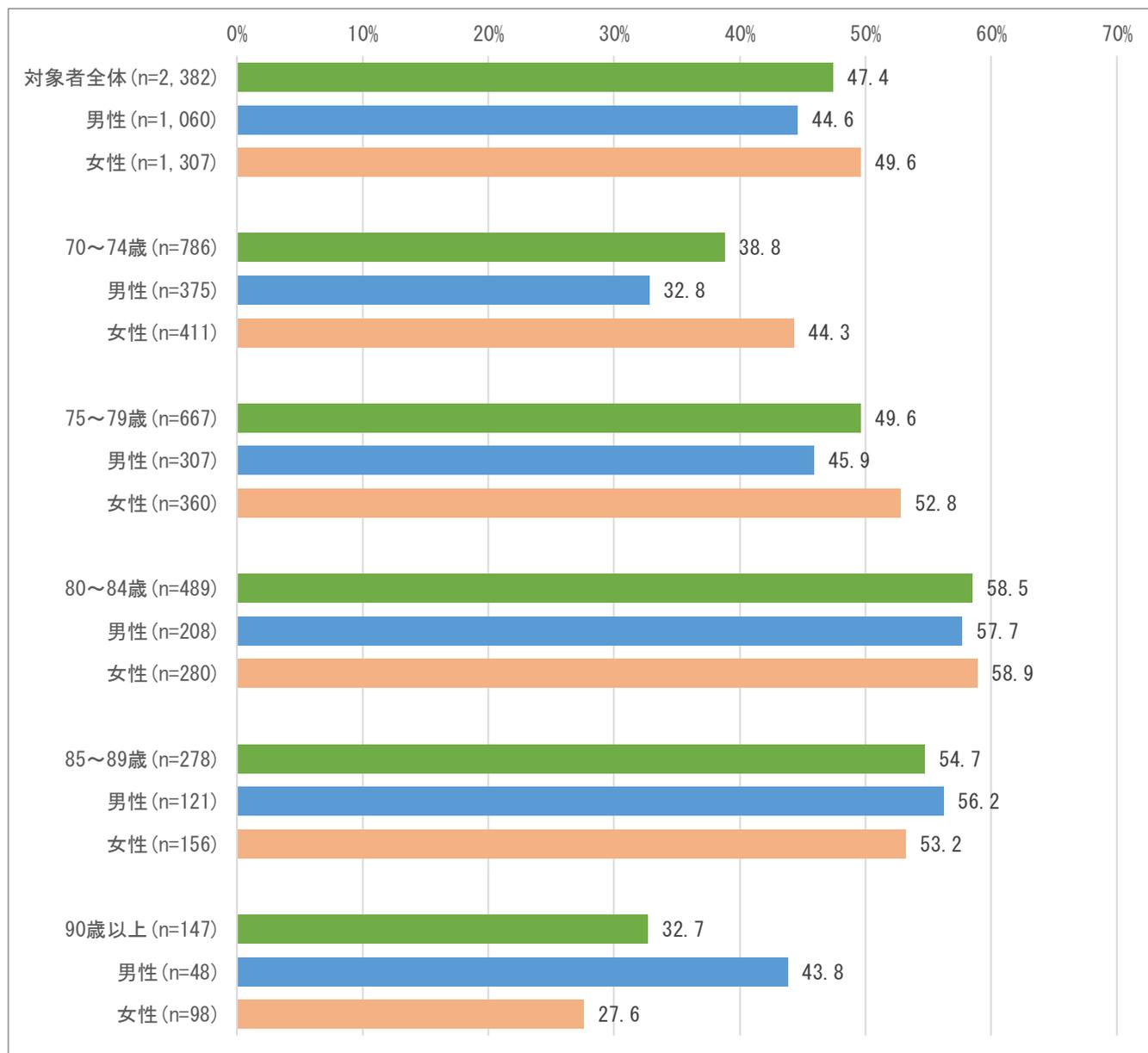


図 14-5 目的別の公共交通機関等の利用頻度（通院）（交通機関別）

（問 14、15 関係）

通院で公共交通機関等を利用している方の利用頻度をみると、「ほぼ毎日」「週に数回」を合わせると「バス」を利用している方の割合が 26.0%と最も高く、「月に数回」までを合わせた割合は「地下鉄」が 66.7%と最も高くなっている。また、「ほぼ毎日」だけをみると「自家用車」が 7.4%となっている。

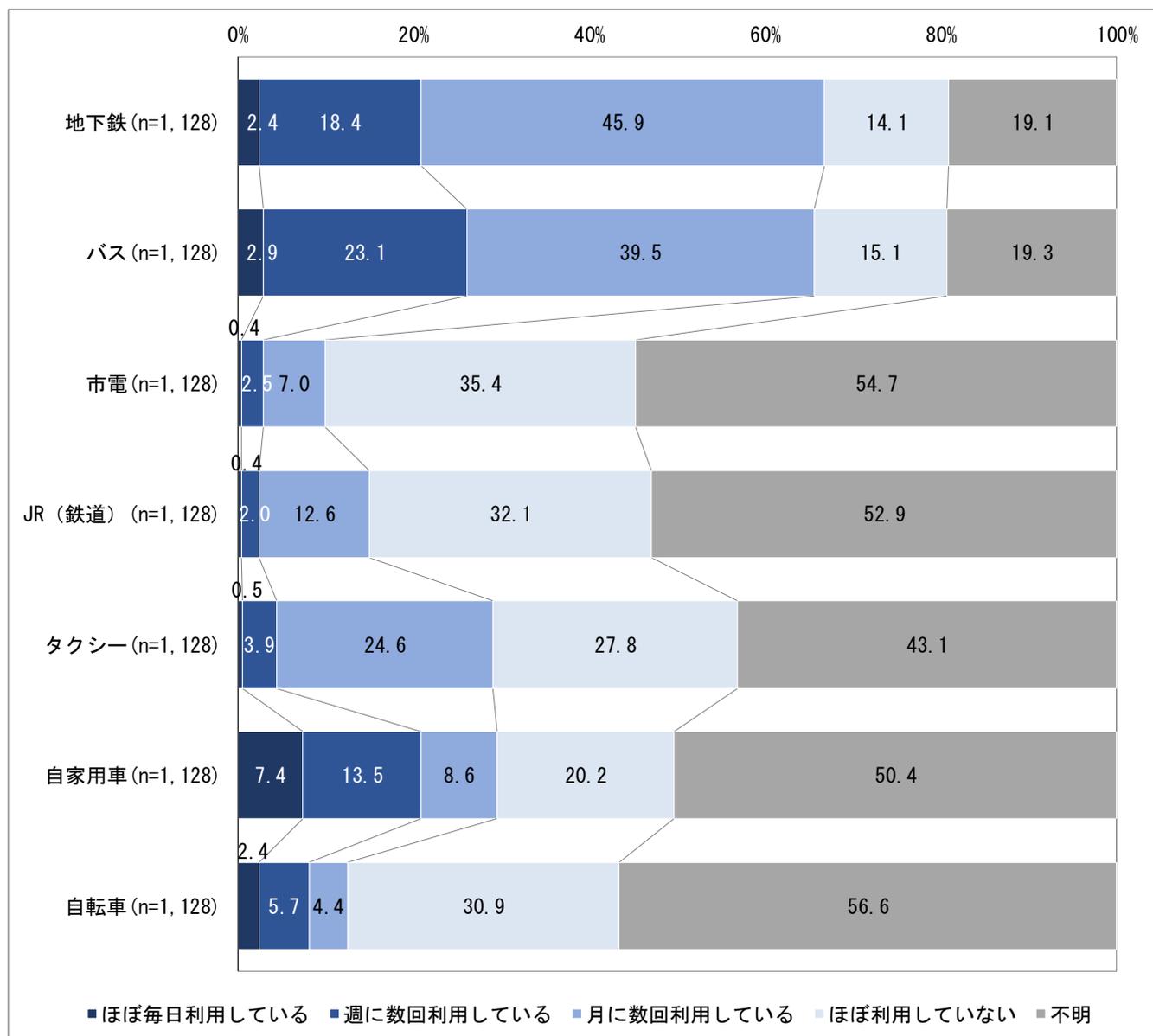


図 14-6 目的別の公共交通機関等の利用者層（趣味）（年齢・男女別）

（問 15 関係）

趣味で公共交通機関等を利用している方の年齢層をみると、男女ともに 80～84 歳の割合が最も高くなっている。また、男女別にみると、80～84 歳では男性に比べ女性の割合が高いが、それ以外の年代では男性の方が高くなっている。

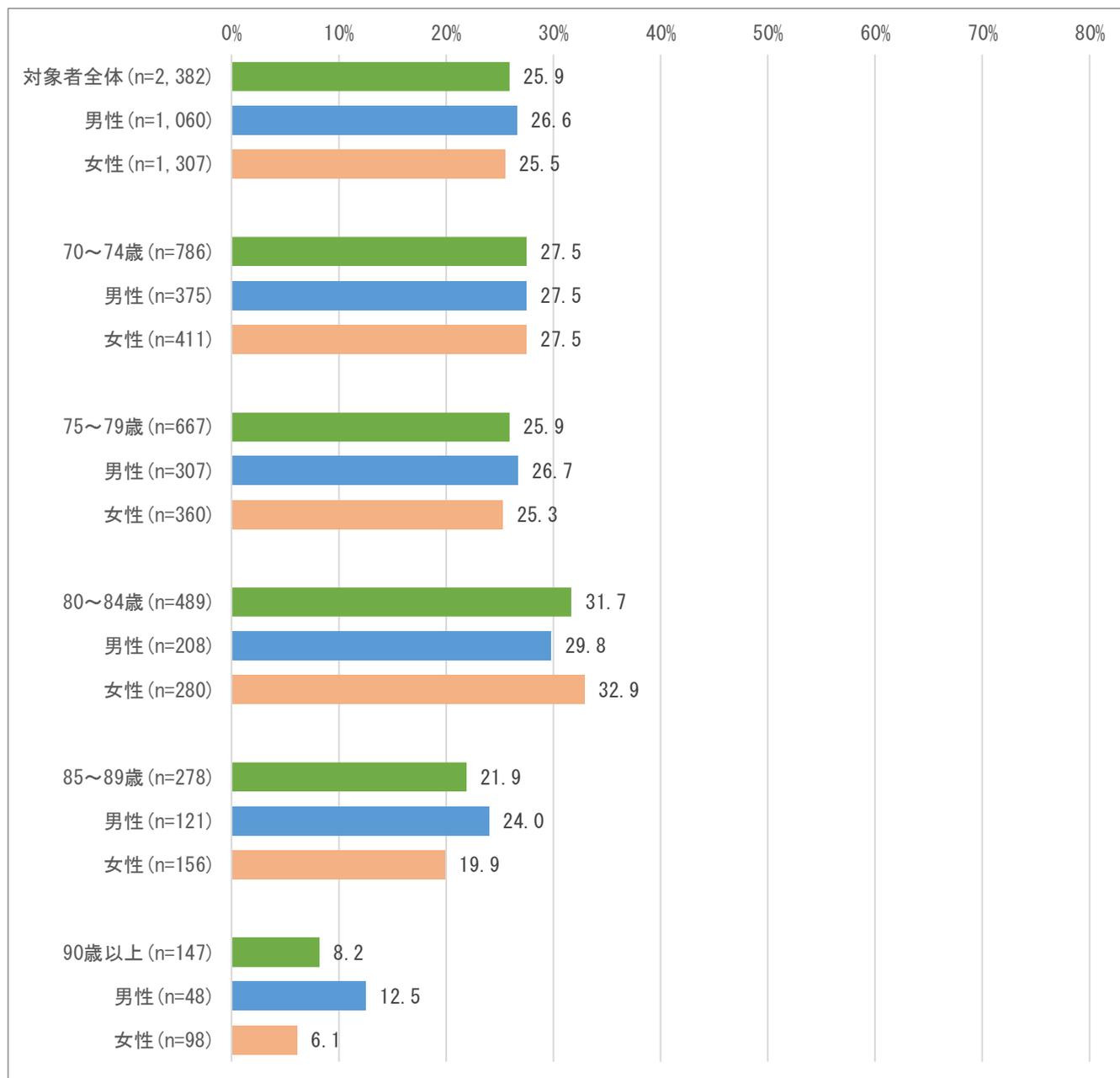


図 14-7 目的別の公共交通機関等の利用頻度（趣味）（交通機関別）

（問 14、15 関係）

趣味で公共交通機関等を利用している方の利用頻度をみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は「地下鉄」で 80.6%と最も高く、次いで「バス」が 66.3%となっている。また、「ほぼ毎日」利用している方だけをみると「自家用車」が 15.0%と最も高い割合で、次いで「自転車」(4.2%)となっている。

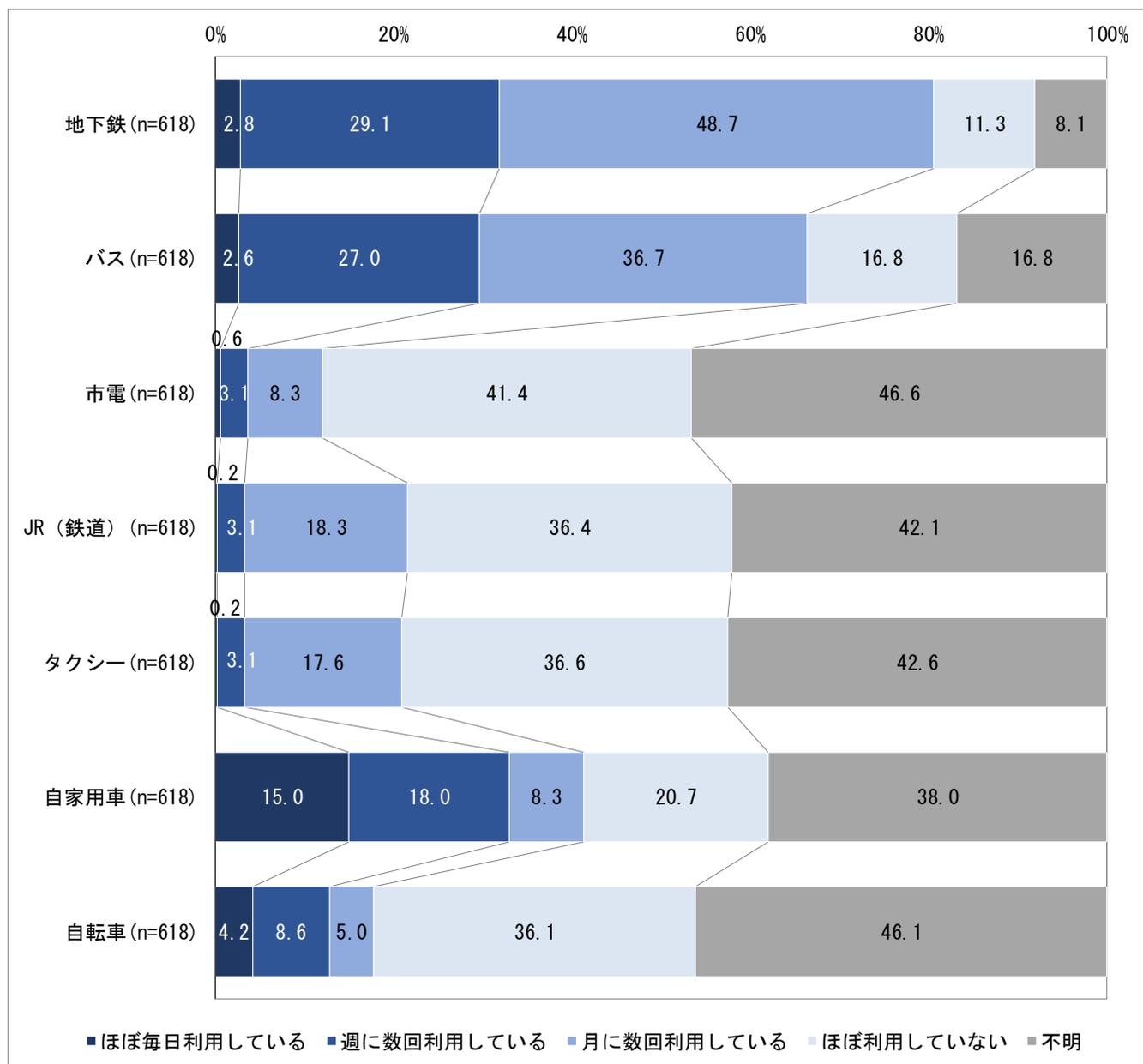


図 14-8 目的別の公共交通機関等の利用者層

(家族や友人と会う) (年齢・男女別) (問 15 関係)

家族や友人と会う際に公共交通機関等を利用している方の年齢層をみると、70～74 歳が 43.0% と最も高い割合となっている。また、男女別にみると、すべての年代で男性に比べ女性の割合が高く、年代が低い方が男女の差がより大きくなっている。

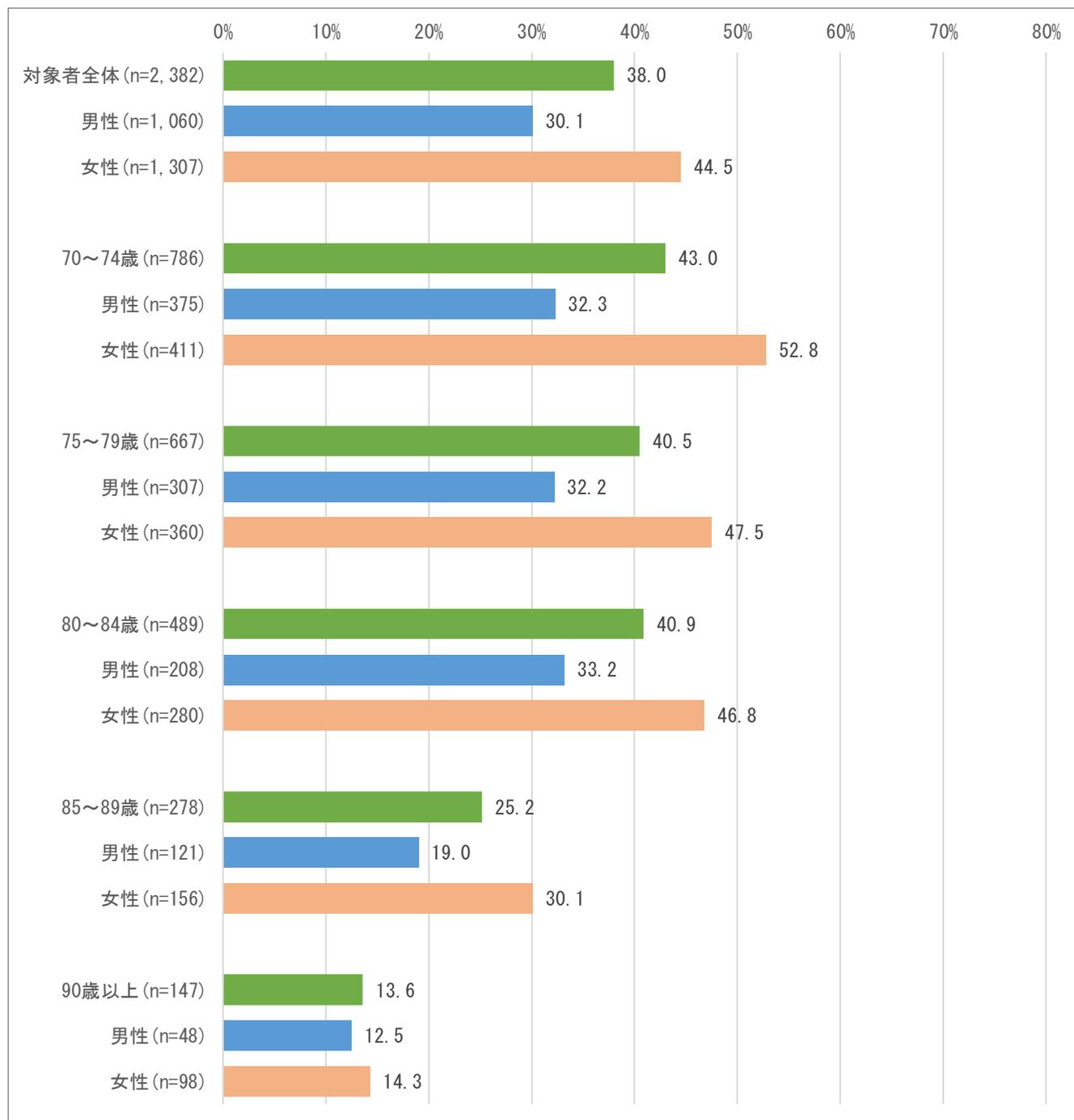


図 14-9 目的別の公共交通機関等の利用頻度(家族や友人と会う)(交通機関別)
(問 14、15 関係)

家族や友人と会う際に公共交通機関等を利用している方の利用頻度をみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は「地下鉄」で 75.8%と最も高く、次いで「バス」が 63.2%となっている。また、「ほぼ毎日」利用している方だけをみると「自家用車」が 14.7%と最も高い割合となっている。

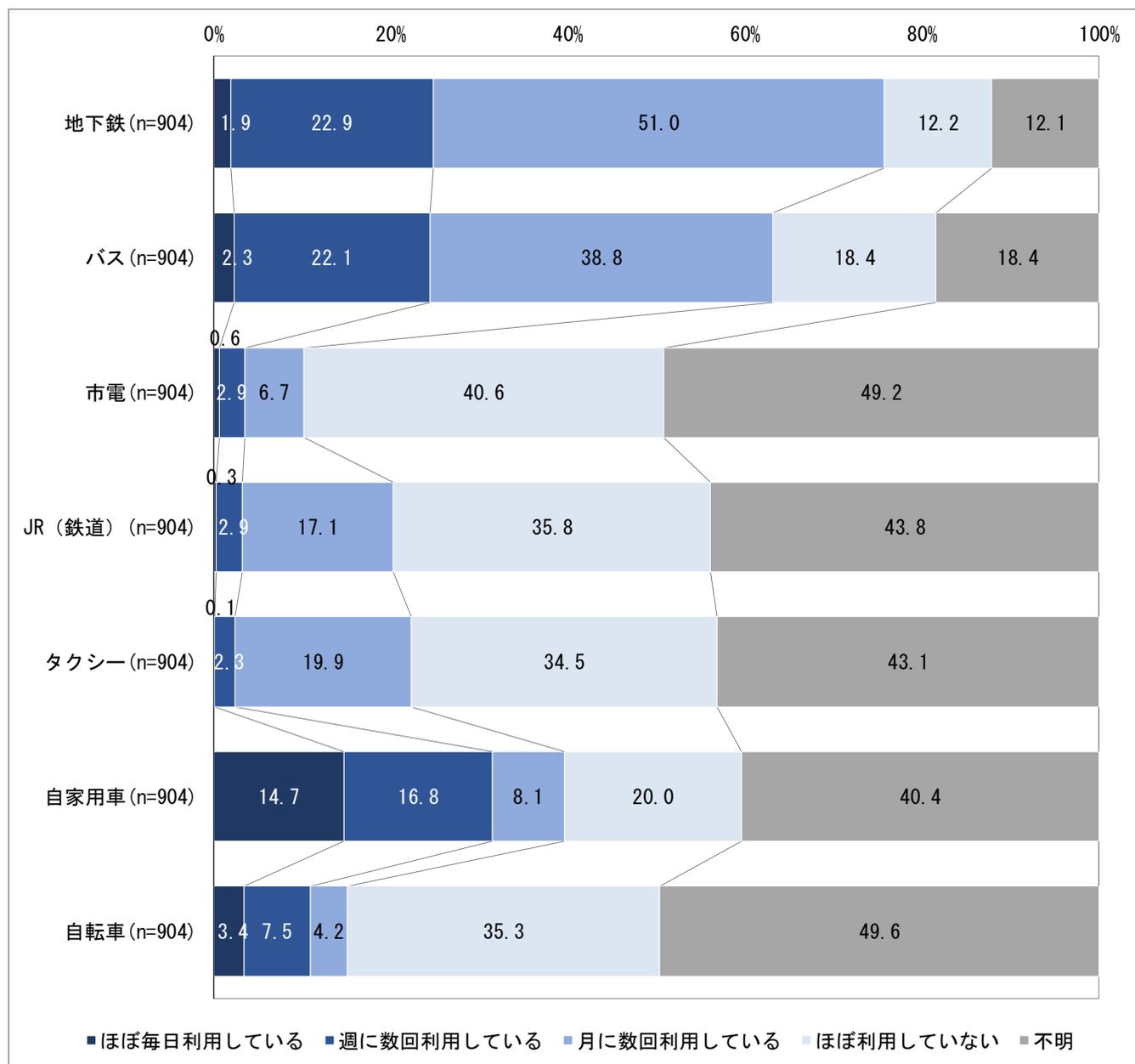


図 14-10 目的別の公共交通機関等の利用者層

(ボランティア活動) (年齢・男女別) (問 15 関係)

ボランティア活動で公共交通機関等を利用している方の状況をみると、全体としては 75～79 歳の割合が 5.1% と最も高く、女性では 80～84 歳が 5.0%、男性では 85～89 歳が 6.6% と最も高くなっている。

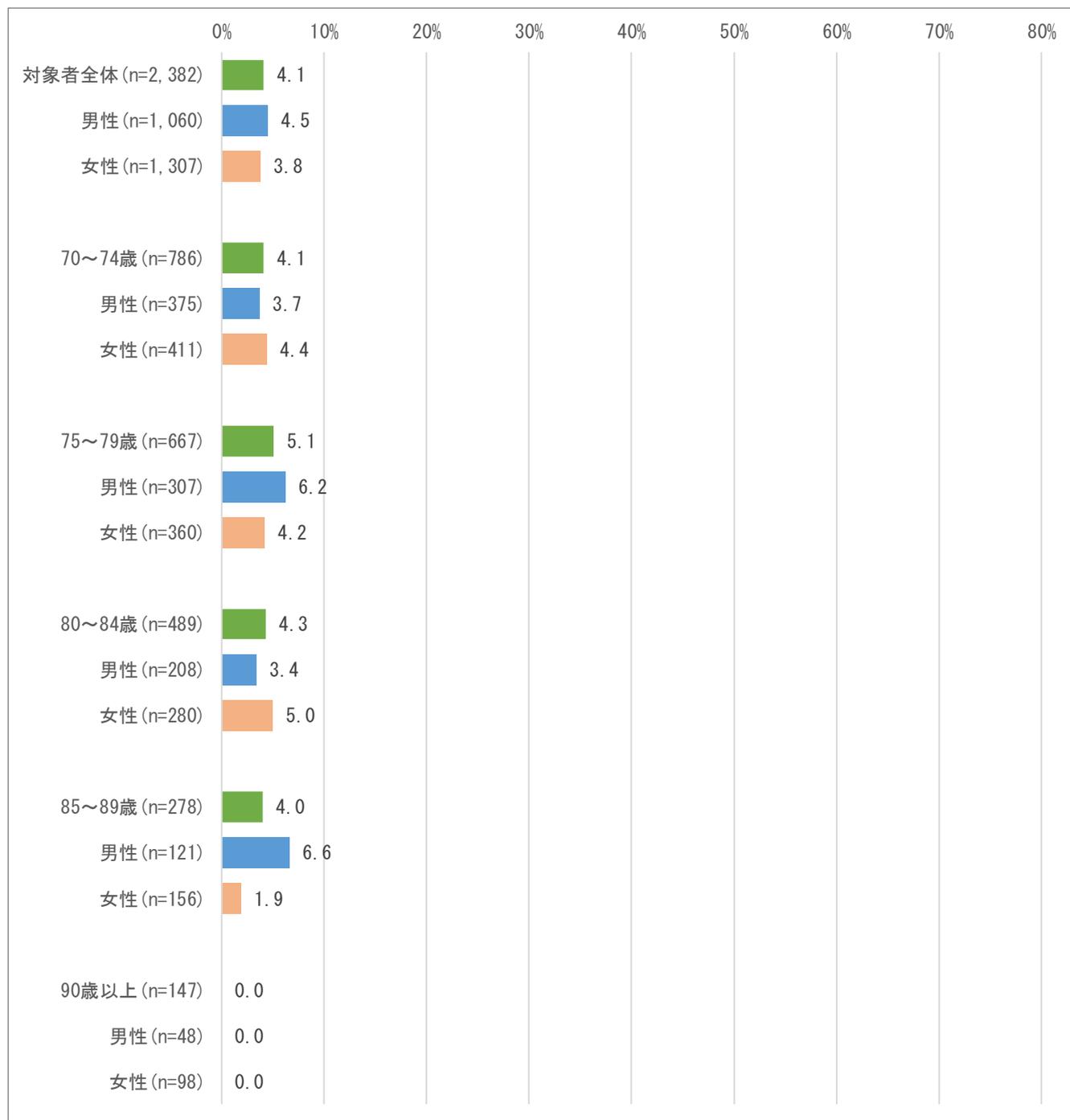


図 14-11 目的別の公共交通機関等の利用頻度

(ボランティア活動) (交通機関別) (問 15 関係)

ボランティア活動で公共交通機関等を利用している方の利用頻度をみると、「ほぼ毎日」「週に数回」「月に数回」を合わせた割合は「地下鉄」で 80.6%と最も高く、次いで「バス」が 71.4%となっている。また、「ほぼ毎日」利用している方だけをみると「自家用車」が 24.5%と最も高い割合になっている。

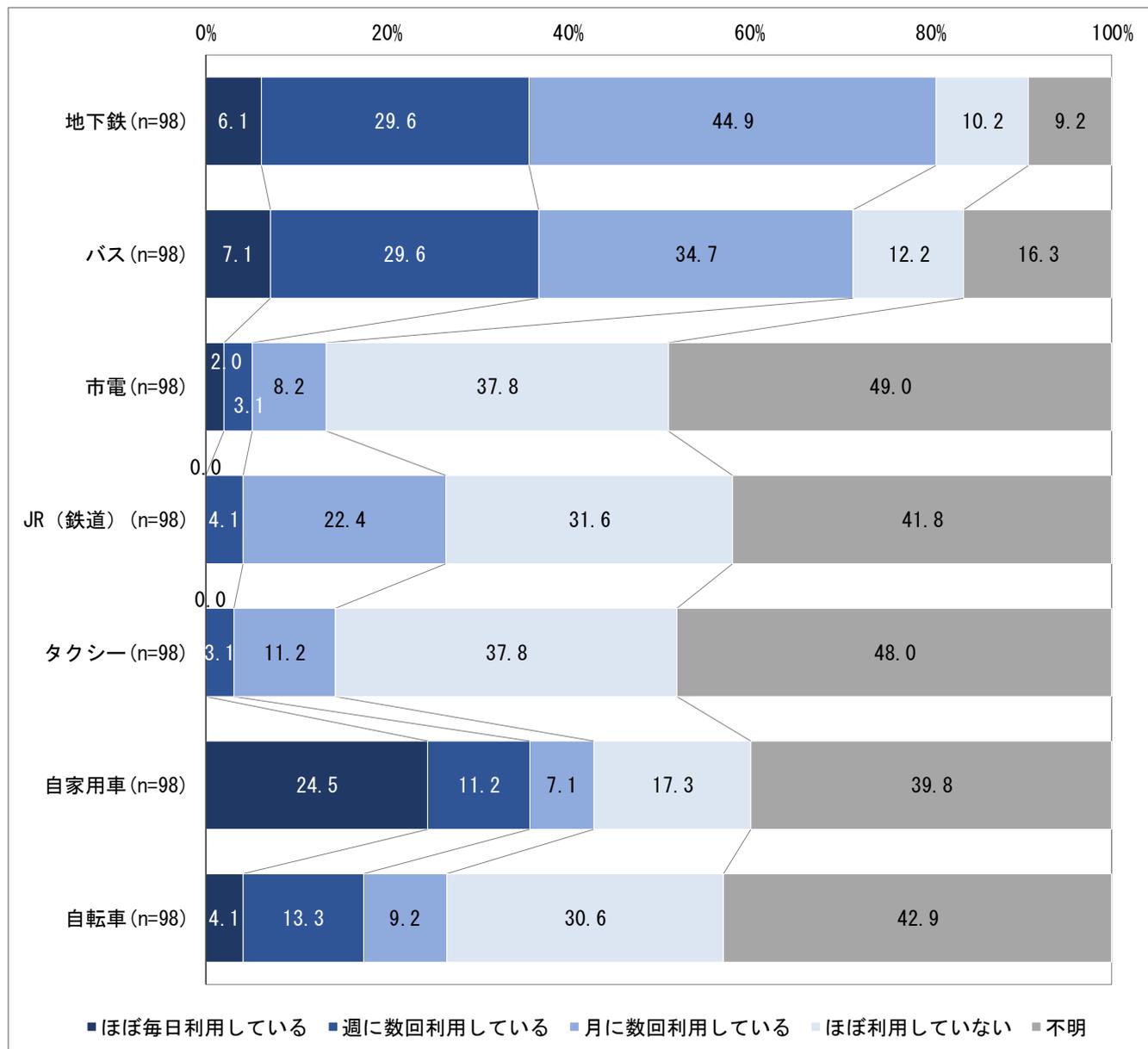


図 14-12 目的別の公共交通機関等の利用者層（通勤）（年齢・男女別）

（問 15 関係）

通勤で公共交通機関を利用している方の年齢層をみると、70～74 歳の割合が 10.4%と最も高くなっている。また、男女別の割合では男性が 5.9%、女性が 3.4%となっている。

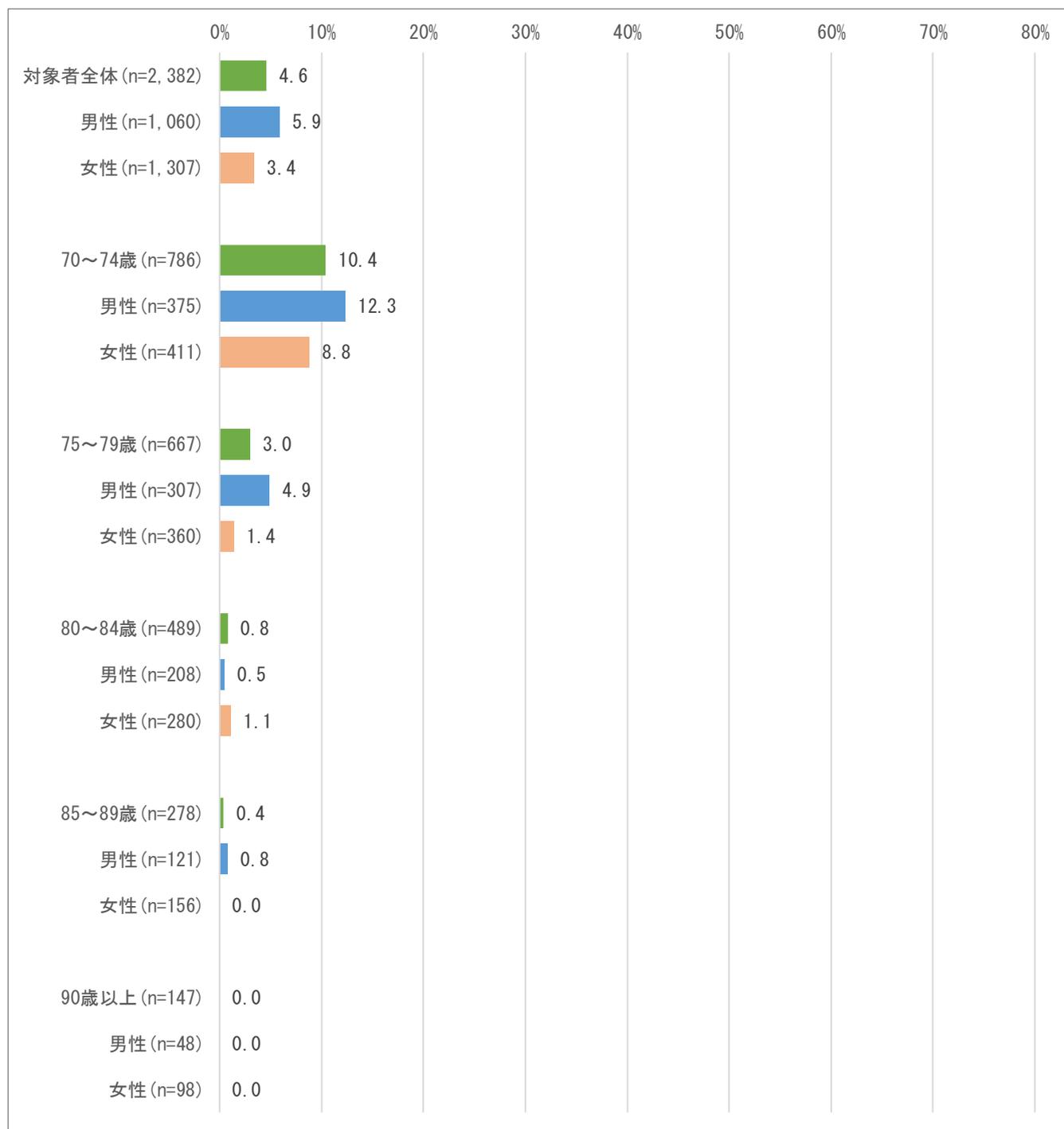


図 14-13 目的別の公共交通機関等の利用頻度（通勤）（交通機関別）

（問 14、15 関係）

通勤で公共交通機関等を利用している方の公共交通機関の利用頻度をみると、「ほぼ毎日」利用している方の割合は「地下鉄」が 28.4%と最も高く、次いで「バス」が 18.3%となっている。また、「週に数回」「月に数回」までを合わせた割合は「地下鉄」が 84.3%、「バス」が 56.0%となっている。

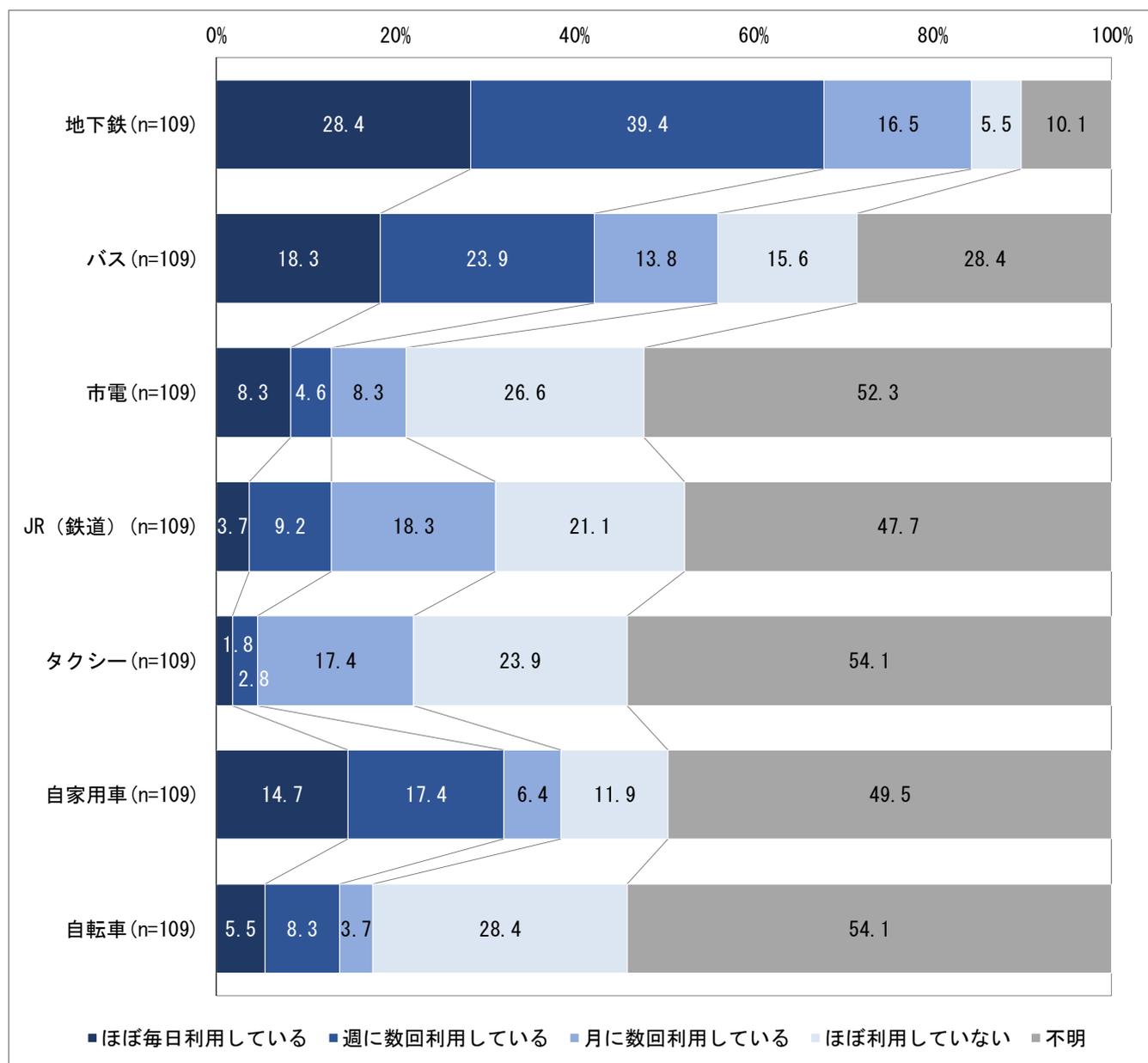


図 15-1 5 年前と比較した公共交通機関の利用頻度

(問 16 関係)

5 年前と比べた公共交通機関の利用頻度についてたずねたところ、「減った」の割合が 26.1% で最も高く、次いで「どちらともいえない」(22.9%)、「増えた」(14.1%) となっている。

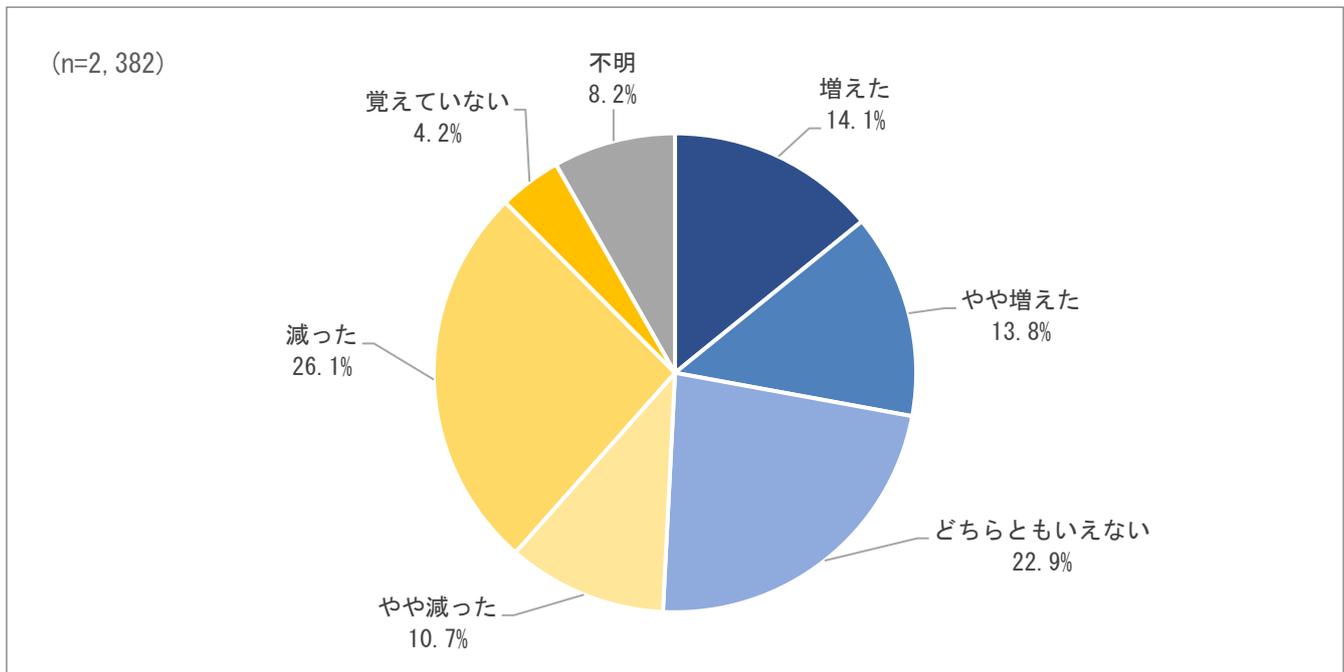


図 15-2 5 年前と比較した公共交通機関の利用頻度 (年齢別)

(問 16 関係)

5 年前と比べた公共交通機関の利用頻度を年齢別にみると、70 歳代では「増えた」「やや増えた」を合わせた割合が、「やや減った」「減った」を合わせた割合を上回っているが、80 歳代以上では「やや減った」「減った」を合わせた割合の方が高くなっている。

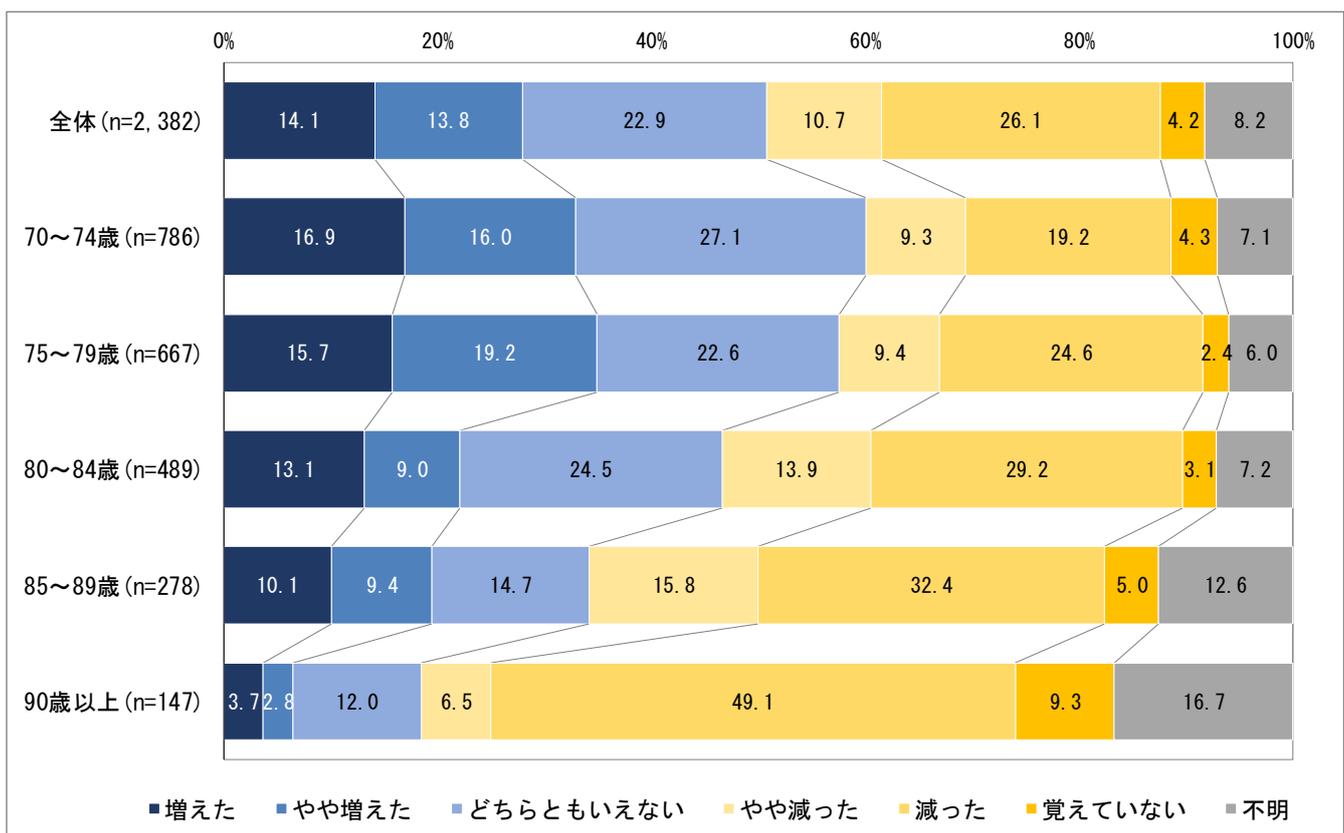


図 16-1 公共交通機関の利用が増えた理由

(質問 17 関係)

5年前と比べた公共交通機関の利用頻度が「増えた」「やや増えた」と回答した方にその理由をたずねたところ、「敬老パスを利用するようになったため」が55.3%と最も多く、次いで「自家用車の利用を減らした、もしくは、やめたため」(20.8%)、「通院する回数が増えたため」(16.5%)となっている。

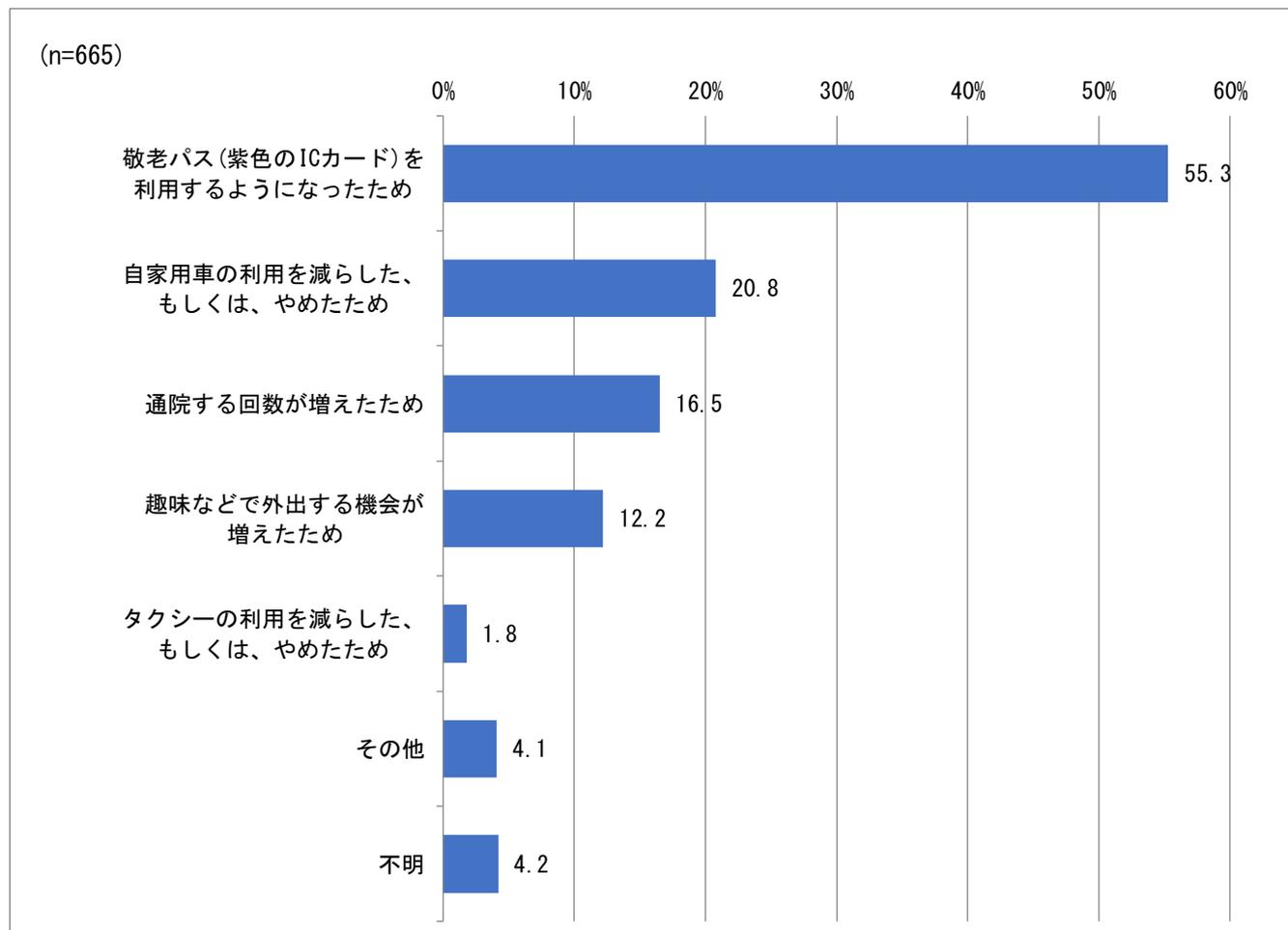
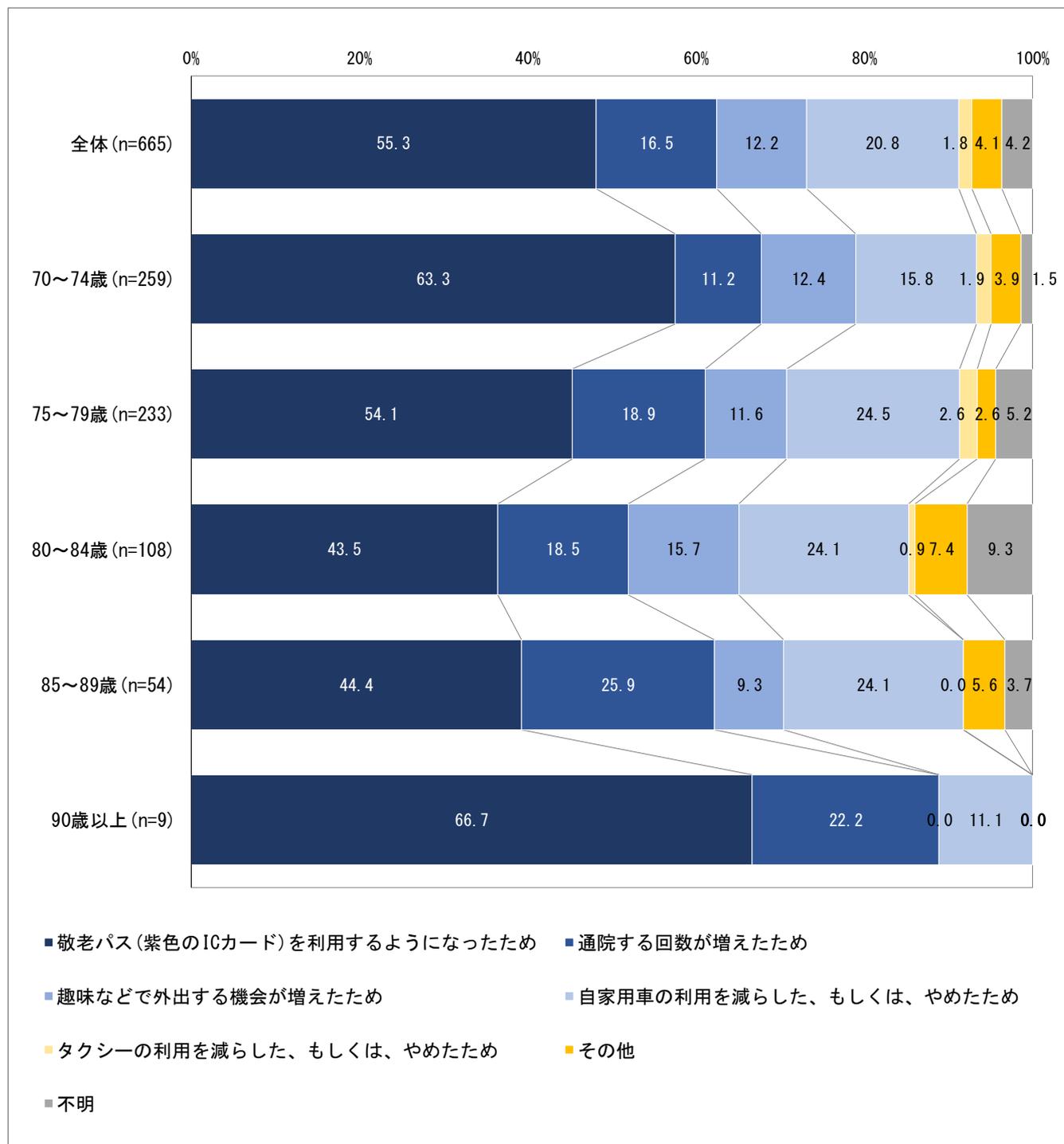


図 16-2 公共交通機関の利用が増えた理由（年齢別）

（問 17 関係）

公共交通機関の利用が増えた理由を年齢別にみると、70～74 歳では「敬老パスを利用するようになったため」の割合が 63.3%と最も高い。85～89 歳でも「敬老パスを利用するようになったため」の割合が最も高いものの、割合としては 44.4%と下がり、「通院する回数が増えたため」が 25.9%に増加している。



5 敬老優待乗車証（敬老パス）の制度について

図 17-1 敬老優待乗車証の交付状況

（問 18 関係）

敬老優待乗車証の交付状況をたずねたところ、交付を「受けている」方の割合が 83.1%、「受けていない」が 16.1%となっている。

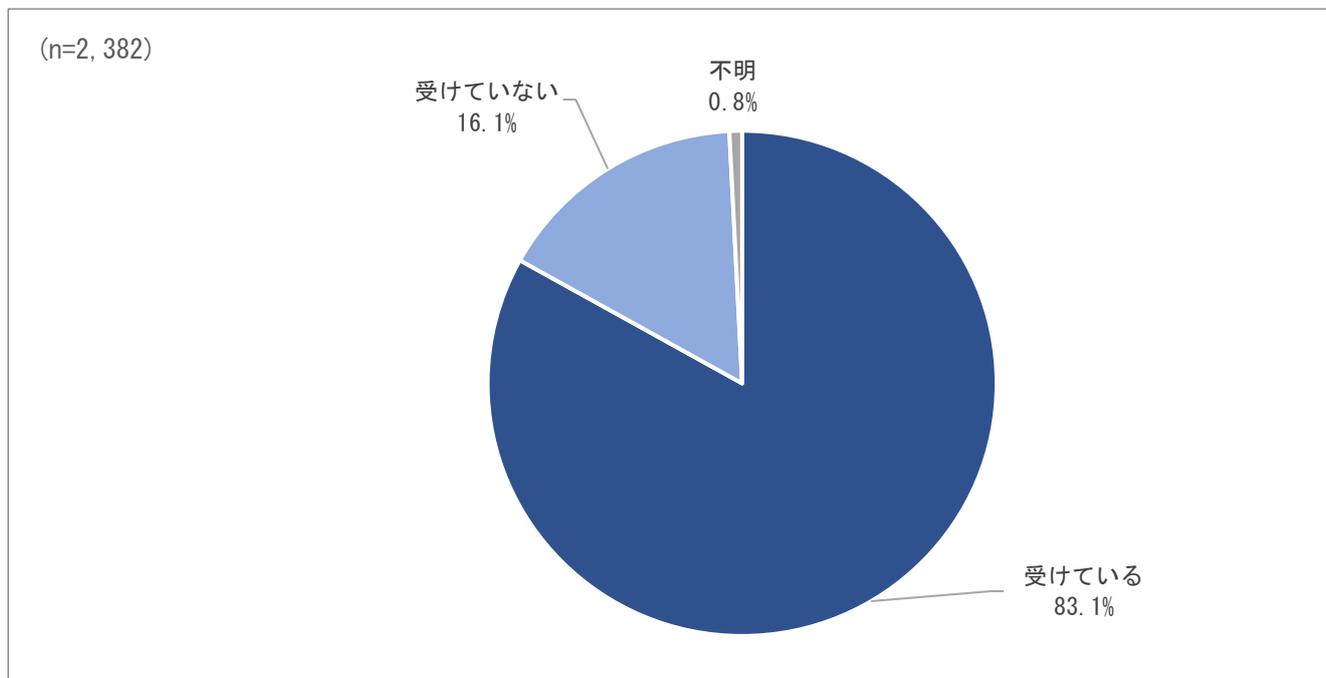


図 17-2 敬老優待乗車証の交付状況（年齢・男女別）

（問 18 関係）

敬老優待乗車証の交付状況を年齢・男女別にみると、交付を受けている方の割合は、男性では 80～84 歳が 89.9%、女性では 75～79 歳が 89.4%と最も高くなっている。80 歳代までは約 8 割が交付を受けているが、90 歳以上では約 5 割となっている。

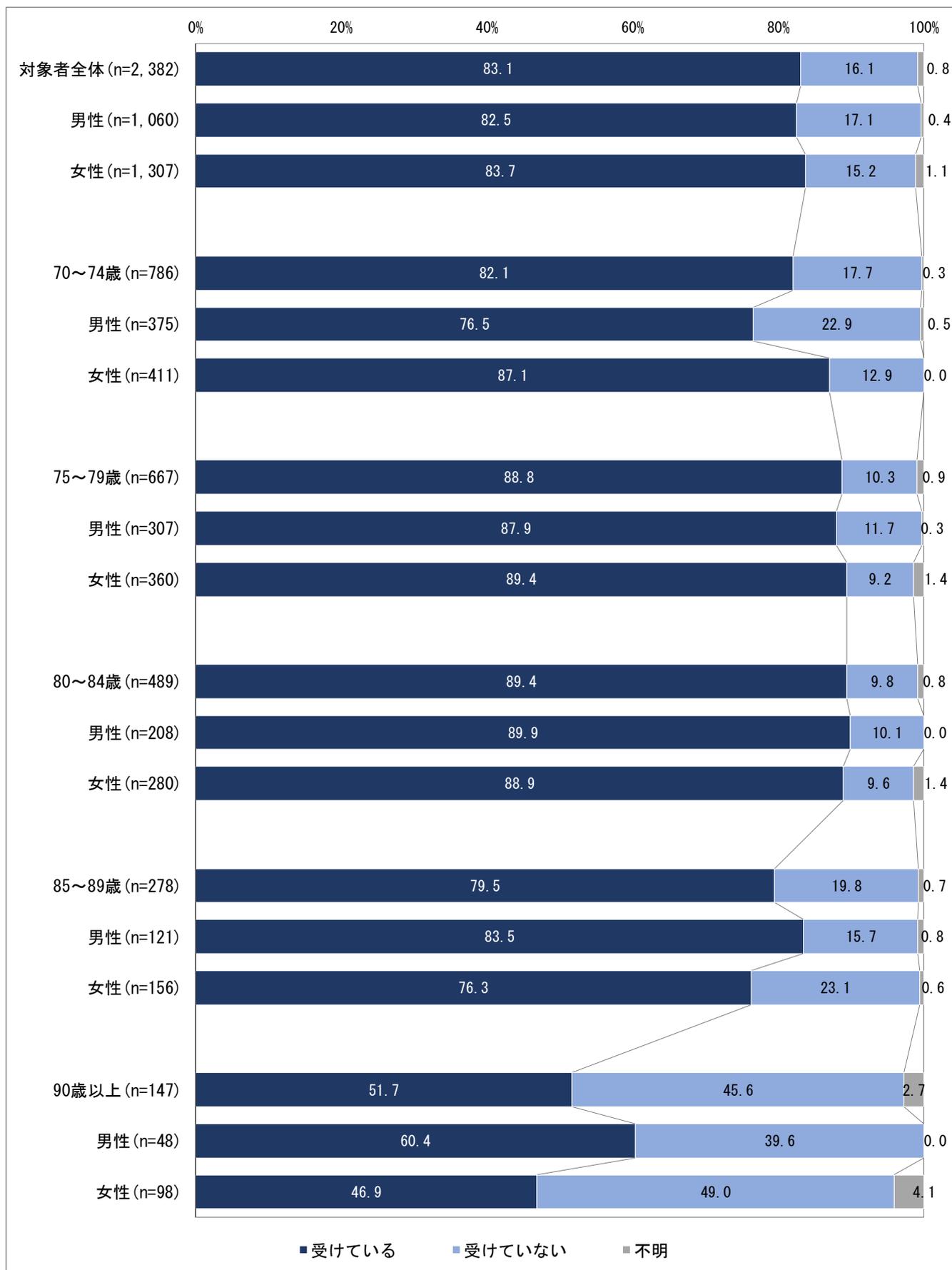


図 17-3 敬老優待乗車証の交付状況（運転免許の状況別）

（問 18 関係）

運転免許の状況別にみた敬老優待乗車証の交付を受けている方の割合は、「免許を持っているが、運転していない」が 88.9%、「免許を持ったことがない」は 80.1%となっている。

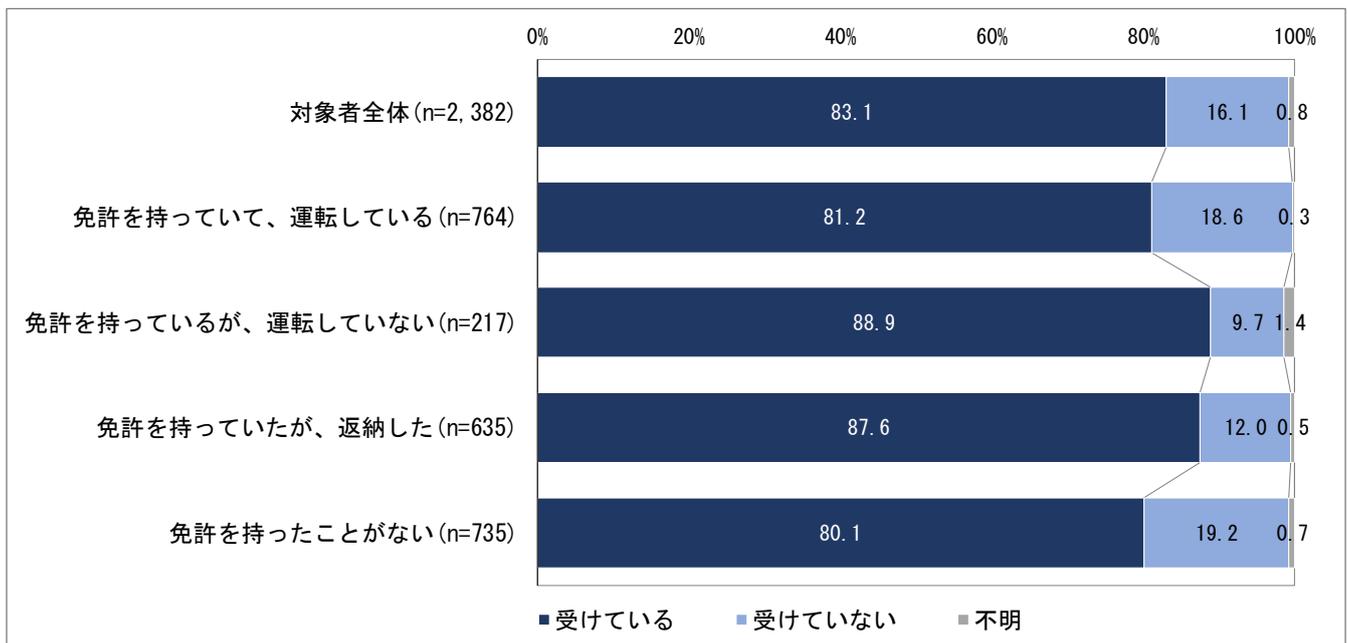


図 18-1 敬老優待乗車証の交付を受けていない理由

（問 19 関係）

敬老優待乗車証の交付を受けていない方に、その理由をたずねたところ、「主に自家用車を利用しているため」が 45.7%と最も多く、次いで「身体的な事情から利用できないため」(28.5%)、「あまり外出しないため」(16.4%)となっている。

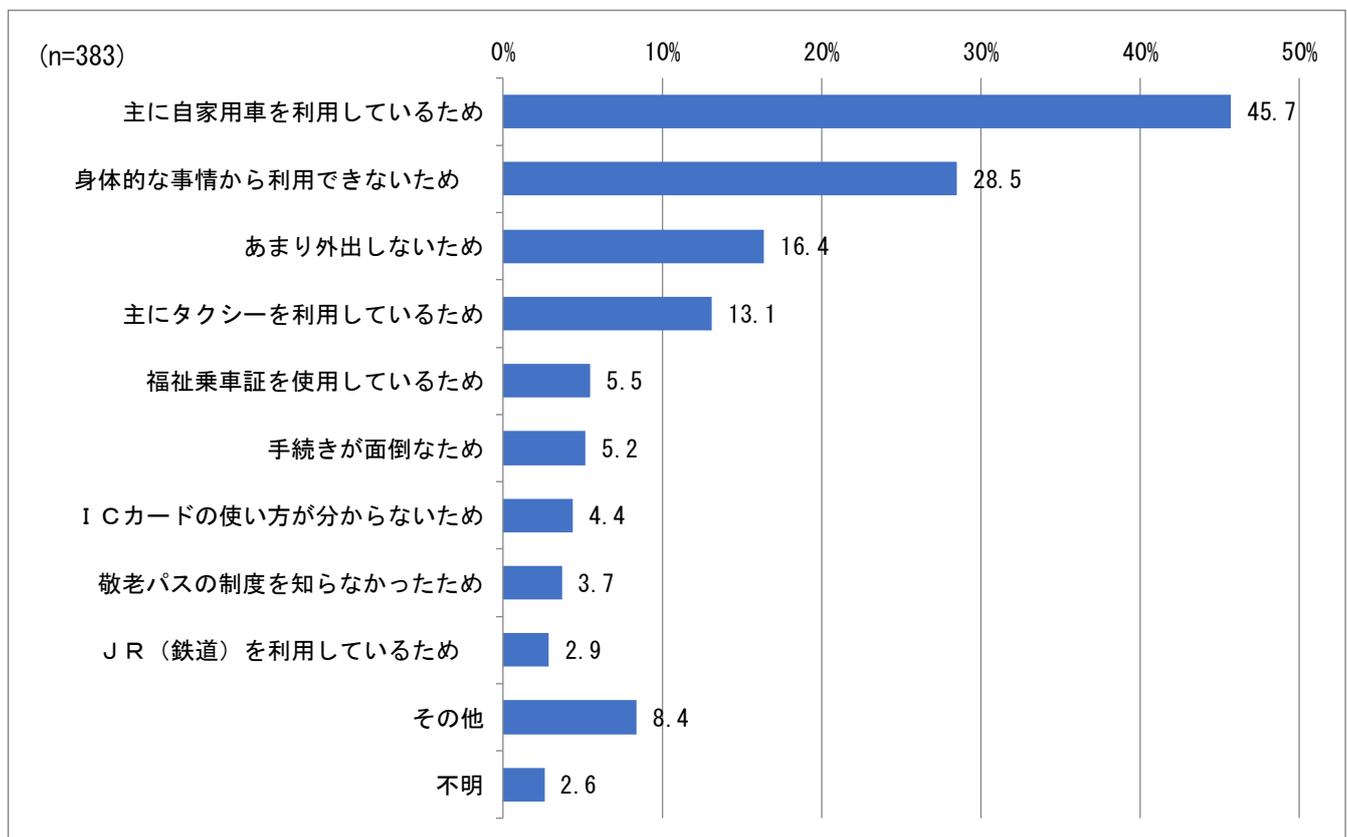


図 18-2 敬老優待乗車証の交付を受けていない理由（年齢別）

（問 19 関係）

敬老優待乗車証の交付を受けていない理由を年齢別にみると、「身体的な事情から利用できないため」は、年齢が高くなるほど割合が高くなっている。また、「主に自家用車を利用しているため」は、年齢が高くなるほど低くなる傾向となっている。

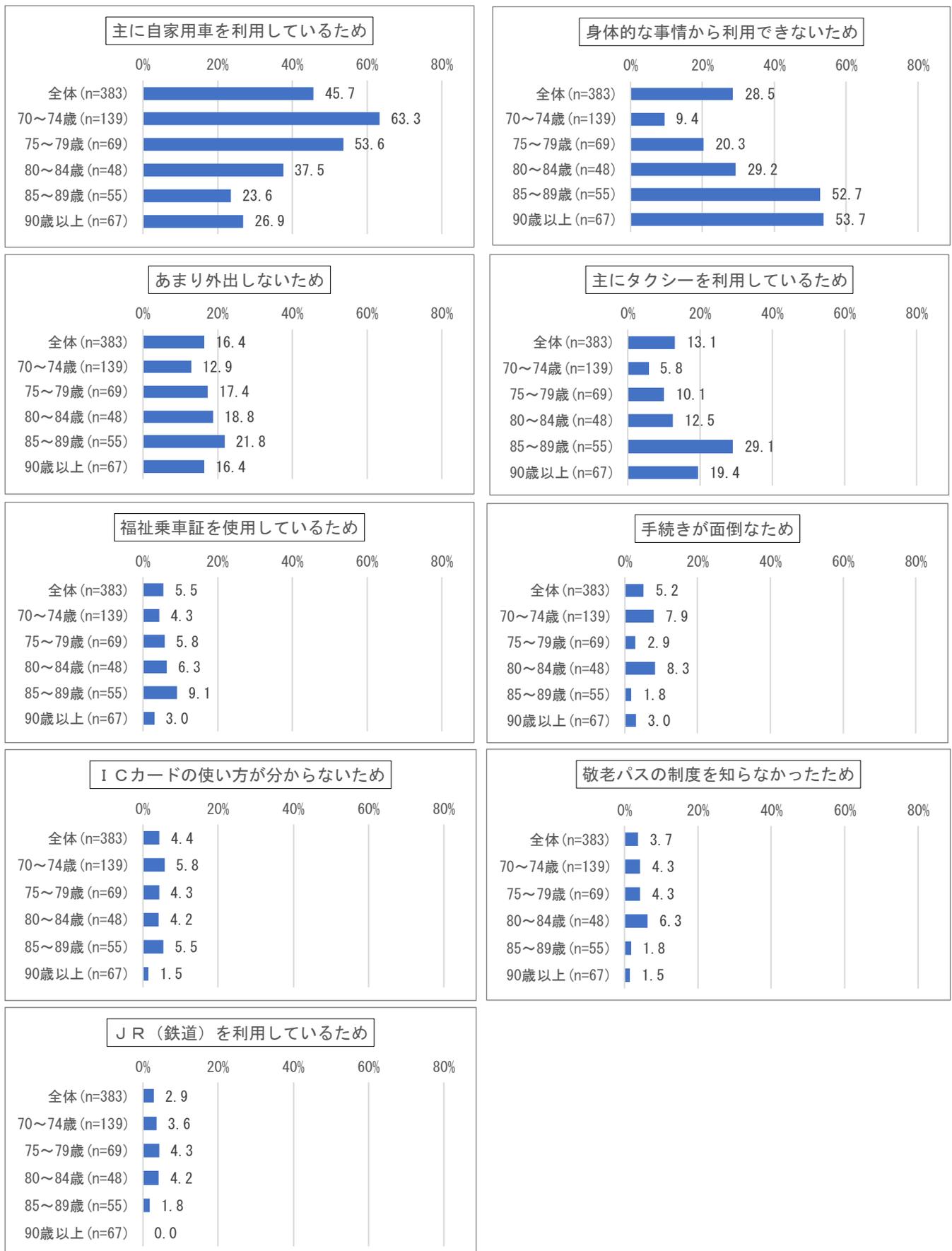


図 19 敬老優待乗車証未交付者の公共交通機関の利用月額

(問 20 関係)

敬老優待乗車証の交付を受けていない方に、公共交通機関の利用月額をたずねたところ、「ほとんど利用しない」が 59.3%で最も高く、次いで「1,000 円未満」(12.3%)、「1,000 円以上 3,000 円未満」(6.8%)となっている。

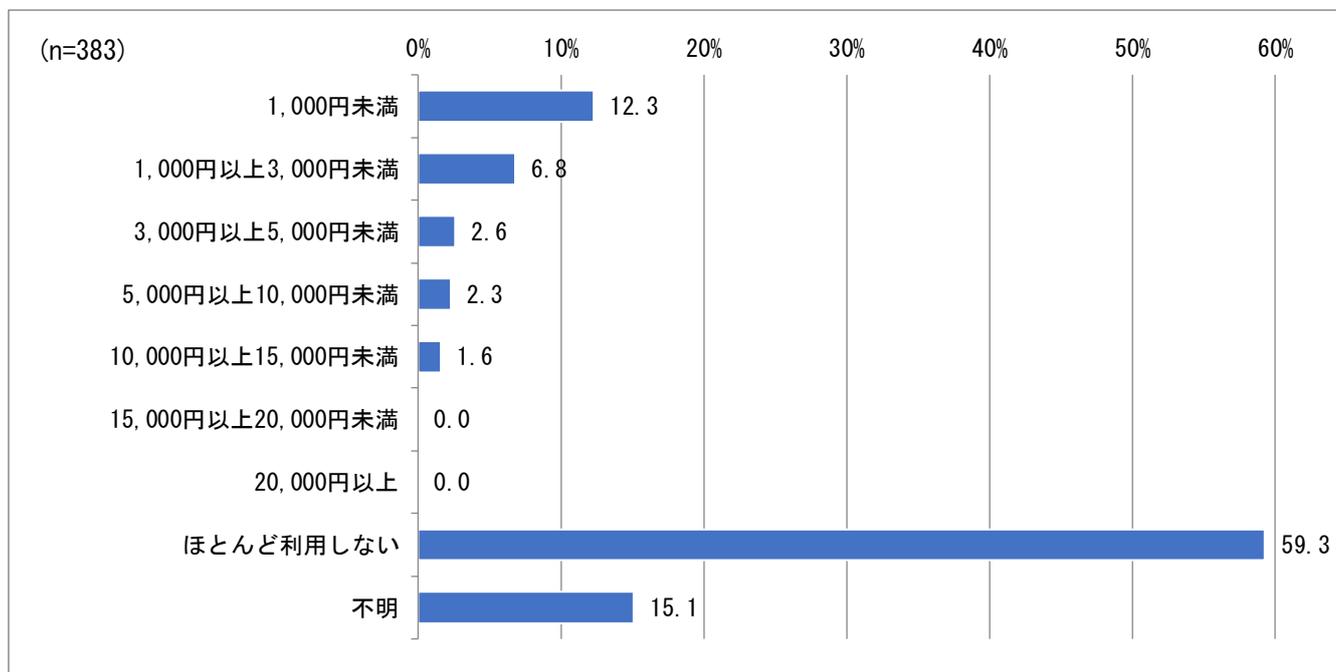


図 20-1 昨年度の敬老優待乗車証のチャージ金額

(問 21 関係)

敬老優待乗車証の交付を受けている方に、昨年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）のチャージ額をたずねたところ、「10,000 円分」が 32.9%と最も高く、次いで「20,000 円分」(20.4%)、「30,000 円分」(10.9%)となっている。

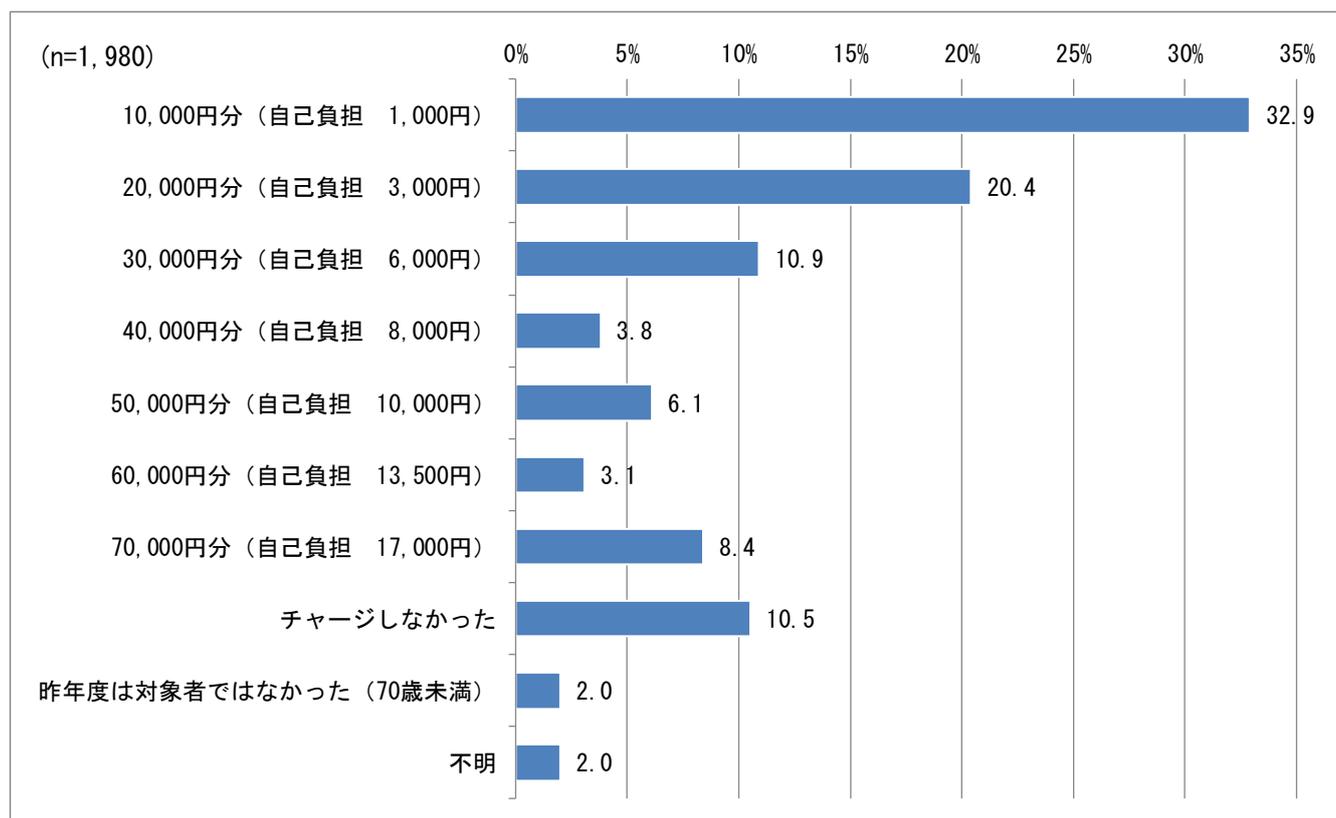


図 20-2 昨年度の敬老優待乗車証のチャージ金額（年齢・男女別）（問 21 関係）

昨年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）のチャージ額を男女別にみると、2 万円以下の割合は男性の方が女性に比べて高く、3 万円以上になると女性の割合が高くなっている。また、年齢別にみると、85～89 歳、90 歳以上では、「チャージしなかった」が他の年代に比べて高くなっている。

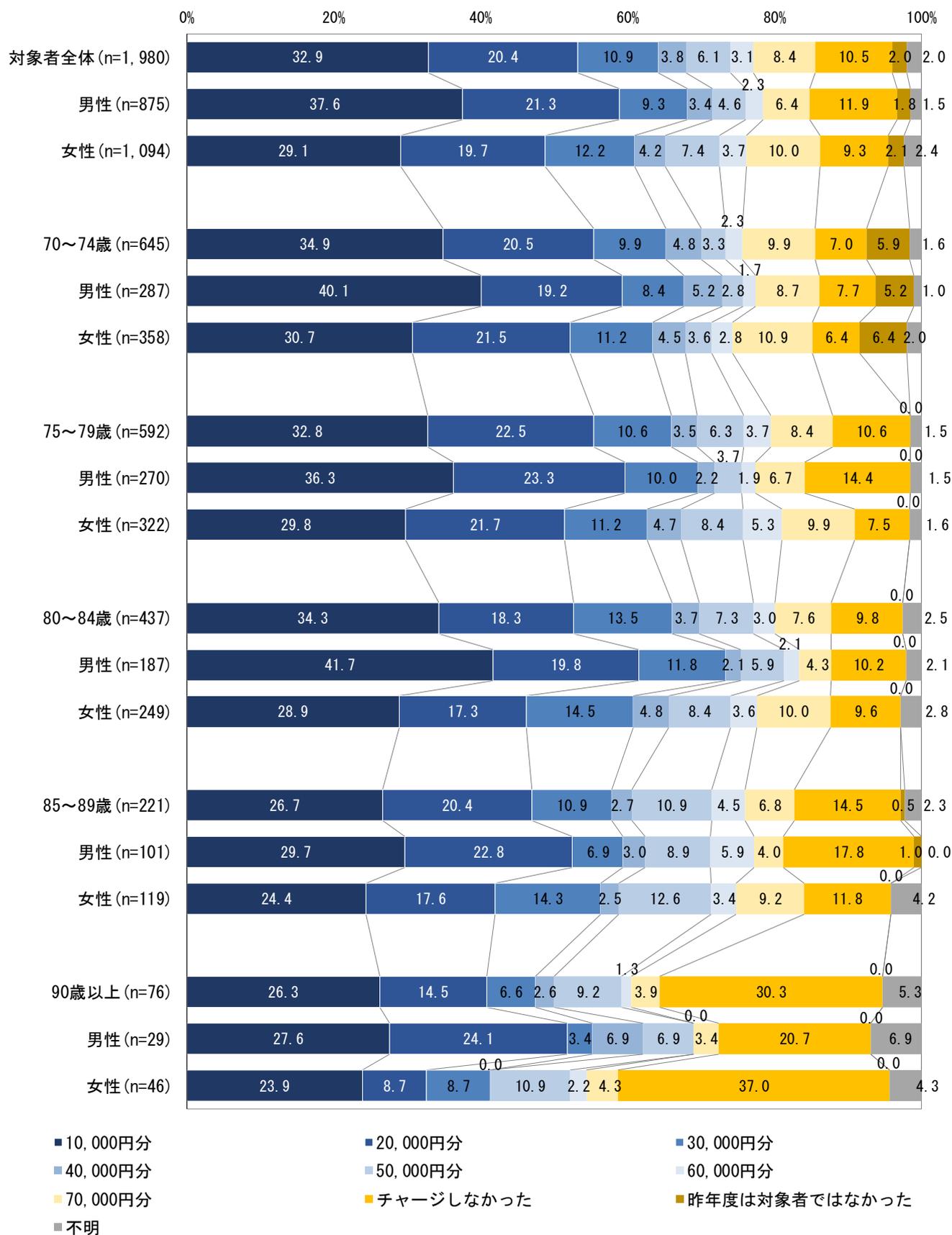


図 21-1 昨年度の敬老優待乗車証の利用金額

(問 22 関係)

昨年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）の敬老優待乗車証の利用金額をたずねたところ、「10,000 円未満」の割合が 40.9%で最も高く、次いで「10,000 円以上 20,000 円未満」(16.3%)、「20,000 円以上 30,000 円未満」(11.6%) となっている。

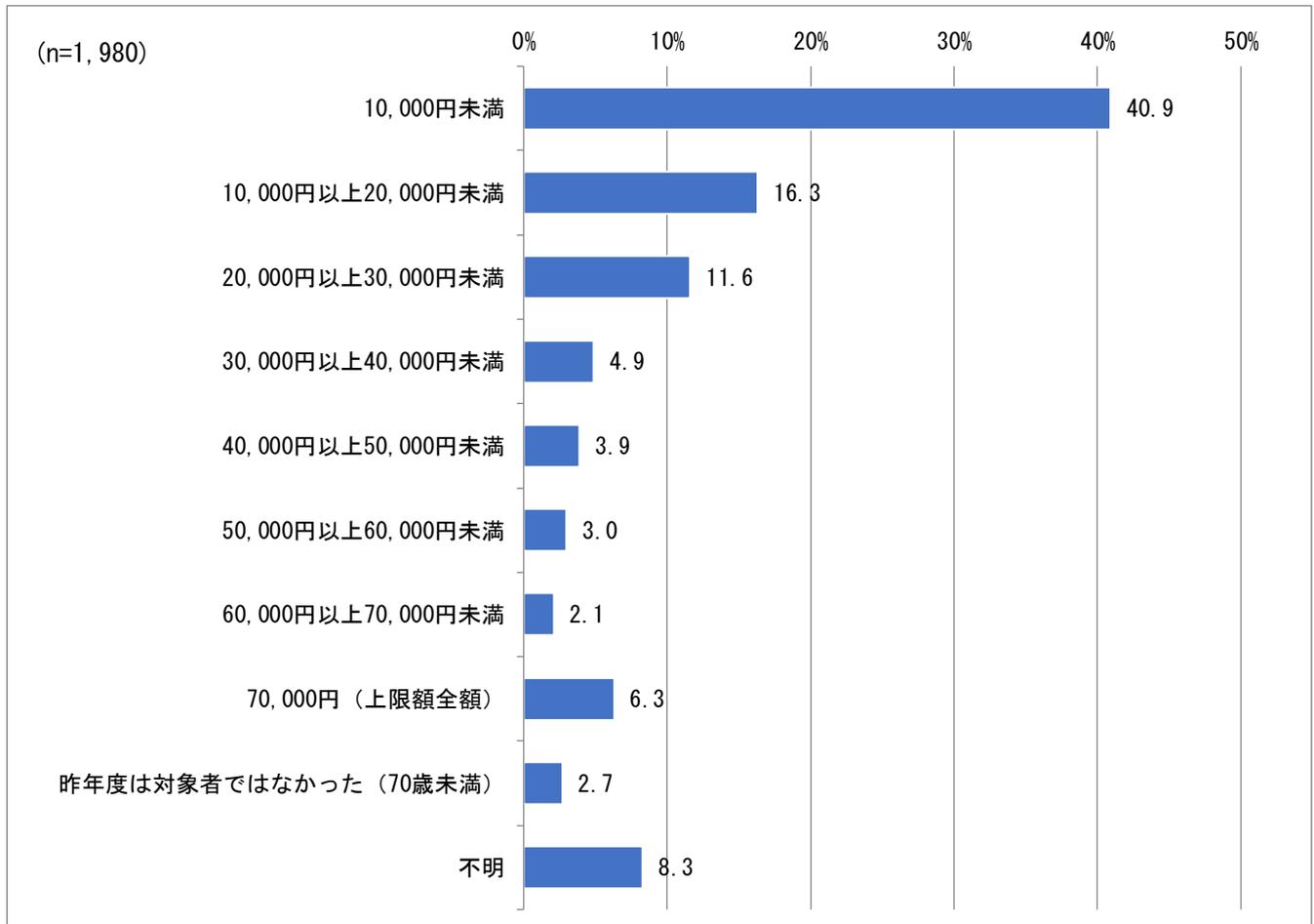


図 21-2 昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（年齢・男女別）

（問 22 関係）

昨年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）の敬老優待乗車証の利用金額を年齢・男女別にみると、「10,000 円未満」の利用は 90 歳以上を除き、女性より男性の方が高くなっている。「70,000 円」の利用では逆に 90 歳以上を除き、男性より女性の方が高い。

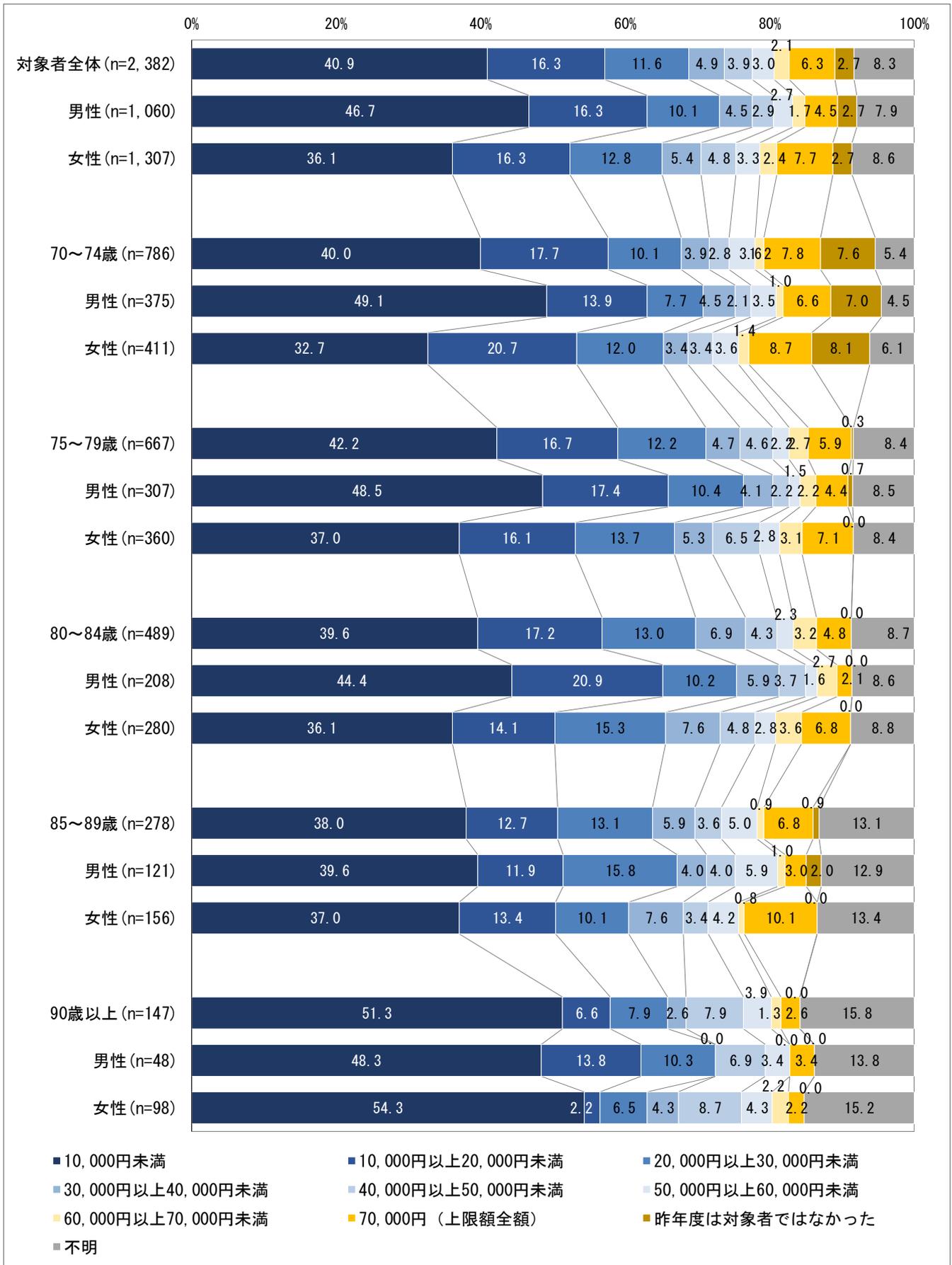


図 21-3 昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（免許の有無別）

（問 22 関係）

昨年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）の敬老優待乗車証の利用金額を免許の有無別にみると、「免許を持っていて、運転している」と回答した方は「10,000 円未満」が 55.8%と高くなっている。

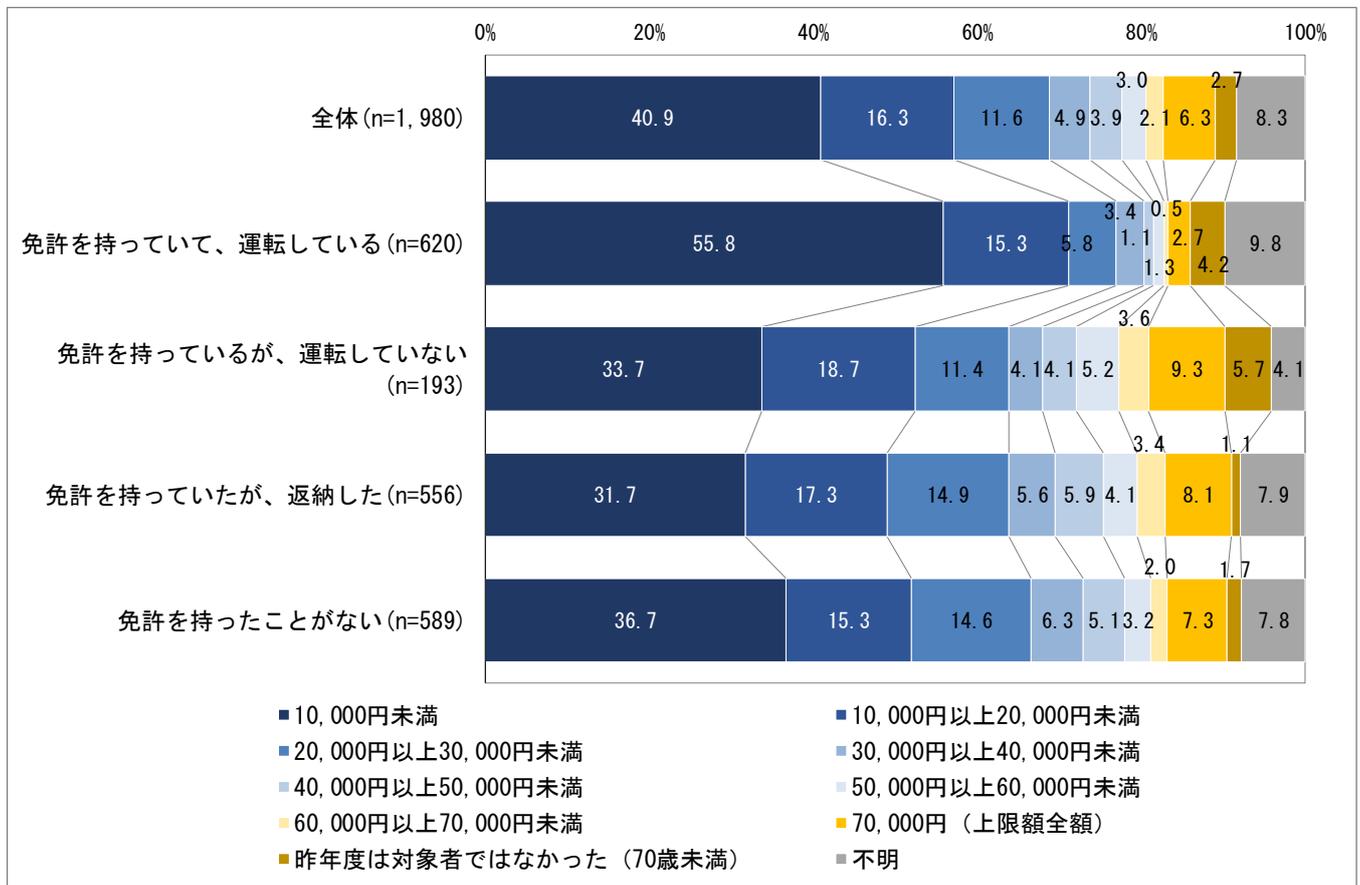


図 21-4 昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（世帯構成別）

（問 22 関係）

昨年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）の敬老優待乗車証の利用金額について、単身世帯とそれ以外の世帯で比較した結果、単身世帯では「10,000 円未満」が 35.5%と低くなっており、単身世帯の方が多く利用している傾向となっている。

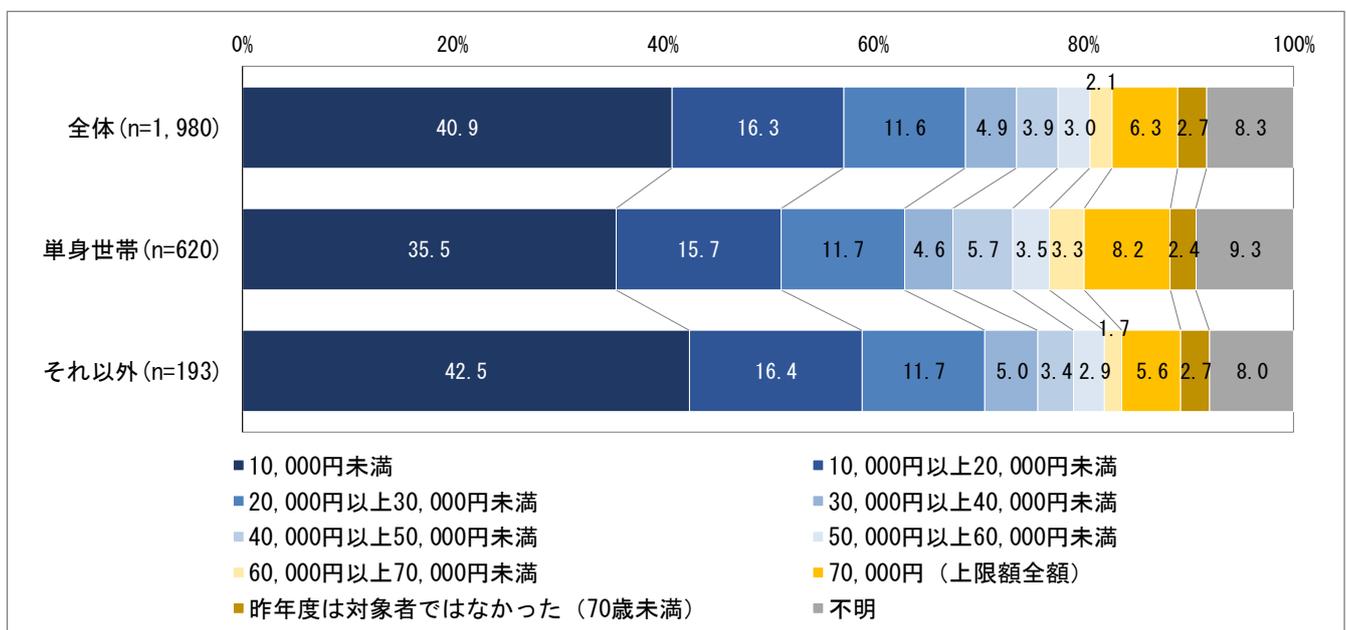


図 21-5 昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（収入別）

（質問 22 関係）

昨年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）の敬老優待乗車証の利用金額を本人の収入別にみると、収入が「400～500 万円未満」の方は「10,000 円未満」の割合が 45.7%、「70,000 円（上限額全額）」が 10.9%で、他の収入区分に比べて最も高くなっている。

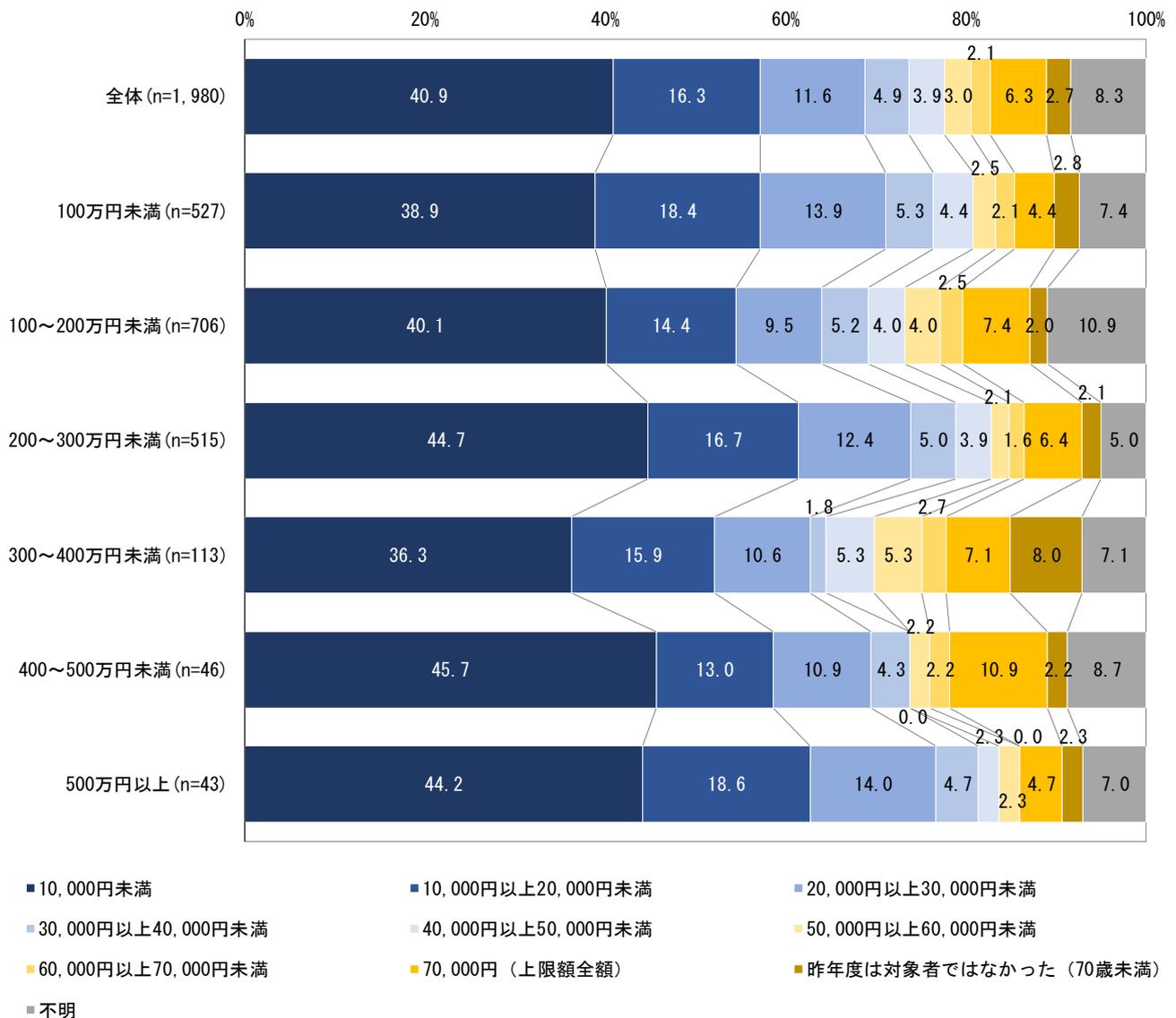


図 21-6 昨年度の敬老優待乗車証の利用金額（健康状態別）

（問 22 関係）

昨年度（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）の敬老優待乗車証の利用金額を健康状態別にみると、「健康」と回答した方は「70,000 円（上限額全額）」の割合が 9.5% となっており、健康な方ほど多く利用している傾向にある。

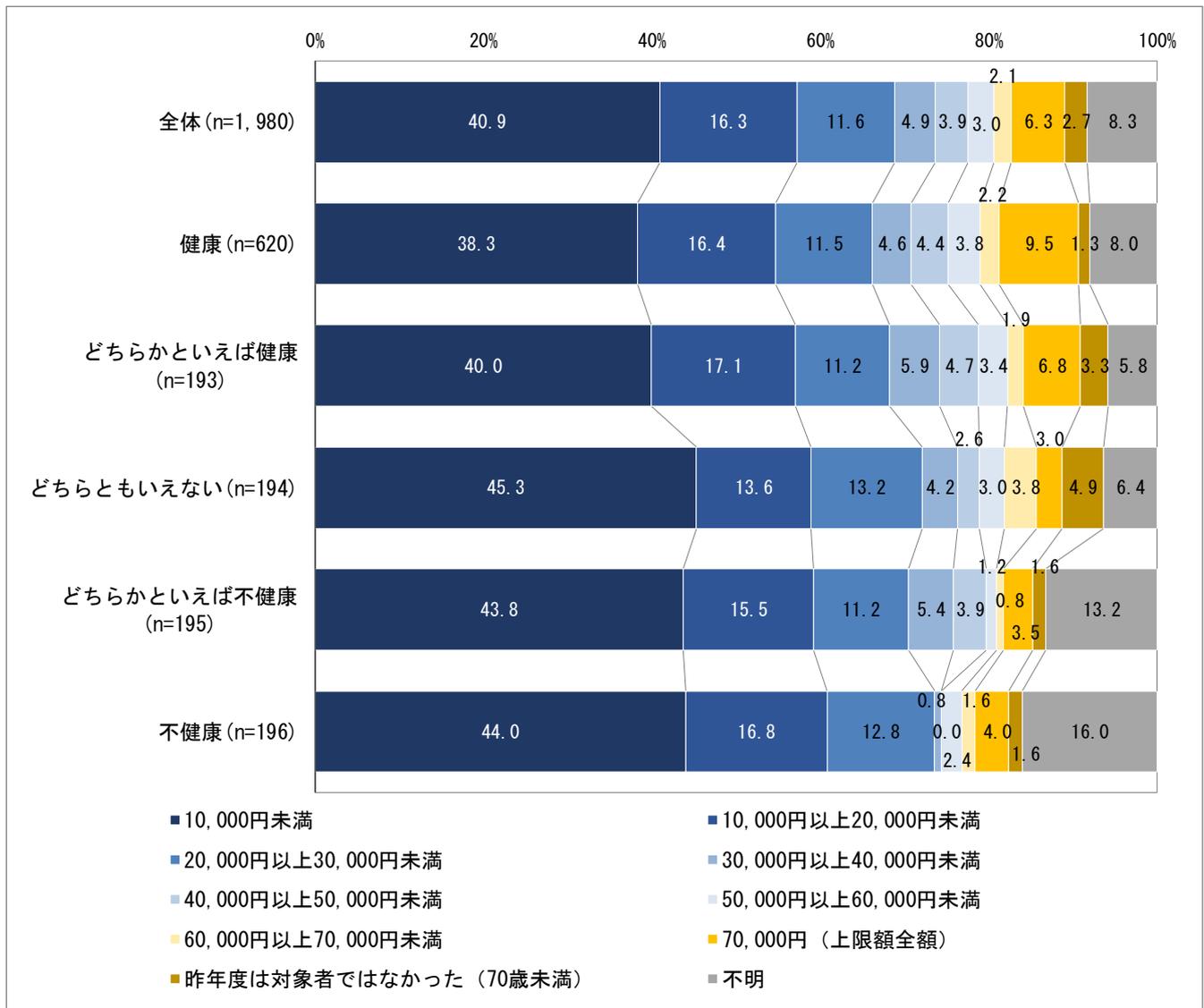


図 22-1 敬老優待乗車証で外出した際の平均歩行時間

(問 23 関係)

敬老優待乗車証を利用して外出した際の歩行時間をたずねたところ、「30分～1時間未満」の割合が26.0%と最も高く、次いで「30分未満」(19.5%)、「1時間～1時間30分未満」(18.3%)となっている。

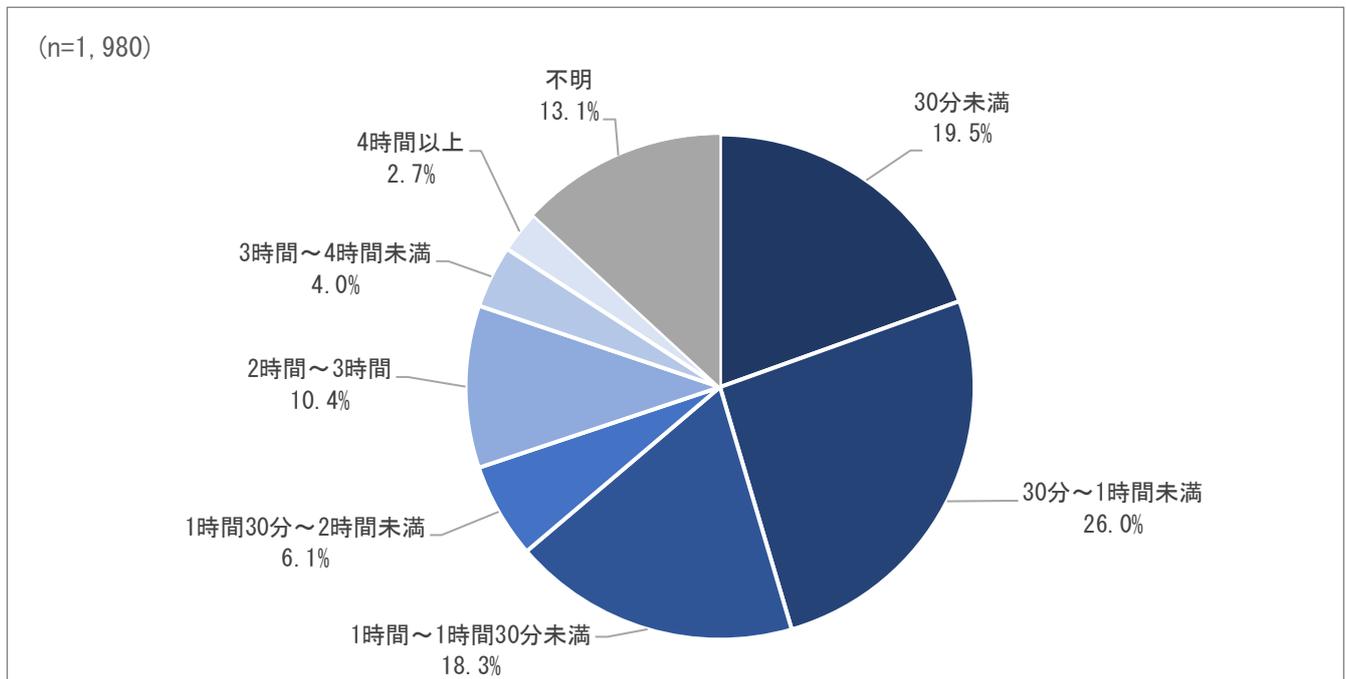
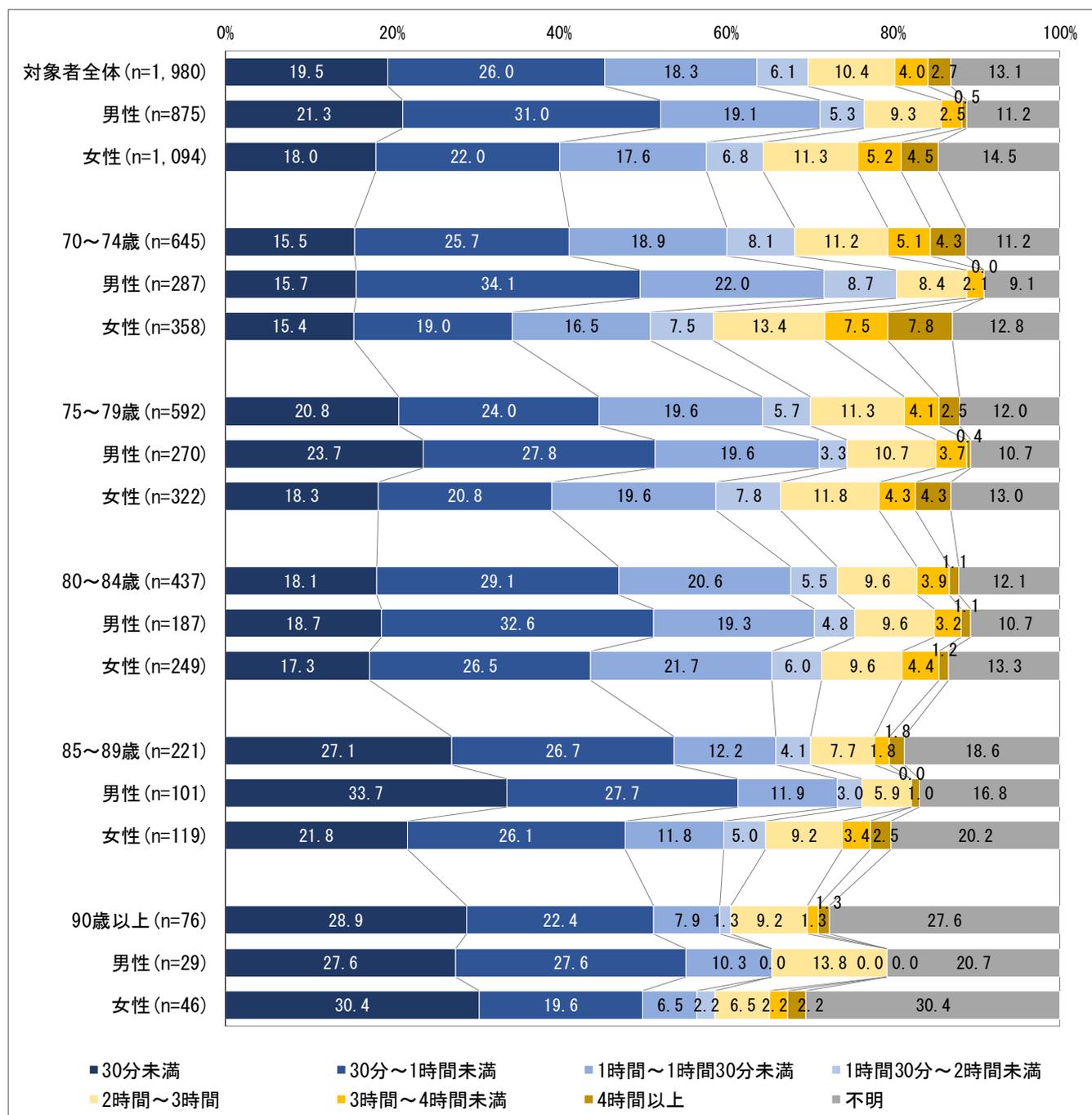


図 22-2 敬老優待乗車証で外出した際の平均歩行時間（年齢・男女別）

（問 23 関係）

敬老優待乗車証を利用して外出した方を年齢・男女別にみると、男性では「30分未満」「30分～1時間未満」の割合が高く、2時間以上の割合は男性より女性が高くなっており、女性の歩行時間が長い傾向となっている。また、年代が上がるにつれて歩行時間は短くなる傾向にあり、90歳以上では「30分未満」が28.9%となっている。



（参考）年齢階層別平均歩行時間

	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	全体
全体 (n=1,980)	74分	65分	60分	52分	50分	65分
男性 (n=875)	55分	55分	56分	42分	50分	54分
女性 (N=1,094)	90分	74分	63分	61分	50分	75分

図 23-1 敬老優待乗車証で外出した際の平均使用金額

(問 24 関係)

敬老優待乗車証を利用して外出した際に使用する平均金額（交通費と医療費を除く）をたずねたところ、「5,000 円～10,000 円未満」の割合が 26.2%で最も高く、次いで「3,000 円～5,000 円未満」（16.8%）、「1,000 円～3,000 円未満」（16.1%）となっている。

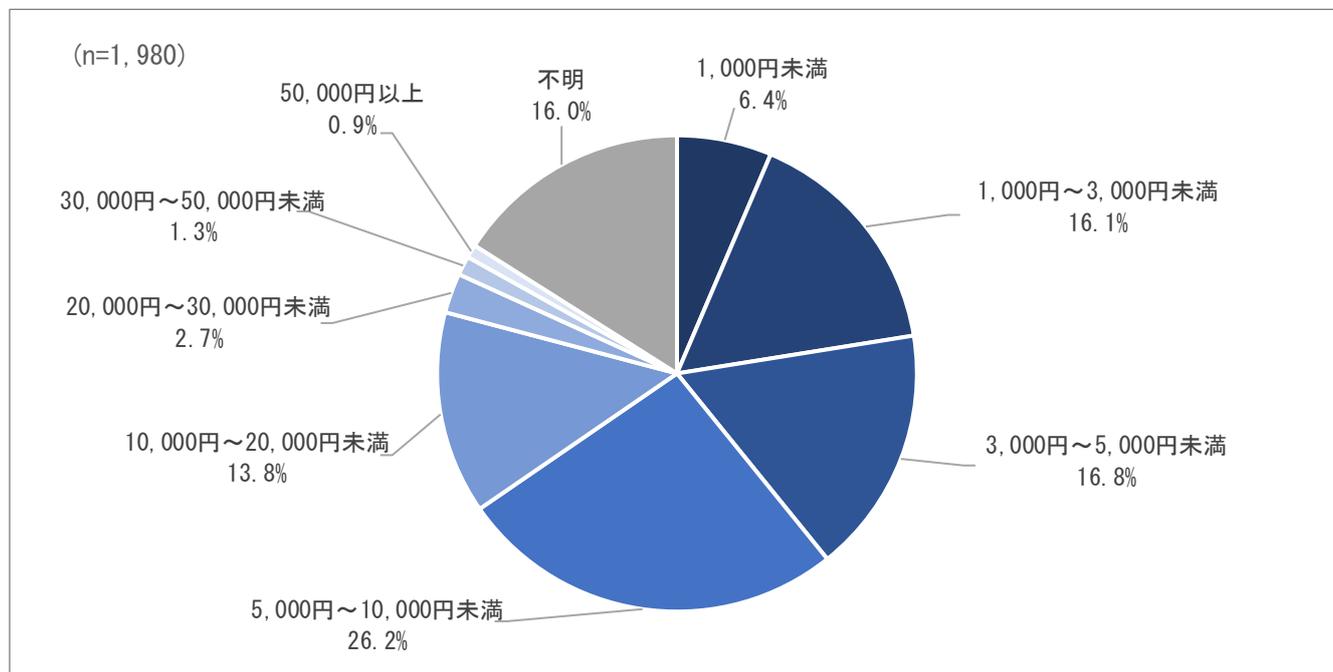
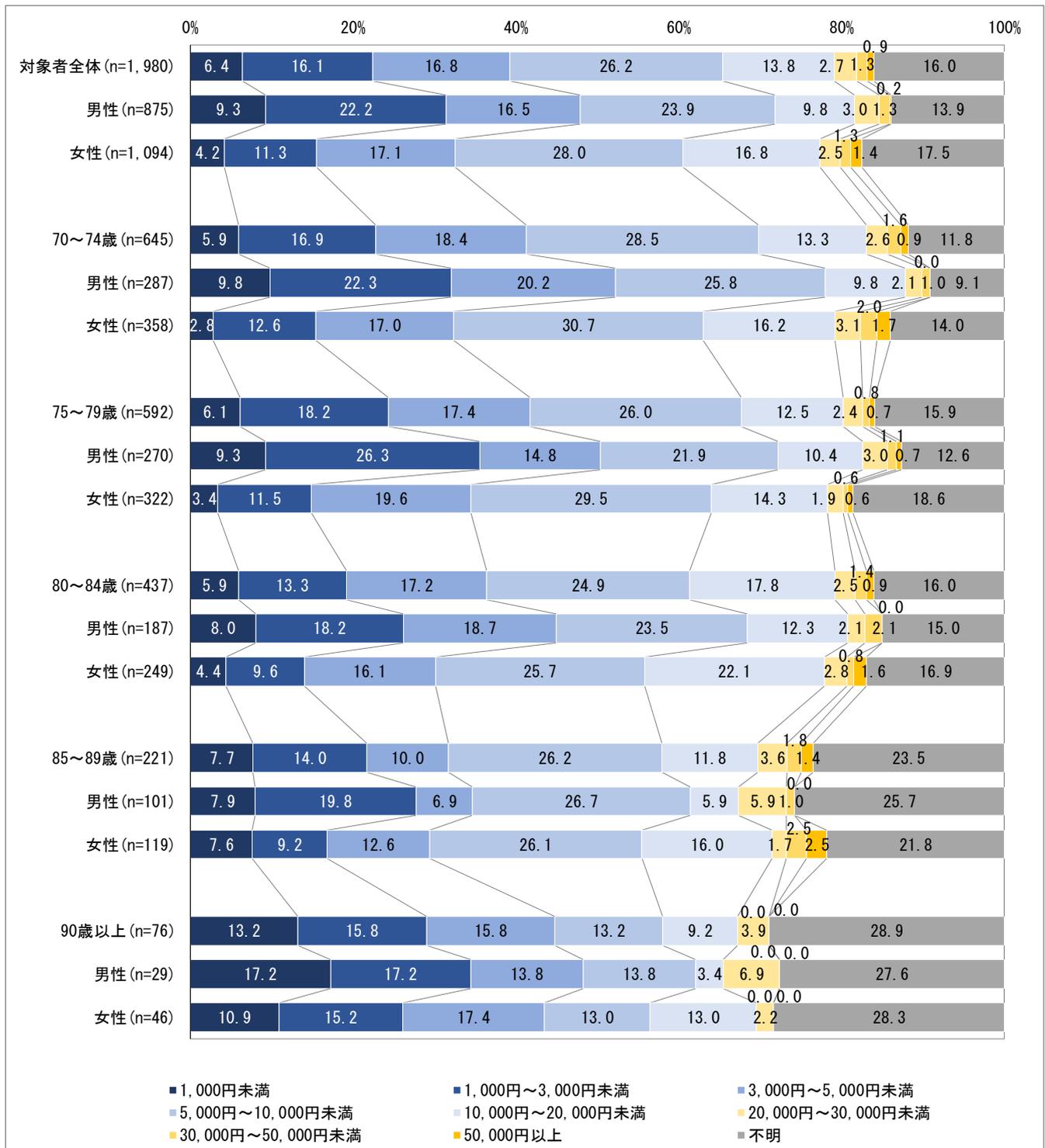


図 23-2 敬老優待乗車証で外出した際の平均使用金額（年齢・男女別）

（問 24 関係）

敬老優待乗車証を利用して外出した際に使用する平均金額を年齢・男女別にみると、いずれの年代でも男性よりも女性の方が、多く使用している傾向にある。



（参考）年齢階層別平均使用金額

	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	全体
全体 (n=1,980)	6,324円	5,874円	6,832円	7,428円	4,861円	6,392円
男性 (n=875)	4,677円	5,589円	5,681円	5,552円	5,000円	5,272円
女性 (N=1,094)	7,720円	6,132円	7,731円	8,913円	4,773円	7,277円

図 24 敬老優待乗車証による外出への影響

(問 25 関係)

敬老優待乗車証が外出にどのように影響しているかたずねたところ、「外出をする機会が増えている」が 49.3%と最も多く、次いで「タクシーや自家用車を利用する機会が減っている」(30.7%)、「家族や友人と出かける機会が増えている」(28.2%)となっている。

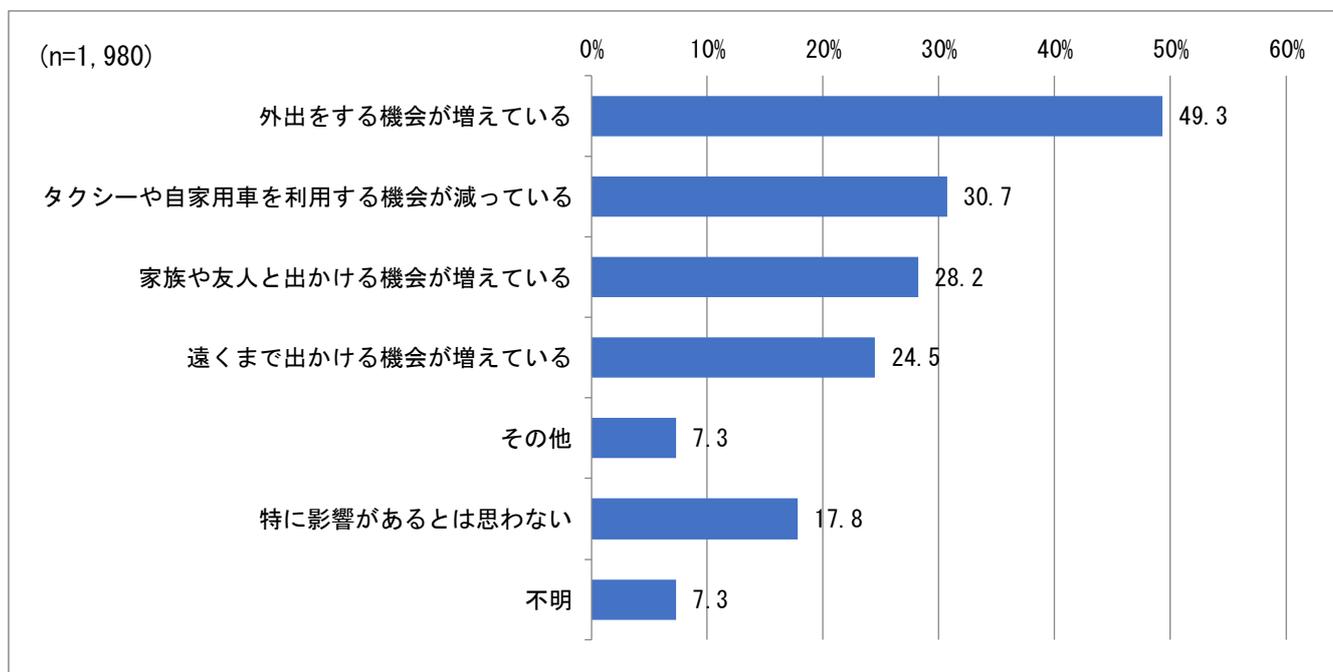


図 25-1 利用金額が減った場合の公共交通機関の利用頻度

(問 26 関係)

もし敬老優待乗車証の利用できる金額が減った場合の公共交通機関の利用頻度をたずねたところ、「変わらないと思う」の割合が 33.8%と最も高く、次いで「減ると思う」(30.6%)、「どちらかといえば、減ると思う」(25.2%)となっている。

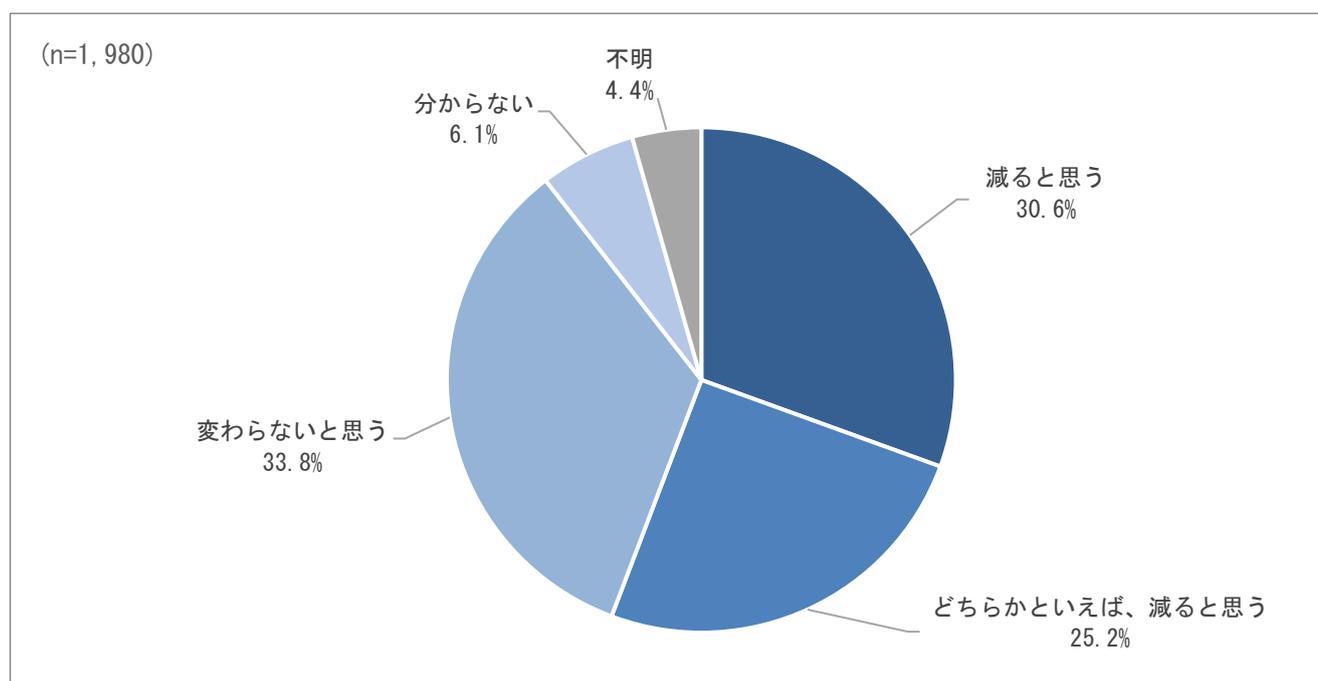


図 25-2 利用金額が減った場合の公共交通機関の利用頻度（収入別）

（問 26 関係）

もし敬老優待乗車証の利用金額が減った場合の公共交通機関の利用頻度を本人の収入別にみると、収入が多くなるにつれて「減る」の割合は低くなる傾向となっている。

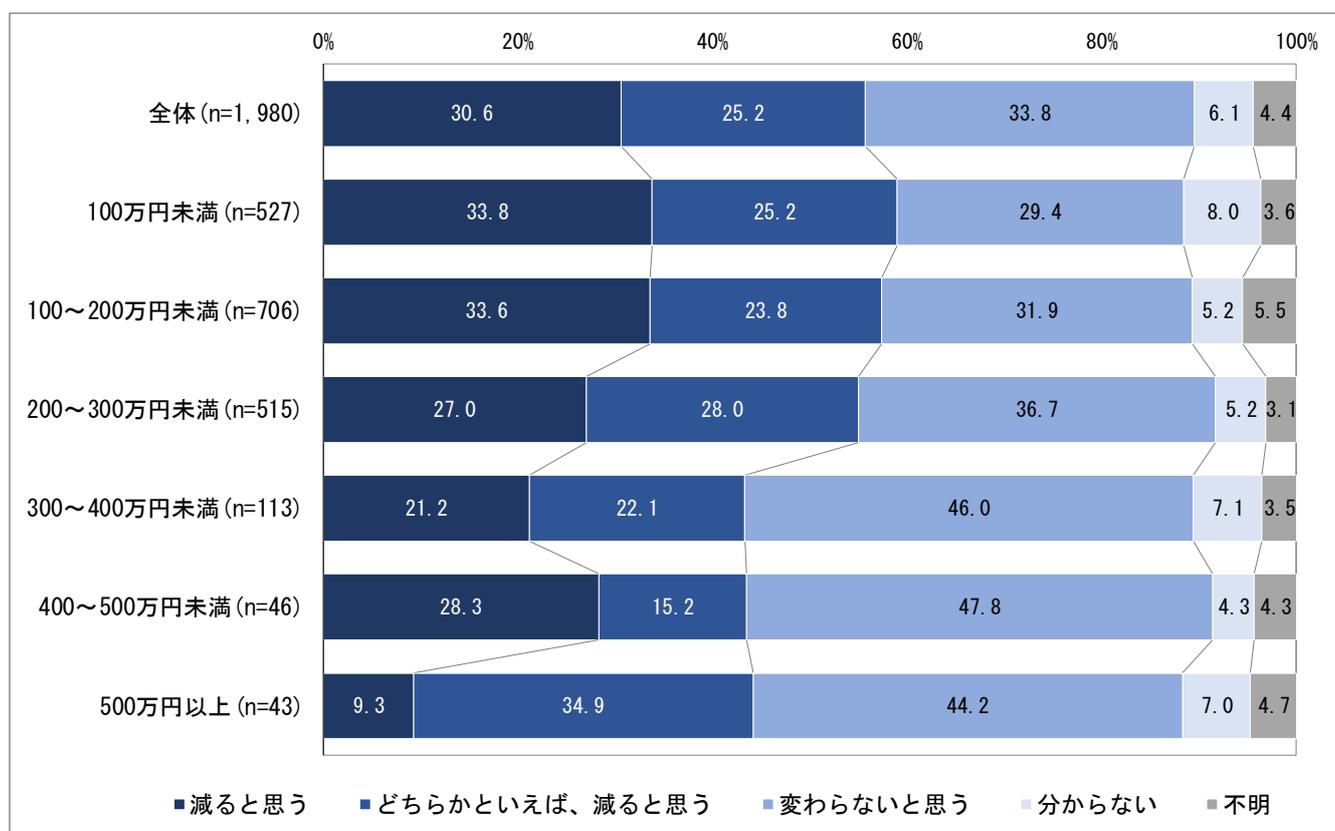


図 26 敬老優待乗車証制度の効果

(問 27 関係)

敬老優待乗車証制度が及ぼす効果についてたずねたところ、「高齢者の外出意欲が高まり、健康増進や介護予防を推進する効果」が 68.6% で最も多く、次いで「高齢者の買い物や外食をする機会が増え、消費を増やす効果」(54.7%)、「高齢者の公共交通機関の利用機会が増え、交通渋滞や交通事故を減らす効果」(49.9%) となっている。

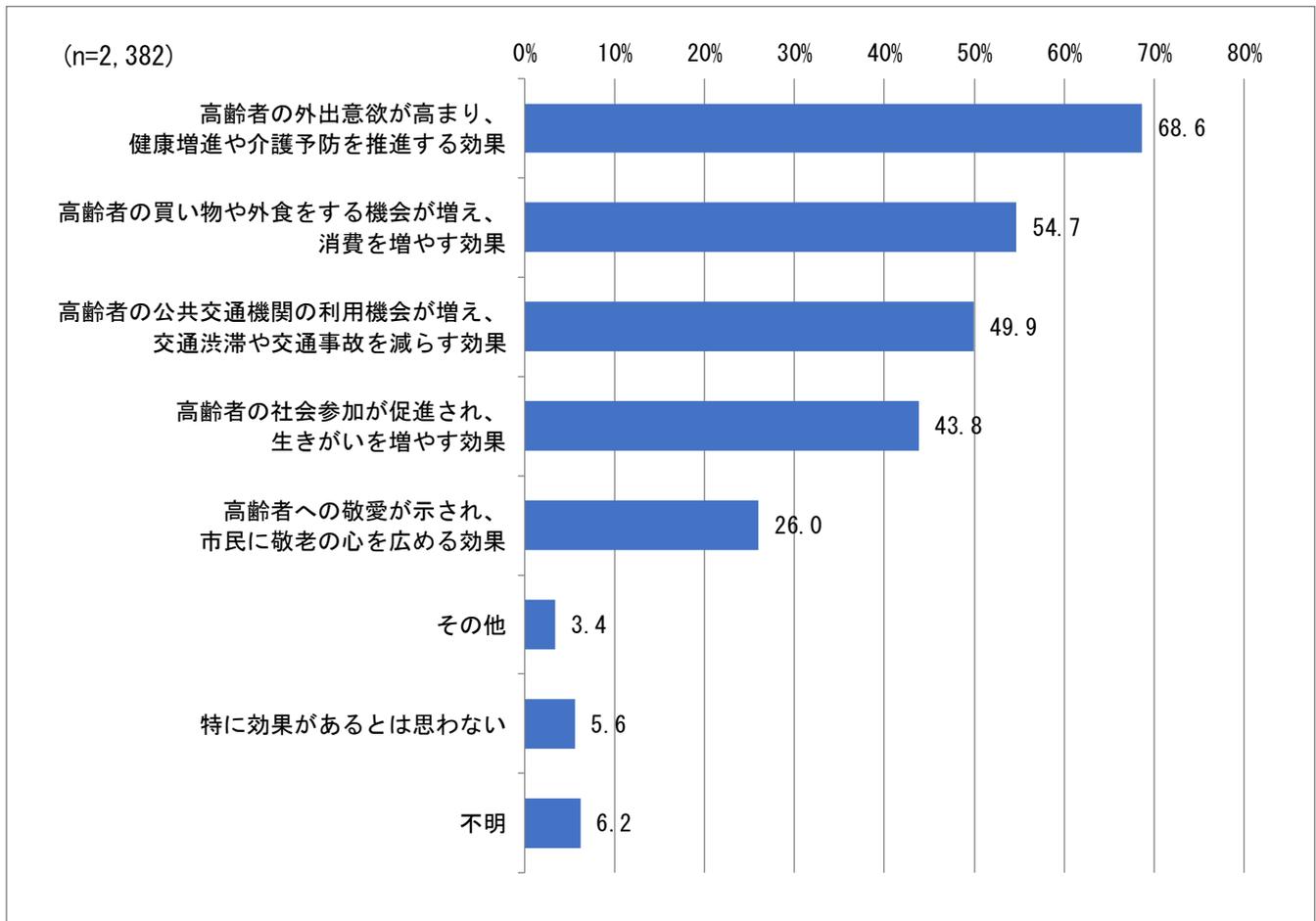


図 27 敬老優待乗車証制度の運営にかかる市税負担について

(問 28 関係)

敬老優待乗車証制度の運営に年間約 50 億円の市税が使用されていることを知っているかたずねたところ、「知っていた」方の割合が 38.1%、「知らなかった」が 56.0%となっている。

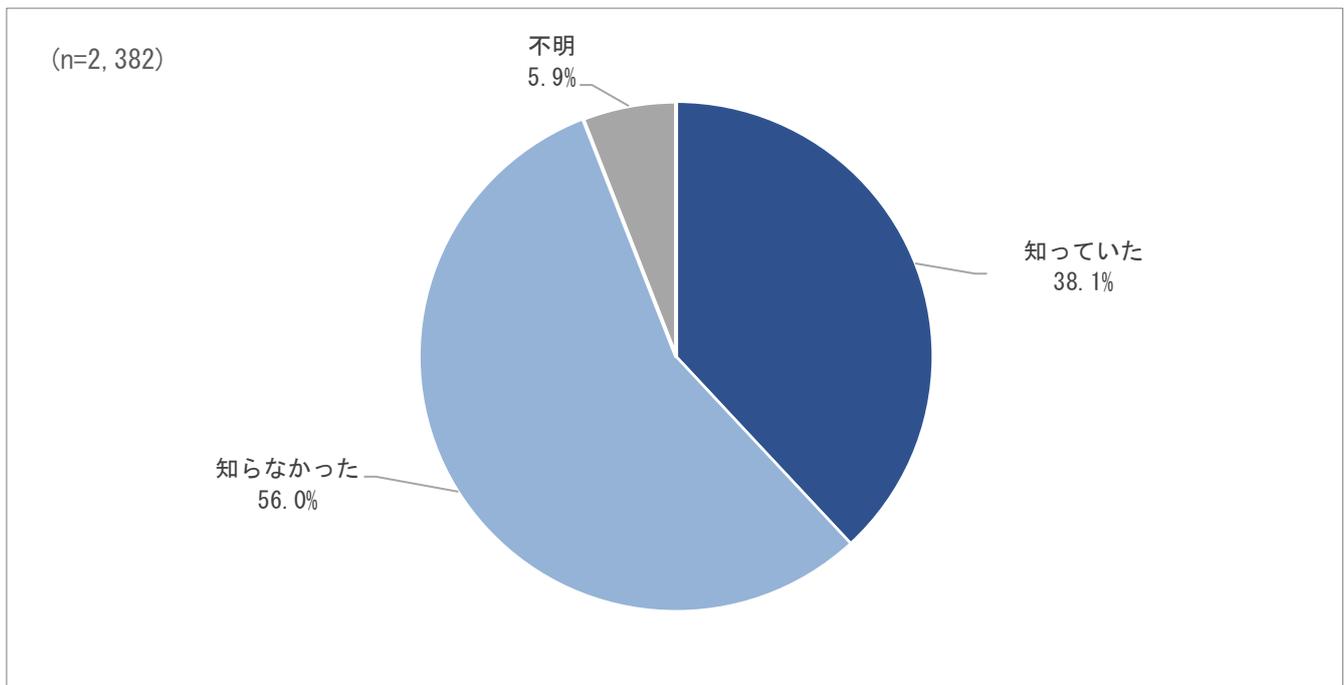


図 28-1 敬老優待乗車証の自己負担について

(問 29 関係)

敬老優待乗車証の自己負担に対する考えについてたずねたところ、「現在の自己負担を維持したほうが良いと思う」の割合が 49.7%で最も高く、次いで「ある程度の自己負担の増はやむを得ないと思う」(31.9%)、「現在よりも自己負担を減らしたほうが良いと思う」(9.4%)となっている。

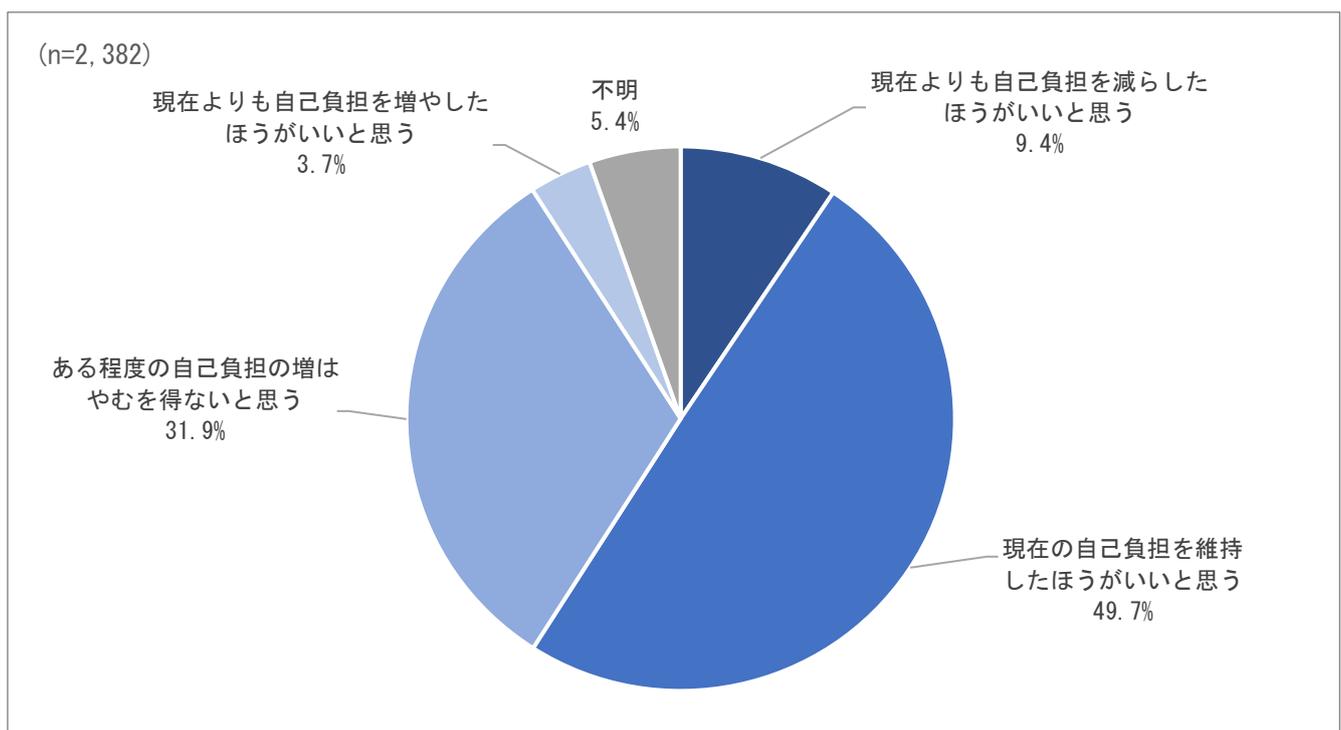


図 28-2 敬老優待乗車証の自己負担について（年齢別）

（問 29 関係）

敬老優待乗車証の自己負担に対する考えを年齢別にみると、「現在の自己負担を維持したほうが良いと思う」の割合は、80～84 歳で 53.6%と最も高く、90 歳以上では 34.0%と低くなっている。

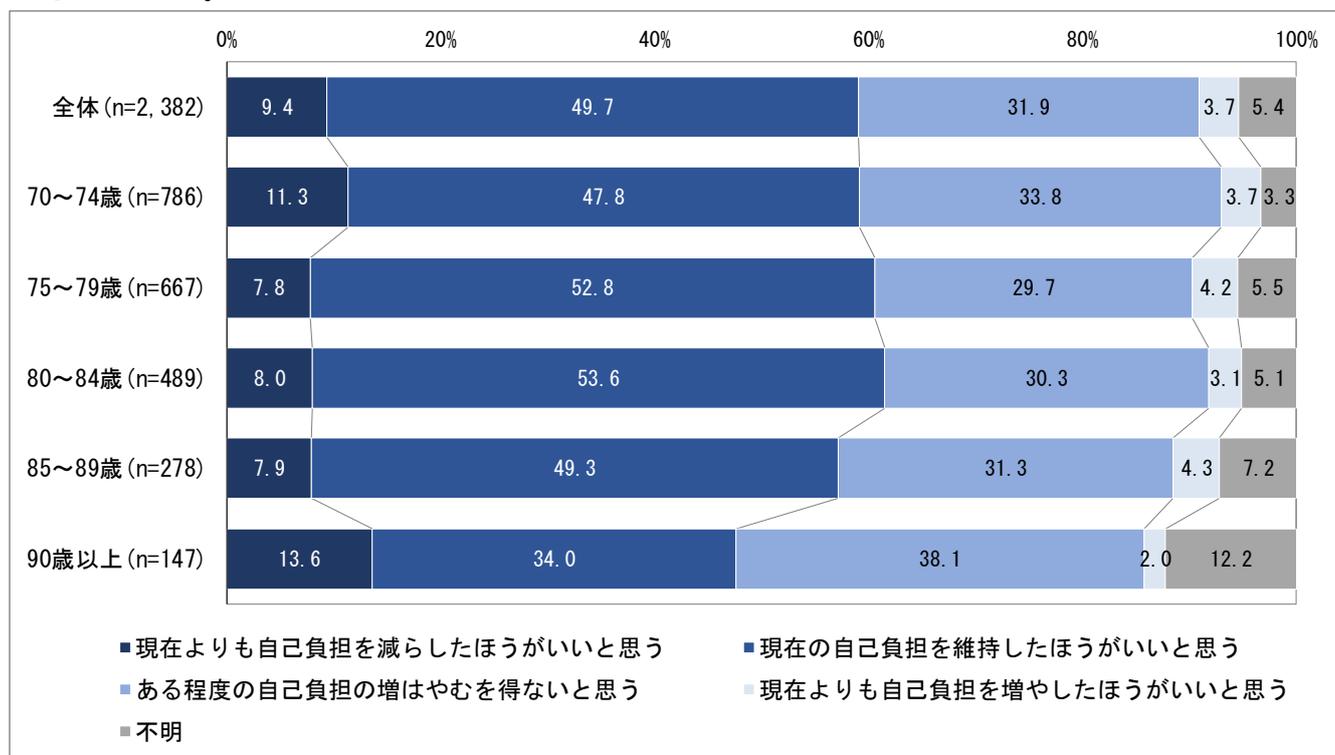


図 28-3 敬老優待乗車証の自己負担について（収入別）

（問 29 関係）

敬老優待乗車証の自己負担に対する考えを収入別にみると、「ある程度の自己負担の増はやむを得ないと思う」の割合は、収入が多くなるほど高くなる傾向となっている。

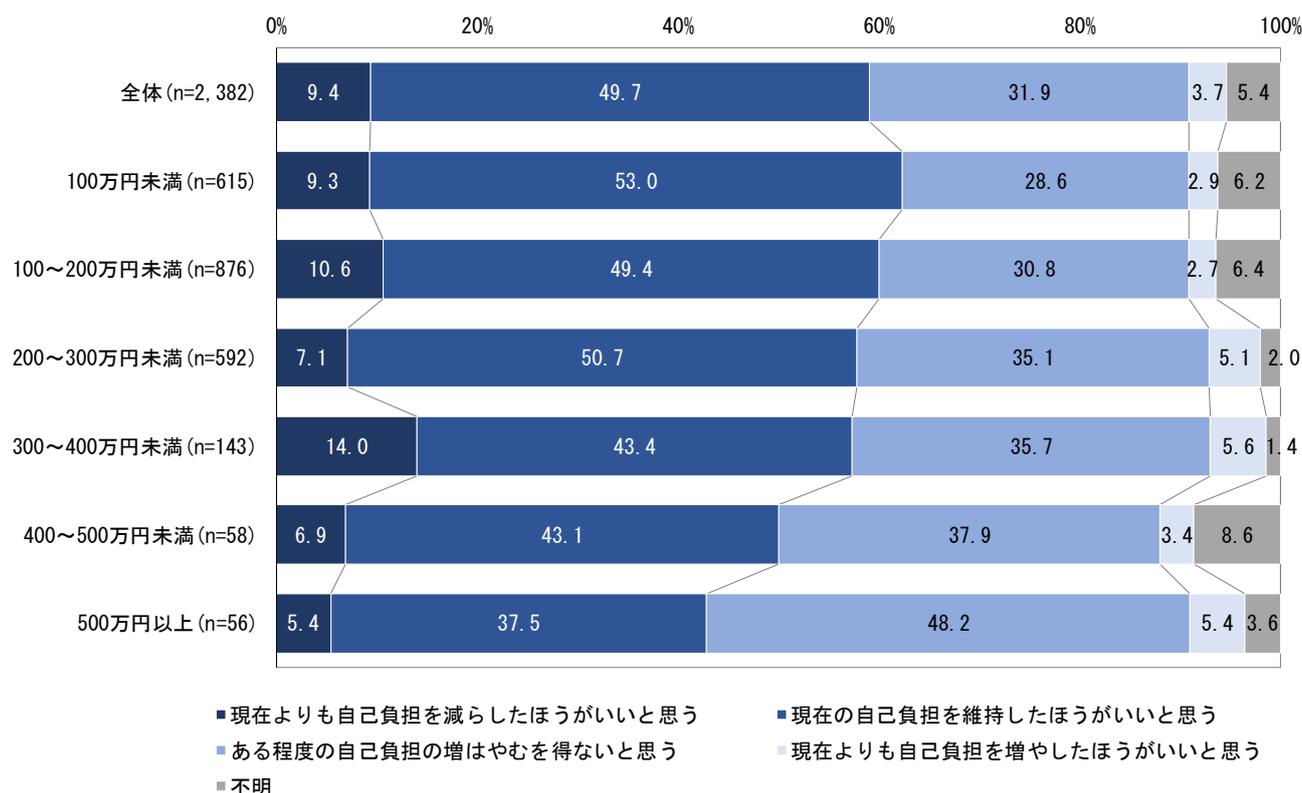


図 29-1 敬老優待乗車証制度の対象年齢について

(問 30 関係)

敬老優待乗車証制度の対象年齢についてたずねたところ、「現行の年齢（70 歳）のままでいいと思う」の割合が 69.4%で最も高く、次いで「現行の年齢（70 歳）よりも引き上げた方がいいと思う」（10.5%）となっている。

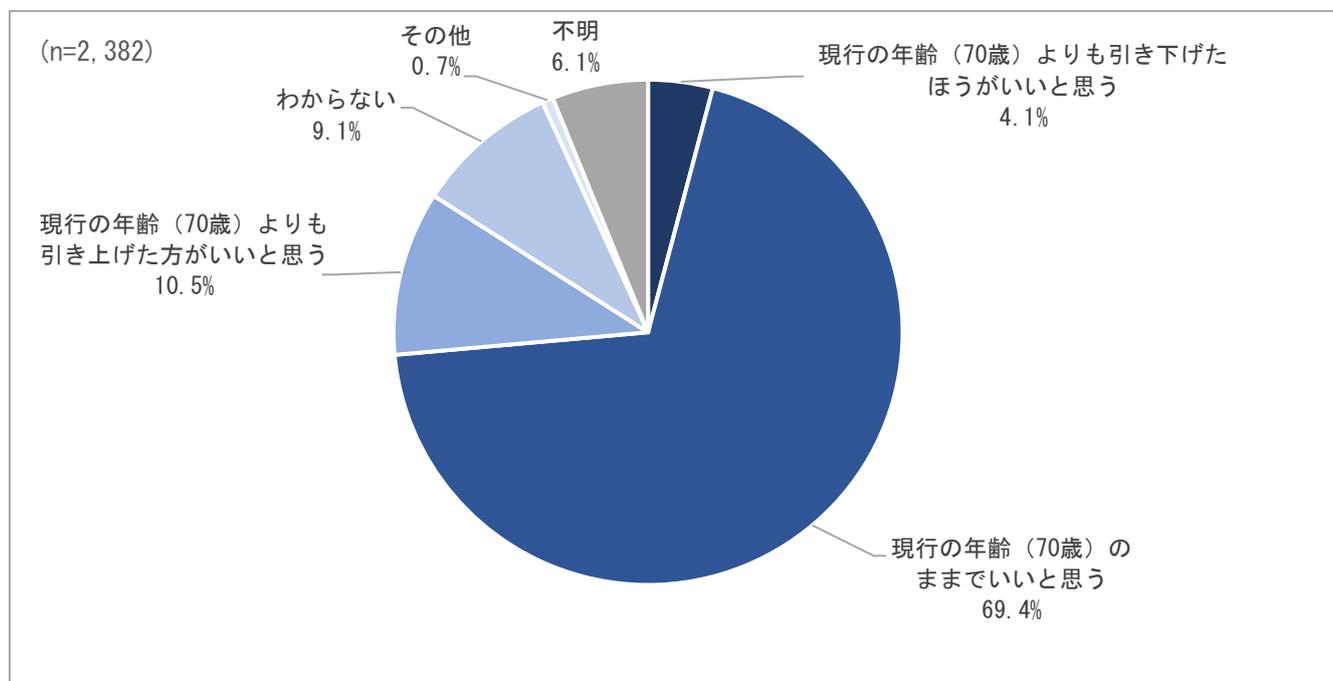


図 29-2 敬老優待乗車証制度の対象年齢について（年齢別）

(問 30 関係)

敬老優待乗車証制度の対象年齢に対する考えを年齢別にみると、「現行の年齢（70 歳）のままでいいと思う」の割合は、「70～74 歳」で 77.6%と最も高く、年齢が高くなるほど低くなる傾向となっている。

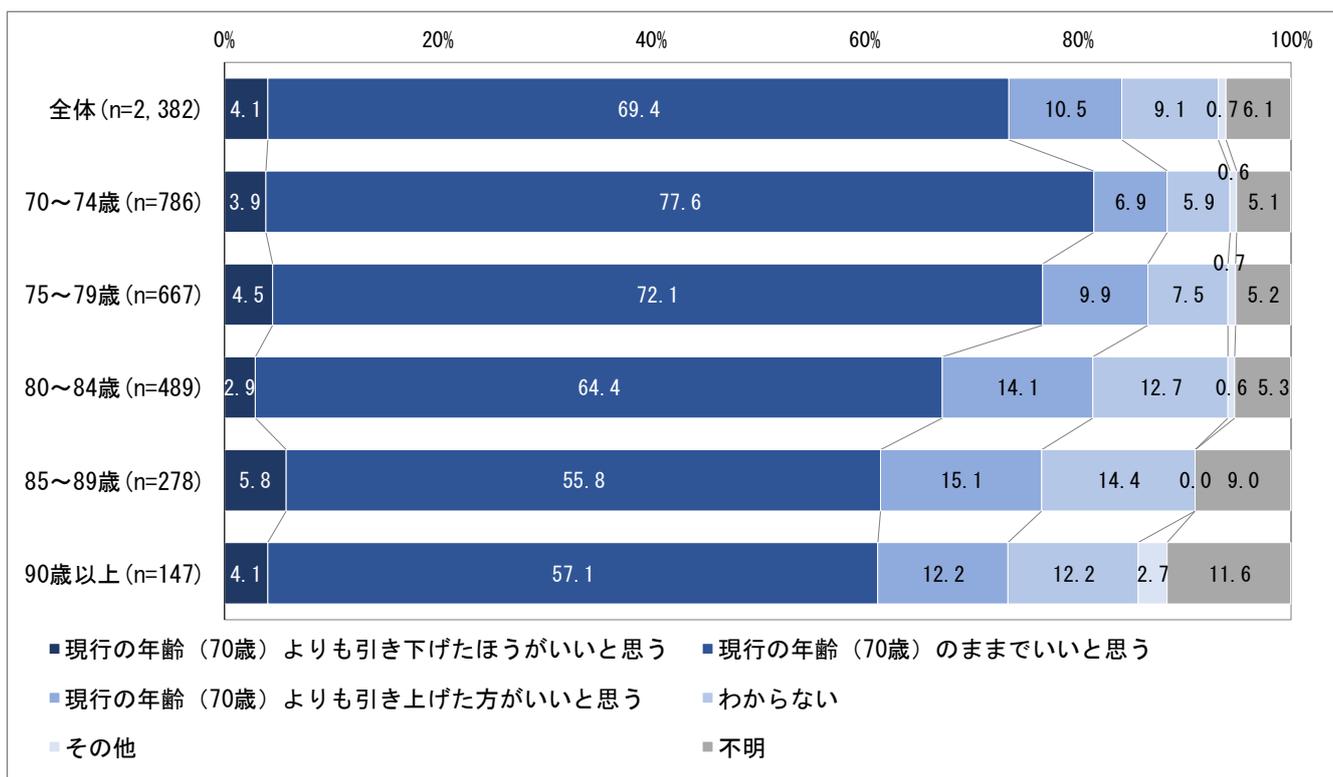


図 29-3 敬老優待乗車証制度の対象年齢について（収入別）

（問 30 関係）

敬老優待乗車証制度の対象年齢に対する考えを本人の収入別にみると、「現行の年齢よりも引き上げたほうが良いと思う」の割合は「500万円以上」で14.3%と最も高くなっている。一方で、「現行の年齢よりも引き下げたほうが良いと思う」は「300～400万円未満」で5.6%と最も高い。

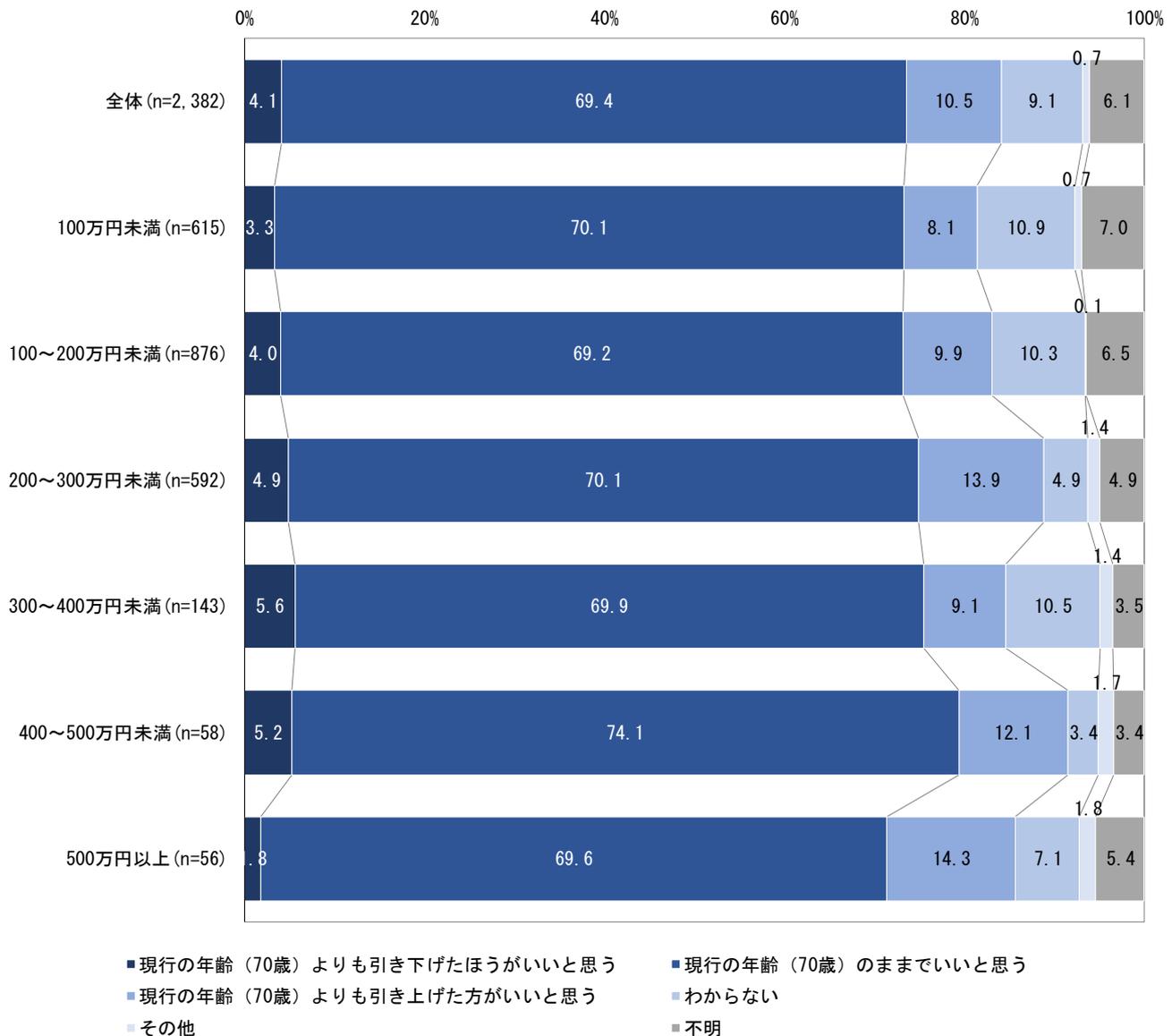


図 30-1 「敬老健康パス」の素案について

(問 31 関係)

「敬老健康パス」の素案について、どのような仕組みがあれば多くの方が利用できると思うかたずねたところ、「制度の仕組みが単純であること」が 55.2%と最も多く、次いで「身体状況等により活動が難しい方も参加できるよう配慮がされていること」(27.2%)、「サポート体制が整備されていること」(24.1%)となっている。

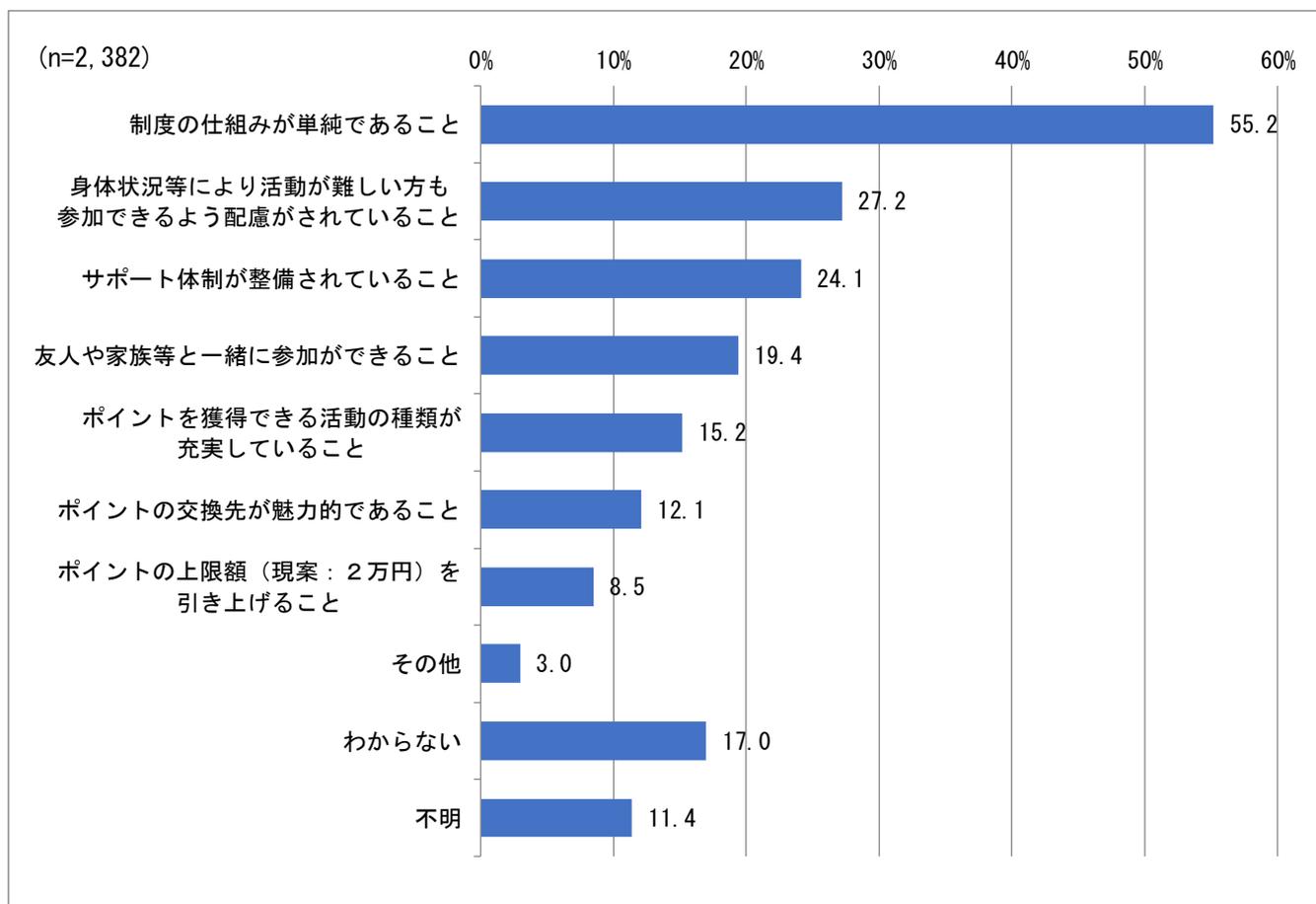
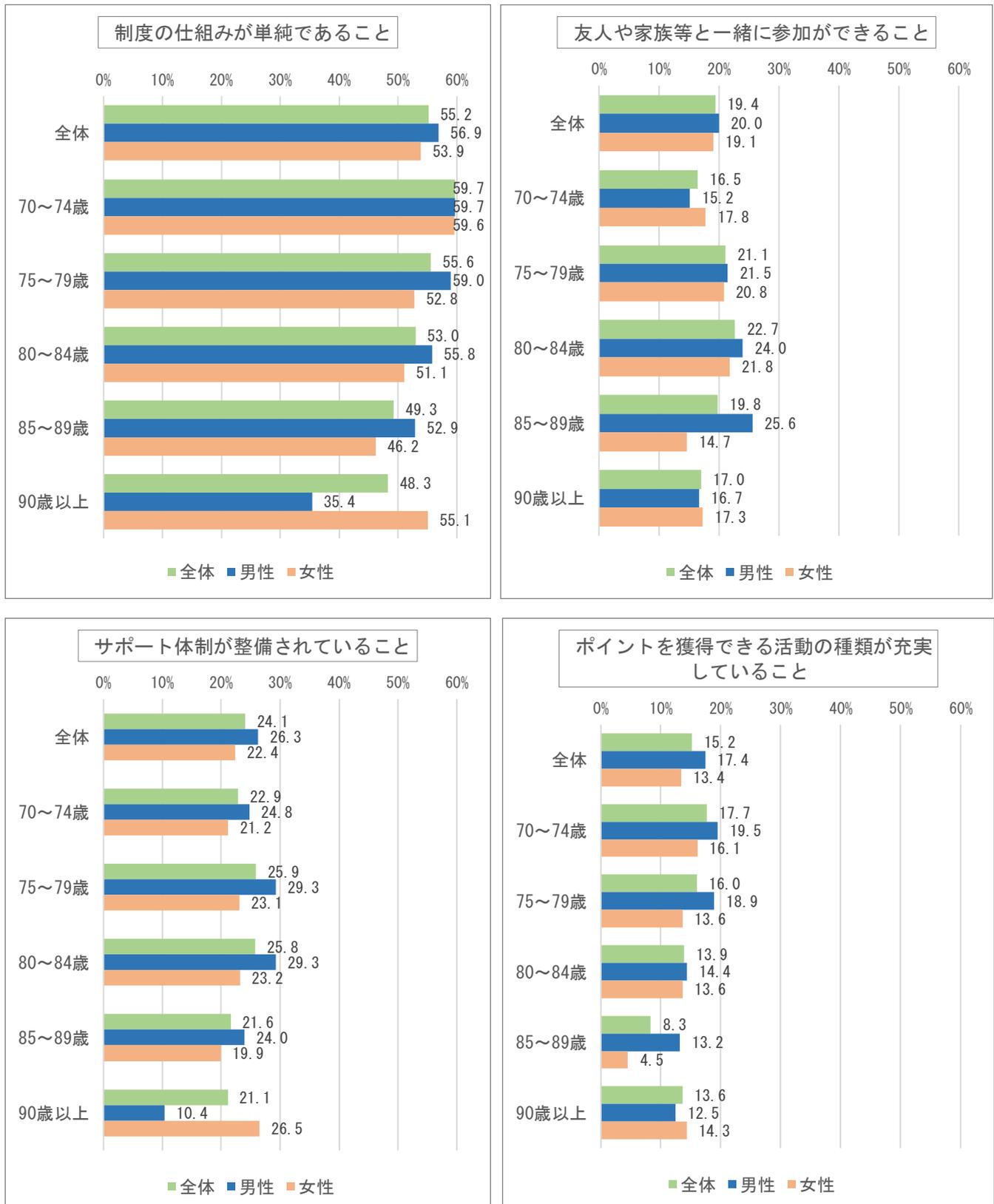
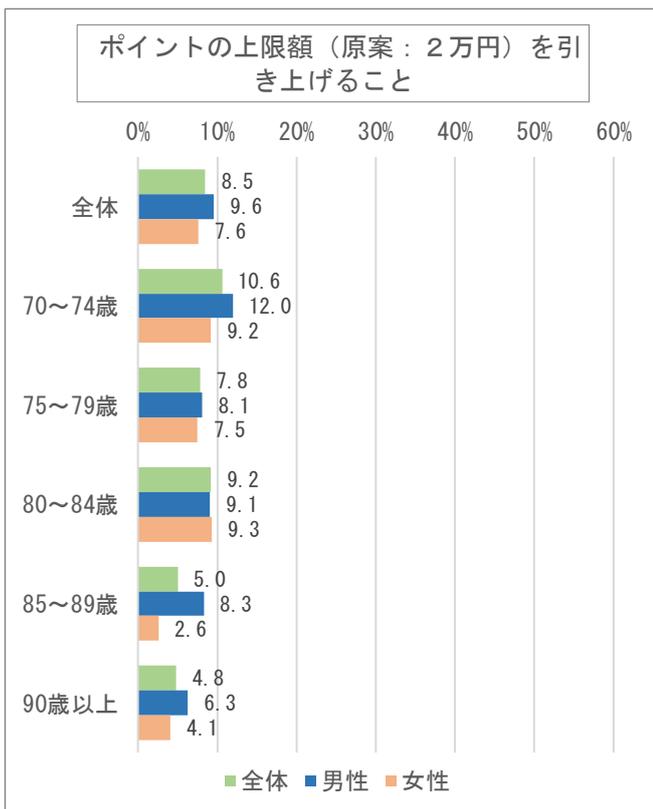
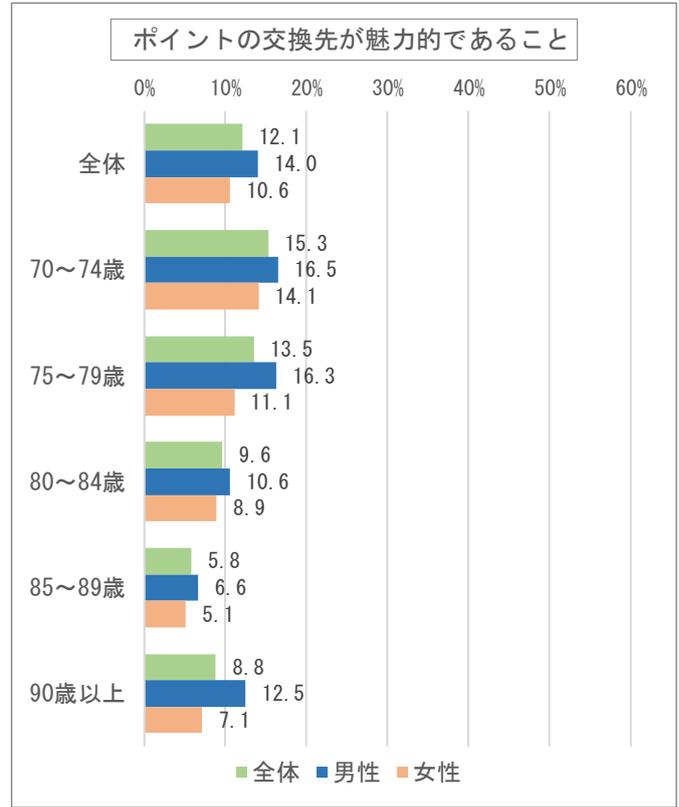
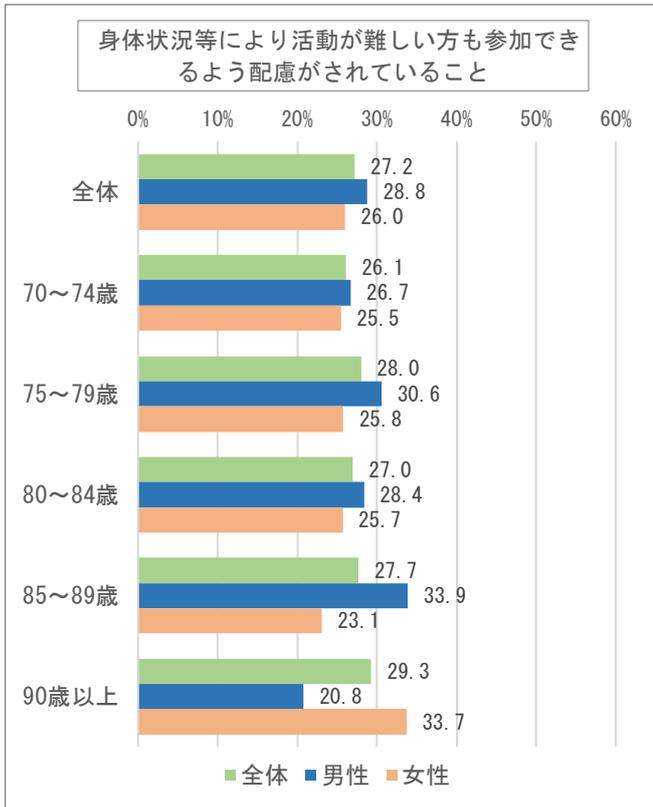


図 30-2 「敬老健康パス」の素案について（年齢・男女別）

（問 31 関係）

「敬老健康パス」の素案について、どのような仕組みがあれば多くの方が利用できると思うかを年齢・男女別にみると、「制度の仕組みが単純であること」は年代が上がるにつれて割合が低くなる傾向となっている。また、「サポート体制が充実していること」は、多くの年代で女性に比べて男性の割合が高くなっている。





Ⅱ 70 歳未満調査結果

1 健康に関する考え等について

図 1-1 健康寿命

(問 1 関係)

健康寿命という言葉を知っているかについてたずねたところ、「知っていた」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」(17.7%)、「知らなかった」(12.5%)となっている。

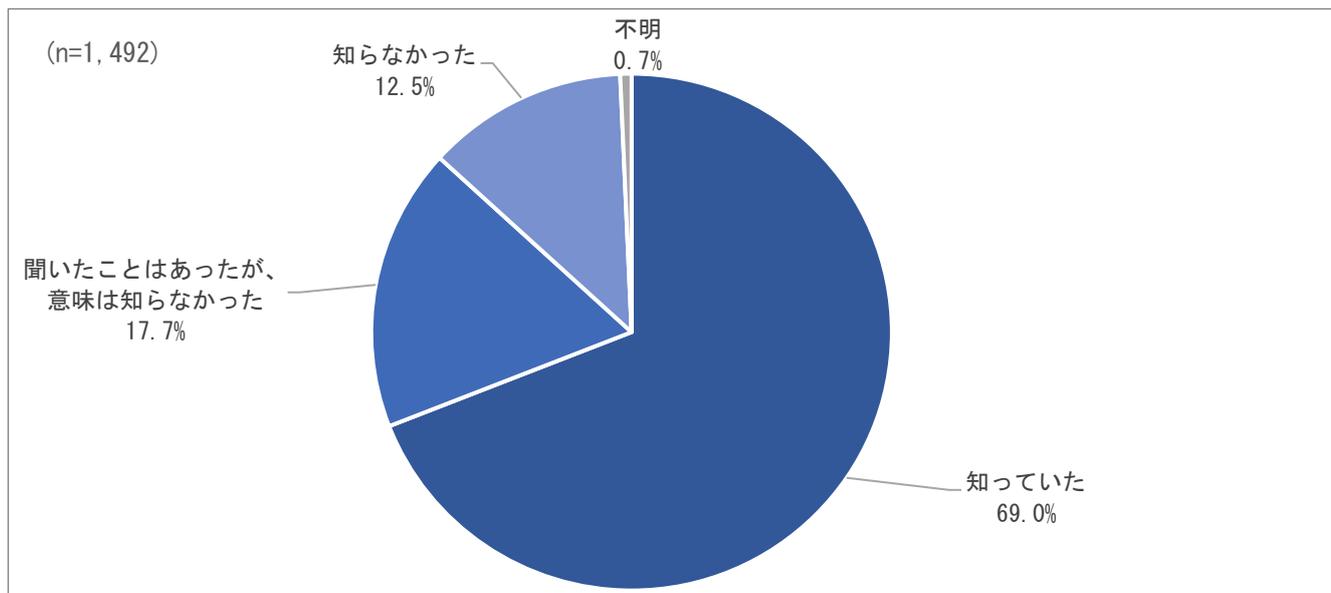


図 1-2 健康寿命（年代別）

（問 1 関係）

健康寿命という言葉を知っていたかを年代別にみると、「知っていた」の割合は 60～69 歳が 74.2%と最も高く、それ以下の年代においては、年齢が上がるほど割合が低くなっている。

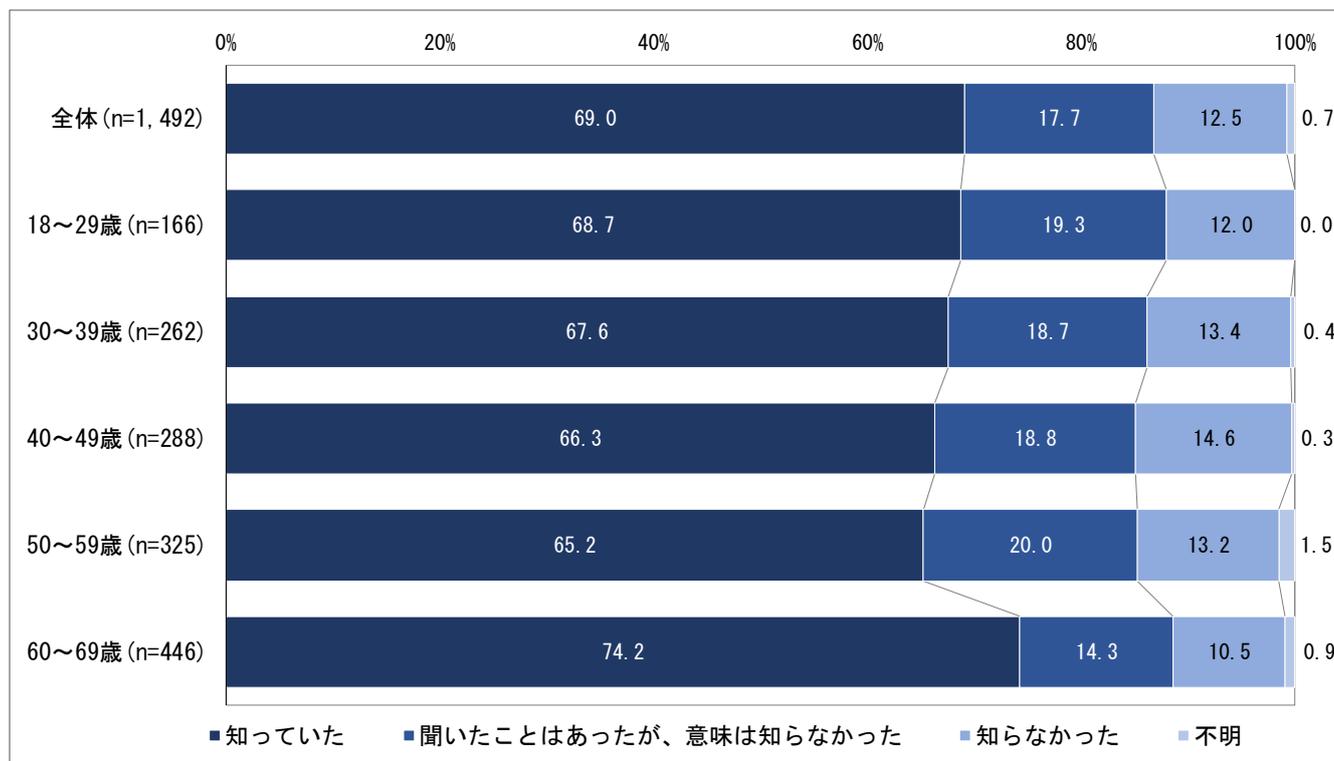
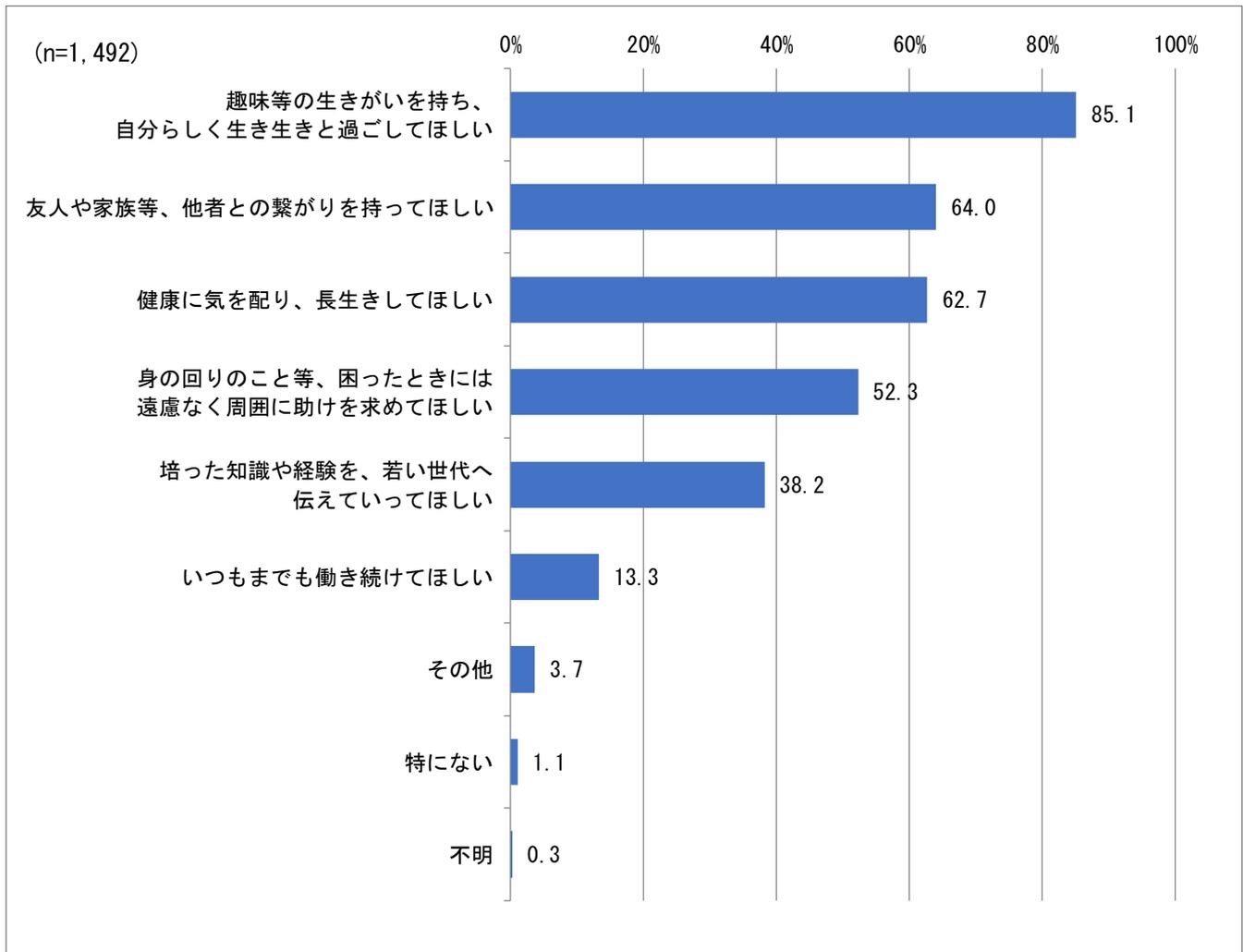


図 2 高齢者に過ごしてほしい人生

(問 2 関係)

身近な高齢者にどのような人生を過ごしてほしいかをたずねたところ、「趣味等の生きがいを持ち、自分らしく生き生きと過ごしてほしい」が 85.1%と最も高く、次いで「友人や家族等、他者との繋がりを持ってほしい」(64.0%)、「健康に気を配り、長生きしてほしい」(62.7%) となっている。



3 デジタル機器の活用について

図 3-1 スマートフォンの保有

(問 4 関係)

スマートフォンの保有についてたずねたところ、「はい」の割合が 95.6%、「いいえ」が 4.2%となっている。

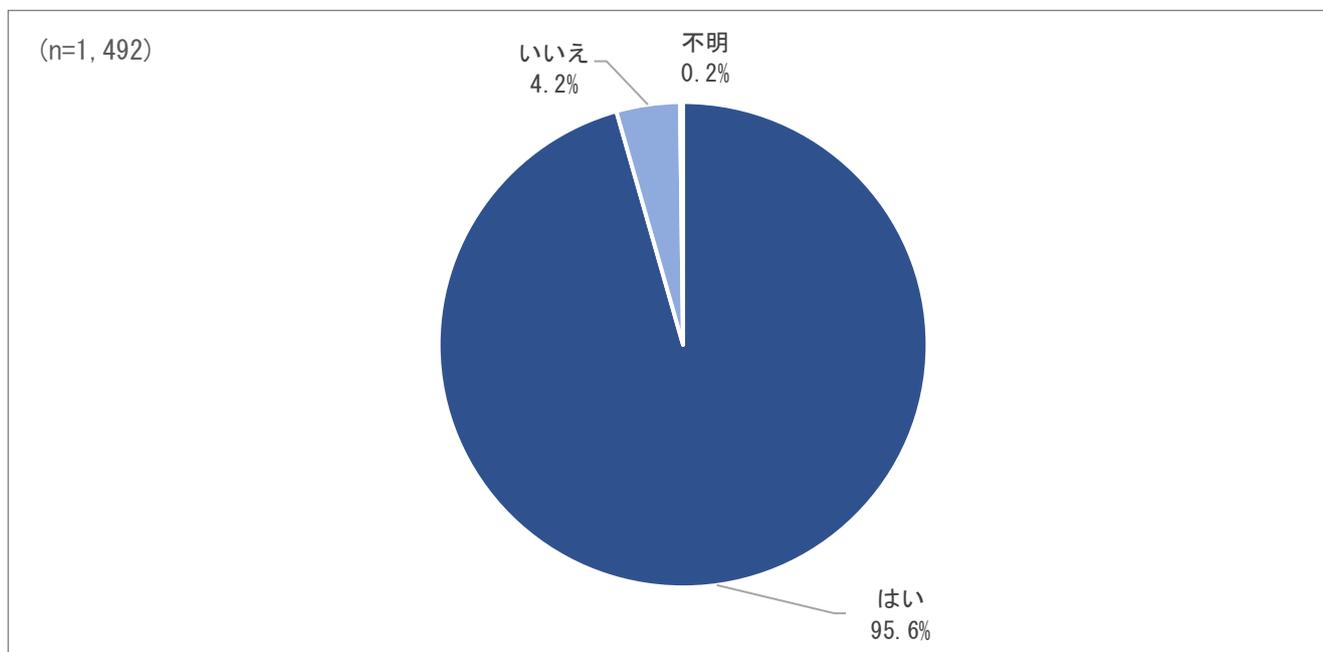


図 3-2 スマートフォンの保有（年齢別）

(問 4 関係)

スマートフォンの保有について年齢別にみると、18～29 歳では「はい」の割合が 99.4%と最も高く、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

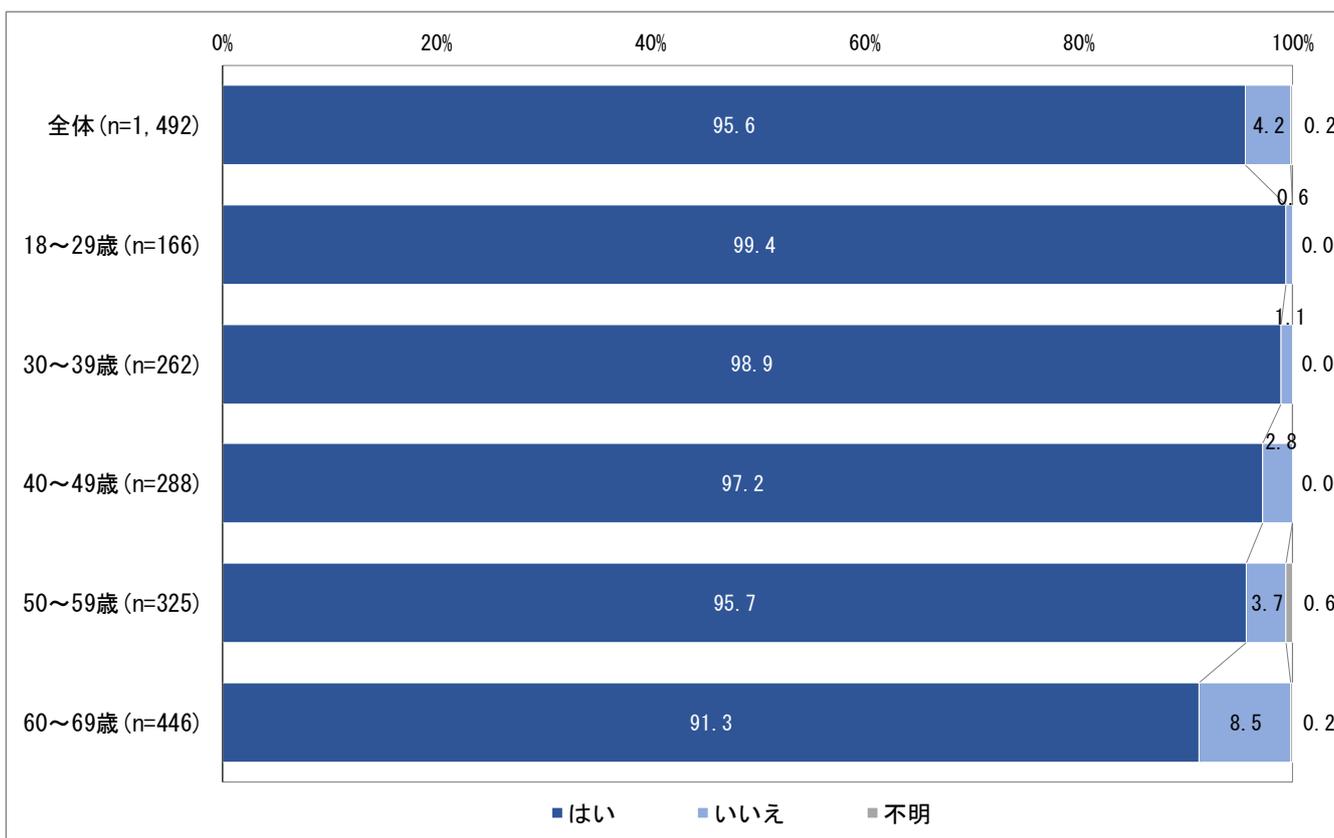
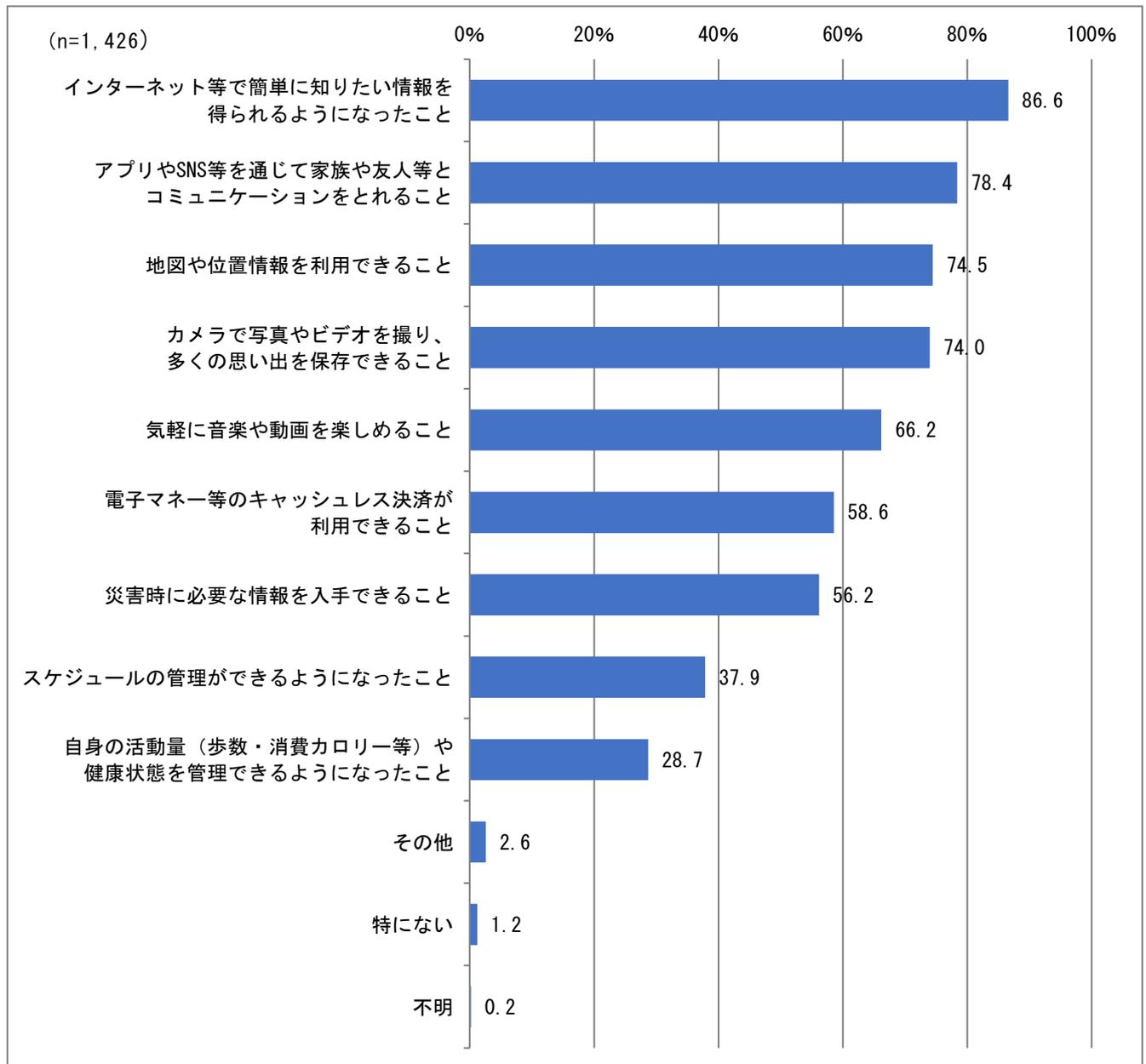


図 4 スマートフォンを持って便利になったこと

(問 5 関係)

スマートフォンを持っていると答えた方に、スマートフォンを持って便利になったことをたずねたところ、「インターネット等で簡単に知りたい情報を得られるようになったこと」が 86.6%と最も多く、次いで「アプリや SNS 等を通じて家族や友人等とコミュニケーションをとれること」(78.4%)、「地図や位置情報を利用できること」(74.5%)となっている。



3 敬老優待乗車証（敬老パス）の制度について

図 5-1 敬老優待乗車証制度について

（問 6 関係）

敬老優待乗車証制度を知っているかたずねたところ、「知っていた」の割合が 72.2%、「知らなかった」が 27.7%となっている。

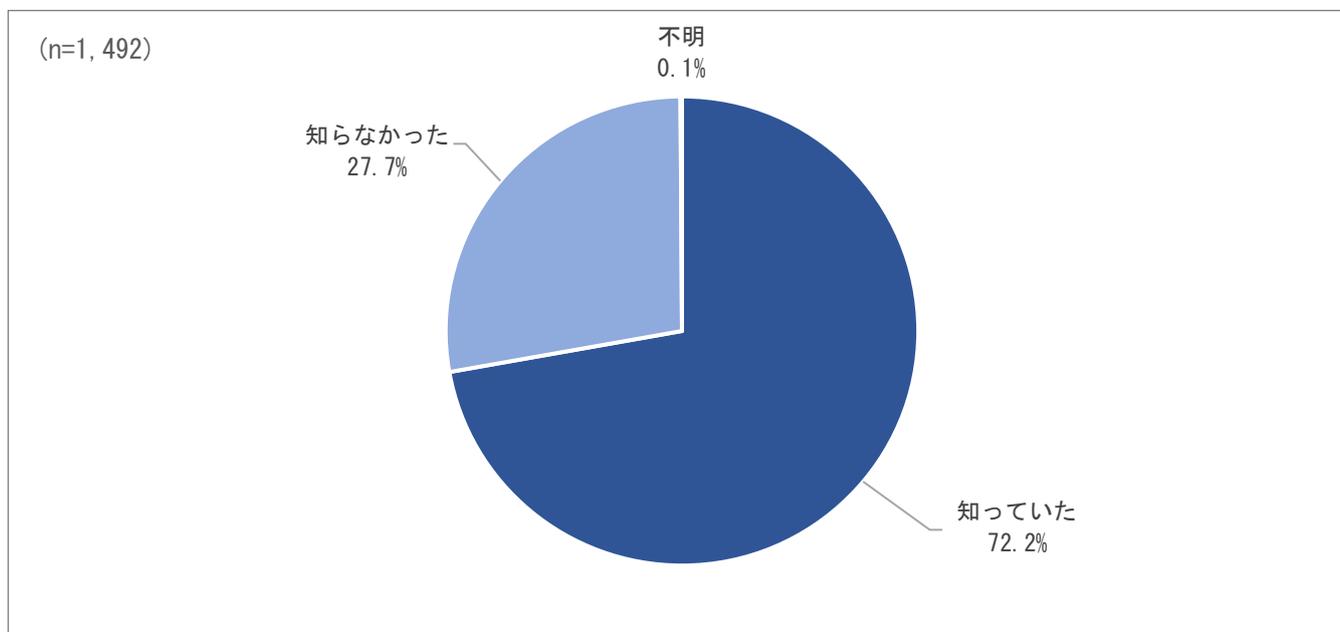


図 5-2 敬老優待乗車証制度について（年齢別）

（問 6 関係）

敬老優待乗車証制度を知っているかについて年齢別にみると、60～69 歳では「知っていた」の割合が 87.4%と最も高く、年齢が下がるにつれて「知っていた」の割合が低下し、18～29 歳では 49.4%となっている。

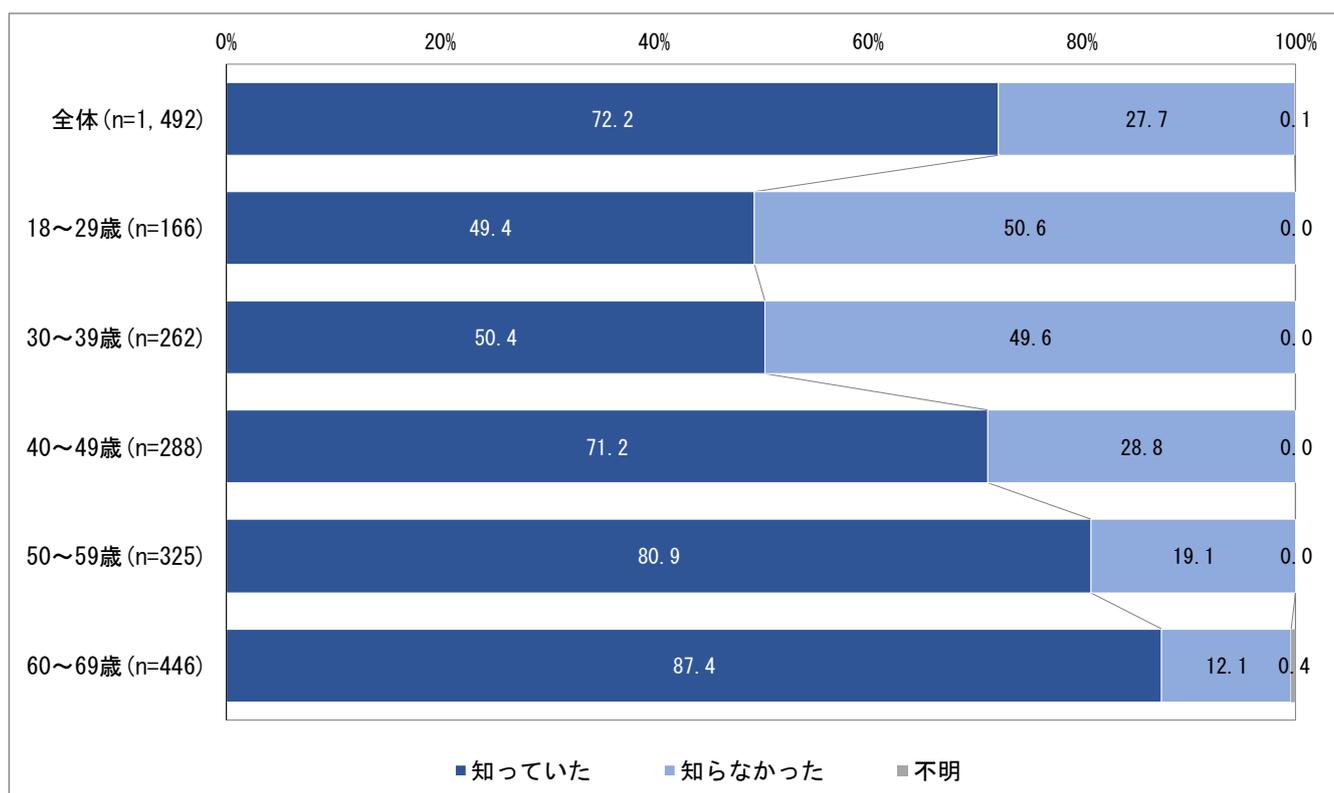


図 6 敬老優待乗車証制度の運営にかかる市税負担について

(問 7 関係)

敬老優待乗車証制度の運営に年間約 50 億円の市税が使用されていることを知っているかたずねたところ、「知っていた」の割合が 24.7%、「知らなかった」が 75.2%となっている。

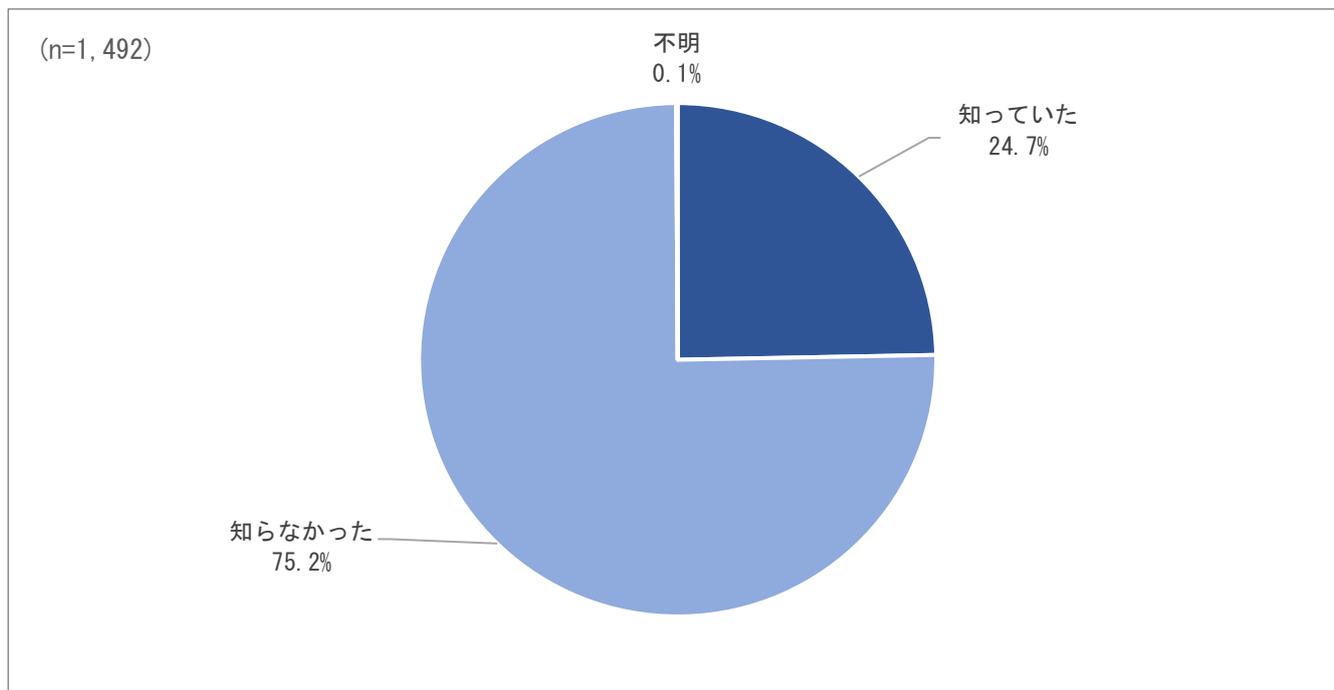


図 7 敬老優待乗車証制度の効果

(問 8 関係)

敬老優待乗車証制度が及ぼす効果についてたずねたところ、「高齢者の外出意欲が高まり、健康増進や介護予防を推進する効果」が 69.7% で最も多く、次いで「高齢者の公共交通機関の利用機会が増え、交通渋滞や交通事故を減らす効果」(60.2%)、「高齢者の買い物や外食をする機会が増え、消費を増やす効果」(49.7%) となっている。

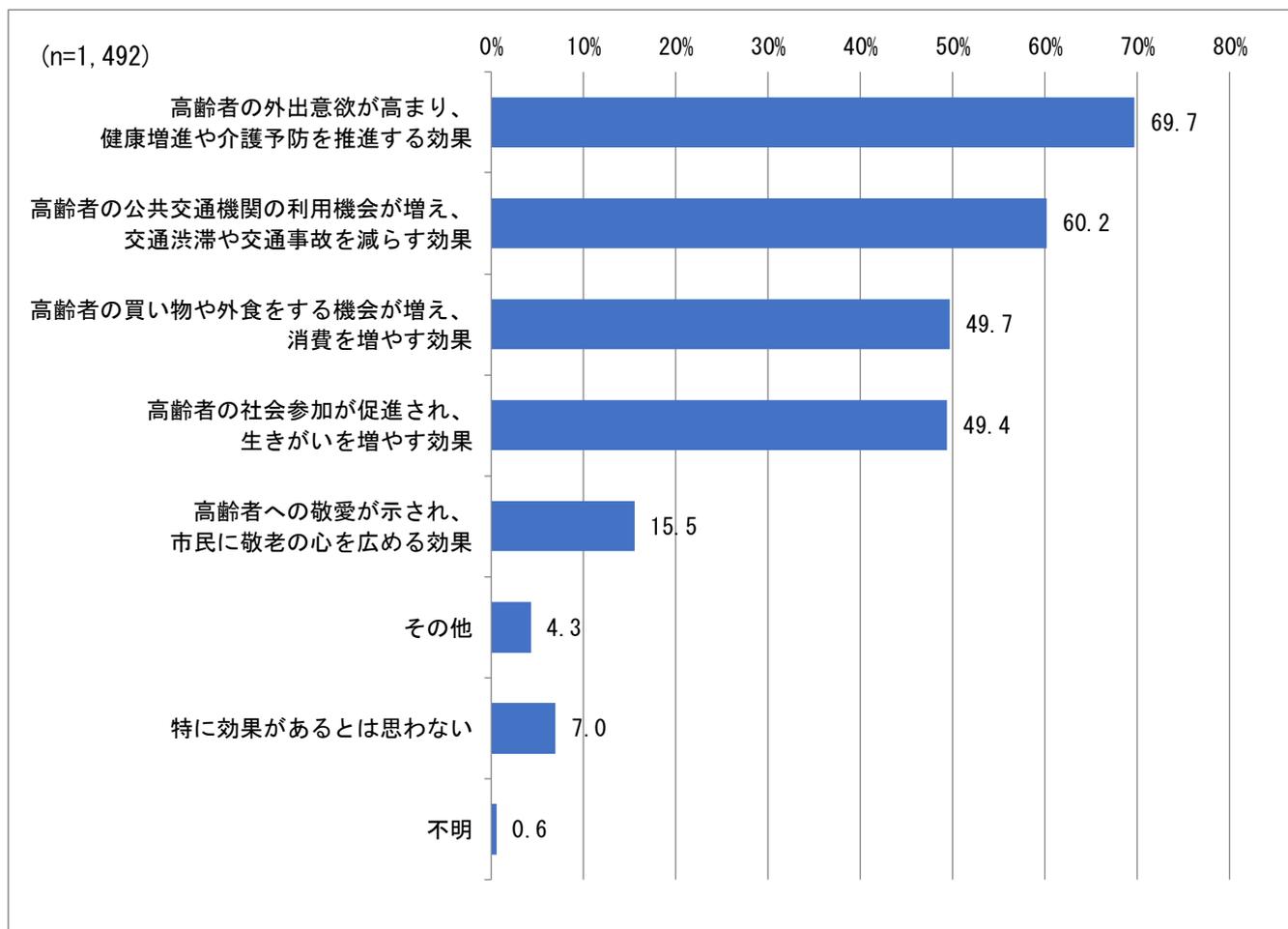


図 8-1 敬老優待乗車証の自己負担について

(問 9 関係)

敬老優待乗車証の自己負担に対する考え方についてたずねたところ、「ある程度の自己負担の増はやむを得ないと思う」の割合が 38.9%で最も高く、次いで「現在の自己負担を維持したほうが良いと思う」(34.0%)、「現在よりも自己負担を減らしたほうが良いと思う」(14.7%)となっている。

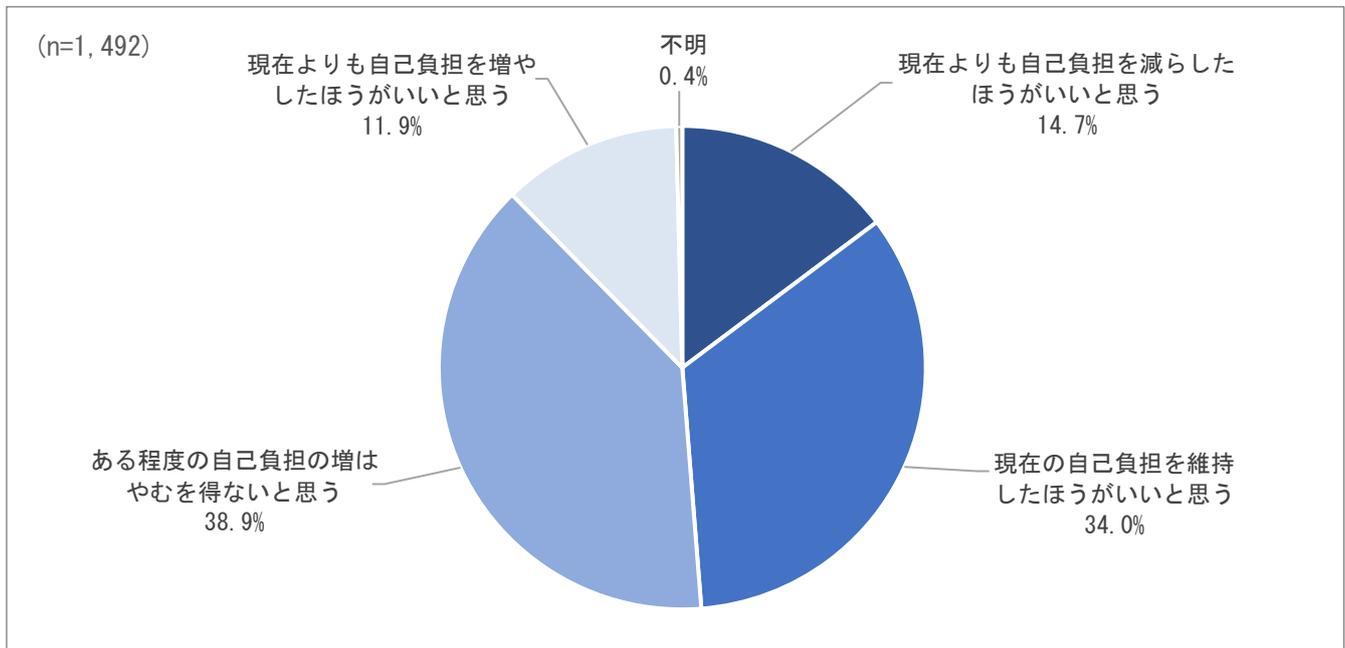


図 8-2 敬老優待乗車証の自己負担について (年齢別)

(問 9 関係)

敬老優待乗車証の自己負担に対する考え方を年齢別にみると、「ある程度の自己負担の増はやむを得ないと思う」の割合は、60～69歳で 38.1%と他の年代に比べて高くなっている。

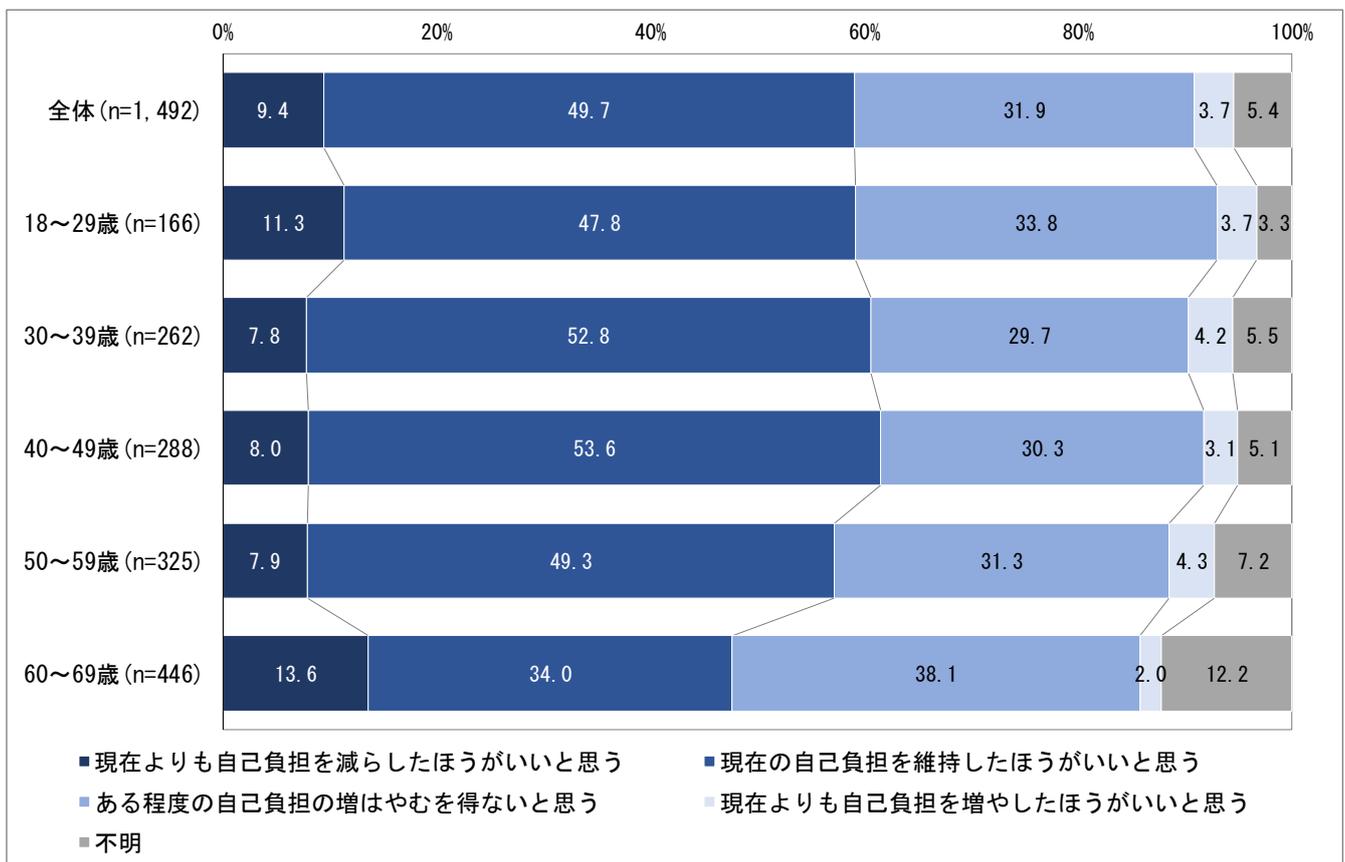


図 9-1 敬老優待乗車証制度の対象年齢について

(問 10 関係)

敬老優待乗車証制度の対象年齢についてたずねたところ、「現行の年齢（70 歳）のままがいいと思う」の割合が 61.8%で最も高く、次いで「現行の年齢（70 歳）よりも引き下げたほうがいいと思う」（17.6%）となっている。

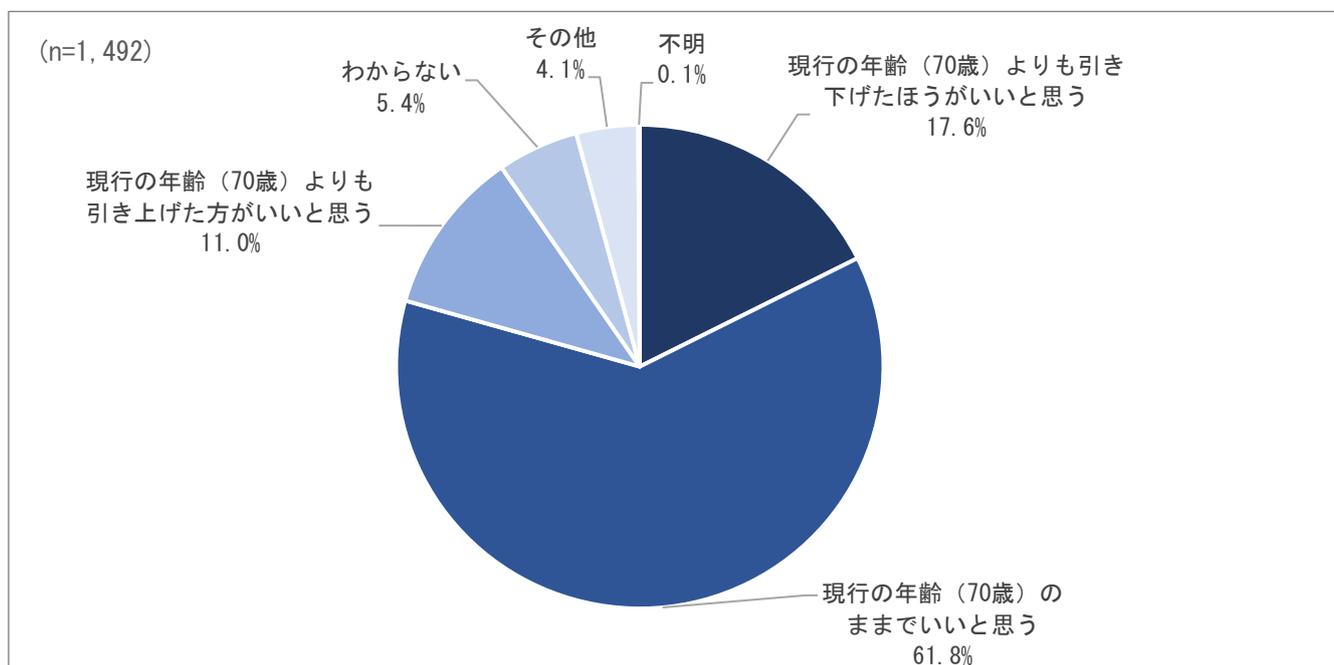


図 9-2 敬老優待乗車証制度の対象年齢について（年齢別）

(問 10 関係)

敬老優待乗車証制度の対象年齢に対する考えを年齢別にみると、「現行の年齢（70 歳）のままがいいと思う」の割合は、40～49 歳で 66.0%と最も高くなっている。

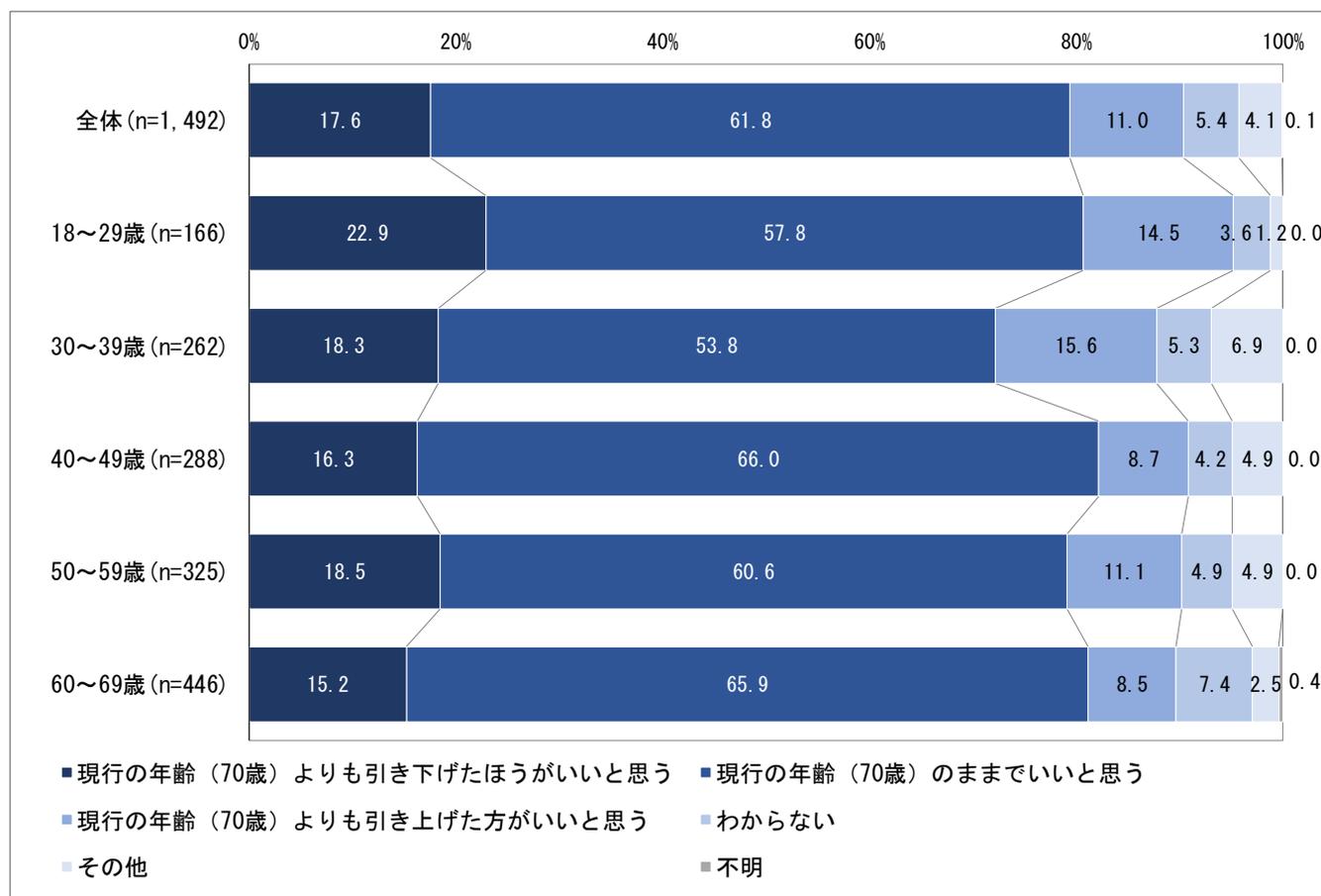
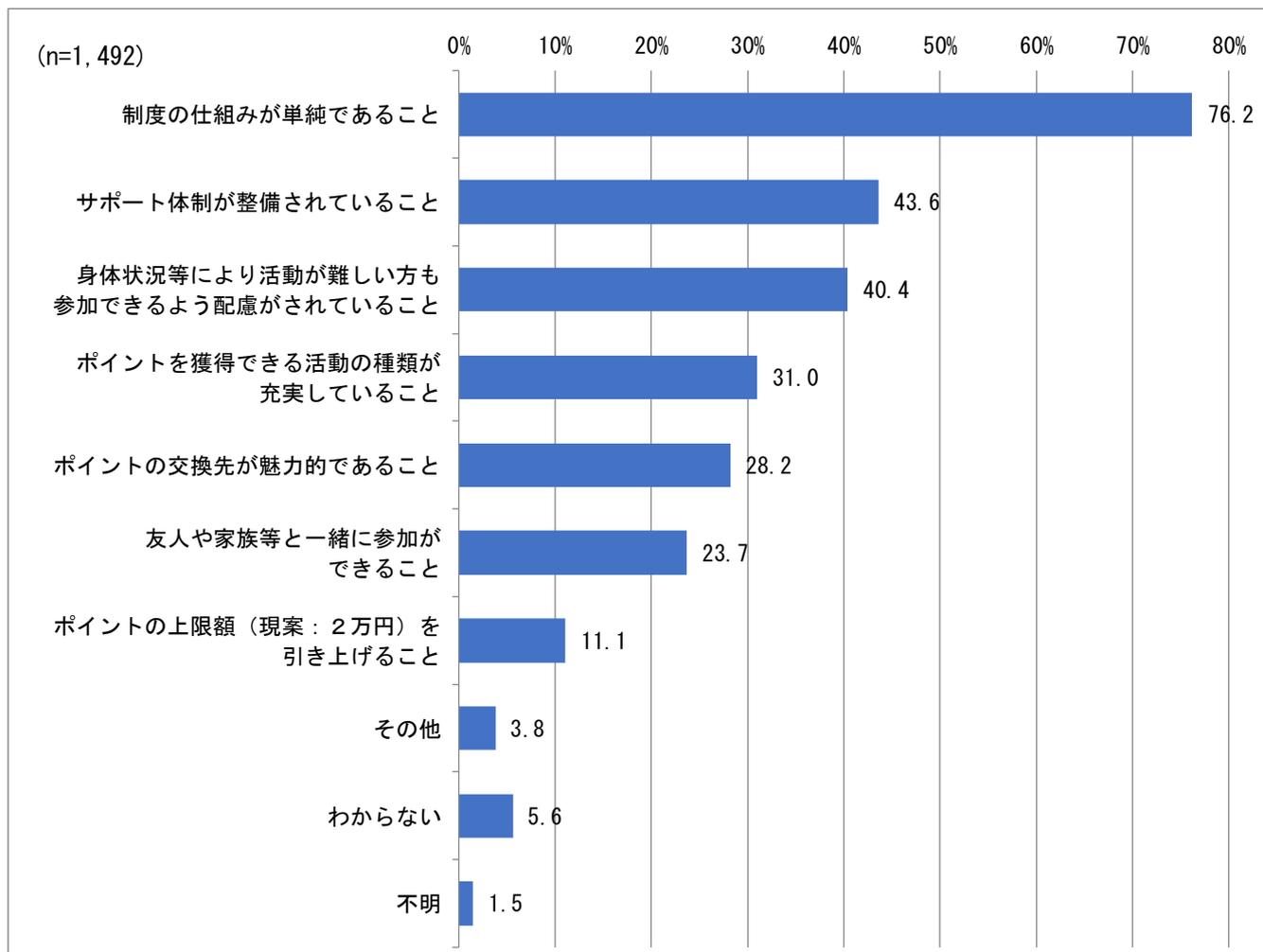


図 10 「敬老健康パス」の素案について

(問 11 関係)

「敬老健康パス」の素案について、どのような仕組みがあれば多くの方が利用できると思うかたずねたところ、「制度の仕組みが単純であること」が 76.2%と最も多く、次いで「サポート体制が整備されていること」(43.6%)、「身体状況等により活動が難しい方も参加できるよう配慮がされていること」(40.4%)となっている。



第 3 章 自由記載意見

【① 70歳以上（問32：敬老健康パスの素案について課題と感じた点があれば、ご自由にお書きください） 自由記載意見

年齢	居住区	自由記載意見
75～79歳	中央区	健康に対して、今以上に関心を持ってもらうことは良いことだと思います。まちづくりセンターなどでイベント開催すれば参加しやすく、ポイント獲得しやすいのではないかと。
80～84歳	南区	企画・立案されている事例を推し進めて下さい。
85～89歳	西区	60才まで延長されています。65才まで働いている方が多いのですが、給与は延長しても大分減少している方が多いです。私は79才まで現役で仕事をしましたが、65才以降は収入は2分の1になりました。敬老パスはその後(定年後)、9年間本当に助かりました。65才以上の方にパスが利用可能になると現役並みの仕事を継続していく上で有効に活動できる要因の一つになると考えます。
70～74歳	西区	ポイント獲得において、30代の頃からポイントをとるためにカードが配布される年齢になった時に使えるように理解を深めるように思う。
75～79歳	東区	敬老パスは今のままにしてほしいです。
75～79歳	中央区	これは敬老パスの負担増を狙ったアンケートですね。現状維持に越したことはないけど、まあお金のかかるオリンピックも消えたことだし、現状維持でいきましょう。皆オリンピックにかかる税金が減ってホッ。大阪万博じゃないけど、1972年のオリンピックとは経済効果も比べ物にならないほど小さいよ。
70～74歳	北区	敬老パスなんて言うってられない。生活がある。のん気なものだ。
75～79歳	豊平区	スマートフォンがうまく使えない。年寄りににはむずかしく無理。
70～74歳	手稲区	カードを発行してもらえば余計な予算がかかる。これからは固定電話のみでは参加する資格は。どうしたものでしょう。おつかれさまでした。
85～89歳	手稲区	大変お世話になっております。
75～79歳	豊平区	今のままで良いと思います。単純で使いやすい。70才以上であるため、色々なことが理解できないことが多くなくなっているため。
75～79歳	厚別区	今のままで使えることを望みます。とてもありがたいがたく外出も多くなり、健康のためにも大変便利に使っています。
85～89歳	北区	どのようにポイントをとらうの？手続きは難しいのでは？仮に散歩するときポイントつくとポイントのようにポイントつづけるのか不明なことばかりです。
80～84歳	豊平区	病院通いが多いので大変助かっています。
70～74歳	中央区	歩けない人や身体が不自由な人のポイントがたまらなければ公共機関を使う頻度が減る。そのため、外に出かける気が少なくなる。10000円は先に付与する。あとの10,000円は活動等により付与する。
80～84歳	厚別区	敬老パスのおかげで助かっています。年金では生活が大変。パスのおかげで病院に通って病気が早く気付け、助かります。帯状疱疹が2年間たちました。来年の8月で3年になります。後遺症が残ってつらい生活をしています。
75～79歳	南区	敬老健康パスの内容を簡単に知りたいたいで資料が欲しい。
80～84歳	中央区	安い料金で利用できるのが気楽に外出できていいと思います。
70～74歳	白石区	私は現在73歳です。今回夫が認知になり、車処分しても敬老バス助かります。12月6日白内障を手術し、付き添いで通院しています。ありがとうございます。長生きして良かったです。
100歳以上	西区	ポイントを得るために「活動に参加」はストレスを感じ、いやです。何かをしてポイントを得て、ポイントを利用する→面倒です。単純に今までのやり方が良いです。自己負担額が多くなってよいので、ポイント獲得等の制限をつけなく、今までのやり方をお願いします。シンプルイズベスト。
70～74歳	厚別区	市における予算が不明なので、素案に対し、良し悪しが判断できない。敬老健康パス利用により、利用しない人との比率により予算はどのくらい違うのか分からない。
85～89歳	中央区	敬老パスがなくなったら、車の免許は無理してでも返納をするのを伸ばすと思う。皆平等に2万円のポイントをとのことだと思いが、本当に健康寿命が延びるのか。アプリとかポイント面倒くさくて使わないかもしれせん。
75～79歳	清田区	ポイント利用が交通機関だけであればあまり魅力を感じない。
80～84歳	南区	街中に住む人と郊外に住んでる人の交通費はかなり違いがあると思う。
75～79歳	手稲区	老人に無駄な予算を使わないでください。長生きしすぎです。その分を保護福祉に回してください。
80～84歳	厚別区	今までの対応で十分である。財政的に厳しい所ですが、出向かなくなると活気のある生活は厳しい。年齢的に上げたり、下げたりは今まで通りでOK。年寄りが豊かで文化的な生活ができるのが札幌である。
70～74歳	手稲区	JRも使えたいと思います。
70～74歳	手稲区	行動しやすくなりました。お金が無くても歩くことができ、公園など散歩したりウィンドウショッピングしたり、色々な景色を楽しめる
80～84歳	厚別区	1. 敬老パスに無理して健康を結びつけなくても別の方法で市民に対する健康促進の方策を検討すべきと思う。2. Q6・Q7の意味が良く理解できない。3. 現在はマイカー利用がほとんどの生活だが、将来免許を返納すると交通機関に頼ることが多くなることを想像すると色々条件を定めなくて利用しやすくなることを希望したい。
85～89歳	北区	どのようなことをポイントとすることを不明だが、立場、環境など必ずしも毎日運動・散歩などできない人もいます。あまり、格好の良い条件でない方がよいと思う。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	東区
70～74歳	厚別区
70～74歳	東区
70～74歳	北区
75～79歳	中央区
75～79歳	中央区
75～79歳	厚別区
75～79歳	西区
80～84歳	北区
75～79歳	厚別区
75～79歳	中央区
75～79歳	中央区
80～84歳	清田区
75～79歳	厚別区
75～79歳	北区
80～84歳	東区
80～84歳	豊平区
75～79歳	西区
75～79歳	中央区
85～89歳	北区
75～79歳	手稲区
85～89歳	東区
85～89歳	東区
70～74歳	東区
80～84歳	西区
75～79歳	清田区
70～74歳	豊平区
75～79歳	北区

内容が複雑で良く分からない点が多いと思います。

年を取っていくと、病院に行くことが増えていくので、行きたい病院に敬老健康パスが使える交通機関があれば最高です。

エレベーターがどの出口にもあると使いやすい。最初から2,000円で良い。バスレーンをたくさん増やしても良いのではないかと。バス優先の標識があってもいいと思う。①はがきで必要かどうか案内して必要でない人には封書で納付書等送らなくてもいいのではないかと。②人手が必要な時期だけのアルバイト等の対応で、経費を抑えてはどうか③納付書の枚数を少なくしてもいいのでは。

誰でも利用しやすい仕組みとなるかどうか。寿命は延びたいが、理解力にはかなり差があり、75～76歳で新しいものを利用しにくくなる人も多い。

ポイント制は高齢者には無理のような気がします。高齢者の社会参加、健康維持にはあまり役立ちとは思えません。

操作の複雑が高齢者にとって厳しい選択となるだろう。50億円予算は小さいと感じますが、改善を考えるのであれば7万円上限枠の引き下げを図ることが解決策と考えます。

現在に満足。

敬老健康パスの素案費成です。できれば外出の回数が多くなります。期待しています。特にJ.Rの利用。

情報を詳しく知らせほしい。

賛成です実現してください！

今の状態で良いと思います。

札幌オリビックがなくなると今、私たち77歳になって主人は免許を返納、大病になっているので足となるバス、バスのパスが2万円になるのでは3箇所病院と買い物はどう行けばいいのですか。令和4年は7万円全部使いました。2万円では足りません。現行でお願いいたします。

上限額20,000円ちょうどよい。

敬老バスは他の都市にはない制度なので、このままずっと続けてほしいです。

スマートフォンを持参しているが、利用方法が困難だと頭が痛くなるので簡単にしてほしい。

運転免許を返納したのでとても助かっています。

敬老バスを利用できる方々は健康であることが絶対条件で、そのためには歩くこと＝健康維持の助けになる敬老健康バスは、有意義の制度である。長く続けてほしいと願う。

70歳くらいの方が一番はつらつとして元気に外出しているのではないのでしょうか。高齢になれば一人での外出はムリです。バスがあるので私は西区に住んでいますが、白石・南区に行くとき1,000円くらい乗り換え料がかかります。考えながら行動しています。これからも期待しています。よろしくお願いたします。

私の場合、素案が決定されれば交通費が大幅に増額され、今の活動を制限せざるを得なくなりますが。老人の健康は、個人により大きな差異があります。活動的な老人に対しても、限度額7万→2万円は極端すぎます。せめて5万円くらいになる事を希望します。

市の予算が無理がかららない。

J.Rが利用できるかと嬉しい。歩くことでポイントが獲得できなくなってきたので、他の方法がたくさんあるといいかも。図書館とか福祉センター、区役所とか市の施設にあった場合など。

これからも敬老バスの件、よろしくお願いたします。

ポイントカードについて誰でもわかるように説明お願いたします。特にポイント利用について。これからはだれでもスマホを持たないと生きていけないのでしょうか。

スマートフォンの利用することに対して高齢者は助言者がいないと難しい、また、持っていない人も多いと思う。

今年度札幌市は町内会に対して積極的に町内会活動に対して付与すべきと考えます。事業参加とは具体的にどのようなイメージなのか。町内会活動も含まれるのか。

年ですすが現在車運転してますので大丈夫です。

札幌市の財源が大変な中、70歳でのバス支給を維持していただけたらありがたいです。

敬老健康バスを使うバス路線の本数と駅までの路線が少なくなり不便になった。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	中央区
①敬老バスで不利益を被る人はいないので文句を言う人も少ないと思う。②文句を言う人が少ないから役に立たないと思う。③要は費用対効果という観点で見ると全く無駄なことをやっていると。④対象者の平均チャージ額は11,431円、チャージ者の割合0円が56.8%私のように7万円全額使用者は働いている人が多く、勤務先から交通費が支給され、いわば二重取りである。⑤また、私の妻のようにチャージ額が1万円の人は公共交通機関で出ることが少ないけど一応チャージしようとする人が多いと感じます。⑥周りにいる70歳以上の人で、なぜチャージしないのか聞くとも聞かなくてチャージするのにお金が必要と答えることが多い。⑦要は生活の苦しい人は健康づくりに社会参加への後押しとか言っても、せいぜい1,000円で10,000円チャージがいい所であって健康を害している人は見向きもしないと思います。⑧要は3万円以上チャージして人15.2%はそれほど生活苦しくなくていい人だと思いたい。⑨すでにチャージ額の減額が決まっているようでありすが、その理由が高齢者が増えて予算の問題だからではなく、この制度が費用対効果でいかにか無駄なくよく検討していただきたい。せいぜい1,000円10,000円というのは残すぐらいにしてそれで予算の使い道を検討すべきだと思います。	
80～84歳	中央区
敬老と頭につくのが煩わしい。	
75～79歳	中央区
年2万少し使用したが、これは結構忙しい外出です。通勤に使用するためにも2万円が十分と思う。逆に運動不足になる人にも必要なのか。イランかどこかで、河川敷に大人が使用する固定の運動具があったが、散歩しながらでも日常使わない筋肉も鍛えられていいなあと。日本にはみない所でした。	
90～94歳	白石区
70歳から80歳代の交通機関を使える方がいいと思うが、使用できない場合はタクシーしかなく、高齢になるにつれてタクシーの使用頻度が多くなるため、タクシーの割引などがあれば札幌市民として助かります。	
75～79歳	中央区
物価高が続くので、この制度が長く続くことを望みます。	
75～79歳	中央区
タクシー利用ができるようにしてほしい。例)初乗り運賃分を敬老バスで支払う、増加分を個人払い。	
70～74歳	西区
ポイントが欲しい。ポイントが欲しくてやる物か。	
75～79歳	厚別区
ポイントはいい。高齢者には利用するのに難しいし、マイナポイントの時も区にはポイントで取得するよう期限を決め、役所で困っている高齢者をたくさん見ました。余計な事はせず、バスが必要な人のみ負担して利用した方がいい。ただ、負担額は年金者で上限まで利用する方には負担が高いです。	
75～79歳	東区
ポイント利用が複雑で高齢者には不向きだと思います。自己負担があっても、今の制度の方が簡単でいいと思います。	
75～79歳	厚別区
現在の継続を希望します。	
75～79歳	豊平区
スマートフォンの使用してアプリでポイントを得ることが難しい。	
70～74歳	南区
敬老健康バスは健康な方は一度も利用しないので、敬老バスが増える回数が増えるといいと思います。	
75～79歳	南区
私ですが、骨折をたびたびします。ポイント制は反対です。歩きたくとも自宅、病院生活が続きます。治れば天気の良い日には毎日7千歩歩きます。プールでのウォーキングも続けます。今までの制度をそのままにして、負担金を増やしてほしいです。高齢者の方はアプリとかもわからない方が多いと思います。もちろん私もできません。頭の回転も若い時と違います。高齢の方も分かりやすく、利用しやすいペーパーが最適です。	
70～74歳	北区
今の時代、事業参加をした場合に比べてポイントを獲得できる制度はいい方法かもしれませんね。	
85～89歳	東区
タクシーにも利用ができるのはいいいが、上限が2万円では回数でなくなり、改悪、さらに歩いてのポイント付与というが、足腰が弱ってタクシー利用と併用しているのにポイント付与など不便の上なし。	
80～84歳	中央区
ポイント評価は獲得しづらいです。負担の上限をあげて発行してください。	
80～84歳	厚別区
敬老健康バスに制度が変わるとどのくらい経費が節減できますか。	
80～84歳	東区
少なくとも現在より良い方向だと思います。	
80～84歳	北区
写真のついたバスって無理ですかね。交付郵便局の手間と言っても、毎日多人数ということはないように思うのですが、スマホをもっています、電話にしか使えませんが、アプリだポイントだと言われてもチャリンカンカン、ポイントカードとやらの説明と交付が無ければなんだから今より不都合になるのでは？	
75～79歳	東区
分かりやすくしてほしい。	
85～89歳	厚別区
ポイント、現実的でない。	
80～84歳	豊平区
画期的であると思えた。	
75～79歳	東区
一部の方だけが利用する制度になりそう。	
85～89歳	厚別区
タクシーチケット敬老バスがタクシーにも利用できるとかなり便利。年を取ると足が弱るため。	
75～79歳	白石区
例えば歩いたり人と触れ合うとどんな風になるのか今一つ理解不明でした。制度自体は良いと思います。	
70～74歳	北区
ポイント制とかしないで今まで通りで良いと思います。地下鉄に乗って、ウォーキングしに行ったり、買い物に行ったりとありがたく思っています。特に冬はチカホで歩けることが何よりあります。雪の心配もなくなり、滑らなくて思いっきり歩けます。	
記載なし	記載なし
年間50歳を他の事に使用せよ。上下水道工事。自然災害等。	
80～84歳	東区
チャージを駅でできませんか。	

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	清田区
85～89歳	清田区
70～74歳	中央区
70～74歳	厚別区
75～79歳	手稲区
80～84歳	中央区
75～79歳	北区
70～74歳	北区
75～79歳	北区
70～74歳	白石区
80～84歳	北区
85～89歳	厚別区
75～79歳	清田区
80～84歳	北区
70～74歳	白石区
75～79歳	中央区
75～79歳	中央区
85～89歳	白石区
70～74歳	北区
70～74歳	中央区
85～89歳	厚別区
80～84歳	東区
70～74歳	厚別区
70～74歳	豊平区
85～89歳	白石区
70～74歳	中央区
85～89歳	西区
75～79歳	南区
70～74歳	東区
80～84歳	厚別区

敬老パスの事案を読みましたが、イメージがわきませんが、誰でも20000円までは無料でバスを使えると思いましたが、そうではないようです。活動に参加しないとポイントをももらえないことのように活動するのには、バスに乗ったり地下鉄に乗ったりしなくてはならないのならば、とんでもない話です。敬老パスがあることで冬でもよっと買い物に行ったり老人福祉センターに行こうと思いますが、有料になると地下鉄にも乗れません。年々とも歩けるのが大変になり、特に冬は大通まで出るのに、バス、地下鉄に乗ります。往復すると千円近くになります。実費になると大通や駅前に行くのもなくなってしまう。すぐ近くに活動できる場所をたくさん設けてください。

現行のままが良いと思います。

交通とはどうあるべきかという、目的・ビジョンの明確化が大事であると思う。そしてどういう街づくりを目指すのかが重要と思われる。

現状の分析が甘いように感じる。具体的なデータを公示してもらいたい(アンケート調査対象→歩くのが大変な人、現役で仕事して車を利用している人とか敬老パスを利用していない人数に入っているのではないかと思う)。ポイント獲得できる人は限られる人、人とのふれあい等が出来る人等の割合は少ない。どれだけ活動しても2万円が上限であれば限られた活動になる可能性がある。

ポイントについて知らない。

無料カードにすること。

身体障がい者でバスに乗れないので地下鉄があいの里まできたら多分いっぱい利用すると思います。

アプリ、ポイントカードはいいから、パスの使用範囲を広げるとは良い。J R、タクシー。負担金が少なくて助かります。車の運転をやめればすべて公共交通機関利用となるので、上限設定を下げないでほしい。

理解ができていないのでわからない。

高齢者には理解しづらいのではないか。利用できる人のメリットが拡大するが、利用できない人との格差が大きくなり、不公平な面もある。

確かに外出時の料金が安く済むので助かるが、用事もないのなら外用はしない方が安全であると思う。外出が必要の時は金額がはっても外出すると思う。

だんだん歩けなくなりタクシーが多くなっている。特に課題と感じた点はない。

我が家はスマホは夫と共有です。今のところは二人とも無識ですし、外出するときどちらかが持っていてほしいので、2台持てばそれなりに費用がかかりました。敬老の人達を相手にしている制度なら色々な色んな暮らし方を考えてほしい。ポイントより現物です。

敬老健康パスの案については理解できましたが、70歳以上の使用(パス)者はほとんどの方が日常生活の移動として利用しています。運転免許返納者である私もその一人です。札幌市はバス～地下鉄及びJ Rと、道内ではこの街に住んで移動(交通機関)に特に不便を感じたことはありません。この点では私達市民は他の市町村の方々よりも恵まれていると感謝しております。

敬老パスの説明書の字は大きく書いてほしい。

スマホ使いこなせないと思う。多分無理かな？

別にありません。敬老パスを使用するたび、ありがたく思っています。これからもよろしくお願ひします。

ありがたく感謝しています。

所得制限を設けるべき。年齢を75歳以上とすべき。健康に関するセミナー等を市主催で開催すべし。体育館の利用費用を安くすべし。地区会館をもっと活用した方がよい。なぜ今健康パスなのかをもっと説明すべし。私のように健保を年に1回も使用しなかった方に何か特典を用意すべし。

J Rも利用できると思うのですが。

札幌市が敬老パス制度が制定され私にとって大変有益に利用させていただいています。昨年まで無償ボランティアを2か所程やっていたので、交通費も自己負担であったため70,000円のバスが1年未満で使用できます(約10ヵ月程)でした。令和4年から1か所のボランティアの面で現在は「シバリア」拘留体験語るの会」のボランティアを続けています。

健康的不安がある人が参加するのは難しいし、目に不安のある人も難しいと感じている。ポイント制度は我々には難しいと感じる。

説明が足りなくなりました。

シニアアルバイトで仕事をしているので、チャージ回数が増えるので現行のまま続けていただきたい。

利用資格のなさそうな人が使っているのを時々見るのがあるので、そのへんを厳格にチェックし、見つけた時は重い罰金を取ることにする。不正利用は見つかった時大変だ。と教えるためにも。

ポイントアプリのインストール、ポイントの利用方法は、簡単にできるようにしてほしい。例えばポイントが一定ポイントに達するとバスにチャージできるようにするとか。

市営交通だけでなく、J R等の利用もできるようになれば良いと思う。

まだよくわからないので、簡単な制度にしてほしい(ポイントの件)。

収入に納得した敬老パスにしてよと思う。年金が多い人、財産の多い人には少し考えてみてはいいかですか。一律でなく、非課税の人の事をよく考えて下さい。

敬老パスだけで充分。敬老健康パス不要です。敬老健康パスに時間も人もお金も使うことは反対です。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	東区
85～89歳	西区
70～74歳	中央区
70～74歳	白石区
70～74歳	白石区
70～74歳	東区
85～89歳	中央区
75～79歳	豊平区
75～79歳	豊平区
70～74歳	白石区
70～74歳	手稲区
75～79歳	西区
70～74歳	西区
70～74歳	西区
80～84歳	清田区
75～79歳	南区
75～79歳	手稲区
90～94歳	手稲区
80～84歳	東区
75～79歳	手稲区
80～84歳	中央区
75～79歳	豊平区
75～79歳	西区
80～84歳	清田区
85～89歳	西区
70～74歳	北区
現状のままで十分満足でありがたいことと思っております。	
<p>「敬老健康パス」に変更することですが、抽象的で具体的に欠けるため、意見を求められなくても回答できなないのが現状です。また行事への参加を考えているようですが、年代的には70代くらいまでが限度で、80代以降には無理な年代です。80代以降の切り捨てを考えているように感じます。このチラシを読んで疑問に感じたことを列挙しますと、次のとおりです。①これまでよりも多くの人に参加して頂けるように、自己負担金を廃止し、現在のチャージ額に自己負担金制度を無くすることですか。②アプリやポイントカードを活用して、活動に応じたポイントを獲得するよう考えているようですが、病弱で病院のみしか行くことがない人は、病院からポイントをもらうことになるのですか、現実的ではないと感じます。③この素案を考えたのは、元気で活動が活発な年代の人だと思いが、私のように80代になると一年一年の衰えが激しく、気持ちとして行事に参加しようと思っても、体がゆくことをきいてくれないが普通です。④立派なチラシを作成して送付されてきたが、経費の無駄遣いと思う面があります。素案にしても具体的なことほしかったです。以上の事から、「敬老パス」制度がよりよい制度だと考えます。もし、ポイント制度を加味したいと考えているのなら、大幅な変更でなく、現行に追加する程度でよろしいのではないのでしょうか。</p>	
<p>敬老パス、敬老健康パスは別のものと思う。低所得者(自分)は可能な限り交通機関は使わない等(荷が重くなくと帰りはバスの二区間乗車することがあり)。マイカーで移動されていた知人は近くでも交通機関を利用される。もちろんお元気な方です。</p>	
<p>高齢者にとつてスマホのアプリ管理は難しいと思う。自分自身苦手である。</p>	
<p>高齢者で車椅子や介護が必要な人はどのようにしてポイントが得られるか不明。また都心に近い人は地下鉄駅に行くよりは歩いて目的地に着く方が時間的に早く達する。また人とのふれあいが苦手な人も地下鉄やバスに乗りたくない人もいるが、このような場合、パスは得られるのか？</p>	
<p>敬老パスにより意識に変化が生じ、公共交通機関の使用が非常に増えた。制度の仕組みは単純であることが一番であると思う。使い方は各個人の方々にまかせて、手先の制度設定(ポイント等)は行政のエゴであり不用。</p>	
<p>従来の物で十分である。</p>	
<p>他の市町村に比べて、札幌市民であって恵まれていると常々感じている。</p>	
<p>バス路線の廃止や本数の削減で行動が滞まるように感じています。タクシーもなかなかききたくれません。自己負担があっても一年間で70,000円使用できることはとても有難いことです。</p>	
<p>ポイントの事は理解できてません。もう少し年寄りでも理解できるように説明してほしいです。</p>	
<p>JRタクシーの利用ができると良いと思います。バス地下鉄の利用は難しい。地下鉄は近くにない。</p>	
<p>アプリインストールの際、操作が簡略であること。</p>	
<p>敬老健康パスですから身体障がい者になりましてからは車移動が増えて福祉の面との両立できず様々な制度へ発展していただければ社会参加も続けられて健康寿命を上げられると思う。</p>	
<p>必要な人であれば年金を下げても良い。敬老パスを使用する事は税金を使う事。他に使用した方が良い。</p>	
<p>①後期高齢者になると歩きや活動に参加することができなくなりポイントの獲得ができなくなり、貯まったポイントを交換するのが面倒。②ポイント利用が交換2万円では少なすぎる。月にすると1,666円でバスの往復最低金額でも4回しか乗れない。③スマートフォンが使えなくなっていく。④高齢者の外出を妨げる素案だと思ふ。</p>	
<p>スマホがあってもアプリ等の利用が心配で使いたくない。</p>	
<p>利用できるよう年金者の金額のアップしてほしい。</p>	
<p>バスの経路がわからないので利用できないです。他市より移住のため。</p>	
<p>チャージ額は30,000円あれば充分だと思えますので、改善すべきではないでしょうか。</p>	
<p>敬老パスを縮小することについては絶対反対だ！それがこのように考えた。</p>	
<p>敬老健康パスの制度がよくわからない。</p>	
<p>2万円は少なすぎる。5万円を下るのは大変こまる。</p>	
<p>あまり面倒なことにはよくわからない。今までのようにわかりやすいほうが良いと思う。</p>	
<p>自己負担金を廃止することですが、その場合運用方法がどうなるのかわかりません。</p>	
<p>敬老者は健康者と行動力、速度が違う。各々違う組織を考えると、お金はかかりませんが、</p>	
<p>通勤費をもらって、敬老パスを利用している旨の話を聞くことがあり、市民の税金が適切に使われていない場合があるのでは。</p>	
<p>敬老パスがあることにより、外出することができるようになり歩くようになり歩くようになり歩きました。</p>	
<p>パス案のポイントについて、若い人の発想で大半の老人には難しいと思います。そもそも、敬老パスのチャージ者割合56.8%というのは、使いたくてもやり方がわからないとかそもそも自分には難しく利用できないと思っている方が大半だと思えます。とても良いシステムなのでさらに簡便なものとする工夫が必要だと思います。</p>	

自由記載意見	
年齢	居住区
90～94歳	厚別区
80～84歳	中央区
80～84歳	清田区
70～74歳	清田区
85～89歳	白石区
70～74歳	豊平区
70～74歳	東区
70～74歳	清田区
75～79歳	手稲区
80～84歳	豊平区
75～79歳	白石区
90～94歳	豊平区
95～99歳	清田区
75～79歳	西区
記載なし	記載なし
70～74歳	白石区
75～79歳	北区
75～79歳	南区
70～74歳	手稲区
75～79歳	清田区
70～74歳	清田区
75～79歳	清田区
70～74歳	手稲区
70～74歳	清田区
80～84歳	手稲区
75～79歳	豊平区
90～94歳	清田区
80～84歳	手稲区
70～74歳	手稲区

東京の友人は無料バス年間1,000円を支払えば一年中乗れると言っています。札幌も20年前は少し無料の期間があった事はありますが、できれば高齢者敬愛と云われてあります。できれば、東京並みにしてもらえたらうれしいです。

ポイントカードの制度が理解できない。ポイント制になったら、敬老バスは使用しないと思います。外出せず、自宅に在るようになり、不健康になります。老人はポイント利用は面倒。

勉強意欲のある人周りに多いので、シニア大学等参加するとポイントアツプする。週3回利用すると、美術館無料・映画半額

現状の70歳以上位に交付で特に問題ありません。チャージした金額については1～5万円くらいでいいのでは？

ポイントが付くこと知らなかった。バス、必要な人だけに配ったらいいと思う。使用しない人に配るのは無駄です。

アプリやカードでポイントをとめるために参加するのではなく、何か楽しいと思えることがあれば何でもポイントの世の中は疲れる

敬老バスがJRやタクシーに使用できるよくなる事はいいと思う。ポイント獲得に例として、徒歩とあったがどのようなカウントし、ポイントに反映させるのかよくわからなかった。

ポイント利用について、コンビニスーパー等でも利用できればと思います。

敬老健康パス案は、スマホに不慣れた老人にうまくいくとは思えません。なんでもポイント制の時代ですが、このポイントカードは高齢者にとって非常に使いづらいカードに思います。

現在の敬老バスにポイントがある事知りませんでした。もっと良く調べたいと思います。

敬老バスの素案はすべて納得できません。若い人たちの考えることですね。スマホを使ってもできません。意地悪くしているとは思いません。

高齢者が増加している現在を考えると年齢を引き上げるのが正当と考える。70歳という年齢では現在も職に就いている人が多いので。

そもそもポイント必要ですか？老人の生活はシンプルの方がいいです。

2万円まで無料券配布、2万円を超えたら1万円につき3千円とか高くする。このアンケートが一人で外出するのか、夫か子どもと一緒に外出利用するかの設問がない。夫の利用いかんによるので配偶者の利用も大きく変化します。その視点がこのアンケートにはない。

できればJRが利用できたらいいと思う。

自宅から、地下鉄までの距離があり、よほど天候に恵まれないと外出そのものが困難。特に雨、雪は全くと言いつつ程外出ムリ。したがって将来どこにも出かけられない状態になるのではと心配するだけ。高齢で運転免許の返納があればその後どうしたらいいか。

敬老バスを変えるだけで十分。

現状の中で不自由を感じることはないので、現行状況を継続してほしいです。ポイント制とか手間のかかることはできなくなってくると思う。年齢的に。より単純明快の方がよるしいと思ってます。

自己負担額がゼロになるのは少しありがたい。ポイントは活動に応じて獲得できるようですが、基準が分かりづらい。2万円分はどのくらいの活動か示していただきたい。

清田区から札幌駅前までバス1本で行けたけれど駅前開発で乗り場が分散され、福住地下鉄乗り換えが必要となって不便と感じる。地下鉄利用となると階段が高齢者にとっては膝等足の弱い人が多く、私も含め地下鉄はきつい。エスカレーターのない所も多いので、一考いただければと思います。今は車ですが、近々返納してバス台地下鉄での通院が増えますので不安です。

敬老バスでJRにも乗れるようにしてほしいです。健康バスのポイント制は面白いですね。スマートフォンの使用が難しい方が多いのかと心配です。どの年代を対象としているのか不安。80歳以上でも使えるのか。何をしたらポイントが付くのか、わかりやすい提示が必要ではないか。

ポイント獲得が支給条件となるのはおかしい、多少の負担率があっても現状に近いサービスマスであると思う。

身体的な状況で活動が難しい方のサポート体制。

公共交通機関が少ない清田区在住なので利用頻度は極端に低い。限度額は1万円もあれば十分な状況である。市営地下鉄の延長もなくなつた今、何も嬉しくはない敬老バスである。

敬老健康パスも良いと思います。現在でもとても助かっております。

市政の考えに任せます。

東京で学生時代を終えて、渡道以来道北、富良野、札幌、郷里の岡山と比較して考えること多く、敬老施策も似ているごとくで、全国的敬老模様は進んでいると感じたら91歳まで生きてきた。老人たちの動きを広く、活発にするための方策が望ましい。病院の充実が、放置していても進むが、健康を育む体制制度は、体育館等の充実の他に山の活用、市外での交流、文化活動全てが人間らしい健康維持が欠かせない環境だ。その環境活動を支え、利用を可能にする交通手段の大切さは何よりも大切だと考えられる。

敬老健康パスの制度イメージだけではどのような内容なのか実施してみないとよくわからない

人との交流があるとポイント評価される。自分の行動は関与されたくない。しかもポイントで評価なんてナンセンス。アプリとポイントカードで平等にならないと思ふ。ちなみにこのアンケートでさえも、WEBにはQOUカードプレゼントが郵送の場合は何もない。平等になってない。

年齢	居住区	自由記載意見
75～79歳	豊平区	現在のシステムはとてども優れたものだと思うので、新しいシステムをあまりごちやごちやしたものにしてほしくない。制度を変えることにより管理により多くの人手がかかり、結果コストバが悪く財政の負担増とならないことを願います。
70～74歳	南区	昨年の8月に初チャージをしました。藤野から中央まで3往復ほど利用させていただきその料金の安さには驚きと感謝の思いがあります。今のところ自家用車を運転しており、公共交通を利用する機会には年に2～3回かと思えます。数年後免許を返納して、本格的に敬老パスを利用するときにこの制度が存続していることを願っています。(パスの利用初心者で課題を感じるところまでは行ってないです。)
75～79歳	北区	ちよつとイメージしにくいけれどスマホは常時身に付けておくことになるのかな？例えば、ポランティア活動、体操、三度の食事をきちんと食べる等活動参加種類を増やします。現在利用できないJ R/タクシーを加える。スマホ利用されない方が不利にならないよう、現在、郵便局窓口に行くことでできるように簡単に高齢者対策をお願い致します。
80～84歳	白石区	素案大いに賛成。ただしそう願うのであれば負担額はなしとしては、
85～89歳	手稲区	これまで通りがいいと思います。
80～84歳	厚別区	敬老健康パス制度の発想は大変結構な事だと思います。ただ、制度の施行の為に制度をわかりやすくまた、スマホの扱い方策などわかりやすくしていただくことを希望します。
80～84歳	北区	上限2万円のパスでしたら現在通院している交通費で終わります。問8で答えていることには全く当てはまらないことになりました。今までは季節のいい時期には歩いており、毎朝公園に体操に行ったりしています。寒い時期になると外出は病院と買い物だけになります。転んだら心配して外出はしなないと思います。
75～79歳	南区	今のままで良い。
70～74歳	清田区	利用できる交通機関が少なすぎ、利用が不便で素案に疑問。
85～89歳	豊平区	この制度は私にとつて大変ありがたいと思つています。少し負担が増しても続くとありがたいと思つています。
85～89歳	豊平区	案は良いですが、何せ高齢者中心のため簡易なもので良いと思う。
85～89歳	白石区	本人が単純に利用できる方法であること。対象交通機関を利用しやすい地域と不便な地域住人への配慮。敬老パスを十分に利用できない人たちへの方策の必要性を感じる。
75～79歳	手稲区	色々活動にポイントを増やして敬老パスにつなげるという方法では誰もが簡単に利用できるか、推測するしかありませんが、高齢者にとつてはあまり重点を置かなくてもいいように思っています。
85～89歳	白石区	現在ポイント交換等はどれくらいあるのか、推測するしかありませんが、高齢者にとつてはあまりないと思われませんが、これにあまり重点を置かなくてもいいように思っています。
70～74歳	中央区	どれくらいの方がポイント獲得に向けて管理する意欲を示されるのか疑問を感じます。各々が経済能力や時間的余裕、体力等を考えて見合った生活すると思つていますので、むしろ、年齢が増えても外出できるくらい場所づくりの多様さ、サポーター体制の充実があると嬉しいですね。
80～84歳	厚別区	ポイント制なども導入されて多様なプログラムが計画されていると思われ、楽しみに期待しております。
85～89歳	豊平区	公共交通機関が利用するのに便利にならないと思つている。そうなると思つたらと自家用車の利用を継続することになる。
70～74歳	西区	ポイントを付与しても健康促進にはつながらない。利用は広がらないと思つている。スマホを持っていても、特定の事しかできない方が多い。スマホを利用することによるトラブル不安があり、購入しない人が多い。ポイントカードによる場合、活動量やその他の情報をどのように取り込み、反映させるので判断できない。複数の方法があると徹底が難しくなる。(周知) やめるべきと思つています。今の案は。
70～74歳	手稲区	パス、J R、タクシーなど広くつかえるように私のところはJ Rが使えないので不便です。
75～79歳	西区	原則として今のままで良いと思つています。上限を決めて、自己負担は多くてもいいと思つている。
75～79歳	豊平区	利用が少ないとポイントがあまりたまりませんと思つているので、ポイントが使用できなくなるポイント制に反対です。
75～79歳	豊平区	敬老パスがあることによつて、遠くへのポランティア参加がしやすくなりました。それと足を悪くして、病院の通院が増えたため、12月末でパスを使い切りました。足を悪くする前は、歩くのが好きで良く歩いていました。悪くしてから良くパスを利用します。いくつから魅力的な活動を用意されたとしても、その場所まで行くのが辛く、自分の運動能力に合わせた活動しかできません。通院のため今の制度を維持していただきたいです。
70～74歳	中央区	どこで誰が考えたかが分からないので、始まつてみなければ分からない。
80～84歳	北区	大変うれしいことですが、スマートフォン使用が不自由なため、今の様な年齢の人には利用することができません。老人に学べる場が欲しい。(スマートフォン)
85～89歳	中央区	健康づくりと社会参加の範囲が抽象的で判断しにくい。もつと具体的な例を出してほしい。
75～79歳	東区	病気になる場合公共交通機関を利用できずタクシー利用せざるをえないので不便である。年金など収入に限られる中、交通費(タクシー代)は負担に感じる。
80～84歳	豊平区	敬老パス→敬老健康パスに変えることによつて大きな種々の効果を得ようとするのは無意味に近い様に思える。私の知る範囲の高齢者はスマホアプリを活用したりポイントを積極的にためる人が少ないと思つている。
70～74歳	西区	以前地下鉄のパスでしたが使う機会があまりなくなり、病院の受診の時に使えなくなりました。

年齢	居住区	自由記載意見
75～79歳	手稲区	敬老健康パスについて、制度イメージでポイント制はわかりやすいか？ポイントを獲得する人は元気な人達だと思います。その人に手をかしている人にもなにかあれば良いと思います。町内会でも日帰り入浴等に行きますが、皆元気な人達です。少しでも手をかしてあげれば行ける人もいるのでそこに気持ち援助があれば良いと思います。
75～79歳	東区	事業の全体費用に占める事務費用の割合はどうなっているのか！費用対効果の点検が必要。取り組みにかかる人件費、事務費が増加する。過去はもともと単純であった。なぜ現在の仕組みに変更したのか考えてみる必要がある。
85～89歳	中央区	乗り降りが大変である。
80～84歳	手稲区	私はアプリが使えないので心配。
75～79歳	手稲区	よくわからぬ。
70～74歳	南区	敬老パスの上限の7万円は多いと思いますが、2万円は少ないと思います…。3万円くらいなら譲歩できると思います。
70～74歳	厚別区	パスにチャージするとき不便！郵便局でなくとも簡単にチャージできるようにしてほしいです。大体なせ郵便局のみなのかわかりません。
70～74歳	東区	近隣の市(小樽市、江別市、北広島市)等への利用を望みたい。札幌ドームへは行けたが、北広島にエスコンフィールドができてきアイターズが移転し、行きづらくなつた。
75～79歳	中央区	自家用自動車に乗せて利用した運転手も高齢化になり免許証返納するとますます敬老パスを利用しなければならぬ(自分も歩けなくなるため)のになぞ敬老健康パスを考えたいです。現状のままです。
70～74歳	東区	ポイント獲得の活動が疑問。上限が少ない。足が弱くなつてくるのでタクシーで活用できるのは良いと思う。
75～79歳	中央区	年間2万円地下鉄、バス、タクシー、JR、公共交通機関で何回使えるか？すべて値上がりしてしまいますよ。4～5万円ないと外へ出られませんよ。年寄りには動けない人も多いためです。動ける人も病院へ行きなさい、ポイントがたまるから検査のため何回か大きな病院へ行く人、かかりつけ医も近所にならない人は歩け！歩け！それが市の希望！年寄りが多くなつたから明るく豊かな老後生活よりも税を使いたくないといっているのですね。
85～89歳	厚別区	1. 「ポイント獲得対象」範囲の拡大について常に検討が必要と思われる。2. ポイント利用範囲拡大としてコンビニでの利用可能性について検討が如何？
85～89歳	中央区	面倒で複雑なことはしたくない。
70～74歳	白石区	平均寿命が伸びているが、自分はいつ死を迎えるか毎日不安です。生きていくのがそのまま続けばいいと思いますが、何かおこるかわからない世の中で制度をあまりわかりにくくしないでほしい。今のままで十分です。
70～74歳	東区	運営費が増加傾向にあることは知っていますが、現行のままでもいいのではないのでしょうか？自己負担があつても現行のままを望みます。
75～79歳	豊平区	健康な老人には良いが、身体の不自由な人にはなんのメリットもない。タクシーなどの割引も考えないから。
90～94歳	南区	限度額を1万～1万5千円にするの良い。年齢を65歳からにする。元気な時にしか使えないから。
80～84歳	清田区	スマートフォンを持っていないので現行のICカード発行継続を希望する。ポイントについては敬老パスの使用状況により推定ポイントを想定し、その分をチャージ時に加算する等単純化を望む。
75～79歳	豊平区	敬老パスの内容は詳しくは知らず、利用させて頂いています。ありがとうございます。諸事情はたくさんありますが、今は十分に利用していますので、現状維持しながら継続してほしいと思います。
80～84歳	中央区	ポイント獲得で対象の活動に参加するとポイントが貯まるとありますが、活動の例の中に徒歩とありますが、歩くだけでどのようポイントカードに管理できるのか。この説明だけではわかりにくい。
75～79歳	厚別区	敬老健康パス素案は使用しにくいように思う。
70～74歳	手稲区	JRにも使えるように。
75～79歳	清田区	あまり難しい制度にしないでほしいです。特にIT化が多くなると、我々老人には利用しづらくなります。
75～79歳	西区	1. 高齢者には煩雑でやさしくない。2. 行動が不自由等の弱者にきびしい。※仕組みは単純にすべき。
80～84歳	厚別区	①ポイントを得るために動くことは難しい。②パス(乗車券)が先である。パスがあればそれを使って外出する気持ちになる。③スマートフォンなどは敬老世代には無理であり、まず敬遠する。WEBなど論外。④パス(ポイント)は遊ぶためではない。病院・銀行・介護の用品購入・食料購入など生活必要事項である。
70～74歳	西区	現状維持が良いと思いますが、JR・タクシーにも使えると便利になると思います。
70～74歳	東区	はつきり言って今より使いづらい制度だと思ふ。ポイント獲得して交換しないと公共交通機関を利用できないなんて「パスを使わないようにしなさい」と言っているようにしか思えないです。現在でも6.8%の人が使っていない。平均チャージ額は11,431円(年間)。広く平等に使ってほしいなら、対象者に希望を聞いて現金支給にした方が自由に使えると思います。支給額は1万円前後が良いのでは。
85～89歳	北区	スマホ持っていないので、今のままで満足です。
80～84歳	厚別区	Q6、Q7について、個人で買物時、片道歩くなど自分でがんばつた時などは？内容を理解できません。
75～79歳	東区	車も持っていない。弱者のためにもせめて3万にしてください。複雑すぎてめんどくさい。簡単でいいのでわかりやすいものにしていただきたい。老人向きではないと思う。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	南区
90～94歳	豊平区
70～74歳	手稲区
70～74歳	北区
70～74歳	東区
85～89歳	南区
70～74歳	南区
70～74歳	中央区
70～74歳	北区
70～74歳	東区
70～74歳	手稲区
70～74歳	清田区
85～89歳	白石区
80～84歳	中央区
80～84歳	豊平区
70～74歳	中央区
70～74歳	豊平区
75～79歳	北区
85～89歳	白石区
70～74歳	中央区
85～89歳	白石区
95～99歳	清田区
70～74歳	南区
75～79歳	手稲区

健康の意味が広すぎて不明。スマホを使用していない方はどうするの。良いことばかりですがポイントでどのようなことができるのか。スマホでサギに引っかけられないかな？敬老パスのほかにポイントカードも持たないとならないかな、またカードが増えるの？

65才以上は運転免許を厳しくし、敬老パスを利用するように勧めて高齢ドライバーの事故のないように努めてほしい。

「今後増加する生活必需品購入」という観点からマイカーで日常生活の用を済ませている状況が多くなっていく。今後、加齢が進むと安全性、社会性の面からも「車利便」は無理となり現実でもある。生活必需品の購入先への移動、運搬がスムーズに為されるシステムを作り、これを利用できるパス(区別して)の存在も望まれる。早期に進められると良いと感じる。1人のみでなく複数の利用でも良いような点も含まれていると良いのだが。

ポイントを獲得できる活動に映画館や商店、食堂や美術館などが含まれるのだろうか…。自分らしく活動できる社会＝札幌市ののぞむ活動って、なんか押しつけがましいと思う。

敬老という言葉は現在の人々には当てはまらないと思う。70才以上も昔みたいな老人ではない。敬老はやめてせめて年配バスくらいでいいのではないかな。

月によって金額が変わりますがどんな意味があるのですか。同じで良いと思います。必要額を自分で申請したら無駄が少しでも省けるのではないのでしょうか。

敬老パス制度について。現在おかげさまで自動車運転免許があり、乗用車も所有していることから極力便利な車を利用している。しかしあと数年で運転免許証を返納したいと思っっている。もし車がなくなれば当然公共交通機関を利用することになります。もし車を利用しなければ敬老パスを利用することになりますので、現在のままの上限でこれまで通りでいいと思います。再考を！！

そもそもこういう「改善提案」自体が出てくる「役所行政」「役人発想」が理解できず困惑。「敬老」の欠片も感じられない。上限2万円のポイント…ポイントが欲しいための日常行動ではない。

スマートフォンを持ってない人は持ち歩くカードが一枚増えることになり面倒だと思う。市はもつとテレビなどで「敬老健康パス」についてくわしく丁寧に説明してほしい。

ポイント獲得するためにするようになると、個人のそれぞれのやりたいこと、楽しみにしていること等、まちまち違いがあるので、出かけるづらくなるのではないのでしょうか？②老人が増えて運営費も増えるので、個人が経費削減にのみ結びつくようにしか思えません。③趣味に使う若返られる事、友人に会って雑談すること、それも大きい敬老健康パスの目的になると思います。

案案を見ましたが、ポイントで評価すると書いてありましたが、何をどうして誰がどうゆう方法で選ぶのか意味不明であり難しくしきい。また多くの参加をいただける様に自己負担金は陸止すると書いてありましたが、市の財政状況も苦しい様、負担金は少なからず取るべきだと思います。

現在の敬老パスのままでよい。

高齢者の多くはそう活発に活動できません。

他の都市とくらべて非常に利用方法がわかりやすくありがたく利用させて頂いております。

物価高騰のため、生活は大変です。敬老パスは生活にかかせないので、今後も維持していただきたいです。何でもお金がかかるとか時代です。でもお願い致します。

発想は良いかもしれないが、例えば「歩くこと」でポイントがたまるという方が、雪国札幌で高齢者が冬にツルツル路面・除雪されていない道路で「健康増進のために歩く」ことがどの程度現実的なのか。必要最小限の買い物・通院等に限定されるのではないかな。冬期間のメニューはどのようになっているのか。冬こそバス・地下鉄で札幌市の中心部に出て地下歩行空間などで買い物も兼ねて散歩をする機会を多くしたいと思う。自分の健康面はもちろんだが、公共交通機関の利用促進、地域経済の活性化にもつながると思う。そのためには、現行制度のように7万円まで使える制度の方が良い。

敬老健康パスを利用できない人の事も考えてください。

札幌市の公共予算を戴き高齢者の健康を考え、社会参加を基本とした考えであることを承知している。私は現在の方法で十分予算が生かされていると思います。

全ての人がスマホを持っているのか？スマホでできる人、使っている人はどのくらいいるのか？スーパー、ドラッグストアのレジで操作ができなくてレジの係りの人にきいているが、レジの人にもわからずその間レジはすごい人が並んでいる。…などから、バスを作るのなら全てのスーパー薬局コンビニなどでポイントが付けられるようにしなければ意味がないと思います。またポイント付で人がみな健康意識が高まるのか疑問です。

敬老健康パスの案をよく知りませんので書けません。

送付された本人の息子が代筆しました。本人は93歳で足が弱っていて、公共交通機関は利用できない状態です。タクシー等の利用が可能になれば喜ぶと思います。

なぜ敬老パスをやめて敬老健康パスにするのか、もとは無料だったのを有料にしたのに今後はやめるのですか。

私はバス電車ほとんど利用しません。JR駅が近いからです。いつも友はバスとか近いためバスを沢山使っています。思うのですが、バスは利用する人には安いかもしれないが、同じ後期として矛盾を感じています。JRも少しは安くしてもらいたいと思います。電車バスはすこく安く乗れます。その分少し高くしてJRにその分安くしてほしいです。

自由記載意見	
70～74歳	敬老健康パスはタクシーでも使える案があるが、歩いたり公共乗り物を使うよりタクシーで病院に行くというマイナスイラスト効果となり得る。
70～74歳	ポイントは不要だと思います。
70～74歳	制度の仕組みが高齢者にとつてわかりにくい。対象活動が自分にとつて必要性がなければ意味がない。
75～79歳	高齢化に伴い、運営費増加傾向であるが、この制度を続けて頂きたいと切に希望します。
75～79歳	高齢者は「スマホ」「アプリ」「ポイント」「ポイント」の言葉を見ただけで「難しくわからず」「自分には関係ない」「取り扱いは誤ると情報漏れなど危険」などと家族にも言われるので、その先の説明は見ない。そんな年代の市民からアンケートを取るのであれば、スマホを持っていない人たちがわかりやすい文書でお願いいたします。因みに私はまだに「ガラケー」で何の不自由もありませんが、「そろそろスマホにしては」と家族からも言われています。
70～74歳	1. ジム、老人クラブに参加しているの、市の行う事業には参加しない。2. ポイントをもらうために事業参加すると交通費がかかるし、通常の料金を支払うということになる。かえって自分の財布がマイナスになる。3. 上限2万円を使い切ると、低年金者なので通常の料金は高いので外出しなくなると病気になる。医療費がかかるようになる。
70～74歳	健康の利用がよくわからず、思いつかない。
75～79歳	70歳頃は敬老パスはともありがたく思いました。だんだん足が悪くなり外出が少なくなっています。
70～74歳	変更する必要なし。
75～79歳	高齢者の中にはスマホを持っていてもアプリとかインスタととかカタカナが苦手の方が大勢いると思います。現行制度がやっとなりやすく、慣れて良くなったところに変更は困ります。
95～99歳	魅力的で気軽に参加できる事業活動。参加機会が増える様、多種多様な事業活動。
70～74歳	自分は助かります。
75～79歳	札幌市外に限らず全道に広げてもえたら行動範囲も広がりより楽しくなると思う。
70～74歳	敬老者が増えているのはわかるけど、若い時から働いてそれなりに税金を納めてきたことも忘れないでほしいです。
75～79歳	素案と言ってもあまりにも漠然としている！
70～74歳	チャージ額がそれぞれ違うので、どうしてかな？と考える。同じく平均にしたらわかりやすいと思う。
80～84歳	ポイント制度に変更するのは反対です。
90～94歳	年寄りにわかりづらい。一部の人が価値がないように思う。誰のための何のためのパスかまったくわからない。
記載なし	歩くこと。介護予防のポイントの認定はどのようにして決まるのか。
75～79歳	2023年12月の路線バスダイヤ改正により清田地区にある我が家は地元から札幌市内への直通バスが全て廃止され、不便になり、実質的に値上げにもなりました。敬老パスの負担もこれ以上は無理です。
80～84歳	敬老パスの制度のおかげで外出もでき、楽しい一日を過ごせること、有難く思っています。これからはもう少し多くお願い致します。
80～84歳	敬老パスの6回、7回目の支払いが3,500円になっていますが、1回目2回目と同様に1,000～2,000円にしてほしい。
90～94歳	むずかしいことができません。今まで通り敬老パスを受け取れるようにお願いします。
70～74歳	第一に現在の制度は絶対そのままにしてほしい。パスを使用しない方はポイント制にして片方選択できるようにしてほしいと思います。
70～74歳	マイナンバーカードと一体でも良い。
70～74歳	「敬老パス」を2025年「敬老健康パス」へ。私が思ったことは、2年後には現在使用の「敬老パス」はなくなる。交通費の支出が増える。通勤や外出は出来なくなる、減る！と思います。
75～79歳	高齢者に適応するとは思えない。
85～89歳	目立った効果は望めないと思う。
70～74歳	急にポイントを獲得しないと敬老パスが支給されないと変えるのは疑問。
75～79歳	案の問題点①高齢者のスマホフォンの音声契約が多いのでポイントへの使用が難しいです。②事業場を創造したが指定先に行かない。③ポイントカードの配布は二重経費がかかる。④50億円以上かかる運営はシンプルな設計をしてほしい。
75～79歳	不正防止対策がむずかしいのでは？
75～79歳	スマホ利用で「歩く、ウォーキング」はイメージできるが、介護予防、人とのふれあいはイメージ具体的に判らない。歩いた場合、歩数に応じたポイントになるかと思うが、本人が利用しなくても歩数の結果によってポイントが付与される(懸念?)。自己負担金があっても敬老パスは残してほしい。
75～79歳	自分はまだまあまあ健康でも家族が病院にいれば時間的にも気分的にもポイントをとめる意欲が生まれません。自己負担額が増加してもいまのままが良い。もう少し検討してほしいです。
80～84歳	平日に一人行動の時に便利に使っています。とてもありがたいと思っています。これがないと、行動に制限ができて自由行動が減る。
85～89歳	敬老パス制度の案件が理解できません。アプリ・ポイントカード等、どのようにポイントが入るのでしよう？スマホフォンの持ち方でも動作ができないと考えると、

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	北区
75～79歳	南区
75～79歳	西区
70～74歳	南区
75～79歳	南区
80～84歳	南区
70～74歳	手稲区
70～74歳	東区
70～74歳	南区
70～74歳	南区
80～84歳	東区
70～74歳	東区
80～84歳	南区
70～74歳	豊平区
75～79歳	東区
75～79歳	西区
75～79歳	白石区
85～89歳	東区
70～74歳	厚別区
75～79歳	南区
70～74歳	北区
70～74歳	西区
70～74歳	西区
80～84歳	清田区
70～74歳	北区
80～84歳	手稲区
70～74歳	中央区
85～89歳	東区
70～74歳	手稲区
75～79歳	豊平区

自由記載意見	
年齢	居住区
85～89歳	北区
70～74歳	中央区
70～74歳	豊平区
70～74歳	厚別区
75～79歳	西区
85～89歳	西区
70～74歳	南区
75～79歳	豊平区
70～74歳	南区
75～79歳	手稲区
70～74歳	中央区
80～84歳	南区
70～74歳	西区
85～89歳	豊平区
75～79歳	中央区
80～84歳	厚別区
85～89歳	厚別区
75～79歳	東区
70～74歳	手稲区
75～79歳	西区
70～74歳	北区
70～74歳	北区
80～84歳	中央区
70～74歳	東区
70～74歳	厚別区
70～74歳	北区
75～79歳	北区
70～74歳	東区
70～74歳	東区
85～89歳	東区
75～79歳	北区

特別大きな課題はないので今後とも利用していきたい。

老人がアプリを容易く操作できる人は少ない。ポイントカードのようにポイントを付けるのが疑問です。ポイント獲得も歩くことは万歩計がありますが、介護予防の体操ではポイントが分からないですし、人とのふれあいはどのようにするのか困難です。

ポイント・アプリなど使えません。何をしようとしているのかわかりません。まったく別物だと思えます。

スマートフォンを持っていても家族とコミュニケーションをとること位しか使わないし、活動しないポイントがもたらえないなんて面倒。

65才以上の利用に引き下げたら、もっと多くの人が外出するようになると思います。

チャージをバスの中または地下鉄各駅で出来るようになるのか。生活に困っていない人は良いかもしれませんが、年金生活者にとって今以上に厳しい時代が来ることでしょうか。ポイントとか線とかいうより、これからは今まで以上に7万円が必要で。

健康づくり、人とのふれあいは、皆個々にやっているとと思っています。あまり踏み込んでほしくありません！

膝・腰痛の方でもできるポイント付与。自己負担額の減額。

現在、札幌市内のバス・地下鉄ですが、札幌市内のJRも乗れるようにしてほしいです。

頭で考えるのは良いことですが、現実的にみてどのくらい参加すると思っていますか？老人に事業参加でポイント獲得といっても理解はあまり出来ないとはいえます。

現状のままよい。下手に変更すると外出機会が減ると思う。

私自身は現在の敬老パスをフルに利用し、大変有効利用しています。地下鉄が主です。自分の両親の場合、マイカー利用のためまったく使用しなかった点、バスJR利用者でしたので、全く使用していません。利用者には大きなばらつきがあるので具体策を更に示してほしい。

アンケート調査を行ったことがないのはなぜか。市民の声を聞く気が元々なかったと思われても仕方がない。

今までのように交通機関の補助がまずあって、それから…ということなのか。何かの活動に参加して、ポイントをもらって、そのポイント分で交通費に使用するのか。

健康で社会参加しやすいのは敬老パスのおかげだと思います。なぜなら年金はあがらず、物価が高くなり生活するのにギリギリの状態です。せめて買い物病院の通院だけは増えているので、せめて敬老パスが私たちの生活に大変うれしいことだと思えます。車も手放したので、今の制度を残していただきたいです。

敬老パスあるので外出しやす。助かります。

敬老健康パスについて、「ポイント」や「アプリ」→スマホ持っていない人はやはりこの年齢になってからでは難しい。

事業に参加しない人はどうなるのか。ポイントは何を基準に評価するのか。ポイントをカードに入れるのではなく、バスに直接チャージすることはできないのか。

上限額は4万円くらいが良い。

JRを利用することが多いので是非JRも使用できることを願います。また必要に応じてタクシーも使えたいことを望みます。

私はスマホの利用者ですが、キャッシュレスやポイントなど、電子マネーなどの利用までは慣れないせいなのか面倒です。多くの高齢者がそのようなのではないのでしょうか。アプリだ、ポイントだと言われても敬遠しそうです。シンプルに今まで通りの敬老パスの制度がありがたいです。

素案に具体的内容があまりないで何を指しているのかわかりにくい。皆様が言うように自己負担の増を目指しているのだとすれば問題で反対である。もっと具体的内容を出すべきと思う。

スマートフォンを持っていない人も多い。又、持っていない人も使いこなせない人も多い。ポイントを得るために指定の日時場所へ行くには無理な人もいる。健康的に動ける人はいいが、動くことに多少無理な人も多い。

健康づくりや人とのふれあいを後押しして、ポイント評価とありますが、敬老パスを結びつける必要があるのか疑問です。JR・タクシーに広げるのは賛成です。自己負担を減らすか、制限を設けてポイント評価を別扱いにした方がいいと思う。ポイント評価で増額となった自己負担を減額しても良いし、7万円の制限を減らしても良いと思う。

正直ポイント利用には興味ありません。年を取るとカードやポイントカードなどがわづらわしくなり、必要なものだけで済ませたい感じがしますが落ち着きます。

公共交通機関を利用して本当に参加したいかどうか。誰がチェックするのか。参加する事業は誰が主催するのか。事業の内容がよくわからない。

今年から対象年齢となり今まで実感なかった。今後に向けて理解したい。

70～80才、80才以上でバスの使用目的の違いが出てくるかと思うので、一律に敬老健康パスの制度変換は使えない感じがしたいと思います。

ポイント制度を導入するのは賛成できない。なんでもスマホに入れ、スマホで連絡するのはスマホ使用していない人にとって不公平感がある。紙の節約とか人件費の節約とかいうのが、すべて節約と限定されない。敬老パスにも同じことが言える。ポイントなしで良いので今まで通りしてほしい。

新しい制度、今一つ理解できません…。外出しない者(ウォーキング等)にはこの制度を利用できないのか？と理解しました。ネットやアプリ難民にはなおさらです。またご近所を歩く程度には使えません。今の制度が一番利用しやすく助かっています。

年齢	居住区	自由記載意見
70～74歳	白石区	アンケートの前に、0円の人は428,000×56%=240,000人、そのうち交付を受けていない人は428,000-358,000=70,000人となるが、これらの人の利用しない理由を把握し資料に示すべきだと思います。 1.利用者の平均チャージ額の算出について。対象者428,000人、平均11,400円との事から、①予算執行額は428,000人×11,400円=4,879百万円と推測される。未使用者56%との事なので、利用者は44%と推測される。未利用者数は428,000人×44%=188,000人②一人当たりチャージ額は4,879百万円÷188,000=25,900円と推測される。③行政の負担軽減額は、25,900円-20000円=5900円。5900円×188000人=1109000円と推測される。【提案】1.配布資料に記載ないが、今回の新聞発表案はこの金額の用途と思われるが、①タクシー事業者の振興策と思われる。②考え方はよくない。タクシーは市民のなくてはならない足である。観光産業にも欠かさない。③よって(1)対象者全員に一人当たり5000円の無償乗車券を支給する。428,000×5,000=2140000万円。(2)また一人当たり負担軽減額△1109百万円、タクシー2140、差し引き行政負担増加1031百万円、10億円の負担増加でうまいく、10億円は考え込むうじではない。(3)その他④数字と説明は包み隠さず隠すのはこれが市民の不信感を買います。⑤行政サービスは受益者負担の原則が絶対です。これが崩れると政治がぐちゃぐちゃになる。⑥アンケートについて、対象範囲の周知がない。範囲が不明である。④まためとして、市民目線の感覚が著しく欠落している。⑤大丈夫ですか札幌市、保健福祉局、高齢福祉部、高齢福祉課、新聞に福祉減額金額を発表しておきながら市民に金額の説明がない理由はなにか？部局横断してやっていますか、自分の部局だけで仕事していませんか、縦割り仕事に見えます、担当者まかせにしていますせんか、複数の目でチェックしていますか。⑥他に心配していること除雪の問題、災害時対策、ふるさと納税
70～74歳	西区	ポイント＝市税です。運営費が増加しているのに仕組みを複雑にし、さらにスーパー並みにポイントをつけるのは反対です。税金の無駄遣いとは思えない。地域の中で助け合うのは当然のこと、ポイントで評価すべきではないと思う。
75～79歳	豊平区	現行の敬老バス、70歳前、地下鉄を週2～3回は使っていたので、早くほしかった。最初は7万円全額使っていた。現在は臨床美術つながるアート月1回/15,000円/市民交流プラザ、ポテンシャル(寝ながら体操)月2回/1500円/ファクトリー米山武田邸記念館、真駒内公園、天神山緑地など散策。コロナ前までルネサンス平岸ジムに通っていた。マラソン、ダンスなどイベント参加。英会話週1回、ボランティアガイドなど、現在パークゴルフ/五輪大橋ユース/フリー友人と自家用車で。
75～79歳	西区	②のポイント獲得に「歩くこと」「活動が難しい方」へのポイントをつけることとしているが、具体的な基準設定が難しいと思われる。
70～74歳	東区	ポイント制を導入することは反対ではないが、自己負担ではないが、自己負担で利用できる制度も残してほしい。自己負担が50%近くになってくても…もちろん段階をもってですが。
70～74歳	西区	今まで通りチャージ額70,000円を上限としています。チャージ額50,000円として自己負担額を今まで通りにしてほしい。
75～79歳	南区	ポイント制とは若い人たちの考えに基づいているように思う。もっと高齢者がわかりやすいシステムにしてほしい。今まで以上に利用する人、しない人の格差が生じようとしか思えません。
70～74歳	厚別区	アプリ使用は安全面が不安である。
75～79歳	厚別区	現在、車を運転している者が運転免許証を返納した場合、上限額2万円だと負担が大きくなり、外出しなくなると思う。
80～84歳	中央区	貧富の差。金持ちの人でも汚い事を平気で言われることを耳にすることが多い。今までのいろいろなボランティアをして来ましたが、人間の汚さ、醜さを嫌というほど経験しました。役所の人の口と態度も反省されることがあるのではないですか？
75～79歳	白石区	ポイント制、参考にした事案は何ですか？社会参加、お手伝いするのは市の職員ですか？ボランティアですか？ボランティアですか？ボランティアですか？70才の人も100才の人も同じポイント率ですか？
75～79歳	東区	私は今現在は病院に治療を受けているので、バスの送迎を受けているので、必要ではない。後期高齢者になったので、大学村から週3回通っています。またはできる限り自分のことは自分でしています。今のところオムツをしていないので、体操やカラオケ、春先から秋まで畑。仲良くなった人がいるのでよくばってヨカやタンベルまでやっています。
80～84歳	清田区	負担が多くなって通りにしてほしいです。なんでもポイント制度はややこしい。高齢者には無理と考えます。
75～79歳	手稲区	特にこれということはありませんが、スマホなどは苦手なのでポイントが貯まったら敬老バスにチャージするのがいいかと思えます。
70～74歳	手稲区	ポイント過多の時代でどんだん複雑化しているのでポイント無くてもいい。またポイント付与されることにより頑張りが足りないと健康に良くないと思われれます。普通がいちばん、普段がいちばん。
70～74歳	厚別区	敬老バスの制度は非常に不公平な制度である(JRは使用できない)。こんな制度を考えた札幌市はバカだ。利用者が少ないのは最初からわかっていた。
70～74歳	厚別区	市内整備の充実。市内空地の整備と公園、公園設備の見直し。
90～94歳	清田区	これから年を重ねていく人にスマホとかカードとかいっても失くして探し物ばかりの人達にはかえって煩雑ではありませんか。
85～89歳	北区	私の住んでいる所は横通りがバスが通っていますが、夕方の通りはバスが通っていませんので、とても不便でどこへも出かけられず、結局タクシーを使う事が多いので、バスの利用が少ないです。もつとバスを使用しどこへでも行けたらいいなと思えます。
80～84歳	西区	敬老、健康、全く関係がないわけではないが、素案の目的(中心)が今一つ市民に納得できるものではないような気がします。敬老と健康は考え方を切り離して議論すべきではないかと考えます。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	中央区
80～84歳	西区
70～74歳	南区
85～89歳	中央区
75～79歳	西区
75～79歳	中央区
75～79歳	東区
75～79歳	豊平区
80～84歳	北区
80～84歳	西区
70～74歳	厚別区
85～89歳	中央区
70～74歳	手稲区
70～74歳	西区
70～74歳	白石区
80～84歳	北区
75～79歳	南区
75～79歳	北区
85～89歳	手稲区
80～84歳	白石区
70～74歳	北区
80～84歳	南区
75～79歳	北区

なぜポイントなのですか？いいかわるとしか思えない行為ですね。車返納し外に出るのが気軽に出来なくなりましたね。野球、キタラとかコンサート、ポイントなら出る機会が減り、寝たきりおばさんになりそう！

今まで「社会参加」はしてませんが、年をとってから(現在80代)の社会参加は無理だと思います。

ポイントを獲得するために義務的に動くこと。

市の財政が心配です。経済面にも力を入れてください！様々な市政の策を老人に向けてください！

税金が使われているけど助かっていません。

②ポイント獲得の活動の例として、介護予防とは、バスでフィットネスジムやカーブス通いは介護予防としてポイント獲得できるのか、公共の施設利用時だけなのか。人とのふれあいは、デイサービス利用でもふれあひとなるのか。③ポイント利用、J.Rやタクシーで利用できるのは良。

いい制度なので続けてほしいです。

むずかしくてなかなかかわらない。

余り理解できていないのですが、公平なポイントの付け方をお願いします。

ポイントを獲得しないと2万円はいただけないのですか。歩くのが大変な人がポイントを取れなかったらどうなるのか、近くのスーパーの買い物でもポイントがつくのですか。

質問について、コロナ前と後では答えに差があるので迷います。夏冬でも違いが出ます。

現在スマートフォン所持しているが、アプリSNS等で他人とコミュニケーションをとることは不得手。敬老健康パス使用について、操作説明についてカタカナが多いと興味がなくなると思う。

今まで通り一部負担でよい。精神的な状況で社会参加が難しい。通院のため今までの敬老パスにしてほしい。膝・腰痛アリ歩けない。

ポイント制がわかりにくい。

よくわからない自己負担の制度が良くないと思う。7万円を自己負担1.7万円出すところが変！4～5万でもいいから自己負担なしで敬老健康パスを出してくれたらみんなもたいたいから敬老パスを使うと思う。それをよくわからず自己負担金(ばらばら)の自己負担)にするからお金出しても敬老パス使う気がしないと思う。この変な制度考えたら人何考えてるのか良くわからない。せつなく負担してくれてもありがたみ感じない！ポイント制にしても年寄りには良くわからない。かえって利用しにくい。

今の自分はわからないことがたくさんあるので、これから勉強しないとだめですね。

ポイントカードでポイントはどこに行ってもつかないのか。「歩くこと」でポイントがつくとはどうやってポイントにするのか、不明過ぎて何も答えられない。むずかしい事はやめてくれ。今のままがいい。

敬老健康パスの導入を検討されておられるようですが、結論として、導入の意図が理解できません。私自身は、敬老パスを70歳からではなくて、定年退職(65歳?)後の心身ともに健康で元気に街へ出かけて、生活必需品を買い求めたり、映画を観たりして楽しいひと時を過ごせる気力があがる年代で利用できたら良いなと思った時があります。70歳を過ぎてから敬老パスを買えば、街へ出かけて必要な買い物や趣味に馴染むのが難しくなると感じています。年に数回地下鉄を利用する程度でありましたが、乗車券を買う手間が省け、すんなり改札機を通した時は大変便利で有難いと思いましたが、この歳になってからは、特に必要とするものが減り、街へ出かけての楽しみ方も薄れました。今では、地域の活性化、身近な買い物などに関与する程度なのが現実です。また、暮らしの中で無駄だと感じるものがたくさんあり、不要なもの断捨離に余念がありません。従いまして、「敬老健康パス」化へ移行の意味が良く理解できないのが現実です。「敬老健康パス」以降の素案はあまり関心しませんが、「敬老パス」予算カットの具体化と給付年齢(早める)の見直しの素案づくり、あるいは少子高齢化のうちの少子化の充実策の検討にむしろ力をそそいでいただきたいと思っています。

小銭を用意しなくてもすぐ乗れる。パス一枚あればすぐ出かけられる。気楽にでかけられる。

現行の敬老パスは、区役所から送付された納付書により、郵便局で負担金を支払うことでICカードに利用額がチャージされ、交通機関を利用できるといって高齢者にとってシンプルで利用しやすい制度になっている。一方、買い物などでポイントなどが付与される仕組みが様々なところで行われている。しかし高齢者はポイント管理や利用に苦手であったり面倒な為、せつなくポイントなどが活用されていない人をよく見聞します。今ご検討されている「敬老健康パス」について、アプリやポイントの獲得管理、交換などが伴うようですが、高齢者にとっても管理や活用が容易にできる制度や仕組みにしていただくよう希望します。

特に問題点はないと思います。大変ありがたいと思います。

世の中、何でもポイントですが、ポイントに興味のない人、どうして良いかわからない人がいます。ポイントに頼らなくても自由に使用できるようにするのが良いのでは？少ない年金で暖房費を節約されている方がいつでも金額を気にすることなく外出でき、そこには暖かく一日を過ごせるいい場所を作らなければならない。生保の方は年未ボーナスと呼んで暖房費をもらい、パチンコに通っていると聞きます。家で二重にもらっている方もいるようで、本当に病弱で困っている人はたくさんいます。

年齢と共に歩行、人とのふれあひ等、参加が困難になり、ポイント獲得は可能でしょうか。この素案は不安です。

なんで減額なのですか？無駄な予算を削減すれば今の7万円が出来るのでは。

自由記載意見	
年齢	居住区
85～89歳	南区
75～79歳	豊平区
80～84歳	厚別区
70～74歳	南区
85～89歳	東区
80～84歳	北区
70～74歳	中央区
75～79歳	北区
70～74歳	豊平区
70～74歳	東区
70～74歳	南区
70～74歳	豊平区
70～74歳	中央区
70～74歳	手稲区
70～74歳	中央区
70～74歳	西区
80～84歳	南区
70～74歳	厚別区
70～74歳	中央区
80～84歳	東区
70～74歳	手稲区
80～84歳	北区
80～84歳	南区
75～79歳	南区
70～74歳	西区
<p>面倒なことには参加したくない。 スマホを利用できないものはどうするか。複雑で絶対反対です。 どのように利用した時にポイントがついていくのか明確でない為、現行の敬老パスとの違いが、どちらが自分にとって利用価値があるのか判断がつけづらいと思う。はたして敬老健康パスは今ままで病院や買い物等で利用していた人たちにあって、どんな取組の中で利用すればよいのかが課題点。ポイント制にしたとしても、外出の時のわずらわしさがあって利用頻度は逆に減るのでは？</p> <p>1. 敬老パスの利用度及び金額についての疑問。対象者の平均チャージ額は少なすぎると考えます。なぜなら①実際に利用できる人数(対象者数ではなく)を母数として計算されていないと思う。②悪く言えば母数を多くして平均利用額を少なくして、「上限を2万円」としたのでしょいか。③敬老パスチャージ者割合で「0円が56.8%」というのは何を意味しているのでしょうか。自家用車利用者が56.8%とは考えられません。利用したくとも利用できない理由がある方が相当数いらっしゃると思います。私は遠出はしなくても、通院、趣味等で年間3万円は利用しています。7万円⇄3万円の利用者でさえ15.2%になります。2万円利用者9.9%を超えていません。利用金額0円56.8%の方は、①制度があるから敬老パスを作っておこうと考えた方(自家用車利用可能の方が多くいかも)。その中でも②施設等に入居され利用しなくて良い方もおられるでしょう。③敬老健康パス(案)は「活動が難しい方へのポイント」とありますが、具体的に身体障がい者(今回はそのように書きませす)全般の方々はどのようにお考えなのでしょうか。制度を考える方は机上の空論になりがちです。私は具体的にどのような利用方法なら、ご自身の生活、社会参加に役立つのか、事前に聞くべきだと思います。例えば、私なら一定のハンデのある方には7万円上限のあるタクシー利用も可能などを希望します。スマホ利用者への優遇と思われかねない(スマホ教室への参加等)ポイント制を記載していますが、「身体的状況等により活動が難しい方も…」の文字の大きさを覚えてすぐ目に入るように書くべきです。市役所の消極的と思われる態度の表れかと思いますがどうでしょうか。確かに高齢者数が増え、予算が限られることは理解できそうですが、実際に「7万円」利用されている方もありますから、「6万円、7万円」の方々の負担を増やすなど、再検討をしてほしいと思います。それで市の出費が大きくなることも、市民の税に対する意識は変わっていくと思います。</p> <p>現行のパスを大変ありがたく感謝して自分の足で歩けるうち地下鉄を利用して楽しい人生を過ごしたいと思っています。</p> <p>高齢者や身体が悪い人がどのように参加できるのか特に考えてほしい。</p> <p>お年寄りにもポイント制、スマートフォン制、スマートフォンの悪影響を持つとタクシー券があたり、JRに乗るときも割引があると聞きましたか？</p> <p>現在パスを使わない者に対して「不公平」というのはおかしい。自分が良かれと思っパスポをもたないのであれば「自由」というものです。弱い者いじめはおやめください。</p> <p>敬老パスでも敬老健康パスどちらでも年間の経費を抑えたいのでしよう。言葉で遊ばないでいくら削減したいのか、また何故そうしななければならないのか。単に経費の削減なのか？制度としては悪くないと思っっています。高齢者が外へ出て動く、体を動かすことは健康を維持するうえでけっこうなことであり、その手助けとしてこの制度は医療費の削減へとつながるのでは。</p> <p>散策できる場所を増やしてほしい。 無料のスポーツジムを作してほしい。 区役所行く手間を省いて地区センターでの申請交付が出来たら良い</p> <p>動けない高齢者の為に自宅での運動も奨励して励みとすべきですが、独居では中々難しい問題です。 電話やLINE、SNSだと益々縁遠くなるの読書、入浴、音楽鑑賞など情報部門が加わると様々な可能性が出て来ますが。</p> <p>素案としては及第点ですが、これから詳しい内容が出てきて初めて課題が出て来ると思っいます</p> <p>敬老パスの無料化は大変有難いですが、この制度の意義を理解させる上でも現在と同じ自己負担を継続するのが良いかと思っいます。 ボランティア(町内会、民生委員など)で動く人にも何か特典があると良いと思っいます。 低所得者への支援の一環も忘れなないで。 スマホが無い人への対応。 敬老パスがあることで家計が助かる。 ポイント獲得ができるようになっても柔軟に対応できる年寄りには少ない。結局、使いこなせる人だけが得をする事になる。 現在は、JRを使用できないが、素案では使えるのはなぜか？おかしいとは思われないのか！ 良い制度だと思っう。 今後も継続的に継続していけるシステムなのか不安。 敬老健康パス案の事業参加が複雑に思っう。 経費、税金が掛かる。面倒になる。使われない人が増える。</p>	

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	手稲区
75～79歳	西区
80～84歳	東区
70～74歳	厚別区
75～79歳	厚別区
85～89歳	豊平区
70～74歳	中央区
70～74歳	東区
75～79歳	白石区
70～74歳	厚別区
70～74歳	白石区
70～74歳	中央区
70～74歳	北区
70～74歳	東区
75～79歳	手稲区
70～74歳	厚別区
70～74歳	豊平区
70～74歳	北区
75～79歳	西区
70～74歳	西区
75～79歳	西区
75～79歳	南区
70～74歳	中央区
75～79歳	北区
85～89歳	白石区
70～74歳	手稲区
70～74歳	中央区
75～79歳	清田区

一気に、ここで2万円を上限りミットにするのは正直どうかと思います。利用される多くの方の理解を得たいのなら、段階的にステップを踏みながら上限をダウンすべきではないでしょうか。と同時に、利用される方の自己負担を増やすべきです。

敬老健康パスは実効性のあるものにして下さい。

81歳、スマホ所有しています
ポイントチャージ、ポイント支払などの操作手順をバス乗車時に忘れてしまおうでしょう。

運転手さんどうするの？非現実的です

参加したことがないのでよくわかりません。

問30まで「敬老バス」の問いであったが、問31から「敬老健康バス」の問いになったので、混乱してますが、ボランティア・スポーツ等活動対象を広げてほしいです。

公共のお役所がいつも混んでいるので、手続き等を簡素化したらいい。

敬老健康バス制度を導入しても、老人の健康増進につながると思えない。

敬老パスが有ることで、運転免許の返納が早まるので、現在と同様の制度を維持して欲しい。現在の7万円から2万円の引下げは大きな不満。

ポイント取得の具体例が不明の為、判断に苦しむ。

仕組みがよくわからない。

良い考えと思います。

活動が限定されてるのは不公平。

いろいろ取り組んでみるのは賛成であるが、今回の素案ではまだ具体性がないので何とも言えない。

ポイント制はモチベーションの向上に繋がる。

自己負担は、今まで通りでよい。たかが千円や2千円払わなくていいと言われても、有難味はない。上限額は、3万円位あってもいいのではないかと！街へ出たら、往復で、千円弱はかかると思うので！

アクティブに活動している人は自分のペースで自由に色々な事に活動していると思います。敬老健康パス案の事業参加は任意であることを希望します。

利用者がスマートフォンを使いこなせるかどうかが問題だと思います。

特に課題と感ずる部分は無いと思う。

これからの若者達の負担が増えていくのではないかと心配します。

- ・自己負担は必要。
- ・歩行できる健康な高齢者には良い制度で、健康維持にも役立つ制度である。
- ・しかし、歩行困難な高齢者には何らかの補助があったほうが良いと思う。

タクシー、映画等にもナンバーステーションが使用できるなど。

スマホを持ってない人への配慮も感じられ良いが、ポイント利用において抽選会ではなくふるさと納税の返礼品みたいな方法が良いのではないかと

ポイントが意味不明。

現在の敬老バスで十分、強いて云えばポイント獲得は「歩くこと」だけで十分だと思います。

現在の敬老バスと敬老健康パスの違いがわかりません。

自分の足で歩けなくなった人には、パスは発行しないと言う事ですか。

歩くことや運動などが容易ではない方について、もつと考慮すべきだと思います。

高齢者の健康、意欲の促進には賛成しますがやはり体調のすぐれない方等、健康を損ねていくものになってくれれば良いと思います。

ポイントでJRを利用出来るのは、一歩前進です。はじめからJRも利用出来ればさらによいですが。

ネーミングを変更して頂きたいです。例えばヘルスケアインカードHFC。

敬老パスを紛失した時は大変でした。カード型ではなくスマホで支払えたら紛失したり忘れられるのも少なくなるのではないのでしょうか。

現状の一万円から七万円のチャージ額の最高額を四万円程度に切り下げても良いのでは。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	白石区
70～74歳	中央区
70～74歳	中央区
95～99歳	北区
70～74歳	豊平区
70～74歳	北区
75～79歳	東区
95～99歳	中央区
70～74歳	西区
75～79歳	清田区
75～79歳	中央区
75～79歳	東区
70～74歳	手稲区
70～74歳	豊平区
70～74歳	中央区
80～84歳	厚別区
75～79歳	東区
70～74歳	白石区
75～79歳	清田区
80～84歳	白石区
70～74歳	中央区
85～89歳	手稲区
75～79歳	東区
70～74歳	北区
70～74歳	豊平区
70～74歳	白石区
70～74歳	南区
85～89歳	豊平区
70～74歳	北区
75～79歳	厚別区
75～79歳	厚別区
80～84歳	厚別区
75～79歳	東区
70～74歳	東区

①敬老健康パスに移行せずとも、公共交通機関の拡充は現行の敬老パスでも可能。
 ②自分自身の活動・行動等がポイント付与という形で評価される必要はない。
 ③市民生活や行動を、ポイントで評価できると思ふ事が敬愛すべき。
 ④敬老健康パスをわざわざ作って、ポイント制にする理由・付与方法が不明。

素案の説明を見ても具体的なポイント獲得との関連のイメージが湧かないので判断が難しい。
 色々な活動に参加することにポイントが貯まると言うアイデアは大変おもしろいとおもいます。
 健康づくりの活動につなげるには、対象を70歳前からにした方が良いと思う。
 利用しにくい項目が多すぎますが、時間をなるべくかけないようにする事。
 高齢者がスマホの操作理解が、中々難しいから簡素化されるなら使用可能だと思いますが。
 少数派ながら、スマートフォンを所持しない方への配慮がなされると良いと思う。
 健康に繋がる行動を促すことは大事だが、敬老パスだけではなく、大がかりに幅広い展開策が必要だと思ふ。
 現在の敬老パスとポイントカードの両方を使えるのかわからない（スマホならアプリを獲得できるので歩くことでポイントを獲得できるという事はわかるが、ポイントカードではどのようにして歩きのポイントを獲得するのかわからない）。
 ポイントを交換する手間やスマホを持っていない人はやらないか。
 内容が良く解らないので、課題も解らない！
 80歳以降であれば
 70歳を超えていても札幌市に最低5年以上住んでいる人に限り敬老健康パスが利用出来る。
 現在年金の約20%である年間41万円以上払い込んでいる国民健康保険料があまりにも高すぎて閉口する。精神衛生上良くない。札幌市はまずこのあたりの改善が先ではないだろうか。
 近くに使える場所がなければ不公平だと思う。行きやすい、近い、サポートが充実している、歩けない人にも送迎などのサービスがある事が必要だと思う。
 腰痛で長く歩くのと、じっと立っているのがツライ。歩数などをポイントに入ると参加できない。
 ストレッチなど予防医学をもっと参考にするべき。
 ウォーキングや運動をポイント化してスマホで利用できるようにするのは少し早いと思う。
 高齢者が外出できる機会が増えていいことだと思ふますが、市の財政の関係で難しくなるのでしたら、年齢を上げるとか、値段を上げるとかにしたいらいいと思ふます。
 電子機器の使用についてはハードルが高すぎる。
 ポイントの付与の案は効果的だと思うけど、付与の仕方を容易にできるかが鍵だと思う。
 ・町内会で開催する「健康管理講座」や「クラブ活動」等も、ポイント獲得の対象になると思料されるが、各種活動を把握するのが困難かと思われる。
 ・活動が難しい方へのポイント付与は、どのような事を想定しているのか、良く分からない。
 2万円では少なすぎると思う。
 個人的にはポイント制はあまり好ましくない。ポイントがあろうがなかろうが外出する時はするから。
 現行制度を踏襲してほしい。素案は敬老バスを享受している人に制限を掛けることになりそうで、懸念を持ちます。
 厳しい財政事情のなかで、多くの高齢者にいかに効果的に活用してもらおうか。
 敬老健康パスの制度、仕組みが勉強不足で理解不能状態です。
 今回の制度改定案の趣旨が、市の負担を減らしたいなら、そのように正直に記載すべし。
 アプリを利用した場合、個人の活動など、個人情報などのように管理、利用されることが気になる。
 スマホのアプリを利用した場合、集められた個人情報などのように管理され、利用されるかについて不安がある。
 対象事業参加については町内会での催し物等への参加も含めて欲しい。
 高齢者の増加により、市の負担が増加し他の世代の予算に影響を及ぼす場合、高齢者の負担を増やすべきであり、当然変更は支持します。
 ポイント制度は、細かなことで高齢者への負担が大きくなり、利用しなくなる。

自由記載意見	
年齢	居住区
85～89歳	白石区
70～74歳	手稲区
75～79歳	北区
70～74歳	中央区
70～74歳	豊平区
70～74歳	厚別区
75～79歳	清田区
70～74歳	中央区
70～74歳	中央区
85～89歳	中央区
85～89歳	白石区
75～79歳	清田区
75～79歳	東区
85～89歳	西区
80～84歳	中央区
75～79歳	中央区
90～94歳	中央区
70～74歳	中央区
70～74歳	手稲区
75～79歳	西区
70～74歳	東区
70～74歳	厚別区
80～84歳	東区

Q6・Q7の説明が曖昧すぎてゼロからのスタートだと思ってしまう。市の事業といっても誰が誰にどうやや提供するのかもよくわかりややく知りたい。

現行制度より市の財政負担がふえるような制度にはしない方が良いでしょう。

制度が変更されるのを知った時、全てポイント制度になるとしたら憂鬱に思った。

財源の確保と制度の継続に障害は無いですか。

今まで敬老パスを限度まで使用している人は、負担が大変になると思います。ポイント還元はいいから、ポイント還元はいいから。

元気な人は参加できても、仕組みが複雑そう等、様々な事情で参加出来ない人が多くなりそう。現行制度は高齢者への生活支援の側面もあつたかと思いが、新制度はその側面はなくなる。

ポイントの使い道が多種、多様に用意されていけば、活動意欲が一層高まり、効果的かと思う。

アプリを作りシステムを構築するにも費用が掛かりますよね。ポイントをカードにチャージするにも新たなシステムや端末が必要ですよね。ポイントはどの様に付与するのですか。施設に端末を置くのですか。それも費用が掛かりますよね。発行時間やイベントへの参加などどの様に確認するのですか。ポイントが限度額を超えた場合にどうするか。そもそも、今、敬老パスを多く使っている人はスポーツなどを活用に行っている人だと思えます。それを無理に使う必要はないですか。活動が難しい人にポイントをつけて予算を使っても意味なくないですか。使う金額に限りがあるのは合理的な理由があると思います。年を取れば活動も少なくなり、また若い人活発に活動します。また、車など移動手段があればパスは使えます。必要な人に補助をすることは不公平ではないと思います。言わば、順送りではないですか。

分かりません。

今のままでお願います。

体の不自由な方や時間のとれない方はどうしたらいいのか。

殿様商売にふんぞりかかり、顧客ナンパワンの日ハムに愛想を尽かされ、札幌ドームは大赤字。加えて、五輪招致運動に多額の血税を注ぎ込んだが、IOC発表の開催地には、2038年まで札幌市の名前はない。秋元市長の口からは責任の欠片も感じられない。

そして今回、この失敗の穴埋めをするため敬老パスの廃止を思い立ったに違いない。一度に廃止すれば非難されるので、限度額を縮小し、さらに、ポイントというハードルを設け、できる限り額を削減する妙案を思いついたのがあるが、これは人参を目の前にぶら下げ馬に鞭打つ姿にそっくりではないか。年寄りの目の前にポイントをぶら下げ、頑張れば褒美にパスを上げるよ、さあ頑張れ頑張れと秋元市長が年寄りに鞭打つ姿、みっともなくはありませんか。

重複しますが、敬老パスは、所得に応じてサービスの度合いを決めるべきだと思います。

ポイントのことがよくわからない。

新しい制度の提案内容が具体的に分かりず、評価できない。

高齢者の多くの人が参加できる仕組み作りが大切である。

問い合わせ先の回答がまだ(案)ということ逃げ2年後に間に合うのか心配。

JRが利用できず地下鉄宮の沢は遠くで不便。街中にお住まいの方だと利用しやすいが手稲だと恩恵がなさ過ぎる。

ポイント化する意味が分からない。

よくわからなかった。

若手の方の為年寄りの優遇を過度にしない方がいいと思います。

健康状態が芳しくない人はポイントをためにくい

【② 70歳未満 (問12：敬老健康パスの素案について課題と感じた点があれば、ご自由にお書きください)】

年齢	居住区	自由記載意見
20～29歳	厚別区	活動(時に歩くこと)において、携帯を持って行なわれない(落としての紛失が心配)。介護予防、人のふれあい、他のポイント、付加方法が分からない。J R、タクシー等にも使用できるのであれば2万円は少ない。従来の敬老パスに附加してほしい。
50～59歳	厚別区	足腰が弱ると交通機関は利用できません。そのような人達にも利用できる制度にしてほしい。難病の人や一人で乗車できない人たちの家族にも付き添い時使える健康パスを作ってほしい。
50～59歳	清田区	今まで通りの敬老パスで良いと思います。ポイントがたたまらなると、外出できなくなってしまう老人が増えてしまいそうです。新しいことを覚えるのも大変な老人に、このようなことを進めるのは反対です。
65～69歳	豊平区	名称が良くない。健康でない人は使えないという印象。ポイント獲得の活動一個別の具体的制度を知りたい。あいまいすぎる。現行の敬老パスと2枚持ちちは面倒。ポイントつけるより、現在の自己負担を減らす方が経費からかからないと思う。
60～64歳	東区	スマホを利用してポイントを獲得するという操作を行っていった方がいいと思う(慣れるためにも)。もし65歳から対象になるとしたら、現在の料金では安すぎるので、自己負担は高くなるのも通常料金より少しでも安くなれば利用するのでは。
50～59歳	北区	現在の敬老パスがよい。自己負担は多少上がってもよいが、ポイント制はまったく使えない(対象者が今以上に偏る)。
40～49歳	東区	利用先の拡大でタクシーを使えるようにしたいと思います。
65～69歳	白石区	バスが減った。
65～69歳	西区	体力(筋力含めて)維持のために春から秋にかけて登山を始めました。20数年ぶりでしたので、若い時と違って時間がかかりましたが、登顶したときにはやれば出来る自分に自信を持つことが出来ました。老人扱いせずにかしらのサポートがあれば出来る人もいます。
60～64歳	手稲区	活動しなければポイントがもらえないのは良くない。
50～59歳	東区	周りを見ると、スマホを使いこなしている老人が多いので、利用先の施設の方の負担を考えると心配です。
50～59歳	厚別区	特定の人が参加・活用し、不平等が生じる制度だと感じた。アプリは使いこなしく、ポイントカードも使いつらい。若い人が考えた制度はお年寄りには理解し難い。
40～49歳	白石区	スマートフォンを持っていても、使いこなせない人もいますので、もう少し簡単に誰でも使いこなせる案の方が良いと思う。認知症の人でもわかるような案で、買い物も年を取ると面倒になる人もいますので、買い物したらポイントがつくと外出機会も増えると思う。
65～69歳	中央区	皆が理解しやすく活用できるようにしてください。
50～59歳	北区	ポイントの上限について、もう少しあげて下さっていただければ、より活発に動ける人がいるかもしれないです。
50～59歳	厚別区	事業費が増えるのは市民全体の生活を良くするとは思えないので、外出先で買い物し利用者50%、店25%、市25%の負担で運営を考えると良いのでは。
40～49歳	豊平区	交通料金が安くなる高齢者の車運転も減り、少しでも事故がないようになってほしい。
60～64歳	東区	敬老パスを使用している人がいて、うらやましいなと思うので、続けてほしい。個人差はあると思うが、自己負担を増やしても必要なら使おうと思う。敬老パスは本人の物で、友人や家族は別だと思ふ。
50～59歳	西区	概要は把握できましたが、課題とまでは至りませんでした。良い制度として機能するための周知や活用方法にご尽力ください。
60～64歳	西区	老人が面倒くさがることなく使用できるものだと多くの人が使うのではないかと思います。バスに乗ったり、市電に乗ったりしますが、老人の使用率は高いと思うので、現在の制度をうまく生かしてほしいです。
60～64歳	西区	何でもポイントポイントではなくて、その分の予算を自己負担の軽減や利用年齢の引き下げにあててほしい。
30～39歳	南区	パスチャージ者の割合で0円が56.8%もいるので、知らない、利用したいけどどうしたらいいのかわからない人が多いのではないかと思います。歩くこと以外利用しづらいのではないかと思います。
30～39歳	南区	もつとわかりやすく利用しやすくすかね。
50～59歳	中央区	スマホを必ずしも利用している人ばかりではないので、簡単にわかりやすい内容にしたらよい。
65～69歳	西区	J Rも使えるといい。ポイント交換など意味がわからない。アンケートもわかりやすいものにしてほしい。
30～39歳	北区	外出があまりできない方にとっては、ポイントの交換先が公共交通機関だけだとお得になると思えない。外出を支援するだけでなく、介護料に還元できるようにない方がいいのでは。
65～69歳	中央区	私は今まだ66歳ですが、70歳になって足が元気であれば、地下鉄とかバスで行ける範囲内でお友達とお出かけしたいです。バスを使用して。それが制限されてしまうと(金額が)、その時は淋しいですね。一人暮らしなので車もないし。行ける範囲も決まってしまう。
40～49歳	手稲区	広報さっぽろを読まない人、新聞を読まない人など、新しい行政のサービスを利用してもらうには幅広い世代に知っていただく必要があると思う。TV CMや新聞、近隣のスーパーにチラシも置いて、知らない人がいない、損をしない、納めた税金を自分が有効に使うには100%の人が使えるようにしてほしい。パスを持っている人しか乗れない交通機関があっても良いと思う。

自由記載意見		
年齢	居住区	
60～64歳	南区	ポイントの還元率を上げないと今の年金額では移動時にかかる交通費の負担を考えるとと思います。仕事が出来ない上に負担ばかりでは、出歩かなくなるのでは。
50～59歳	東区	ポイントカードを郵送する経費を自己負担の軽減に当てたい。ポイント制度を行う意味がわからない。
60～64歳	豊平区	活動に応じてポイントを獲得するアプリは他にもいろいろあるのでは、敬老パスでポイントをとめる必要はないと思います。システムを簡単にして、交通機関を無料で利用できるというサービスだけにしたいと思います。
50～59歳	北区	やりたくない人もいるし、全員に周知できるか。どう周知していくのか。
20～29歳	東区	敬老という言葉に年齢的なコンプレックスや劣等感を抱く方が一定数いるように思っています。
60～64歳	白石区	徒歩や活動ができない人は参加が無理です。敬老健康パスは、元気な人しかメリットがないように感じます。
65～69歳	西区	冬道を散歩ができるような対策づくりと70歳以上の自転車禁止を望みます。
50～59歳	東区	利用先の拡大には賛成です。(タクシー)
65～69歳	中央区	原案の2万円は現状の敬老パスと比較あまりにも低額すぎると感じる。せめて5万円程度まで引き上げが必要。
40～49歳	手稲区	平均寿命がこれだけ伸びていることに驚いた。長生きするために定年退職の年齢を早めて返納させて、交通機関利用で働きに行けるようにしてほしい。今のままだと長生きするのに生活が苦しくて生きていけない気がする。
50～59歳	中央区	全て自己完結するのが困難になるのが老いと想定してほしい人が簡単に手軽に手にすることができるようになればと思います。
50～59歳	北区	ポイント獲得手段が不明すぎる。もっと詳細な内容をお示ししてからアンケートを行うべき。
60～64歳	手稲区	活動に応じたポイントというのは難しいのでは。敬老ぐらゐの年代の方はウォーキングしての方が多くありますが、スマホなしではどれだけ歩いてもそれがポイントとして認められるかは不明です。対象の活動がどれだけ多くなくなるのかも重要な点です。
65～69歳	東区	現在上限額まで使用されて活動されている方が上限が下がると活動範囲が狭まってしまう。ポイントの具体的な案がなく、仕組みが不透明である。どういう方を対象に健康づくりを目指しているのかよくわからない。
60～64歳	手稲区	必要とは思いません。
60～64歳	西区	制度の思想は良いと思うが、実際に活用する人がどれほどいるのか疑問がある。私自身利用するかと言われればどうかかと思っているところである。
50～59歳	北区	現行の敬老パスの利用状況は対象者の半分以下にとどまっている。本人が必要ないと思わなければ不公平になるので制度のPRをもっと拡充すべきである。高齢者はスマホなどの電子機器の扱いに慣れておらず、アプリは使いやすくないと考える。
50～59歳	南区	ある程度身体が動ける方でないかと参加できない点。スマホがあっても操作が多いとやれないかも。ポイント利用がもっと多くの場所で作れたらいいな。
40～49歳	豊平区	活動に積極的ではない方にとっては改悪の案に感じると思っています。アプリやポイントカードを活用するのが苦手な方も多いと思うので、今までのようにシンプルな制度でいいと思います。74歳の母も同意見でした。
40～49歳	豊平区	高齢者への周知。新しいことを始めることが難しい高齢者へいかにわかりやすく、又、参加意欲を高める説明ができるかさらに浸透させられるかが課題を感じる。
60～64歳	中央区	高齢者が利用する制度なのだからあまり複雑にするべきではない。複雑だと利用しにくくなり、利用者のためにならない。
65～69歳	白石区	チャージ額を増やしたいが、自己負担額が高額になるので物価高の現状では厳しいと思う。
50～59歳	手稲区	公共交通機関に限らずより多くの費用の振り替えにできるようにすれば多くの人や事につながるので早急に考えざるべきである。
20～29歳	東区	敬老健康パスそのものに疑問を感じる。70歳以上を対象とするところから支援し、外出を促進したところで健康になって長生きできるとは考えられない。むしろそこに財源をいれるのではなく、これからの未来を担う子育て世帯へ支援するべき。
40～49歳	豊平区	限度額は3万円くらいでいいのかなと思います。7万円まで使われる方は現役バリバリ働いている方なのかな。それ以上をポイント制にすればいいのかな。もしくは3万円を超えたら負担額をあげる、というのはいかがでしょう。
40～49歳	北区	仕組みを単純にしないと、頭から分らないと理解しようとしにくい可能性がある。広報していく方法と理解を促すことが難しいので工夫が必要。
65～69歳	厚別区	活動に応じてポイントを獲得することが楽しみや目標になったり、更なる健康維持につながり、いいのではないのでしょうか。
60～64歳	北区	北海道は広いです。どこに行くにも歩きで健康にはいいけれど無理をしてけがも発生します。交通機関をうまく利用して体調を整えたい。
60～64歳	豊平区	ポイントがたまったように把握しポイントとするのかイメージできません。ポイントがたまるまでは公共交通機関を利用サービスはうけられないことになるのですか。ポイントを交換するものが、皆さんスムーズにできるでしょうか？高齢者対象にこのポイント制の仕組みをしっかりと伝えていくことはかなり大変に感じます。
65～69歳	清田区	よくわからない。
30～39歳	厚別区	そもそもこの制度を対象者が知る機会が少なく感じる。健康になる事で与えられる特典が魅力的なものであればより良いものになると思う。
50～59歳	豊平区	ポイント獲得のために無理な健康づくりをしないか心配。
65～69歳	東区	ポイント獲得のために無理な健康づくりをしないか心配です。
65～69歳	中央区	敬老パスは無駄、やめるべき。

年齢	居住区	自由記載意見
40～49歳	南区	外出できる人がバスを使って移動して、楽しい場所に行きたいと思えるところがまずないかから、使用状況が悪いと思う。病院だけだけでなく、友人を作ったり、若い人とも一緒に作業したり、自身が持てるようになると一人でも行動したくなるのでは。まず小さなところから身近なところからそういう場所を作ってみてほしい。
65～69歳	清田区	ポイント制に疑問。
50～59歳	南区	対象年齢の方ではなく、若い世代もこういう事業があるというのを知ってもらえたらいいと思う。進めてもらえたらいいと思う。ポイント制は、進めてもらえたらいいと思う。ポイント制は、進めてもらえたらいいと思う。
60～64歳	厚別区	ある程度寿命が延びていくからと言って単純に対象年齢を下げる案はおかしいと思う。余力のある年齢で、公共交通機関を不安なく利用できる70歳から制度を使ってもいいから、介護予防につなげていかなければならないと高齢者が元氣だから対象年齢をあげるのは予防効果を下げてしまうと思う。
60～64歳	厚別区	身体状況等によりポイントの上限下限の獲得。
50～59歳	南区	札幌市のように公共交通機関が比較的多い地域では、敬老バスを早い段階で使えることで免許の返納を促進することが可能になるかもしれない。高齢になり、判断力が衰えるほど本人が返納の決断ができなくなっていくように感じる。自分で自分を客観的に判断できるうちに決断できる環境を作ればどうか。
40～49歳	清田区	簡単に説明してすぐ使えるのが楽です。年を取ると色々なサービスや方法が増える使用自体が面倒ですぐ放置します。毎月の光熱費のように定期的に引き落としや更新しようと思える何かがあれば自然と使うようになっていくと思います。
65～69歳	白石区	制度が複雑だと理解できない。スマホでポイント獲得はスマホ操作ができない。ポイント獲得の方法を理解するまで丁寧に教えてほしい。
65～69歳	中央区	制度はシンプルの方が良い
65～69歳	北区	年を取るといろいろ敬老健康パスより、他の物（老人福祉）にお金を使っているように感じます。動ける老人はお金を持っています。
50～59歳	清田区	正直言って自分では使わないと思う。ポイントは絶対に使わない。このアンケートも途中まではWEBで行ったが、違う操作をしたらまた初めからになったため、もう紙での回答にしたくないので。高齢者にはあまり魅力的ではないと思う。高齢者はポイント活かしにくい。
65～69歳	北区	健康な体作りができるようにPR、少しでも多くの人が健康寿命を伸ばすこと。入院に長生きしても意味なし。
65～69歳	北区	マイナンバーカードに組み込むことができないだろうか。
60～64歳	東区	70代以上でスマートフォンを利用している方が増えている一方でポイント活用する方法に慣れていない友人たちがいる。ポイント獲得は簡単に分かって使いやすい制度にした方がよいと感じる。
30～39歳	北区	若い世代の税負担がキツイ。
50～59歳	南区	マイナポイントの取得はややこしかった。ポイント制で高齢者対象に何かするのであれば何はともあれわかりやすい仕組みであることを望む
65～69歳	西区	拡大すべき。
30～39歳	白石区	高齢者にとってもスマホ操作は簡単ではない。アプリ自体の使いやすさとカードとの併用、使用を開始しやすい環境が必要。サポートしてくれる人、環境が必要。
40～49歳	白石区	スマホが使い慣れてないと難しく感じる。ポイントが良く分からない。
60～64歳	中央区	ポイントは必要か。
50～59歳	西区	高齢にならなくても免許を返納した親がいますが、今まで車中心の生活で高齢にならなくても利用しなれていないバスや地下鉄に乗るのが私たちが思っているより大変なように感じます。タクシー利用にも使えないかなと思います。タクシー利用にも使えないかなと思います。タクシー利用にも使えないかなと思います。
65～69歳	清田区	とても素敵なサービスだと思います。ただ購入したものの、利用が少ないこと、利用が少なくていいかなと思います。
50～59歳	東区	QTを見直した方が複利の敬老バスで十分。運営コスト増やさないで。アプリ、ポイント等は民間の多くのサービスで十分
65～69歳	白石区	今までバスでの交通がとて便利でしたが、廃止となり地下鉄まで行くことが大変なこと。エレベーターを増やしてほしい。
60～64歳	中央区	敬老バスまだ使用していないし、70歳まで7年あるのんびり来ない。自己負担が少ないのは、財政とかに問題は無いのか。
60～64歳	豊平区	高齢者層がどんどん増加することからより多くの人が参加できるように簡単な仕組みにしてほしい。
30～39歳	白石区	バス、タクシー、JRも使えたらそれだけでいいと思います。ただし、自費の金額は2,000円くらいまで上げてほしいかなと思います。
30～39歳	北区	平均チャージ額が意外と低いこと。バスチャージ0円の方が56.38%びつくり。これで本当に敬老バスは有効な制度なのか疑問。チャージ7万円の方の割合が4.2%。かなり一部の人のみで活用している感があります。
50～59歳	北区	日本人はポイント制など特典があれば飛びつきの利用しているかと思いますが、実際、年齢が高くなるほど男性はポイントに執着せず、ポイントで何かするのを恥ずかしがる人も多々います。面倒と思う方も多々います。女性は安ければ・特典があるなら・と気にせず使用の方が多々います。わざわざポイントをとめるため活動するとは思えません。そういうので活動する方はほとんど活発な人たちなので、ポイント無くても外にです。独居老人など億劫に思っている方は結局そこまでしないとします。それよりも一定回数、機関など使用したら割引になる、もしくはチャージ額が増える等にした方が利用者にはお得感があります。まとめ。もともと活動的な高齢者は特典が無くても進んで活動します。ポイントで活動を増やしたいのであれば銭湯や温泉施設で利用できる。他に通院してはいけない健康な方に特典が付く等

自由記載意見	
年齢	居住区
60～64歳	白石区
60～64歳	中央区
60～64歳	厚別区
65～69歳	南区
65～69歳	厚別区
65～69歳	清田区
65～69歳	東区
60～64歳	北区
60～64歳	白石区
60～64歳	白石区
30～39歳	西区
65～69歳	豊平区
50～59歳	厚別区
50～59歳	南区
65～69歳	西区
50～59歳	白石区
50～59歳	北区
65～69歳	西区
60～64歳	中央区
40～49歳	西区
50～59歳	西区
40～49歳	東区
65～69歳	清田区
65～69歳	北区
40～49歳	北区
65～69歳	清田区
65～69歳	南区
50～59歳	南区

自由記載意見		
年齢	居住区	
50～59歳	中央区	とても良い制度だと思います。ペンピンコロロが一番いいと思っています。札幌市内のお店と連携しているいろいろな事をしてほしい。中小企業は給料がふえず、物価ばかり上がり、税金もふえ、節約するしかない。一番辛い年齢。
40～49歳	豊平区	ポイントを獲得できる活動の種類、小学低学年、子供達の世話交流、学童保育のボランティア、交通安全パトロール等、地域の子供達との交流でポイント獲得。
40～49歳	白石区	バスの利用者数が増えるのだからか？疑問。健康老人は活動が増えるかもしれないが、障害をもっている方はどうなんだろう。
65～69歳	豊平区	現在の考え方で良いと考えます。
50～59歳	西区	今後はスマホを持たれる方も増えると思うので、店舗や図書館、駅やショッピングセンターのあちこちにポイントを貯めるQRコードがあって、行っただけでポイントが貯まる仕組みだと楽しい。
65～69歳	白石区	事業参加について、客観的に検証できるものでなければ、事業予算が無駄に使われることになりかねないと思う。
40～49歳	北区	ポイントについて簡潔にして欲しい。貯まったポイントがそのまま使えるのが良い。交換するひと手間はいくら健康でも面倒くさい。
50～59歳	中央区	正直に言うともた「ポイント」か。この国は、この国民はポイントで動くのか。ポイントで人を操るのがやめませんか。やる人、やらない人別れると思います。それが健康寿命につながるでしょうか。ポイント集めのできる人はすでに健康路線だと思えます。限度額が少なくなってもシンプルな仕組みの方がいいと思います。
50～59歳	白石区	対象の活動の内容を楽しく充実したものにすると良いと思います。楽しく参加できてポイントも貯まるといいのが嬉しいと思います。
60～64歳	白石区	無ければ困ると思う。
30～39歳	北区	健康バスでなにがしたいかわかりませんが、単純に敬老バスの上限を上げた方が良いでしょう。2万円なんて冬だけ乗っても足りないでしょう。バス路線が激減しましたので相性も悪くなるでしょう。
65～69歳	南区	③ポイント利用について交換上限2万円は敬老バス時より（7万）低すぎる
20～29歳	東区	少子高齢化にともない若者への負担が大きくなっていく。
65～69歳	南区	ポイント交換により、JRやタクシーも利用できるようになるのは良いと思うが、参画する事業所に新たな設備の導入などが発生するのではなく、既存のものを活用できるシステムを構築する。
60～64歳	中央区	健康で人とのかかわりやすい人にとっちは良いのでしょうか、そうでない方（病院通院が多い方など）は無理なのでは？
50～59歳	北区	身体が不自由で思うように活動が難しい人に対しての内容をもっと充実できるようにしてほしいです。
60～64歳	白石区	敬老バスを通勤で利用し、働き先から通常の交通費をもらっている人をみたことがあり、疑問に思ったことがあります。私の父は一度も利用したことがなく、今はひとりで外出できないので今後でも利用できません。敬老健康バスは健康である程度お金に余裕がある人しか利用できないと思います（敬老バスもですが）広く残すではないですが、毎月の上限を設けるとかはどうでしょうか。年間6万、7万も交通費で使いますか。
40～49歳	北区	ポイント獲得のための活動に、高齢者でもできる様な仕事をするのを含めてほしいです。
60～64歳	南区	積極的に利用する意欲のない人に対してどのように働きかけるかが難しい。高齢者の人口が今後20～30年は減少していきませんが、財政的に大丈夫でしょうか。
40～49歳	北区	正直、スマホに変えてから数年たちますが、今でも全く使いこなせていないのが現状です。敬老健康バス（案）読みましたが、いまいちよくわかりません。
30～39歳	厚別区	70歳以上の高齢者が使いこなせるのか疑問に感じる。
50～59歳	西区	高齢者は制度の内容を理解するのが難しい方もいると思うので、区役所の方がわかりやすくわかるまで説明することが大切だと思います。区役所の窓口ではゆっくり説明できないと思うのでどこかの会場などで説明会を開くなど検討する必要があると思います。
65～69歳	東区	ポイント制は疑問に思う。
50～59歳	中央区	敬老健康バスの趣旨は理解できるが、ポイント制を導入するには賛同できない。利用を活性化すれば札幌市にとって負担が増加するのみではないかと考える
65～69歳	中央区	操作は簡単にしてほしい。使用者は皆老人のため。
30～39歳	厚別区	アプリやポイントカードの導入・発行が簡便だとよいと感じました。そこが複雑だとなかなか始める気になれないかもと感じました
50～59歳	清田区	敬老バスチャージ利用者の割合が半数以下というのは少なすぎるのでは。チャージが郵便局でしかできないと聞いたが、地下鉄やスパーなどでもチャージができるようになるのと良いのでは。
65～69歳	厚別区	色々な活動や人と話すことを苦手と思う方もいるかと思いますが、別々に考えた方が良いでしょう。今のままの方が良いのでは。
50～59歳	白石区	夏は道路、舗装道路を歩けるが、冬は歩道のツルツル路面で駅、バス停まで歩けず、外出がしづら。道路の除雪は良いが歩道はあまり良くなく、外出をしやすい様、工夫してほしい。
50～59歳	北区	JR・バス・地下鉄が近くにない高齢者の方も多いので、その方たちの支援もしていただきたいですね。私の叔母は67才で認知症になりましたので、1人で乗車できませんでしたので年齢引き下げがいいのかと。敬老健康バスとてもいいものと思います。高齢者の方達へのおもいやりバスです。
60～64歳	豊平区	65才から本当の年金生活になるので、65才からでもいいのでは。

年齢	居住区	自由記載意見
30～39歳	東区	高齢者が家族の助けがなくても1人で手続きでき、簡単に活用できることをかく追究した方がよい。バス地下鉄まで遠い人もいるので、タクシニーにもうまく活用できるようにしてほしい。高齢ドライバーも減って健康的に活動的にすごしてほしい
20～29歳	西区	ポイント制度があったとしても、ポイント交換自体が面倒に感じたり、制度をわかりやすくしてほしいこと、周知していく事、
60～64歳	南区	財政的に難しいものは丁寧な説明をしていく事、報告していく事、周知していく事、
30～39歳	中央区	課題とするならば、今のままでは変化はあまりないと思う。なぜなら、敬老の方が公共機関で遠慮している現状が見受けられます。気持ちの面で余裕があれば、敬老パスの効果があると思います。
60～64歳	中央区	現状の敬老パスのチャージ者割合で56.8%もの対象者が0円であることは、制度上問題がある。だからといって素案によって公共交通機関を利用するとも思えない。
20～29歳	西区	デメリットも教えて欲しい。そのうえで敬老健康パスが対象であるすべての方々に平等なのか考えるべきだと思う。
50～59歳	中央区	自分の親族は80代なので、スマホのアプリを使いこなせるとは考えられない。ポイントカードでの参加となるだろうが、例えば「歩くこと」に対するポイントほどのよさに判が断するの。万歩計を提出して確認するのか。スマホなら容易なことでもアナログだとかなかなか難しいのではないかな。今、スマホを使いこなしている世代が、該当した場合はよいかもしれないが、今、現在の80代世代の高齢者にはなかなかハードルの高い制度(素案)だと思った。
65～69歳	清田区	パスの利用額7万円はたしかに多過ぎると思うが、健康のために公共交通機関を利用し行動するには最低でも3万円は必要ではと思う。私は今現在67才になりますが、病院通いや買物、冬は運動を兼ねてただただ散歩などに出向き散歩など公共交通機関を利用しています。但し私は障がい割引なので実際は倍になると思う。
50～59歳	南区	年金を受けることになった時点で敬老健康パスを利用できる様になつたらしいと思います(年収が減る方が増えると思うので)。遠い病院に通っている場合、タクシニーを利用する方もいると思うのでポイントではなくてバスと同じ様にタクシニー代もいくらまでと決めてもいいと思うので、対応していただければいいと思います(JRも)。
60～64歳	厚別区	6才を過ぎてから私自身、病気がかりするようになってしまいました。「健康寿命」という言葉は遠くになりそうです。「敬老健康パス」と言う物も、健康な老人のみ使われるものを感じてしまい、とても不快です。若い方が考えられるとこの気持ちはわからないと思います。すごく健康な元気いっばいの年配の方にもわからないかもしれませんが、「健康サポートパス」などにして下さい。
50～59歳	東区	アプリでダウンロードしたり、仕組みを理解するのが面倒と感じないサポーターやキャンペーンが必須ではないでしょうか。日常のお買物でもポイントがもらえたり、旅行、映画、フィットネス、出掛ければポイントがもらえて、ポイントを利用できることも多様であれば利用は増えそう。札幌は雪道のハードルが高いので、タクシニーのシェアリング等、ドアtoドアで移動できないと出掛けたくても出掛けにくいし、同行者と一緒にポイント利用できると楽しみも増えるのではないのでしょうか。
60～64歳	北区	必要ないと思います。そのポイントを若い人に還元してほしいと思います。
50～59歳	豊平区	事業参加してポイントを獲得して、利用する際にシステム(スマホなど)操作する際に簡便な形で実現いただきたい。理由：年配の人が操作しやすくするため。
50～59歳	中央区	もつともっと老人がどうしているのかどう生活しているのかを知ってほしいです。貧しく生きていく人、たくさんいます。お店に不自由している人もいます。お年寄りにとって負担なく移動できればとても喜ぶと思います。お年寄りに寄り添った制度にしてほしい。
50～59歳	西区	歩数によりポイントがたまるとアプリを使用しているが、介護予防や人のふれあいでポイントがたまるとの基準がよくわからない。
65～69歳	中央区	まだ先のことと思ってしまう。車での移動も間もなく終わりが近づき、敬老健康パスを使用できるまでは思っています。身の回りのことが一人でできて、家の中にいることばかりでなく、外へ出かける(病院など)、シルバークーラーを使いながら…色々かかっています。主人の親の時よりも進化していることに共感しています。ポイントも健康づくりにでき、介護予防ができ、…敬老健康パス、これからは楽しみます。
50～59歳	北区	なぜポイントが発生するのか。スマホ操作はできるのか。
65～69歳	豊平区	活動に参加しないとポイントがもらえないと書いてあるが、例えばスマホ教室に参加しなくてもわかる人はポイントはもらえないのか。素案がおおまかで内容がよくわからない。
65～69歳	厚別区	ポイント取得方法が簡単であることと、交換への換算はある程度容易なポイント数で出来ること、参加者が多く、ポイント獲得しにくく感じる。
50～59歳	白石区	ポイントは交換もいいと思います(血圧計、体温計、オキシメーター等)。
50～59歳	豊平区	札幌市に転入して来ました。親が敬老パスを利用しています。ありがとうございます。
65～69歳	南区	決定事項じゃない(案)にアンケートって変。まだ敬老パスの利用者でもないんだし、ポイントをとめられるようにするってただだね。ポイント付与のパーセントが問題。Tポイントみたいなのだと使えるほどたまりません。
50～59歳	東区	活動的な人だけがポイントがもらえないでなく、スーパへ行ったり、病院へ行ったり、ポイントがつくようになれば良いと思う。
65～69歳	中央区	スマートフォンは使用しない方が高齢者には良いでしょう。「活動に応じたポイント」の意味が不明確です。現状のまま自己負担額に対するチャージ金額を減額しては。高齢者は「変化」をきらいます。素案は高齢者の発想ではない。

自由記載意見		
年齢	居住区	
50～59歳	西区	健康で活動的な高齢者は敬老パスがなかったとしても自費で行動すると思う。足腰に自信がなくなれば歩くのも億劫になり、家にひきこもりがちになって、人との関りも減る。そちら側の人達に必要な支援をした方がいいと思うのですが。
60～64歳	西区	老人が増えいき、市税の負担も大きくなっていくと思うが、これを維持していただきたい。敬老健康パスがあることで、外出する意欲も高まり、人との接点もできると感じる。交通運賃もバス、地下鉄、電車と値上がりしていく中で札幌市の特徴を考えると、敬老健康パスは目を引くものだと思います。何故なら本州から引越してきたかたに強く感じます。
50～59歳	東区	良く考えられていると思います。今の高齢者はスマホなどを使い、行動が若いですが、そうではない方もいます。簡単なものでもいいと思います。
40～49歳	中央区	高齢者が優遇されすぎだと思う。若者が将来不安にならぬように、若者にも支援の手を、さしのばしてほしい
50～59歳	手稲区	スマートフォンでも使えるようになれば良いと思います
65～69歳	東区	ポイントの利用は敬老パス等へのチャージではなく、スマホを直接かざすことにより利用できた方がよい。
30～39歳	豊平区	認知度が低そう。結局認知度が低いまま消えていくことになりそう。対象の高齢者が平等なシステムになるのかわからない。
60～64歳	豊平区	わかりにくい。
30～39歳	北区	ポイントは無期限にしないと利用者が有効期限を忘れる。JRやタクシーでも利用可能になり、自己負担金廃止になる案はいい。地示の人や他人と触れ合いたくない方もいると思うので、それらの活動をポイントで「評価」するというのは要らぬお世話。そもそもポイント獲得や利用に必要な数値や条件が不明で有効なのか否か判断できない、案がたまかすぎると詰めてからアンケートをとって欲しい
30～39歳	北区	高齢者の健康寿命を延ばすことには医療・介護費用の削減など一定の意義はあると思います。一方で、高齢ドライバーによる交通事故やヒヤリハットがあることも事実です。私自身も高齢ドライバーの危険な運転で何度も事故に遭いそうになった経験があります。いきなり飛び出してきた高齢ドライバーの車に子どもが轢かれそうになったこともありました。公共交通機関を利用できるメリットを享受するのであれば、免許返納にしっかりと向き合っ取り組むのが行政や高齢者の責任だと思います。
40～49歳	西区	スマホのアプリ自体がわからない人や、特に男性は、ポイントを購入する事に魅力を感じて、わざわざ公共交通機関に乗る事はしないのではないかと思う。
50～59歳	南区	とてもいい案だと思う。
60～64歳	北区	公共機関とくにバスの運行を増やす。
30～39歳	北区	高齢者の方と関わる人が多いので敬老パスのことは知っていたが、高齢者の方と関わりが少ない方からしてみたらあまり知られていないのではないかなと思います。若い世代、働いている世代にも少し周知されたい幅広い意見などが出てくるのではないかなと思います。
40～49歳	南区	タクシーでも使えると良い。足が不自由だとバスも厳しい人もいるので。
18～19歳	西区	対象を70歳以上の方だけでなく、車の免許等を返納をされた方も利用できると感じました。高齢者の免許返納への意欲をあげることに少しは繋がるのかなと感じました。
20～29歳	白石区	今後この案を続けていくには上限2万を対象者以外も支払っている税金でまかない続けるのはやりすぎに感じる。抽選会等もあるのであれば、札幌市である程度移動可能な通勤定期一万円前後で十分思う。それが、ある一定のポイントと交換できる定期券等を用意すると良いのでは。
50～59歳	手稲区	高齢になると、足腰が不自由な方が多くなってきます。対象を70歳以下にして、マイカーの使用を減らしたほうが良い。
40～49歳	西区	制度自体税金の無駄遣いで、必要なし。
65～69歳	東区	使用する交通機関が主にバスの場合、運行時間が少ない点が不便を感じる。
40～49歳	東区	敬老健康パスそのものを高齢者だけではなく若い世代にも周知する。
60～64歳	西区	高齢者の運転免許返納に伴い、公共交通機関の必要性はより高まっているが、一方で冬場の悪天候や除雪の不備、運転手不足等の理由で、公共交通(特にバス)の将来には不安を感じる。先ずはバス路線と本数を確保する。その為には多少の自己負担はやむを得ないと思う。
30～39歳	清田区	足腰の弱い高齢者が、バスも定時に来ず、ハイヤーも満車で通院にも不自由という現状は、見過ごされて良い話ではない。平均寿命が上がるような気がするのでいいと思います。
65～69歳	北区	ポイント獲得の活動例が難解すぎて、具体的にイメージできない。自分の場合は、①体育館での筋トレ、②ランニング(マラソン大会参加)、③ヨガ(お寺)、④町内会活動、⑤カラオケ等を生活の基盤にしているが、活動ごとにポイントの一回当たりの単位などが全くわからないので、これからの詰め作業に期待しております。
65～69歳	中央区	年寄りを無理にあちこちと移動させようとしないか。外に出掛けることだけが健康寿命維持のために有用なわけではない。
30～39歳	白石区	スーパードで見ている、アプリやポイントカードを駆使している(提示している)高齢者は少ないように思う。結局高齢者には理解するのが難しかったり、面倒だったりするからなのではないかと感じる。ポイントを活用してJRやタクシーにも使えるのは良いかと思う。
40～49歳	白石区	スマホを持ってない人のポイントカードで、どのように活動に応じたポイントをつけて行くのかよくわからない
65～69歳	手稲区	高齢者が多くなくて予算も大変かなと思います。

自由記載意見	
年齢	居住区
30～39歳	東区
65～69歳	白石区
65～69歳	清田区
60～64歳	豊平区
65～69歳	白石区
50～59歳	北区
50～59歳	豊平区
30～39歳	東区
65～69歳	厚別区
50～59歳	豊平区
60～64歳	白石区
40～49歳	西区
20～29歳	豊平区
50～59歳	手稲区
40～49歳	西区
30～39歳	南区
50～59歳	北区
40～49歳	東区
40～49歳	厚別区
60～64歳	手稲区
50～59歳	豊平区
40～49歳	西区
40～49歳	北区
60～64歳	厚別区
50～59歳	手稲区
50～59歳	豊平区
20～29歳	白石区

健康な人だけが受ける仕組み。身体的不自由で1人では歩くことが困難な人や外出ができない人達には何の役にもたっていない。

サポートを手厚くする。
 敬老健康パスの名前のイメージがまいちです。
 もっと多くの人に知ってもらい、理解し活用してもらいたい。
 その年齢に達してないのかわからない。
 スマートフォンを持ってはいるが実際には使いこなせていないという高齢者の方が多いのでそこをどう解決するかではないでしょうか

スマートフォンと面倒。
 利用率を高めるために告知をしつかり行うことが大事ですが、社会の安定や維持のための制度なので抽選会やポイント制まで導入すると高齢者の方を過剰に優遇することにつながるような感じがしました。
 ポイント制度に馴染まない高齢者も居る

敬老パスは現行のままでも良い制度だがタクシーにも使えるようにして足の不自由な人にも対応できるようにしてほしい。自己負担があっても経済的に不安が無い施策を出すべきだ。健康づくりは別の施策を用意する必要があり、公共交通機関利用を人質のようにして高齢者に運動させることは反対である。もっと自主的能動的に運動や行事参加できる案が必要。高齢者一人一人の健康度合いを把握するシステムが無ければ意味が無い。50億の支出が今後増える予想の中で、利用者数だけを増やすだけでは意味が無いし支出を減らしたいのか増やしたいのか明確ではない。自己負担をなしで2万円上限の自己ポイント取得強制は、「ポイント貯められれば外出しなさい」と言っているのと同じ。運動できないうつや障害者に考慮してポイント無くてもある程度使えるようにしたら、ポイント貯めている人から苦情が来るのは明らかである。まず敬老パスチャージャー者割合0円56.8%の中の内訳を調べるべき。敬老パスの現行上限7万円だと月6千円弱だから、タクシーに使えればタクシー会社や施設に入ったのか、経済的に外出できなくなったのかなどの傾向を調べるべき。敬老パスの現行上限7万円だと月6千円弱だから、タクシーに使えればタクシー会社や施設に入ったのか、経済的に外出できなくなったのかなどの傾向を調べるべき。敬老パスの利用が出来るれば利用者は増えると思う。但し50億超の支出に対する財源確保が課題となる。

年間1万円程度は負担なしで利用できるとかあれば促進されるのでは。
 公共交通機関に乗り合わせた高齢者のイメージですが、ほとんどの高齢者が病院に行くためにバスを利用しているイメージで、楽しむために使っている人は少ないと思う。

サビカの利用方法が分からずに改札口で戸惑っていた高齢者の方を見かけたことがあったので、電子券の利用方法についての説明を（現在既にあるのかもしれないが）発行前にすると良いと思う。
 お金がかからないようにしたほうが、良いと思う、年金も少ないから、絶対的に無料支給したほうが良いと思う
 両親はJRの駅の徒歩15分の所に住んでいますが、JRで敬老パスを使えないので困っています。バス停も近くないので不便です。

あまり詳しくわからないので、弊にありません。
 あくまでも健康な人が対象で身体の不自由な人は公共交通機関も活用する機会が少ないので、そこも考慮してほしいとは思いますが難しいですね。
 マイナカードと連携してスマホのアプリでのみ使え誰でも簡単に出来るようとした方がいい。

アプリ以外のカード等の余分な物は紛失などした時に手間が増えるので必要ないと思う。
 スマホで、高齢者には難しいのでは。とてもいい案だと思いますが、高齢者でスマホを難しく操作できる人は極一部だと思えます。ポイントカードでうまくいくという認知症や障がいを持つ高齢者への活動参加のきっかけはどのようなものか？家族の負担が増えるのではないのか？働き手への負担が少しでも軽減できる社会を希望する。

バス運転士やタクシードライバーの不足が問題となっており、高齢者の利用促進との需給バランスが取れるか心配。
 必要以上に多く使う人への対応が必要。二日連続だと割増し料金にするなど。
 お年寄りのほとんどは使い方が、わからないのではと思う。
 人口が減り、敬老パス制度の維持は困難になっていく。敬老パス制度を廃止し、格安なシニア料金を設定する。
 ポイントの獲得方法がもう少し具体的にしてほしい。
 もっと周知徹底して欲しい。

誰でも一定割合の補助が受けられる制度から、市の指定した活動に参加しないと補助も受けられない制度改悪。健康状態が優れない者については、自己に起因しなくとも市指定の活動ができないというだけで切り捨てる制度。市の指定の活動をたくないものに対しては補助しないという、行政による危険な選民。

知らない方が多いと思うので若者に周知されて、そこから祖父や祖母にこの制度を伝えられるといいと思います

自由記載意見	
年齢	居住区
50～59歳	豊平区
30～39歳	北区
40～49歳	南区
30～39歳	北区
50～59歳	手稲区
50～59歳	東区
65～69歳	西区
65～69歳	北区
30～39歳	手稲区
40～49歳	東区
20～29歳	東区
40～49歳	東区
50～59歳	東区
65～69歳	北区
40～49歳	西区
50～59歳	南区
50～59歳	北区
65～69歳	豊平区
18～19歳	西区
40～49歳	白石区
40～49歳	中央区
40～49歳	白石区
20～29歳	白石区
30～39歳	北区
20～29歳	東区
50～59歳	西区
50～59歳	北区
20～29歳	東区
20～29歳	白石区
18～19歳	豊平区
40～49歳	手稲区

自由記載意見	
年齢	居住区
40～49歳	東区
50～59歳	北区
20～29歳	豊平区
20～29歳	豊平区
40～49歳	西区
30～39歳	中央区
65～69歳	北区
30～39歳	白石区
30～39歳	東区
18～19歳	白石区
20～29歳	豊平区
20～29歳	中央区
20～29歳	北区
20～29歳	中央区
40～49歳	中央区
20～29歳	白石区
65～69歳	西区
30～39歳	豊平区
60～64歳	東区
60～64歳	手稲区
60～64歳	豊平区
30～39歳	中央区
20～29歳	手稲区
60～64歳	西区
50～59歳	清田区
60～64歳	手稲区
65～69歳	手稲区
40～49歳	東区
65～69歳	北区
60～64歳	北区
60～64歳	厚別区
60～64歳	中央区

今の高齢者も所得の差がだいぶあるとおもおうので、皆が同じでなくて良い。
 基本的にはいい制度かなと感じます。ポイント上限がある点で、もう少し上が良いのではと感じます。この物価上昇の中を鑑みて。
 スマホの利用が難しい高齢者でも簡単にポイントを支与するアプリの工夫やポイントを支与する機関（健康活動を実施する施設など）とのスムーズな連携が必要だと思います。
 スマートフォンを持っていない高齢者が制度を利用して普段使わない公共交通機関を初めて利用してみたいと思ったりとき、複雑なバス停の場所や乗り方などを理解するのが高齢者1人では難しいんじゃないかなと感じました。
 自己負担金を廃止する代わりに、活動に参加してポイントを得ないと公共交通機関を利用できない、と読めるのですが正しい理解でしょうか。もしそうなら、人によっては活動に参加するために公共交通機関の利用が必要と言う事もあるでしょうから、無条件に付与される基礎ポイントがあった方が良いと思います。
 そもそもよく知られてない。活用してもらおうための政治的努力が足りない。
 高齢者を優遇しすぎです。自己負担はもつと増やすべきです。
 よくわからぬ
 アプリとかポイントカードは今の70歳以上には難しいと思う。自分の親世代がそんなに電子機器に慣れていないと思う。後10年後普及を見越しているならばありかもしない
 どのようなものか私たち若者は全く知らない。
 70歳で働いてる人もいる。
 スマホは持っていないも、アプリの使用が難しい方も多くいると感じる。
 学生や若者対象にもこのような制度は行わないのか。
 スマートフォンを持っていないお年寄りポイント制度が想像できない。
 ポイントを歩数などで貯めるときにスマートフォンを使える人はiPhoneの場合だとヘルスケアアプリなどと連動して歩数を数えることができるが、ガラケーや携帯を保持していない人は計算する方法が無く、市が新たに歩数を数えるために歩数を配布する費用も無駄だと思う。スマートフォンを持っている人と持っていない人のポイント付与方法についてできてきただけ不平等が生まれにくいように新たな方法を考えなければいけないと思う。
 趣旨とは異なりますが高齢者に対してのみの優遇では、低所得者、子供を持つ親に対して同様のサービスのサービスがなければ不平等。また、自己負担率も金額による割合に差が大きくなりすぎる。
 今のままで十分だと思います。
 ポラテアイ活動と関連付け上限5万。
 健康寿命を伸ばすことが目的なら、70歳より前から制度を導入して、健康活動に動んでもらった方が効果があると思う。また、活動例で歩くことが対象なのがよく分からない。
 80歳以上の親を持つ子供60歳以上も使用出来る仕組み(付き添いなど)。
 最低限の事前ポイントが必要。
 敬老健康バスという言葉を、初めて聞きました。まずは、敬老健康バスを広める事が必要ではないでしょうか。
 とりわけ高齢者への取り組みを浸透させるためには、貯まったポイント利用先を公共交通機関での利用にとどめることなく、スーパー等での利用もできるようにする(ポイントを会計に使用できる)など、単に体を動かすことが健康、という観点から、食べることや、健康的に食事を摂るために自ら調理をするための買い物にも使用できるようにすることで、健康維持の幅が広がるのではないかと思います。
 ポイント獲得の判断方法。
 所得制限が必要。
 バス路線が減ってきている。
 何でもばら撒けば良いというものではないと思う。
 JRも使えるようにしてほしい。
 ポイントを貯める事は簡単だから利用となるとできない方が多いと思うので自動でチャージされると良いと思う。
 いい制度だと思っています。
 ポイントで評価するというやり方がよくわからない。自己負担が無くなるということは最初はゼロポイントということか。ポイント獲得方法について、人とのふれあいや自宅ひとりでする介護予防などは、どのように評価してポイントにするのか。制度を変更するならば、高齢者に分かりやすいように詳しく具体的な説明が必要。高齢者のことを思っているような書き方だが、市の予算の方に重きを置いている感じがしてならない。
 理解できる様に、難しいことのない仕組みが良い。
 高齢になるにつれデジタル関連に弱っていくと思うので、単純なシステムでいいと思います。80代位のお年寄りがバスの乗り降りに苦労されてるのを見かけます。タクシーなども使えるようになると思います。

自由記載意見	
年齢	居住区
50～59歳	北区
60～64歳	西区
40～49歳	北区
60～64歳	中央区
60～64歳	北区
30～39歳	西区
40～49歳	北区
30～39歳	厚別区
30～39歳	豊平区
65～69歳	西区
40～49歳	中央区
30～39歳	清田区
60～64歳	中央区
65～69歳	北区
30～39歳	西区
65～69歳	北区
50～59歳	北区
40～49歳	豊平区
50～59歳	中央区
50～59歳	北区
50～59歳	白石区

スマホアプリでの参加は時期尚早だと思っています。現在の60代半ばより年上の多くの人たちには、利用が難しいと思います。混乱を避けるためにもポイントカードから開始し、普及してからアプリに移管していかないと、スタート時点ですまずくと思います。

金額が上がることについて自己負担額とチャージ金額の割合が下がるので、お得感が無い。これなら毎回チャージ額を10,000円にして、自己負担額を少ない1,000円を繰り返す。

敬老健康パスを始めて知ったので驚きます。

健康な方には有効な制度だと思っています。交通機関の利用は居住している地域によって複数の機関を利用してはならない方もいるなど、自己負担金額においても課題があると思われれます。

開始時はスマホ持ってポイント獲得も、その先の加齢時にカードを持つ事になった時のポイント等のスムーズな移管対応を。

高齢者はアプリとかチャージとかが難しいのではと感じる。そのため何歳以上は定額で乗れるようにするとかでもよいかもしれません。

敬老パスをチャージしていない方が36.8%もいます。これだけ利用していない方がいるのはなぜかを、明確にした方がいいと思います。

高齢者にとつてスマホやアプリと言われてもよく分からない人が多数だと思います。ポイントと言われても何をすれば、どこで何に使えるポイントが貯まるのかの説明を簡単にしないとピンとこないのでは。

高齢者の利用拡大を考えると、何でも「簡単」にしないと広がらないと思います。せいぜいポイントカードにポイントを貯めて、即その場で利用できるような簡単なシステムにするなど、本常に簡単な制度にしないと、しつかりした高齢者以外には扱いが難しく過ぎて無理だと思います。

はじめのうちはアプリの操作をサポートする体制が必要そうで、大変かもしれないと思います。今後はスマホに慣れた世代も高齢者になっていくので、使いやすい制度になると思います。

面倒なことはやめてください。とにかく簡単な仕組みにしてください。あまり効果はないように思います。

①使う当事者の立場に立って考えられない。
②ただでさえ巻にポイントカードがあふれているのに、これ以上ポイントカードを持たせても年寄りが活用できると思えない。ポイントカード郵送にかかる費用が無駄。ポイントを管理運営する人件費も無駄。
③自己負担金廃止というバラマキ案は断固反対。

敬老パスをもつていてただで交通機関以外にも使える割引きサービスや利用していればお得だなどと思えるようなものがあればいいのではないかなと思う

そもそも、アプリやポイントカードにを経由して個人の情報を都合よく取得しようとすることに嫌悪。くだらない仕組みを考え出すことによって中抜きされる予算を生み出されることにも不満。こんな制度、誰が得をするのか。老人・弱者じゃやらないことだけは確かですよね。

基本良いと思う。

健康や外出に意欲のある人はパスがなくとも出かけると思うし、そもそも資産がなければ結局外出先でもお金を落とします。また既に様々な高齢者向けの割引が各所で設定されているので、大きな効果があるようには思えません。

国、市に長い間税金を納め、今も介護保険など徴収されている。子どもだけでではなく、高齢者にも負担なく使える敬老パスであって欲しい

健康と結びつけたのは良いアイデアと思う。経済にも関係が大いにあると思われ。

チャージが面倒くさい。

冬は足元が滑りやすく、バス停まで行く勇気がなかつたら寒くて家から出る事自体に抵抗がある様に思います。そのため、春になつてもなかなか出かけるのが億劫になりがちなので、春に何かしらのインセンティブをつけて春夏秋冬同じ予算にしないでメリハリをつけても良いのでは。

ポイント獲得に重点がおかれていて、これが「敬老」なのか違和感を感じる。希望する高齢者にはまず一定額のパス（ポイント）を無条件に付与してほしい。そのうえで、やる気のある人がプラスアルファでポイントを増やせる仕組みにした方がよいと思う。

自己負担金はあっても良いと思います。若い人達に負担がかかり過ぎるのは避けたい方良いと思います。

自由記載意見	
年齢	年齢を上げるべき
30～39歳	問題点があるとしても実際に経験してみても出てくることもあると思うので、数年間は柔軟に対応して改善していただければと思います。
65～69歳	ポイントを獲得出来る機会が少なそう。交通費として使えるほどのポイントを集めるのに相当な活動が必要になりそう。
40～49歳	ポイントで評価するだけだかできなく、自己負担金あつてのカードも残した方がよいのではと思います。
65～69歳	若い世代への認知度が低いと思われる。高齢者は自分自身でスマートフォン、パソコン等で調べることが多いため若い世代への認知を広め、家族から高齢者へバスの具体的説明や利用方法を説明してもらおうと良いと思う
20～29歳	老人がポイントとか理解できないのではないだろうか。
50～59歳	ただ歩くだけや何分歩くだけでは飽きるので、アプリを使うとしたら「家の近所の△△まで歩いたら○ポイント」というように目標があることややりがいがあるのではないかと思います。また、ポイントカードでもアプリでも、道の駅のスタンプラリー一みためにスタンプが集められたら少し嬉しいかもれません。スタンプラリーがあるのと私は集めたくなるので。
30～39歳	「ポイントを活用し更なる活動につなげる」のもわかりませんが、私の周りのお年寄りはポイントが貯まったらティッシュ1箱が貰えるとか市の指定ゴミ袋が貰えるとかが好きになります。私の祖母は夏休み時期のラジオ体操で最終日にティッシュやら何やら貰うと結構嬉しそうにしています。
50～59歳	スマホやポイントやと聞くと面倒になったり、軽い認知症の方でも利用は無理かと思われず。
30～39歳	敬老健康バス自体の周知、誰でも利用しやすいかということ。
30～39歳	敬老健康バス自体の周知、誰でも利用しやすいかということ。
30～39歳	そもそも認知度が低いので、協賛をしてくれる企業を増やして提携していただければいいと思う。
60～64歳	足腰がちゃんとした人でしか頻繁利用が出来ないこと。
30～39歳	年金額とリンクして制限してもよいのではないかと。
40～49歳	そんな金があれば若い世代にまわすべきだ。
40～49歳	チャージ額が多いほど、自己負担額を少なくした方がよい。
50～59歳	まずは市民に理解させる幅広く宣伝の仕方。
50～59歳	ポイント交換先が、身近で魅力的な物だと良い。
60～64歳	財源。
50～59歳	財源に不安がある。自分たちがバスの利用ができる年齢になった頃には今よりも税金を払う人はさらに少なくなっているはずだから。
40～49歳	身体的状況で活動が難しい方もポイントがもらえらなら、もらえるポイント数によるがわざわざ活動しない人が多そうかと思いましたが。公平さも欠ける気がします。
30～39歳	認知度が低い。運転免許返納も必須かなと感じます。
30～39歳	事業に参加したとして、活動することによってポイントが付与されるのかを明確にできたら良い。(歩いた距離はアプリの位置情報と連動させるのか、どこかに出向いたときにスタンプラリーのような形でポイントが付与されるのか等。)
30～39歳	普段老人クラブや介護予防事業に参加している高齢者には良い制度だと思いが、あまり人と関わりの少ない高齢者には参加のハードルが高くあまり活用されないのではなないか。また身体的な状況により活動が難しい場合も、どのように参加を促していくのかが課題であると思う。
40～49歳	そもそもバスのチャージをどのように行うのか、同封の案内を見てもわからない。
20～29歳	マイナワンパス紐付けのポイントの時に、周りの高齢者の方の手続を手伝いました。役所の方にやり方を聞くのを躊躇してしまい、面倒臭いと感じて諦めている方が多かったです。独り身の方には特に、気軽にサポートを受けられるような体制が必要になると感じました。
記載なし	現時点で特にありません。
30～39歳	自己負担金を廃止して、財源の確保はどうするのか。
20～29歳	市民への周知度。
30～39歳	現状、交通機関を使う高齢者の割合が減ってきている印象であるため、敬老健康パスというものがあるという事を回覧板等で伝えて行く必要があると思う。
20～29歳	周りだけかもしれないですが、知らない人が多いと思います。ポイントのため方がよくわからないです。
20～29歳	スマホと連携できるとよい。
60～64歳	今後ますます高齢者の割合が増える中、支える層の負担割合が増えないよう考慮、配慮が必要。
20～29歳	自己負担を無くすことはいいことかもしれないけど敬老者方には少し難しい制度だと感じました。
50～59歳	詳しくわからないため、回答できません。
40～49歳	開始年齢を引き下げて免許返納で特典が追加される等、この制度の事を知らなかったもので宣伝を行う等。
50～59歳	現状、本当に本人だけの使用か。マイナワンパスカードとの紐付けなどあっても良いのでは。
50～59歳	まだ概要がよくわかりません。
65～69歳	高齢者で働いている人に交通費が出たら、敬老パスはどうなるのだろうか。地下鉄やバスでは高齢者の座席が少ないので、なかなか使えない。

自由記載意見	
年齢	居住区
60～64歳	北区
60～64歳	北区
60～64歳	西区
40～49歳	北区
60～64歳	北区
40～49歳	清田区
65～69歳	東区
65～69歳	中央区
60～64歳	白石区
50～59歳	中央区
30～39歳	南区
50～59歳	中央区
20～29歳	東区
50～59歳	中央区
30～39歳	東区
65～69歳	中央区
30～39歳	清田区
50～59歳	手稲区
20～29歳	西区
40～49歳	西区
30～39歳	西区
30～39歳	東区
60～64歳	中央区
40～49歳	厚別区
40～49歳	豊平区
40～49歳	豊平区
50～59歳	西区
40～49歳	西区
20～29歳	東区

一律でなく、なんらかの健康基準に基づいた価格があっても良い。

足の不自由な高齢者が多くいる。バスの乗降が不便を感じる。段差を低くするなどのバスが増えるとうれしいと思います。

とても良い制度だと思います。参加の仕方が簡単に分かりやすいと多くの方が参加しやすいでしょう。

バス、JRの路線や駅が減少傾向にあり交通機関に行くまでに困難な方が増えていくのではないのでしょうか。ドア・トゥ・ドアに近い状況ほど利用促進になると思います。

簡単に楽しめるイベントができるとうれしいですね。

ポイントの還元率はどうか。やりがいのない還元率だと、活用する気持ちにならずらうと思います。

「敬老バス」から「敬老健康バス」に名称変更ということでしょうか、年間60億円の支出なりの内容になる事を願います。使わないサービスなど無駄を極力省く点検制度（第三者委員会など）を付随させて、できたから終わりでではなく、常に進化して非の打ちどころのないシステムになる事を願っています。

敬老バスは知らなかったもので、ポイントの交換数とか活動出来た人のポイントはどのようポイントが付くのか。またどのポイントを得るのか詳しい内容が欲しいです。

取組を知れるかと言う情報格差と、現在の様子を見ていて、利用したいがキャッシュが追いついていない(満席や抽選で利用出来ないなど)部分もあるのではシステムも含めて需要に追いつけるのか、また最近言われているこれらのバス等の運転手不足の問題で地下鉄以外の路線の利用がどうなるのか不安があります。

スマホアプリなら歩数計的な機能を持たせられてポイント獲得も簡単にできそうだが、ポイントカードだとどうするのか。ポイントカードにポイントを付与するために、新たに機器を設置するという事になれば、更に費用がかかり、敬老バスの費用抑制にならないかと思うが。

知らない人が多い、使える交通機関が近くにない場合がある。

自己負担金を廃止せず、余剰金ができるなら市バスや地下鉄の賃に循環できるといい。

知らなかったのもう少し認知されるようにした方がいいと感じました。

活動に応じてポイントが頂けることで、活動への動機付けになってほしいと思います。敬老バスにチャージをしていない割合が56.8%であることから制度の変更が必要だと思います。活動できる世代には、良いと思います。しかし、間近で高齢者の生活を見ていると、活動できなくなると、買い物など日常生活が営むことができず、困っている方もいます。あわせて、そのような方への支援についても何かしらの方策が必要だと思います。

ポイント付与の基準が曖昧に感じる。高齢者向けの制度でスマホ利用はどこまでの方が使いこなせるのか。

割引額が大きく、税金の無駄遣いと思えます。

事業がよくわからない。

本当に健康寿命を延ばすことを目的としていらつらやらの疑問です。素案を実施すれば多額の税金が民間業者に流れ出ます。そこまでする効果があると思えません。古い事業をリサイクルすることに拘らないほうがいいと思います。

敬老バスをそもそも知らなかった。同年代の友人にも聞いたが、知っている人は1人もいなかった。ご高齢の方は知っている人も多いのかもしれないが、もつとどの世代でも知っているバスになるようPRを強化すると良いと思う。札幌に限らないが、高齢者ドライバーが車の運転を誤り、若い命が奪われている心苦しい事故も少なくない。子供孫世代として、敬老バスがあるから免許を返納しても気軽に外出ができ、安心して暮らせるようにPR強化は必要だと考える。

スマホ使わない方はポイント活用方法がわからない、苦手と思うこと多いのでポイントカードを通して自動的にポイント貯まって使えれば良いと思う。自分で機械操作で選んでポイント利用だと普及できない人たちも出てくると思う。

交通機関で利用できるだけでなく、スーパーやコンビニエンスストア等の食料品購入のカードやアプリ等にもチャージできる方が利用用途の範囲が広がると考えます。チャージ先はある程度選択肢がある方が企業と地域が協力ができる機会に繋がると考えます。

出かける若い人も多いので景品などにも変えられると良いと思う。

JRとの連携やタクシー乗車への強化してもらいたい。

できないと言っている人に合わせるべきではない。合わせるのではなく、できるようなりにするべき。

簡素化した方がわかりやすく利用しやすいと思う。

時世として、「敬老」は圧迫を感じさせる気がします。安直に「高齢者」でいいのでは。

仕組みがわかりにくい。

認知度が低いと思う。

敬老健康バスを利用する方は高齢者です。高齢者といっても70歳の人もいれば90歳の人もいます。自分の80代の祖母をイメージすると、スマホやポイントカードなどは使えません。ポイントカードくらい使えるだろう、と思うかもしれませんが、面倒で嫌がります。なので市がすすめている案だと70代の人のためにはなっても、80代90代の人にはあまり意味がないものになると思います。どの高齢者も簡単に使いやすいものでなければ、本当の意味で高齢者のことを考えたものではないと思います。

自由記載意見	
年齢	居住区
60～64歳	中央区
50～59歳	西区
30～39歳	南区
40～49歳	西区
30～39歳	白石区
30～39歳	北区
30～39歳	厚別区
20～29歳	厚別区
40～49歳	西区
40～49歳	清田区
50～59歳	豊平区
50～59歳	東区
50～59歳	北区
60～64歳	西区
40～49歳	白石区
40～49歳	西区
40～49歳	西区
40～49歳	清田区
60～64歳	東区
30～39歳	豊平区
65～69歳	東区
50～59歳	手稲区
20～29歳	南区
50～59歳	西区
60～64歳	西区
30～39歳	中央区
50～59歳	厚別区
65～69歳	厚別区
20～29歳	中央区
40～49歳	中央区
30～39歳	東区
30～39歳	西区
40～49歳	厚別区
50～59歳	西区
60～64歳	清田区

自由記載意見	
年齢	居住区
60～64歳	西区
40～49歳	東区
50～59歳	西区
30～39歳	西区
40～49歳	白石区
50～59歳	白石区
65～69歳	西区
40～49歳	北区
50～59歳	中央区
65～69歳	中央区
40～49歳	北区
20～29歳	南区
50～59歳	東区
20～29歳	西区
40～49歳	白石区
65～69歳	南区
40～49歳	豊平区
50～59歳	東区
40～49歳	厚別区
50～59歳	厚別区
50～59歳	西区
40～49歳	東区
60～64歳	中央区
60～64歳	手稲区
20～29歳	豊平区
30～39歳	北区
65～69歳	北区
60～64歳	清田区

自由記載意見

敬老健康パスについて分かりやすい説明で利用しやすい事を高齢者に伝えるようにして欲しい。
 操作が簡単に分かりやすいと、なかなか活用しようと思わないのではないかと思います。
 利用できる市営交通沿線が近くにない人も多い。70才以上でも人により差が大きく、たくさん利用する人がいる一方使っていない人が多いので、もう少し市民が平等に誰でも使える形のパスがあればいいと思う。わかりやすく使いやすいもの。高齢者をみてみると買い物のセルフレジでも大変なのに、スマホを出して起動させるとか難易度が高いと思う。
 税金をもっと子供達に使って欲しい。
 健康パスの普及をどのようにしたらよいか、が課題だと思います。コロナ禍で社会への参加が極端に少なくなり、このような制度があることを知らない方が大半になると思います。町内会へ加入していない方も多く、告知する術を考えていただけたらと思います。
 65歳から利用できると良いと思う。
 敬老健康パス制度に移行了した場合、市民本人及び市の財政にとつてのメリット、デメリットがわかりにくいので、対比するなどして、明確にするべき。
 使用する年代への周知。使用する年代のデバイス使用の難しさ。
 交通機関の利用は移動の手段であって、動機付けとしては期待薄。高齢者が交通機関を利用するための機会を企画しなければ、変わらない。
 専用アプリ等どんな機種、OS、バージョンにも対応できるのか疑問。マイナポータルは、私の機種使えなかった。
 これから超高齢化社会になるので、さらに税金が増えると思うと支払っていきたくないので、物価の高騰で節約してますが光熱費など節約の限界があるものもあるの
 で。
 内容をしっかりと理解できない方もいると思うので、サポートが必要かと思う。また、外出は出来るが運動などが無理という方も多いと思う。
 自己負担は辞めるべき。道市民税で賄ってほしい。
 使っている金額に差があるのは当然かもしれませんが、そこが気になりました。
 システム的に難しいかもしませんが、月のチャージ額に上限を設けるといいと思います。
 アプリの使い方が難しいと敬遠してしまうのでシンプルにすること、使い方をサポートする人や説明する動画が必要だと思つ。
 父は病氣のためにタクシーでないと通院できなくなり、母も同じ、敬老パスを使用したことがあるかどうかともわかりません。私は、母の介護のために外出しなくなり、敬老パスがあつてもあまり外出はできなないと思つ。
 将来的な目的を明確化する必要性。
 老人がキチンと理解されてるのでしょうか。
 そもそも70歳を超えてからアプリを取つたりポイントカードを申請したりの作業が気力的にも思考的にも難しいと思つ。
 認知症の親はひとりですり外出できなないので、何年も活用してません。元氣な老人しか使用してないので不公平感を感じます。別なサービスが欲しいですね。
 ハッキング、当事者以外の不法使用等想定されるが、この対策に関する記載がない。
 自由に行動できる人がポイント獲得しやすい。
 資源の不足は、ふるさと納税を魅力的にして確保して行つて欲しい。
 具体的なイメージが湧きにくいです。
 利用のきっかけの機会がなさそう。
 現在敬老パスは、おそらく通院や買い物等必要な外出のみに使われているケースも少なくないと考えられる。少ない年金の中から交通費を消費してポイントをもたらうのであれば、ポイントが美味しくないかと外出の促進につながらないと考えられる。
 課題ではありませんが、自分も含め、高齢になるとスマートフォン使用が不便に感じるようになっていくと思つ。できるだけ早い時期から説明等の機会があると嬉しい。
 スマートフォンを持っていても使い方がよくわからな人が多く、他人と接触することがそれほど好きではない人は、積極的に行事に参加するとは思えない。若い人はポイントを集めることに興味はあるかもしれないが多くの年長者はそれほどポイントを集めることに執着しないだろう。敬老パスをなくすることにより、外出する人までその頻度を下げる制度に改善するのではないかと思われる。

自由記載意見		
20～29歳	東区	どういった判断基準でポイントが付与するかが難しいと思いました。 アプリとポイントカードは、高齢者にはあまり優しくないとあります。ポイントカードはなくてはならないと思います。物忘れとかする方もいると思います。絶対なくしますよ。
30～39歳	清田区	活動が難しい人のポイントとは何ですか。同等のポイント付きですか。ある程度の公平さが必要です。想像つきにくいですが。サポート体制も必要です。いつでもどこでも年中無休に聞ける体制ですね。
30～39歳	西区	資産や収入が多い高齢者は、敬老パスを買う際に商品券をセットで買わなければいけない、という制度にすれば、経済は回る。
30～39歳	豊平区	多くの高齢者の方に、その制度があることを知ってもらう必要があると思います。
50～59歳	清田区	スマートフォンのお金額、使用方法の説明会。
50～59歳	西区	情報提供。
30～39歳	白石区	70歳以上の方々(自分の親世代を含め)がポイントを利用するなど複雑な行程を扱えるとは到底思えない。
30～39歳	白石区	敬老パスを買った人たちでできるイベントあればいい。交流にもなるし、活動も増え購入者も安定する。
40～49歳	東区	年金所得の高い人に必要が無いと思う
50～59歳	北区	高齢者に対して制度の内容の理解を進めることが難しい。
40～49歳	豊平区	獲得したポイントを利用して使えることが大切だと思う。ポイントは獲得しても利用に繋がらなければ意味がない。また、スマホは持っていてもアプリの活用が得意ではない人もいるので、そういう方はポイントカードが使えないのか。またポイントカードとアプリで獲得できる活動に差異が出ないような工夫も必要だと感じた。
50～59歳	豊平区	事業参加とポイント獲得の関係とポイント付与率の設定。歩くなどは誰にでもできる反面、歩けない人もいたり、人との触れ合いや通いの場についても立地条件の違いなど不公平感や偏りが生じないような工夫も考慮していただければと思います。
40～49歳	豊平区	70歳以上で、スマホやポイントカードをちゃんと使える人は少ないし、そのために歩いたり活動したりしないと思う。説明や質問pdfなどには触れられてないが、そもそも従来の敬老パスにプラスして敬老健康パスでポイントがつくのか。明記されてないのが、高齢者には難しいと思う。
65～69歳	厚別区	ポイント獲得の活動は楽しい物を沢山考えてほしい。たまたまポイントがタクシーでも使えるのは良い。
50～59歳	北区	購入場所が限られている。目視でもわかる残高制度がよい。
50～59歳	東区	仕組みをわかりやすくすると良い。
40～49歳	中央区	自己負担金の廃止は良く思う。身体的な状況で活動が難しい方は、介護保険などの福祉サービスの福社サービスもあるので、ポイント制度は良いと思うが、タクシー利用や自己負担金廃止は不要。その分の財源の確保も問題になってくると思う。
65～69歳	北区	1. 持病、加齢、体調不良などで通院程度が限界の高齢者にとつて、1,000円の自己負担で10,000円のチャージ額となる現行制度は経済的支援となっています。しかし素案では、ある程度健康な高齢者を対象としているように見受けられ、改悪と思います。 2. ポイント上限2万円は、年度ごとなのか、それとも年度が変わるとリセットされるのかわかりません。 3. 1ポイントが何円分に相当するのか、また、貯まったポイントと交換する方法が明示されていません。スマートフォンを利用する場合、地下鉄駅などへ行かなくても交換できるシステムになるのかどうか疑問です。ポイントカードの場合はどうするかも明示されていません。 以下はこのアンケートに対する要望です。 1. パソコンを利用して回答フォームも多く、パソコンで回答する際の回答フォームのURLを入力する手間を省く方法 (例: 「札幌市敬老パスの利用実態」と検索するとwebページから回答フォームを表示できるなど) を考慮していただきたいと思っています。 2. わかりやすい表記をお願いします。 ・用語の統一: 「敬老健康パスの素案」との文言がアンケート内に散見されますが、「アンケート調査にご協力ください!」の文書には素案という言葉が出てきません。(案)と素案とは違うと思うのですが。 3. アンケート調査票p. 1が見づらく感じます。 ・「アンケート方法をわかっている人が、表記にミスのないように(突っ込まれないように)作成した」文書なので、「わからない人がすぐわかる」ようにはなっていない。「WEB回答用コード」も、右上のシールの直前に「WEB回答用コード」と書いてあれば回答者は「これのことかな」という疑問を感じないと思われま
40～49歳	豊平区	新しい制度の具体的なイメージがつかめなかった。
60～64歳	手稲区	ポイント付与が必要かどうか。
20～29歳	北区	私は中国人留学生で、中国でも70歳以上の年配者の敬老パスを提供するが、全部無料化になります。ポイントとかは、確かに日本で流行っている割引方式ですが、年配者にとつて、逆に理解しにくくてめんどうさだと思う可能性があるではないでしょうか。
40～49歳	豊平区	母は67歳で他界したため、このパスを疾患がある人は優先的に使用できるようにしていただきたい。

年齢	居住区	自由記載意見
30～39歳	豊平区	なんでもかんでもただにすればよいというものではない。天からおおりてくるものになれば、ありがたみが薄れ、もたらえて当然とあぐらをかくようになり、世代間の分裂にもなる。一部とはいえ、自分のお金でチャージや購入をする行為自体に意味があると思う。大事に使って欲しい。現在の一分負担でもなお、支払いが負担で払えないなら、そもそも高齢者の収入に問題があるし、往復50円ほどでこの駅にもいけてなお行かない人はただだろうとしかかない。そのためにかかるコストを押やすべきではない。
60～64歳	南区	とにかく分かつらいい。
30～39歳	中央区	公共交通機関の人手不足も問題になっており、需要と供給のバランスが課題だと思います。
65～69歳	厚別区	現状の自己負担を維持しつつ、ポイントの利用範囲を広げて欲しい
40～49歳	厚別区	ポイント交換先の選択が多くなると誰もやらないわかりやすくないと認知されなない。
30～39歳	北区	この素案をもっと多くの人を知ること、使いたいと思う人も増えることだとおもいます。
50～59歳	手稲区	自宅に送付されたリーフレットだけでは、情報が少なすぎで、判断できませぬ。敬老健康パスが、現行とどう変わるのか、分かりにくいです。自己負担金のチャージは無くなるんすよね。自己負担金を廃止するけど、敬老パスは上限7万から2万に減額となるんすよね。色んな活動に参加してポイントを利用する。また、さらに交換しなければ、今後は、公共交通機関は全額を自己負担で利用することになるということですよ。違いを図式化するなどしなくていいです。敬老健康パスに移行した場合の費用対効果はどう予測していますか。札幌市のHP上の「健康寿命の延伸に向けて」のPDFには、事業費は現在と同規模を維持とイメージされているのが掲載されていますが、アンケート用のリーフレットにも記載すべきではないです。現在の敬老パスのチャージ割合から計算すると、自己負担額を引いた事業費からの負担額は約33億円です。現在の敬老パスの交付者数全てが2万円分のポイントで公共交通機関を利用した場合の事業費からの負担額は約72億円です。2倍以上となります。現在の平均チャージ額が1.1万円なので、制度変更後の利用額がほぼ変わらなないと類推すれば、約39億円の負担額となります。現行の敬老パスの運営が約50億円ということなので、その他の経費として約17億円を要しているとの単純計算になります。どのような計算で、制度移行後も同規模程度を維持と見積もっているのでしょうか。また、健康寿命の伸びはどの程度か、健康面だけでなく、経済的、財政的にどの程度の効果が見込めるかの想定でしょうか。これらの話を具体的に説明しないまま、アンケートを実施することは、正確なアンケート結果を得られないのではないのでしょうか。リーフレットは分かりやすさを意識して作成されていると思いますが、現行との違いが分かりにくく、制度実施に伴う費用対効果が明記されていないことに、非常に不誠実さを感じます。住民の声を聞く機会を設けました、必要な説明は踏んでいきます、というパフォーマンスです。こんな大切な事案、もっと丁寧に説明すべきだと思います。実施ありきのように感じられます。
50～59歳	豊平区	上限額が下がること。活動内容が不明瞭であること。利用先の拡大は必要だと感じる。
50～59歳	南区	ポイントを公共交通機関に交換出来るだけでは、自分ならポイントを獲得する気持ちにならないです。コンビニでお菓子や飲み物と交換出来るなど、プチご褒美になるような物を考えて欲しいです。
40～49歳	西区	自己負担が少なすぎるため、今後高齢化が進むにつれさらに負担増になると若者への更なる圧迫につながる。
30～39歳	清田区	使いやすさ。
40～49歳	東区	利用への第一歩を踏み出せない方が多いと思う、まずは行政で使用方法等のレクチャーを実施してあげて欲しい。
30～39歳	北区	ポイントカードの利用がイメージできない。
40～49歳	南区	ポイント獲得が、外出できることが前提であることが問題。それと、外出するとポイントが貰えて、ポイントが交通機関で使うという流れが謎。外出するために交通費が必要なのですよね？それで、歩けばいいみたいなのが、押しつけであり、意欲には繋がらないと思う。お年寄りの皆さんが全員意欲的な訳ではない。お年寄りの引きこもりも問題になっていっているのに、厳しいルールをクリアしなければ、ポイントがもらえないのは変です。この案は公共交通機関を守る為の制度ですか。それとも、お年寄りの健康寿命を伸ばす為の制度ですか。面倒くさいルールを使ってポイントをかせぐより、現行の金額を出してあげた方がよっぽど親切ですよ。
40～49歳	北区	健康づくりと社会参加のきっかけを後押しというところで「ポイントで評価」という単語が出ましたが、どのように評価するのか分かりにくく感じました。また、敬老パスを使う人口が増えるのに、自己負担金なしのこと。財源をどこから出すのか伺いたいです。
50～59歳	豊平区	最低限の自己負担が必要。
40～49歳	中央区	敬老パスの利用先拡大の中に、JR・タクシー等とあるが、タクシー運転手・台数減少によりタクシー利用による外出が難しくなってきたりしている点について課題となると感じる。
65～69歳	白石区	どのような仕組みなのかと、どのように利用又は使用されているのか、わからないです。簡単に、知る事が出来たら良いです。
40～49歳	北区	仕組みを理解して利用するには近くに若い人がいる高齢者だけだと思ふ。
20～29歳	西区	敬老パスの幅広い世代への認知が浅い。孫や家族から教えてもらおう(共にやる)、ことで互いにメリットがあると周囲からの勧めも増えるのではないかと感じる
20～29歳	豊平区	高齢の方のニーズに合わせること。
60～64歳	北区	高齢者にポイント制度は無理。

自由記載意見	
年齢	居住区
60～64歳	豊平区
40～49歳	東区
40～49歳	清田区
50～59歳	北区
30～39歳	北区
50～59歳	北区
40～49歳	西区
40～49歳	白石区
65～69歳	中央区
60～64歳	北区
50～59歳	西区
40～49歳	清田区
20～29歳	豊平区
50～59歳	北区
50～59歳	白石区
40～49歳	西区
60～64歳	北区
40～49歳	中央区
30～39歳	厚別区
50～59歳	豊平区
30～39歳	西区
40～49歳	中央区
40～49歳	厚別区
50～59歳	東区

ポイントカードの発行よりはマイナバンカードに集約できなかが検討して欲しい。

運転手不足等で公共の交通機関の本数、路線が減少していく中で外出を支援とはいっても限界がある。今後は介護やタクシー、買い物にも範囲を広げていくべき。

私達中年世代はスマホに使い慣れているが、今高齢者の人達には扱いが難しいのではと思う。またこういった市の取り組みは自分で積極的に情報収集しないと知ることができないことが多いので、PR方法をもう少し考えて欲しい。ポイントは日用品店、スーパーで使えたり、電子マネーに交換できたりする方がいい。

健康パス利用で長生きするとポイントを増やす仕組みにして、ポイントの交換先を豊富にするとか。

使っていない人が半数を超えていることが、どういった理由で使っていないのか分からないのか、制度を知らないのかとお金がないとか、まずそこを知ることからだと思う。

ポイント等システムに依存しても、健康や活動の促進には繋がらないと思います。地域の人の呼びかけや、職員の直接的な接触が改善、促進に繋がると思っています。

課題：ポイントの複雑化
 感じた点：なぜ高齢者には分かりづらいポイント制度にするのか
 これだけ普及しているウォン、ナナコ、PayPayなどの電子マネー&電子マネーで払った際に付くポイントですらまだ理解していない高齢者が多いのに、ポイント制度を考えた人のせいで窓口の担当者の仕事が増えそう。

バス利用指定年齢(70歳)になって初めて、ポイントを貯めるために健康活動をして遅いと感ずる。70歳で健康でいるためには、若いうちから活動を維持していることが必要。なので、ポイントの使用は70歳からでもいいが、活動しポイントがたまるのはもっと早い、例えば60歳(まだこの年齢で定年退職するひとが多く、活動が低下すると思われれる)から行うことができればいいと思う。

スマートフォン利用は今でも苦痛に感じる事があります。70歳以上ではスムーズな利用は難しいと思います。

スマートフォン制は高齢になればなるほど、理解できない、使えない。

仕組みや取得方法が分かりにくい。

素案の例が実現できるのであれば特に課題は感じません。ただポイント制にしてしまうと一部の老人は活動したくないから敬老健康パスはいららない、と思う方もでてくるのではないかと考えられます。

街で待っている方を見かけいい制度だと感じました。

札幌でバスを乗っている、高齢者がそれほど公共交通機関を利用しているようには見えない。公共交通機関よりも、乗合タクシーなどがあった方が安心する。

物価が高騰するため、自己負担が下がって欲しい。

ポイント交換の方法、上限の必要性がわからないです。外出が難しい人、施設に入居している人など不公平が生じないか疑問。ポイント獲得方法がはつきりわからない。

ポイントを貯めることが難しい人にとっては、メリツのない取組になりそうです。

健康維持の活動以外に社会の仕事的な活動を増やしてポイントの上限を上げると良いと思う。

携帯電話、特にスマートフォンを使ったり、インターネットを使うサービスは高齢者向けではないと思います。そのようにしたいなら、サポート窓口等が必要かと思えます。

活動の難しい方にもポイントをとっていただきますが、やはり活用難しくなっていますか。

健康寿命を延ばす為の制度だという事がわかりにくい。スマートフォンを使用している方は多いが使いこなせている方は少ない、ポイント付与・使用時に混乱が生じるのでアプリは普及には逆にならないか。普及の為の費用を考えてもカード一本化にするべき
 今まではただチャージすれば70,000円まで使えたものを、ポイント獲得の為の活動をしてポイントを利用しない使用できず、さらに上限が20,000円になってしまったといううのは、まず、仕組みが難解。悪いところもわからない、良いところもわからない。
 ひっ迫した状態の人を救済する術が無くなっている。敬老バスを頼みにしている人の多くは収入が年金受給のみでありポイントを貯めるまでは通常料金での公共機関の利用となる。その救済はどうするのか。
 20,000円以上利用している層が、札幌市のあらゆる機関を利用しなくなること。札幌市にとっても損失。健康パスの案そのものはよい制度だと思いが、敬老バスと併用してこそ生きる制度のようにみえる。

ポイント獲得・交換する方法が簡単じゃないと高齢者の方は利用するのに抵抗があるのではないかと考えます。また、区役所等に相談に来られる方が増えて、一般の業務に支障が出る事が懸念されます。

ポイント交換のチャージが足りないことを懸念(スマホで交換する以外にはスーパーやコンビニで交換端末の設置が必要では)。

現在の敬老バスのチャージ者0円の割合が多い。

自由記載意見	
年齢	居住区
50～59歳	中央区
<p>敬老パスは半数が利用していない状況。ポイントは公共交通機関に利用することがメインであれば、敬老健康パス制度自体に参加する人が少ないのではないかと考え、自己負担が増えることでそれを補う形で参加する人は増えるのか。今後公共交通機関の本数が減ることで、不便さを感じて車を継続する人が増えるのであればさらに延びがないようにも思う。</p> <p>確かにタクシーなどにもポイントが使ええるのは嬉しい人もいるかもしれない。しかし、ポイントがどの程度貯まりやすいかというところにも利用しやすさが出る。</p>	
60～64歳	東区
<p>65歳から70歳までの間、自己負担が少なくなるのが面倒になっていきやすい。</p> <p>65歳からパスがあれば、まだ足腰が丈夫なので外に出ていこうと思う気持ちも湧くが、5年間余り出て歩かなければおっくうになって、70歳から外へとは思わなくなりそう。</p>	
50～59歳	西区
30～39歳	中央区
30～39歳	厚別区
30～39歳	東区
60～64歳	豊平区
30～39歳	白石区
<p>ポイントがもたえらるから活動をするという人は少ないと思います。必要な人はお金を払ってでも今まで通り公共交通機関を利用して外出するし、必要ない人は何があってもそれほど利用しないと思います。この層の人達には現行の制度で充分だと思います。やるなら廃止ではなくハイブリッドでやった方がいいと思います。福祉活動を充実させたいならば福祉活動の方に税金を投入すべきです。民間のデイサービスなどに頼るのではなく市の方でもっと支援や活動する事業所を運営したほうが目的の達成に近づきそうなお金がします。献血みたいな出張して各地で定期的に活動の場を儲けても良いと思います。敬老パスでは直接的に効果が得られるとは考えにくいです。それならば働いている人に対して優遇する措置を取ってあげた方が有益かなと思います。マイカー通勤や徒歩以外の人は通勤に公共交通機関を必ず使用します。</p>	
50～59歳	清田区
60～64歳	白石区
50～59歳	西区
20～29歳	北区
30～39歳	東区
40～49歳	東区
30～39歳	東区
50～59歳	豊平区
40～49歳	北区
50～59歳	北区
40～49歳	中央区
30～39歳	西区
30～39歳	豊平区
20～29歳	豊平区
50～59歳	北区
50～59歳	手稲区
60～64歳	北区

自由記載意見	
年齢	居住区
65～69歳	中央区
50～59歳	白石区
50～59歳	北区
65～69歳	北区
50～59歳	豊平区
30～39歳	白石区
30～39歳	厚別区
60～64歳	北区
40～49歳	白石区
30～39歳	北区
50～59歳	中央区
20～29歳	豊平区
40～49歳	西区
60～64歳	白石区
40～49歳	厚別区
30～39歳	手稲区
40～49歳	西区
40～49歳	豊平区
20～29歳	白石区
65～69歳	厚別区
50～59歳	豊平区
50～59歳	北区
40～49歳	手稲区
30～39歳	東区
65～69歳	南区
40～49歳	清田区
40～49歳	白石区
40～49歳	豊平区

一律に配布すべきでない。受益者負担の原則を守るべきと思う。

パスは何が使えて、何が使えないか明確にして、市民が利用しやすい物にしてほしい。今後、Suicaみたいな物にしてアプリでも使えるようにしたいと思う。

勉強不足で恐縮なのですが、全てポイント制に変更する意味が分かりませんでした。チャージ4万、ポイント4万など、金銭による貢献も選択出来るのでは。

健康促進への動機付けとして魅力を感じないし、面倒くささが先にたつ。

健康でいいたら高齢でも楽しみが増えたいし取組が良い取組だと思います。その反面、思ったように体が動かなくなると健康だと言い切れない人達との差が生まれてしまい、そういう人達が益々気が塞ぎこんだり、寂しい思いをしないような取組みも必要だと感じます。

手続きが簡単になると良いと思う。

少ない自己負担で利用できるのはすごい恩恵。

高齢者の多様性に配慮した活動先を用意できるのか。ポイントを付与される施設やイベントなど魅力的なものを行政が用意できるのか。ポイントカードで歩行のカウンタはできるのか。

使われている実態が私達にはわからない。

ポイント制度は複雑になるので、不要と思います。

北海道は喫煙率と肥満率が高い。また味付けが濃い傾向にあり高血圧により疾病率も侮れない。加えて冬の運動不足など課題がたくさんある。高齢になつてからは遅い。若いうちから健康寿命を伸ばす教育が必要と思う。他県での行政の取組など、札幌市も参考にすべきである。

私の婆ちゃん81歳はガラケーです。スマホは無理。アプリや新案のポイント獲得や利用は複雑でできないと思う。敬老パスで眼科と整形外科に通っている。偶にアオアオイベントに行くついでに買った買物に市電で出かける。敬老パス残高があるから、行く気になったと言った。これからは敬老パスで交通費補助があれば、ちよつと賢くして水族館や三越デパートに買い物に行くと思う。少数派の上限7万が6万になったりも、存続したら良いと思う。最近、市電は混んでいないがバスは本数が少なく、恐くて混み混みで乗れなくなつていった。市電付近の住民以外は、お年寄りに優しい札幌とは言えないのかなど。

40代の私が見てもちよつとわかりづらいので、高齢の方は尚更理解しづらいかと思う。歩くこと、介護予防、人とのふれあいが横並びになっていますが、高齢の方はまず人とのふれあいが大切かと思う。人とのふれあいや働く意義を持てる場所を作り、その中に歩くこと、健康を維持する内容を組み込んでいく方が取り組みやすいのではないかと思います。

素案は現行のパス制度より、交通費の負担額が増えるので反対である。

ポイントなど分りにくい。

ポイント還元するくらいなら、最初から自己負担額を減らした方が、高齢者には分かりやすいと思う。

体が不自由な方、病気をされている方も活用できるのか。

スマートフォンの場合、アプリはわかりやすく簡単な内容であることが必要であり、アプリの利用方法や問い合わせ先などが記載されている説明書が必要。ポイント利用先の案として、野球観戦チケットや商品券等があると良いと思います。敬老パスでチャージされても外出の目的がないとなかなか外出せず使われないのではないかと思います。

敬老パスをチャージしていない人が50%程いるので、チャージの方法や制度がわからない方が多いかかと思いましたが、まだ実感がありません。

ポイントをホテル、温泉、コンビニ等で利用できるようにする事で、経済活性化に繋がる。dポイント、楽天ポイント等と紐付けするのも良い。

周知の幅広さ。

対象となる高齢者が制度をすんなり理解し、抵抗なく利用するようになって定着しなければ、制度が廃れ、制度を整備するために費やした市の予算が無駄となり、結果的に市の財政を圧迫するだけになりかねない。

わかりやすい制度なら、利用者が多くなると思います。

何かをしなければポイントが貰えないのは、「敬老」と言えるのか疑問です。

高齢になれば足腰が弱くなり生活圏は狭くなる。バスや地下鉄などで遠出ができなくなる。バスや地下鉄など遠出をする頻度は少ない。もつと多くの人が利用できる身近な交通手段が増えることよい。

高齢者の車の運転事故を減少させるためにも、敬老健康パスを活用していくべきなのではと思います。

お年寄りの方にはわかりやすく仕組みを伝えられるかの広報の課題と、簡単にお得感を感じてもらいたうための仕組み。歩数がポイントになるアプリのように、膨大な活動量をこなさないとポイント交換できないようであればお年寄りは続かないと思う。活動量とポイント配分のバランスも大事な課題。

自由記載意見	
年齢	居住区
30～39歳	中央区
65～69歳	白石区
50～59歳	西区
60～64歳	北区
40～49歳	西区
20～29歳	豊平区
65～69歳	西区

従来の敬老パスの他にポイントカードを発行するのではなく敬老パスに機能を一元化した方が良い。ポイント獲得方法がほぼ自己申告でしかないので、本当に健康につながる活動が増進されるのか。獲得したポイントは、どこで交換するのかわからない。)

70歳以上の人がどの位の活動が可能か、全員が利用できるかがしつかりりサ一チ出来ているかということ。

現在、近々この制度を利用できる予定の年齢層の方々が抵抗なく受け入れられる改革内容であってほしいと思います。一方で、この制度を維持できる資産状況であってほしいことと、市の財政を圧迫することはないように、何らかの改革は必要ではないかと思われました。また、世代間格差が少なくなるように、この制度の維持を願います。

システムは簡単で分かりやすいほど良いと思う。上限が2万円では、あつという間に使い切ってしまうと思う。もう少し引き上げることが出来ないものか。

若い世代の負担を減らすために、高齢者も自己負担を搾すべき。

敬老パスに関して、このような活動は知っていましたが、ポイントの交付数は知らなかったもので、びっくりしています。

高齢者になるほど、アプリ、ポイント交換など、一人ではできない、理解できないなどの課題もあると思うので、サポート体制が重要だと思えます。

【① 70歳以上（問33：敬老バス及び敬老健康バスに関するご意見やご要望（充実を望むことなど）がありましたら、ご自由にお書きください。）】

年齢	居住区	自由記載意見
75～79歳	中央区	敬老バスと敬老健康バスの関係がわからぬ。負担額が大きくなって、敬老バスを継続していくのか不透明です。
80～84歳	南区	敬老バスには大変助けられております。高齢になると病院通いが増え、近くの病院でないので交通費が大変助かっています。免許を返納していますので、息子や娘の家に行くのも助かっています。現在のあり方で十分(敬老バス)と思います。
75～79歳	南区	敬老健康バスより、バス事業の廃止や減便による不便解消にお金を使う方が良い。バス事業は不必要。
85～89歳	西区	歩けるうちは出来る限りがんばって歩きたい。地下鉄やバスの停留所まで歩いて、バスの利用できれば「がんばって歩こう」と思います。
70～74歳	西区	この制度には賛成しますが、交通手段とする地下鉄・バス等の運転手不足によるサービス低下がないか疑問を感じる。
80～84歳	北区	今現在車を利用しているが1年後はバスの利用が必要になるので、色々な意見を集約し、よりよい利用方法になることを願っています。
75～79歳	東区	弟は歩くことがあまり出来ないで、年2回西区の病院に行くのでタクシーを使用することが出来るかと助かります。
85～89歳	西区	この事業に関わらず思うのですが、周知方法をもう少し考えてほしい。広報や市のホームページだけでは高齢者には伝わらない。そもそも字を読むのも面倒くさくなるし、ホームページはアクセスしない。理解力も乏しくなる。わかりやすい丁寧な説明を情報番組等、いろいろな方法で周知方法を考えてほしい(同居家族の意見です。すみません)。
75～79歳	豊平区	現行のまま。
85～89歳	手稲区	これからも続けて頂ければうれいです。
90～94歳	東区	敬老健康バス(案)について賛成します。
80～84歳	手稲区	JRもぜひ利用できるようにしてほしい。現在、バス停、バスの本数、バスに乗っている時間等、JR利用の方が便利のため、外出はほとんどJRを利用しています。JR利用、可能になること楽しみです。
75～79歳	北区	JRも利用できるようにしてほしい。
70～74歳	厚別区	JRバスは利用できるのにJR(電車)はなぜ利用できないのか。JR電車への敬老バス拡大を望みます。
90～94歳	中央区	有難い制度であり感謝しております。
70～74歳	白石区	今の制度はありがたいと感じていますが、高齢者が増えていく中、社会状況により変動していくのは仕方ないことだと思う。若者だけに負担を押し付けることなく、高齢者も多少痛みを分かち合うべきかと。
70～74歳	中央区	使用していない人が半数もいるのにその人にもバスが行くのが無駄だと思う。使用したい人だけ申し込むようにすると良いと思う。アプリやポイントでは面倒だと思う。
70～74歳	厚別区	とても良い制度であると思う。ただし、市職員の担当する時間はもう少し少なくなると良い。
80～84歳	西区	敬老バスを利用していますが、バスの本数が少ないことと地下鉄の駅までは20～30分歩かなければならず、JRの利用が多くなります。JRのチャージ金額の方が多いです。
70～74歳	白石区	敬老バスも足が不自由になり、利用できなくなる日も来るかと思えます。タクシーに対しては20～30分歩かなければならず、JRの利用が多くなります。JRのチャージ金額の方が多いため、自己負担を増やしても敬老バスは残してほしい。出かけることが生かさない。
85～89歳	中央区	病院に行く時にタクシーに使えると助かります。地下鉄に歩いていけない身体的状態の時もあるので。
75～79歳	東区	敬老バスをしっかりと利用させてください。おかげさまで外出が今まで以上に増えました。買い物、友人との会食、通院等敬老バスがないときは交通費が心配でなかなか外出できませんでした。ただ今回の提案の上限2万円ですとまた外出減るのはと懸念しています。どうぞ現状維持をお願いします。
80～84歳	豊平区	敬老バスは廃止しないでください。私が住んでいる周りには、趣味の交流の場がありません。従いまして、地下鉄を使い、老人福祉センターや地区センター、体育館等に週4～5回出すきの、北24条等のカラオケに週2回通っています。私も11月に車を手放すことを決めて、夫は健康増進のために地下鉄をフル活用して趣味やボランティア活動などを行う覚悟でいました(今でも7万円の敬老バスで足りず、持ち出し金が増え悩んでいたところ)。活動できる場所を増やしてください。私が行っている老人福祉センターは皆健康のためにと各種体験やダンス等を希望しても、希望者が多く抽選で振り落とされるのが現状です。もつと健康の事を考えられたら今、家に閉じこもっている方々を気軽に誘いできるような体制づくりや場所を作ってください。お願いします。
80～84歳	厚別区	十分利用させてもらい申し訳ない気持ちです。文化都市札幌にふさわしい制度である。
70～74歳	豊平区	現状のままが良いと思います。
80～84歳	厚別区	市内中心部への買い物や通院及びイベントに利用しているがとりあえず現行の生活スタイルが大きく変わることがないので、従来通り地下鉄やバスをありがたく利用させてほしい。
80～84歳	手稲区	敬老バスの自己負担の金額を増やして、JRの電車も使えるようにしてほしいです。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	南区
記載なし	
90～94歳	西区
70～74歳	手稲区
85～89歳	南区
80～84歳	西区
70～74歳	豊平区
75～79歳	北区
80～84歳	中央区
75～79歳	中央区
70～74歳	西区
70～74歳	清田区
85～89歳	白石区
75～79歳	厚別区
75～79歳	豊平区
70～74歳	南区
80～84歳	手稲区
75～79歳	南区
70～74歳	北区
85～89歳	東区
80～84歳	中央区
85～89歳	手稲区
70～74歳	西区
80～84歳	厚別区
70～74歳	北区
75～79歳	手稲区
80～84歳	東区
80～84歳	北区
75～79歳	東区
75～79歳	西区
記載なし	
70～74歳	西区
75～79歳	厚別区

お役に立てない回答で申し訳ありません。今年免許を更新し2～3年後に返納したいと考えております。その後交通機関を利用させて頂きたいと思っております。

タクシーにも乗れると良い。チャージ1,000円で10,000円分使用できるといいです。

素晴らしい制度と自負しております。外出の機会が容易にでき、健康の維持管理につながるため。

敬老パスがなくなることがあれば外出の機会がなくなります。金額の枚数を減らしてもあった方がよい。

バス、地下鉄を自由に使えればよいが、足が不自由で無理です。タクシーの利用にも使えようになれば助かる高齢者が増えると思う。もつと利用価値のあるバス制度を考えてください。

OB会等に参加すると、例えば北広島住民からうらやましがれる。この制度の継続は当然として、敬老健康パスの充実を望みたい。自己負担金を廃止することは、現行のチャージ額をゼロとし、ポイントを獲得するまではバスを使えないということなのか？よくわからない。

多少の負担増は仕方ないと思います。

JRにも早く使用できるようになると便利です。

敬老を削除し「健康パス」のみで可とする

TVニュースで金額を検討していると見たが、ポイントとは初めて聞くことやわかりません。新聞は全国紙以外取ってないので、詳しいことは分かりませぬ。広報誌などにも予定が大変少なく、情報が入らないのはどういうことでしょうか。催しやスポーツ運動などこんなので後から知る事ばかり。一か月前には決まっていることばかりだと思いますが、福祉課ばかりでなく、広報はもつとしっかり広報すべきです。しっかり税金を払っているのですから。予算は分かりましたが、今までにどれほど利用実績も見つかりません。

バスのチャージ上限が7万円となっていますが、そんなに高額な利用者は少ないのではと思います。減らすべきでは。

良い制度と思う。75歳で免許を返納してぜひ使用したい。

少なくとも現行の制度を守る事。

年々、体力・気力が落ちていきます。だからと言って、バス・地下鉄に乗って体力づくりやコミュニケーションづくりや外に行く人は本当に元気な人です。私も現在プールへ週1回バスに乗って通っていますが、冬は寒くて行かなくなりました。

敬老パスのチャージの場所が一般のバスのチャージ場所と同じだともつと便利だと思う。

上限額がもう少し高くなるか、回数を使う方は何回も購入できるといいのですが。

JRも利用できれば大変うれしいです。いつもJRも利用できればと思つてます。

敬老パスを使って、プールのウオーキングは最高です。体の負担も軽く筋肉も付きます。ぜひ広めて頂けて嬉しいです。元気なお年寄りが増えると思います。もちろん、プール代はかかりますが、元気で人様に迷惑のかわらない人生にしたいと考えています。

敬老バス運営に年間50億もの市税が使用されているとは驚きです。自分自身がどのように有効活用していくか考えねばなりません。

今まで通りの上限とタクシー利用が可能ならば大変うれしいが、2万円上限やポイント付与や交換は高齢者のためにならず反対、改悪だ。

年金が減額になる一方、交通費が増加しています。生活の助けになる現行方法がいいと思います。

高齢者は元気で外出する機会に限られてきて、足腰不自由になり、敬老バス利用が少なくなると思っています。70才から下げると利用者が多くなると思っています。平均寿命が延びても健康寿命がどうか考えています。私は車いす生活になつていて、介護タクシー利用しています。介護タクシーが欲しいと思つています。

公共交通機関だけではなく、タクシーも追加してほしい。どちらか選択ができるといいです。

敬老バスをありがたく利用させて頂いていただいています。これほど、この制度の利用が少ないとは思つていませんでした。しかし、この敬老バスのお陰で遠い中央区までバス地下鉄で月4回利用できています。このままの金額の援助が頂けるとありがたいです。ポイント制度は長く理解できていません。

大変ありがたいと思つております。

対象活動に参加しなければポイント確保できないとしたら、活動できない人は敬老バス利用ができないのか。現行、自己負担で得た敬老バスチャージ額が今後は活動で広げられればポイント獲得なし、バスは使用できないということなのか。

広く分かりやすく伝えるように宣伝してください。

制度の趣旨を理解せず他人のカードを使うものはまだまだだいたいと聞きます。主旨どころではなく犯罪です。年寄りだから、許されるといったシャレの世界ではありません。自己負担で得た敬老バスチャージ額が今後は活動で広げられればポイント獲得なし、バスは使用できないということなのか。

敬老バスはありがたいです。

現状に満足している。札幌市内のJR線にも適用してほしい。

公共交通機関が利用できなくなつたので、タクシーの利用料金を半額等にしてもらいたい。

JRで使えてきたらいいと思う。

仕事でJRの利用が多いので、JRで利用できるのと他の要件で外出しやすくなる。JR⇄地下鉄⇄市電を利用し出かける場所がある。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	北区
記載なし	記載なし
80～84歳	東区
80～84歳	豊平区
75～79歳	西区
70～74歳	北区
75～79歳	手稲区
70～74歳	中央区
85～89歳	西区
80～84歳	西区
70～74歳	厚別区
70～74歳	南区
75～79歳	厚別区
70～74歳	厚別区
70～74歳	厚別区
75～79歳	厚別区
70～74歳	中央区
70～74歳	北区
80～84歳	東区
70～74歳	清田区
80～84歳	中央区
75～79歳	南区
75～79歳	南区
70～74歳	西区
70～74歳	中央区
70～74歳	西区
80～84歳	白石区
70～74歳	西区
80～84歳	南区
75～79歳	西区
80～84歳	西区
80～84歳	中央区
70～74歳	手稲区
75～79歳	手稲区

どうか敬老パスをやめないでほしいです。

オリンピック20億と同様だ。全体を見れば。パスパスではだめ。

ポイントはいりません。

利用上限額が大変少なくショックを受けています。上限額の引き上げを必要とする人が多いことも考えてください。健康であるゆえ、社会参加等できています。

敬老パス運営に年間50億もの税金を投入しているとは大きな問題があると思う。使用回数が多い人は特定の個人に限られているのではないか。高齢者全般の福祉に役立つ施策を再検討した方がいいのではないか。

J Rも使えるとよい

J Rの利用ができないためほとんど利用していない。

現状の敬老パスをなぜ継続できないのですか？市の負担が大きいのなら、個人の負担金をアップするなどの方法があるのではないのでしょうか。（7万円に対し1万7千円負担は安すぎます。）新しいパス制度は分かりづらく理解に苦しむ方がたくさんいるのでは？

自宅からバスで養護南までしか行けず、J R 類似には必ず乗り継ぎが必要な場合が多いです。料金2倍それ以上になる事もあります。乗り換えなしの方との差を感じています。反対の事もありますが、すべてとはおほいませんが。

補助金が2～3万がよい

現状のままです

敬老パスはタクシーとJ R利用がなく、現在は最寄りの地下鉄駅まで車で行かなくてはならない。免許証を返納したらタクシーかバスで行くしかないが、歩行ができてくくなると負担が多くなる。敬老健康パスはタクシーも加わるようでもともとも良くなると思う。

ポイントは必要ない。バスを使用せずに近隣を歩き、健康維持のため頑張っている人がたくさんいます。ポイントカード作成、郵便費用はお金、国政と同じでポイントの言葉に違和感がある。

カードの見栄えを良くしてほしい。

敬老パスにチャージする1回目の金額をもっと低額にすると利用する人が増加すると思います。

制度ができた場合、その内容を理解し生活に生かしたいと思います。

ぜひ、タクシーでも敬老パスOKにしていきたい。

現在の敬老パスで活動の種類を充実させることがよいのではないかと

上限3万～5万までいいとおもう。7万枠は不要と思う。

自由に使える敬老パスが望ましい。

敬老パスとタクシーの組み合わせも検討してほしい。

私は今ままで通りの敬老パスで満足しています。

現行の敬老パスのチャージする際、委任状による代行は不要だと思います。この代行が可能なことにより、寝たきり等でパス利用不可能な対象者のカードで不正利用が可能になるのではないかと思います。あくまで外出可能な人のための制度なのだから、チャージは本人のみができるようにしてもよいのではないのでしょうか。財源不足などが改正の理由だとしたら、現行制度で自己負担金の増額、カード作成費用を利用者負担にするなど、ご検討をお願いしたい。

敬老パスはともありません。毎月遠方の母(介護で)のところへ滞在することが多く、色々なことが、残念ながら断念することが多く、せつかくのパスが利用できなくなるかと感じています。

敬老パスですが、上限20,000円になると外出する方が少なくなるのでは？そうすると健康状態にも良くないと思います。上限30,000～35,000位は、と思います。

仕事を辞め免許を返納してバスを利用することを楽しみにしていますが、今回の健康パスに変わるといことがわかりです。内容も使い方も目的も意味不明で理解できません。

ポイント獲得できることはとても嬉しく思います。何かやる気が出てきそうです。ぜひやれることなら実行して頂きたいと思います。

敬老パスは年金生活者にとつてはとも助かります。ずっと続いてほしいです。J Rが近いので出来れば列車も使えればいいです。

敬老パスは素晴らしい制度だと思っております。

敬老パス及び敬老健康パスの推進もけっこうですが、ライドシェア等の公共交通機関も推進してほしい。

敬老パスについて、対象年齢75歳以上、チャージ金額3万円以内、自己負担金廃止。敬老健康パスについて、ポイント付与の必要なし、自らのためであり、負担を増やすべきではない。

家族が病院に入院の時、毎日病院まで地下鉄で通っていた時、敬老パスがあったので良かったです。

1時間に1本しかないところもあるので、もっと多くあることを望みます。

高齢者にとつては大変ありがたい制度で感謝の気持ちです。J Rにも適用されるとおもいます。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	中央区
85～89歳	西区
75～79歳	南区
70～74歳	東区
80～84歳	厚別区
80～84歳	厚別区
80～84歳	南区
70～74歳	中央区
80～84歳	手稲区
70～74歳	白石区
85～89歳	中央区
80～84歳	中央区
70～74歳	中央区
90～94歳	中央区
75～79歳	豊平区
75～79歳	西区
85～89歳	西区
70～74歳	西区
75～79歳	西区
80～84歳	清田区
70～74歳	西区
75～79歳	南区
75～79歳	手稲区
80～84歳	手稲区
80～84歳	中央区
70～74歳	中央区
75～79歳	豊平区
70～74歳	清田区
75～79歳	清田区
85～89歳	西区
70～74歳	北区
85～89歳	手稲区
70～74歳	白石区
75～79歳	中央区
70～74歳	清田区

活動の例で歩くことについてはスマホのアプリでインスタントール時追加できることが敬老健康パスの価値があると思います。この制度が充実すれば、運転免許証の返却も増加
 公営交通のみではなく、JRやタクシー等、幅広くパスが利用できることが敬老健康パスの価値があると思います。この制度が充実すれば、運転免許証の返却も増加
 し、老人による交通事故の減少につながると思います。

敬老パスはとも助かっていますが、市の財政にも負担をかけているので、よりよい方法を考えてみてください。

私の生活は日々苦しい。でもその中で敬老パスがあると母にも会いに行けます。

敬老パスはとも助かっています。敬老健康パスは大反対です。ややこしいこととするのも不要です。健康寿命を延ばすことはどなたにも希望していると思いますが、実
 行している人は既に実行していますし、健康に過ごしたいな一と思っでいて日頃の生活習慣から「とし老いてる」人は無理、長続きしない。若年の頃から無理なく苦
 なく、良い生活習慣を身に付けることを実践できるよう、社会全体で願います。テレビで流れている大食い、大酒、飲酒、甘いスイーツ、グルメのモニターシヤル
 にはうんざり、何とかして。

JRでも使用できるようになると嬉しいです。

別紙アンケート調査協力依頼Q6「敬老パスの利用先の拡大」に掲記されているタクシー利用について乗車利用ごとに例えば1割引～2割引が適用されることを希望し
 ます。

バス発行時の介護度、年収に応じた発行もありでは。

冬道での買い物は敬老パスを利用してバスで行けるのでとても助かっています。ただJRには使用できないのが残念です。

バスを使い、色々なイベントに参加でき、又バスを持つ方には割引される事等がもっとも増えるのが希望。現在でも色々ありますが。

敬老パスあるから特に冬は市電に乗りチカホ散歩に出かけられる。パスはありがたいです。

8つの案が出ているのですが、あとには本人が敬老パスを理解してやる気をどれだけ引き出せるかだと思えます。

何事によらず、シニアな方が老人には使いやすいたいと思えます。保険証は保険証、敬老パスは敬老パスがわかりやすい。

敬老パスがありがたく利用させていただいてます。ある程度の自己負担はやむを得ないと思いたく思いますが、このまま続けて頂きたいと思っています。

敬老パスが思いのほか使用されてないことびっくりしました。身の回りの交通網がもっと密だと嬉しいです。

免許証を返納したので、大変助かっています。健康維持のためできるだけ歩くことを心がけています。敬老パスのおかげで、気軽に外出できるので助かっています。

すばらしい制度だと思えますので、長く続くこと願います。

障がい者にも優しい充実した制度を望みます。健康寿命を伸ばすために住みやすい街づくりに願っています。

敬老パスで地下鉄、バス、市電はたびたび利用していますが、JRも使えるようになるとありがたいです。

敬老健康パス(案)は70歳代の元気な高齢者の制度です。高齢者も80才に近くなると運転免許も返上してしまい、外出は公共交通機関に限られてしまうの上限2万円では
 ともも足りない。タクシーやJRに乗りとしたり今まで通りにチャージ方式で自己負担金があっても良いので具合いの悪い時や天候の悪い時や病院等にタクシーで
 行けたらとてもありがたいと思う。チャージ方式で地下鉄バス市電、JR、タクシーが乗れるようにしてほしい。

こちらの制度を提案された方、只々感謝ですけど…あまりにも負担安すぎる。市に対して年間50億円は大きなお金です。

今のままでも負担額を増やす方がいい。出かける機会が確実に減ると思う。JRも使えると良い。

外出したくてもこの年金じゃ外出できない。

JR(鉄道)も使えるようにしてくれれば良い。バスの便が少なく使いづらい。

行く場所が決まっているのではなく、自由に乗れる方が良いと思います。

敬老パスの金額は我々は非常にありがたいです。感謝しています。

色々工夫をして使っています。例：土日は500円で乗り放題のドニチカキップを利用。その他の日にパスを利用。

現在はマイカーを使用しており敬老パスは使用の機会がないが、将来マイカーを使用しなくなったら敬老パスの利用が増えることから敬老パスの継続を望みます。

個人的に自己負担金を増やすのであれば賛成します。目がだんだん見えなくなっており、スマホは使えませんが、ポイントカードも見えませんが、選択肢が複数あるの
 は良いと思います。

令和6年度も上限70,000円であれば願っています。

基本は健康な人達のためのものだと感じています。何をやるにも足になる物が必要で車の運転も高齢者はずべてにおいて危険なことだと認識していても運転しなれば
 ならない現実がある。特に今はバスの廃止、減便などで使いたくてもできない現状です。まず基本的なことを整備してからバスの廃止&減便を行うことです。これから
 もっともっと先が心配です。

特にありません。制度に感謝しております。

町内会の敬老会参加は75歳以上ですので、敬老パスも引き上げた方がいいと思います。

とても感謝しています。

目的通りに使われているかをチェックできるようにした方がいいのでは。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	北区
70～94歳	厚別区
80～84歳	中央区
80～84歳	清田区
80～84歳	手稲区
70～74歳	清田区
75～79歳	中央区
70～74歳	東区
75～79歳	清田区
70～74歳	東区
70～74歳	豊平区
75～79歳	手稲区
75～79歳	中央区
75～79歳	南区
70～74歳	北区
85～89歳	清田区
90～94歳	東区
75～79歳	白石区
90～94歳	豊平区
95～99歳	清田区
75～79歳	西区
85～89歳	厚別区
70～74歳	手稲区
70～74歳	手稲区
75～79歳	北区
75～79歳	中央区
70～74歳	手稲区
75～79歳	北区

とても良いシステムなので、7万から2万に激変させるのではなく、3万程度にとどめてもらいたい。

敬老健康パスとなるならば出歩くことが大変です。バス代を気にしないで、出かけるようにお願いします。

今まで通りの敬老バスとポイント利用したい人の敬老健康パスの2本立てはダメでしょうか。

敬老パスがあると外出時の点検の第一になっっているのでも助かっております。

敬老パスのチャージ額を減少させて、制度を利用できること。

チャージ金額については1万～5万くらい良いのでは、予算の都合で。

初めに敬老パスは私のように経済的に余裕のないものにとって本当にありがたい感謝です。ただ、年間50億もの経費が掛かっていることをこのアンケートで知り、複雑です。もう少し個人負担を多くするのも一つの案なのかもと思います。絵を見たり、花を見に出かけるのは私にとって大切な時間です。

地下鉄のエレベーターがわかりやすい所にもっと欲しい。地下鉄やバスの乗り場の除排雪や砂まきを徹底してほしい。夫の免許返上も上記が整えば、勇気が出ると思う。

今のままで十分です。

敬老健康パスの上限額をできれば高く設定していただきたい。現在は利用していないが、いずれ利用することになると公共交通機関やタクシーなどの利用料金も高くなっているのだから。

長く続くことを望みます

高齢者が増加の一途にあり、市の財政を圧迫するからと言って高齢者のバスを条件を悪くすることは断固反対です。今までの方式で、自己負担額6千円→チャージ3万円くらいにしてはどうでしょうか。昭和の高度成長期を支え、健康に気をつけながら、公共の乗り物に乗って出かけ、必ずお金を落とします。いつもありがたい使っています。年金生活者にとっても唯一意欲の出る敬老バスです。金額が少なくなっても従来の方式を望みます。

敬老パスが使えることにより、老人の行動範囲が広がることによって医療費の軽減及び税金も減るのではないかと考えられます。老人ではなく、セカンドチャレンジユーザーとして多くの老人に再チャレンジできる環境を作りたいと思っています。

春闘損傷の手術後遺症で日常生活で公共交通機関の利用は難しいです。敬老健康パスの実現を期待しています。(タクシー等の利用)

下肢の不自由な人にとって切符を買う手間がかからないのがいいと思います。私も下半身がしびれているので止まって切符を買うのが大変でしたので、ありがたいです。

夏の期間は雨でも降らない限り毎日ウォーキング5kmを目標にしています。近くの病院、買い物にも歩いていきます。冬の間は今のままでは歩道はツルツル状態で歩くことができません。

高齢者が増えたからと言って、金額負担を増やすという案があるならあまり納得がいかないが、やむを得ない所もある。物価が上がっている状況でいるんなら負担が増えていることを考慮してほしい。日本が豊かではなかった時代を過ごしてきた高齢者は全てにおいてもつと敬意をもって優先するべきと思う。

今までのように郵便局でチャージできるといいです。7万円までとは言いません。せめて、2万円でもいいです。または、高齢保健福祉をあまり受けていない人には健康パスとして2万円くらい割り振ってほしいでしょうか。

利用者が非常に多く、市の財政が気になります。もつと負担金を増やした方がと思う。

高齢になって歩くのが不自由になると使用できなくなりますが、タクシードライバーを増やして利用しづらくないでいいです。少しでも若く元気な時こそ利用できるといいと思います。70歳からは微妙なところですね。

①利用権の簡素化。無料券2枚、有料利用券の配布は不要→郵便局で購入するだけ。②交通機関の収入など全く開示されていないのは全くおかしい。③パスによって市内への外出がしやすくなる。買い物、イベント、コンサート、映画、展示会等々に大きく影響します。

今までコロナで出かけることが制限され自宅を過ごすことが多かった。これからコロナも終わり色々と楽しい施設ができ、出かけたと思うので出かけるくせを忘れてしまいいい、いざ出かけるとなると以前のようにならなくなると自分が寂しい。街の賑わい、そして大通公園の楽しさを肌で感じたいです。遠出する習慣をすっかり忘れてしまってます。

J.Rも敬老パスが利用できるのと外出する機会が多くなると思います。

内容がまだはつきりと把握できていないので何とも言えません。

老人がアプリを使ってポイント獲得できるように。また、わざわざポイントをつける意味が解りません。例の徒歩、介護予防活動への参加、人とのふれあい、通いの場、スマホ教室などでこのように行われているのを知りません。このようにすることをわかりやすく広報して、老人が出かけてみたいと思う場所を用意していただきたい。地下鉄、バス停まで歩いていけない老人の事を考えてください。

年齢とともに病院へ行く回数が増える。敬老健康パスでは全額が低すぎず。交通事故を懸念して、免許を返納した。敬老パスはますます増えるので、現状で良い。

公共交通機関でJ.R・タクシーが利用できることは大変便利になります。

現在の制度を維持してください。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	清田区
75～79歳	清田区
75～79歳	手稲区
75～79歳	手稲区
75～79歳	豊平区
75～79歳	豊平区
75～79歳	北區
75～79歳	清田区
75～79歳	北區
75～79歳	手稲区
75～79歳	手稲区
75～79歳	手稲区
75～79歳	北區
75～79歳	中央区
75～79歳	白石区
75～79歳	手稲区
75～79歳	南區
75～79歳	清田区
75～79歳	豊平区
75～79歳	手稲区
75～79歳	白石区
75～79歳	豊平区
75～79歳	東區
75～79歳	厚別区
75～79歳	東區
75～79歳	豊平区
75～79歳	豊平区
75～79歳	西区
75～79歳	白石区
75～79歳	西区
75～79歳	豊平区
75～79歳	西区

運営費増の課題は今後も増えていくと思われ、他の予算を減らして高齢者サービスは継続していくべきと思う。

地下鉄のない手稲区はJRが使えず不便でした。今後ポイント制になるとJRやタクシーも使えるようになるので期待しています。

高齢者の負担が少なくなるよう希望します

身体的に行動が制限されている方へのポイント獲得が健常者とそんな色のないような制度であってほしい

化石燃料の将来、汚染対策等総合的、移動政策は特に都市から考慮され、進められる必要がある。

敬老バスで出かけたのですが、バスが今まで1時間に2本あったのですが、1本になり非常に不便になりました。これも外出意欲をなくして原因です。

運転免許を返納して何年か後に雪はねで骨折したのが、買い物、病院など行くため杖を突きやったり歩いている状況で、敬老バスは私にとりましてはありがたいがたく、感謝しております。敬老バス運営に年間50億円の市税が使用されているが、実績はどうなのか。敬老バスチャージャー割合56.8%が令和4年実績が0円であるのよくわからない。

敬老バスを廃止するなら「する」。今の説明では、代替を用意してめ込まれているように思います。最高2万円のポイント交換を考えているのであればその分敬老バスにしてほしい。年を経るから新しいことへのチャレンジは大変である。スマホは「持ち歩くことができる電話」としてしか認識できない

敬老バスとても感謝して使用しております。昨年は平気だったことが辛くなり、買い物帰りはバスを利用する等回数が増え、冬道になり転倒ショックを受けました。削減されるのでしたら、冬道対策の方にも力をいれて、歩道車道ツルツル生活に不自由を感じます。バス乗車の回数は減ると思います。つまり、外出の機会減ですね。現在車は運転しておりませんが、免許返納はもう少し後にした方が良いのかと思ったりしました。

アナログ時代とデジタル時代現在バス利用している場合はアナログでもいいのでは。また、これから70歳にバス利用するとなったときはデジタルでもいいと思う。

上限額を引き下げて負担額を少なくしてほしい

ありがたいことです。ハイヤーを使っていますので、定額から半額くらいになる特徴があればいいと思います。

このまま維持してほしい。

公共交通の充実が先ではないですか。

アンケート用紙の紙が立派すぎる。経費削減、担当者の配慮がないと思う。

今まで通り千円の負担で1万円分使用できる方法が分かりやすく簡単に増やしてほしいです。

社会的な面では収入により差がありますが、敬老バスにおいても、収入により応分の差があってもいいように思います。これからはますます高齢者が増えていることを考えると、そのように思います。子育て支援等、市の財政を考慮したうえでの提案ですが。

私は携帯を持っていませんので、ポイントをいれることはできません。もし携帯を持っていても上手に使うことはできないと思います。7万円もいりませんので、皆、2万円でもいいと思います。よろしくお願いいたします

年を取るとポイントとかは難しく面倒。敬老バスに使った分、教%乗れる代金が増えると良い

健康な老人として、夏場は近くの公園でのラジオ体操を行うことをお願いします。リタイアした方々にリーダーになっていただき、小さな活動からでも始めたら広い輪になり、町内会活動にもいい結果になるろうかと思われれます。

市内の足助かっています。

日本ハムが北広島に移ったことで東豊線の利用が減ってしまっった。今まで札幌ドームに通っていた人に確認するとJR利用していると福住からバス出すなどして利便性を高めるとJRから客が戻ってくるのではないかと。

今のままで良い。

敬老健康バスを使用した人が参加できるイベントをやってほしい。多少の自己負担をいただいて、とにかく参加させる。まだまだ寿命は延びると思うし、医療費はかかなくなると思う（気分的なものはありません）。

当初より敬老バス交付は受けておりましたが、ほとんど利用することはなく（家族が支援してくれる）。要望として敬老バスチャージ金額をタクシー代の半額支援してくれれば大変助かります。それと高齢者の車両事故が問題になっていますが、高齢者の運転免許返上時に敬老バスにポイント加算してくれば交通安全のきっかけになるのではと思います。

ポイント獲得して、そのポイントを利用して利用する案とありますが、だれでも簡単に使えるようにしてほしいと思います。せっかくの案も使いつらいなら何にもならないと思います。誰でも簡単に使える方法を考えてください。

今の制度のままでもいいと思います。今のままにポイントをつけられるとおおよいです。

元気に利用している方は良いバスだと思います。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	豊平区
80～84歳	北区
85～89歳	中央区
80～84歳	豊平区
80～84歳	北区
75～79歳	手稲区
70～74歳	豊平区
75～79歳	東区
80～84歳	手稲区
75～79歳	手稲区
80～84歳	東区
70～74歳	南区
70～74歳	東区
80～84歳	手稲区
70～74歳	東区
80～84歳	豊平区
75～79歳	中央区
85～89歳	厚別区
85～89歳	中央区
70～74歳	白石区
80～84歳	豊平区
70～74歳	南区
70～74歳	南区
90～94歳	南区
70～74歳	白石区

自由記載意見	
年齢	居住区
80～84歳	清田区
75～79歳	厚別区
70～74歳	東区
75～79歳	西区
75～79歳	豊平区
80～84歳	中央区
75～79歳	厚別区
80～84歳	西区
70～74歳	西区
85～89歳	北区
80～84歳	厚別区
75～79歳	東区
70～74歳	清田区
75～79歳	南区
90～94歳	豊平区
70～74歳	手稲区
70～74歳	北区
70～74歳	東区
70～74歳	南区
70～74歳	中央区
70～74歳	北区
95～99歳	白石区
70～74歳	手稲区
70～74歳	清田区
75～79歳	手稲区
80～84歳	中央区
75～79歳	北区
80～84歳	豊平区

加齢とともに市外に外出する機会が減り、コロナ禍も続いていたので3、4年前より大幅に敬老パスの使用頻度が減少した。昨年チャージしたが、今年はしなかった。

敬老パスの優待額が高すぎる。この金額を使う人は多くのカルチャースクールに通い十分な収入がある人です。病院へ通う人にとっても助かる制度だとも思いますが、私は今ほとんど車で出かけますが、それが難しくなればとても助かると思っております。

物価高の世の中で交通費の心配せず、出かけられるだけでもなくさないでほしい。

ポイント交換先に、スपोर्टジムの利用券、健康体操教室の参加券、高齢者が参加できるバードウォッチング、高齢者が参加できる紅葉狩り、とにかく高齢者を誘い出してほしいと思います。

手続を簡単にしてほしい。

敬老パスがあり感謝しております。敬老パスのチャージの割合が50%以上の人が使用していないなら、敬老健康パスにしても利用者は変わらないように思います。敬老パスを使って健康寿命を延ばすため、健康で明るく外出し運動や社会参加や習い事に行くことが出来ます。敬老パスが今より少なくなるのは健康寿命を延ばすことに逆行するよう気がします。ポイントより今まで通り敬老パスの方が利用しやすいと思います。

現行制度を前提として、必要に応じ負担額や上限額を決める等で考えてほしい(市民の理解が得やすいと思う)。※この案は財源問題が本音でしょう。

敬老パスを使っている者は収入を増やせない(年金などに限られる)、敬老パスを使っている人が更に動けるように配慮すべきである。使う必要がない人には対策を考える。申請制度など、多少の負担があっても申請できるように。敬老パスはありがたい(仕事時代は長年税金を払ってきた)。

優待乗車証については、限度額を下げ、札幌市の負担を軽減させるべきであると思います。自己の通勤に使うためであれば、この「敬老パス」の意に沿わないと思いません。せいぜい数万円が適当と感ずます。2万円程度かな。

敬老パスがある中で外に出ることが多いと思います。ありがたく思っています。

今までの敬老パスの継続を希望します。年を重ねた今、変更されたり社会参加は難しくなるのではないでしようか。このままの生活を維持していきたいと思っています。

あまり複雑にしてほしくありません。

現在の敬老パス70,000円、1か月約5,000円でちょうどいいくらいで、買い物、友人・家族と会う機会が丁度いいです。やっとな敬老パスを受けることができて喜んでいきます。続くことを願います。

利用がいきなり7万→2万になるのはちょっと同意できかねる。段階的に上下するとか、これからパスをもちょう人が出てくるがその方はパスをもちょうのをあきらめる方が多くなるのでは。その方が市の負担が減るので都合が良いのであれば。

老人の集いの場を多くしてほしい。

この制度は時代の流れに即したとても良いものと感じています。私自身、車使用で活用はしておりませんが、今後は必要になるものと思います。利用する内容は小さなことにも活用できる柔軟性の持たせたものであれば良いと思います。健康年齢も今後は延び、該当人数も増加していくので、運営経費も増加していかなければなりません。この制度は継続・充実させようと思います。

今の敬老パスが簡単に便利です。気軽に使える。チャージ額上限を減らしてもいいので、今の形を続けてほしい。

制度としては適当に良いと思う。

敬老健康パスについては必要ない。

平均チャージ額が「11,431円」なら最低自己負担額「3,000円」(チャージ額20,000円)は残すべき。もしくは「1,000円位」の負担増とする。「問28」の年間50億の予算は、ムダに使って税金ではないはず。全体の予算の見直し等行えば可能では。・アンケート結果は正確に改ざんすることなく公表する事。

現在の敬老パス方式で市の負担が大きいのであれば、自己負担額を少し高くして調整してほしい。敬老パスがなくなると今より外出する機会が減ると思う。

現在の敬老パスの残額がわかりにくいので困ります。わかりやすい方法を市の広報などで教えてほしいです。

JRでも利用可能にしたいだけなら良いと思います。老人になるとトイレがすぐ近くにあることが安心です。都心まで1時間以上もバスに乗っていることはとても大変です。座っていると腰痛にもなります。JRの快速だと立っただけでも都心(札幌駅)まで行けます。JRの利用時間を制限していただく。例えば通勤通学の混雑時間は使用不可。目の中の空いている時間のみとか。

敬老パスを使用若しくは対象の人は年齢が高い人が多く、また携帯電話及びパソコンを持っていないか、使い方がわからない人が多数いると思うので、いままで通りの仕方でお願ひしたいと思います。

JR鉄道も利用できるようにしてください。

現行の制度も一部残す方向で考えては。

現状のままでの継続を望みます。

続けてほしいと思っております。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	北区
70～74歳	豊平区
75～79歳	北区
85～89歳	白石区
70～74歳	中央区
85～89歳	白石区
70～74歳	豊平区
80～84歳	中央区
70～74歳	南区
70～74歳	南区
75～79歳	手稲区
70～74歳	白石区
75～79歳	厚別区
80～84歳	清田区
75～79歳	東区
70～74歳	厚別区
70～74歳	豊平区
70～74歳	南区
70～74歳	東区
75～79歳	北区
70～74歳	西区
80～84歳	豊平区
75～79歳	南区

17,000円の金額を出して70,000円分のチャージをできる人は、みんなの税金を使って運営している敬老バスを使わなくともいいかも。

このアンケート調査で、令和4年の実績を問うている設問があるが、コロナ禍での行動制限で外出の機会が制約されていた令和4年度の数字を使うのは疑問。利用実績を意図的に少なくしているのは問題だ。同じく「問28」で敬老バスの運営に市税が50億円使われていることを問うているが、この設問は詳細情報がなく、設問として非常に問題がある。この事業を廃止するのであれば50億円を強調しても構わないが、そもそも事業を運営するには基本的に業務経費(人件費、印刷費、ICカード作成費、郵送費及びシステム改修・システム運営費等)が必須となる。それ以外に自己負担分の補填経費としての予算が必要になるが、そこを明確にしたアンケート調査とすべきではないか。高齢者の増加に伴う経済的負担増にかかる経費を別建てにすべきである。これはあたかも50億金額が自己負担に係る札幌市としての差額補填費との印象を与え、敬老バスについての膨大な差額補填経費を要していると誤解を与えかねない。

敬老健康バスでタクシニーを利用できるようにしてほしい。
 社会参加等で敬老バスの利用を促すことでさらにポイントまで加味して健康寿命を延ばしたい気持ちはわからないでもないが、現在の物価高と国政、経済等の社会不安定の中、考えてしまいます。思考その物は大いに推奨したいです。

基本健康な人が敬老バスを利用している。ただで利用しているわけではないので、このままの利用を希望します。仕事先が交通費がでないのでは、このバスは本当に助かってます。親の施設に面会に行くので、このバスは必要です。利用したい人が利用していけばいいのでは。

ポイント体制はあまり感心しません。年齢は現行の70歳から。自己負担を引き上げる。実際にその年齢になってみて感じたことは、なってみてそんなに外出ができていないことで70歳を引き上げる必要は全くむしろ引き下げることで自己負担は増やす。いつそその無理難題かもしれないが自己申告にすること(金額など)。使えない、必要のない人は優待乗車証を受け取れない。

免許を返納したら、公共交通機関を利用します。通院、買い物など、利用回数が多くなると思いますが。敬老バスはとってもありがたいです。なくさないよう希望します。

ガソリンも買えるポイント等、バスがあると良いと思います。

現在の敬老バスを希望する。敬老健康バスになったら利用者には大幅に減る。ポイントを獲得できない人は利用できなければ今までの趣旨はどうなるのか。ふざけた制度だ。

ある程度の自己負担増はやむ得ないと思うが敬老バスの継続を望みます。

敬老バスで健康と言っておりますが、昭和22・23・24年生まれば戦後の時代、学校の教室はあふれる程でした。その人数を考えると少し高くしてもいいと思っております。バスを思い外に出て健康といいます、町内会の行事でもわかりませんが、ほとんど参加していません。同じ人はかりかも？年をとると団体ごととかいろいろな人に気を遣い合わせることが嫌いな人が多くなります。年を重ねても楽しく余生を送れる人は何事にも対応できお金もある人と私は思います。服装も食事もかかります。身体も弱っています。タクシニーにも割引を。決定する方々も老いたら本当わかってきます。自分の道も遠いよう近いです。

経済的にも感謝してまます。

交付割合とチャージ額0円を考えると利用を必要としない者(自家用車利用等)が多いと思われ。ポイント制も一部の人に偏ると思われ。

敬老バスは本当に良い制度だと思ひ、手にしたときは感激したものです。未永く続くことを願っています。

長く歩くと足が痛い私にとっては週に1・2回程、バス地下鉄乗り継いで大型スーパーへ買い物に行くのが楽しみ一つです。病院、買い物、敬老バスが使えるのは大変ありがたいです。

敬老バスを現在のまま続けてほしい。この物価高のあり、さらなる負担は無理となり、外出機会が減る要因となる。

敬老バスを有効に活用しております。

昨年は夫病気で入院退院の繰り返し。15分の面会時間でしたが、敬老バスのおかげで毎日病院に行けました。

「敬老バス」を頂き、外出機会が増え、活気ある生活が過ごせている。敬老健康バスに変われば外出もセーブし、楽しみが減る。「敬老バス」を継続してほしい。

敬老バスの色を考えていただきたいと思っています。何年か利用させて頂いて感謝していますが、周りの利用者を見ていると自分が敬老バスであることを隠すようにカバールをかけたか、裏面を見せたりする人は多くいます。なぜか。年齢は見た目ではわからないので無駄です。高齢者の意識としては「社会のお荷物のように見られたくない」という言葉があまり使われなくなった風潮の場合、敬老バス制度を広報する努力の一方で、市民と高齢者を公共交通機関の利用で文字通り色分けする必要はないように思っています。今回のアンケートは制度を知っている人たちが作った内容に思えました。作成にあたり知らない人たちの意見ももう少し取り入れてほしいと思いた。

利用しない人が多いが、敬老バスの制度を変えても利用しない人は変わらず、利用する人が増加するとは思えない。JR使えることは良いと思う。
 腰を手術してから数年がたち歩くことが出来ずタクシニーに頼っています。タクシニーも高くなり病院に行くのも大変です(控えています)。自分みたいな人には何の援助もしないのでしようか。敬老バスの代わりにタクシニー券少しでいいから出してもらえたら助かります。

近頃タクシニーも少なく、また免許証を返納すると公共交通機関を利用することになるのでは、現状維持で行ってほしい。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	白石区
85～89歳	白石区
70～74歳	西区
75～79歳	南区
75～79歳	清田区
80～84歳	東区
70～74歳	厚別区
80～84歳	清田区
70～74歳	記載なし
75～79歳	清田区
70～74歳	豊平区
75～79歳	清田区
85～89歳	厚別区
70～74歳	西区
85～89歳	北区
85～89歳	清田区
80～84歳	東区
85～89歳	中央区
75～79歳	清田区
75～79歳	南区
75～79歳	西区
70～74歳	南区

これまで7回チャージができ、すべて利用するとするとチャージ総額70,000円。これに対して利用者負担額が17,000円とごく少額。また、敬老バスを全く利用せず恩恵を受けていない人が半数以上の56.8%いることは驚きだ。結果的に対象高齢者の半数以下の人達のために50億円もの市税を使うという非常に不公平な制度となっている。おおがかりな制度改正ではなく、チャージ可能回数を3回くらいにまで減らし、自己負担をある程度維持し、自身の健康や社会、市政、市税についての関心を高めるよう促すのがベターな策ではないかと考える。「高齢化社会」ではあるが、子育て、教育、福祉、介護、等々「予算」を必要としている分野は多岐にわたる。高齢者の移動手段に特化してこれだけの予算を使う事には疑問を感じる。

Q6. 2の自己負担を廃止は絶対反対です。負担金は今で充分です。高額利用者の便を考えてやることは賛成です。高齢者のみの社会福祉でなく、身障者、子供等、全体的中の高齢者と考えた施策であってほしいです。若い人も地下鉄駅、停留所まで歩行で行けず、ハイヤーを使っている人がいます。高齢者が無料で歩行困難者が負担は中のため社会福祉となり。より多くの人のための社会福祉事業であってほしい。勝手なことを書きました。

私は現行通りで有効に使っておりますので、そのまま引き継ぎの制度継続を望みます。どちらのバスでも利用範囲(例：タクシー等の利用)が広がれば良いと思います。

今のままを維持してほしいです。敬老バスを頂いていることに大変感謝しております。コロナ禍のため、4年間外出することを控えていましめたので、バスも以前に比べると使用頻度が少なかったのですが、まだ一人で外出することができている方には健康のためにも、視野を広げるためにも、今年自己責任の上で外出回数を増やそうと思っています。身体を動かすことができればいいと思います。私も現金で過ごすし、旅行支援の時も使い方がわからず、けっきょくは使用することができなかつた。敬老バスもポイントとかがないと利用できなくなりそうです。

付き添いが必要で、なおかつ介護をしている人について7万円の敬老バスを使いきっており、自己負担を減らして、年金生活での自己負担は大変であり、2万円に下げられると通院回数を減らさざるを得ない。そういう人達がいることを考慮していただきたい。ポイント制は高齢者には適切とは思いません。敬老健康パスへの制度発展とありますが、内容は逆行していると思います。

50億予算をどの程度まで上げたいのでしょうか。今後老人人口も減少するでしょう。その減少数、年2万円、3万円の増減、50億はどのように変化するかが見たいです。バスに乗って杖を使用している方が多いのでおどろいています。また若い方が席を譲ってくれて助かりました。混雑する時間をさけていますが、しつかりつかまるところがあるかと安心します。バスの運転手さんには大変感謝申し上げます。

年金暮らしのため気楽に外出する気持ちになれます。敬老バスがあるから外出して周りの人を見て孫いたり、買い物をしたり、自分を着飾ることでボケ防止を考えてる。そのため外に出るのが楽しい。なるべく制度は変えないでください。

チャージ額40,000円、自己負担額8,000円を残し、ポイント利用2万円を付けてほしい。清田区は特に地下鉄が無く不便。バスで行く敬老者の集会所も少なく、学ぶところが他の区より場所も遠く少ないと思います。

今までは車で行って敬老バスは1万円チャージしていましたが、80才を過ぎ免許返納を考えていて、敬老バスがあるので安心と思っていた矢先に今回の件を開き大変戸惑っています。私は電話を使うだけでスマホは必要なく、この年齢から覚える気にもなりません。それに運動してポイントのため2万円分頂くとか、何か老齢者の気持ちを考えていない気がしません。今更面倒なことはいらないし、管理されるのは嫌です。ストレッチです。この年になつたら自由気ままに街に出かけ、地下街を歩いたり、家族や友人と郊外に出かけたりしたいのです。市の財政も大変でしょうから、金額を下げてほしいです。せめて80才を過ぎた人は今まで通りでください。お願いします。

敬老バスを利用し外出させるには、次の行事を再開させること。老人福祉センター、区民センター等の公共施設に毎週何千人もの老人が参加していた各種有料無料の講座、健康管理、趣味、展示会、自主的な老人会等をも早く再開する事。老人が寝込むことなく楽しく生きていくことができるように施策をお願いします。

敬老バスを継続してください。JRも利用できるようにしてください。チャージ額、自己負担額17,000円を下げて下さい。チャージ額50,000円(上限)、自己負担額5,000円に。一度のチャージ額10,000円に対し自己負担額1,000円を5回チャージできるようにしてください。札幌市の負担予算額を減らす、またはJR利用のシステム開発経費のためにチャージ額の減額に賛成します。

ポイントカードはあまり身近に感じない。敬老バスを使っている人は70才以上であり、ポイントは若い人たちとは少し違うと思う。70,000円上限から20,000円に下げるとは、段階的に変更していく方が抵抗がない。友人たちと「急激に変えすぎだよ」と話している。

敬老バスのために50億円のお金をかけても、利用者が50%という事は、半数の人は使わないということ。20数億円のお金をむだに使うなら、もっと別の使い道があるでしょう。バス・地下鉄の乗り継ぎをもう一度始めるとか、20億の金があればできるでしょう。JRと協議してJRでも使えるようにする。50%の人も1,000円の利用年齢が70歳よりも引き上げたり、自己負担額が増えなくてもやむを得ないと思います。

自由記載意見	
年齢	居住区
85～89歳	東区
75～79歳	厚別区
70～74歳	厚別区
75～79歳	南区
70～74歳	北区
70～74歳	豊平区
70～74歳	西区
80～84歳	清田区
70～74歳	北区
80～84歳	手稲区
70～74歳	清田区
85～89歳	東区
70～74歳	手稲区
75～79歳	豊平区
85～89歳	北区
75～79歳	白石区
70～74歳	中央区
70～74歳	中央区
85～89歳	厚別区
70～74歳	厚別区
75～79歳	西区
70～74歳	南区
75～79歳	西区
70～74歳	南区
80～84歳	南区
70～74歳	中央区
80～84歳	南区

免許証など返還する人が増えると思う(私も)。あとはバス・地下鉄・JRまで公共機関を利用すると思う。

50億円の年間予算のうち、交通機関での美利用料金はいくらくらいなのか。運営の為に事業費(経費)はいくらくらいなのか。私の場合、敬老バスを利用することはないのですが、毎年4月には「納付書」が自動的に送付されてきます。これの印刷代や郵送費、さらに関連する経費にとれくらい支出されているのでしょうか。この制度は市民には十分周知されていると思いますので、その該当年齢に達した時、およびチャージの必要が生じた人からの申出の際に随時送付するよな方式に変えていくというのでいいでしょうか。より効率的な経費の削減を目指してほしいものです。

私の推測ですが、現行の敬老バスの使用頻度が多い人は働いていて通勤費にあてていて、二重取りしていないかになります。多くの人は車を持っていてのことから、車による移動が優先されていると思う。私は市の後援事業に参加の際は、敬老バスを使用している。ただし、コロナの影響で参加を控えていたので、今後は使用頻度が増えると思います。

老人にとつては制度は単純なのがベスト。現行のまままでよいが、7万円/年を5万円程度に減らしてもOKでは。マイナポイントみたいないないなことを考えるべきではないと思うが。

今までと同じでただめですか。市の予算の関係で減らしたいということなら自己負担額を上げればよいと思います。

80才を過ぎたらタクシーも使用できたら良いと思う(料金の限度などを決めて)。薬局・通院等の時。

現在のステラ社会において、自身の心身を鍛えて健康に留意していかなければと考えています。

買物・通院に利用しています。安く利用できるのは嬉しいのですが、地下鉄から地上に出るエレベーター売場が意外とできていないところもあり難儀しております。私の友人も2人ばかり地下鉄の階段で骨折しております。80才を過ぎますとけっこう足腰弱くなっていきます。

J R、タクシー等、利用先の拡大をぜひ実施してほしい。

私は敬老バスをありがたく使用し体育館、プール、図書館などに行っていました。そのうち車を所持する夫が敬老バスをいただきましたが、使用するのにはたまにでした。そのうちに私も買い物と車でするようになっています。せっかく敬老バスがあるのにもと思い車を手放すこともしましたが、男の人にとっては難しいようです。そこで70～80代で車を持っている人は車を手放した時点で敬老バスを使えるようにしたらいかがでしょうか。どうしても両方と言う人はそれでも良いと思います。

高齢者にポイント利用は難しいと思われ。

老人が健康で自力で外出や社会参加することがこれがこれからの超高齢化社会には必要である。寝たきりや認知症予防にも役立つものと思う。

J Rも利用できたらいいですね。チャージが地下鉄等の切符売り場から出来たらいい。

使ったことがないので何とも言えません。

特別に要望はないのでよろしく。

運転免許証を返納したことにより交通機関のバス地下鉄を利用することが多くなり、敬老バスを使っているのが今後利用する。

この際、敬老バスは廃止。敬老健康パスもやらない方がよいと思います。それより敬老バス、敬老健康パスにかけられる資金で老人が健康のために毎日気楽に集まれる場所、運動できる場所を増やしてほしいです。私は一昨年、長年働いていたところを退職した時、近場で手軽に参加できるところが見つからなかったです。やっとな見つけたところは月2回30分の介護予防センター「家トレ介護予防センター」でした。とても少ないのと社会との繋がりが欲しい私は健康のために仕事を探し、現在パートで働いています。冬期間のみ通勤の時に敬老バスを使っておりますが、敬老バスは廃止するべきです。現在利用している方の猛反対はあるでしょうが。廃止すべきだと思います。

素案になれば利用者は確実に減少するでしょう。変な小手先の変更よりも財源の問題であれば、上限を7万→3万に下げ、負担金を引き上げる等の方が納得がいきます。「ポイント」を獲得するために活動に参加すると思いませんか？問題点(財源)をすり替えているように納得できない。

敬老バスが心身の不自由によりバスなど乗降困難な人にタクシーの利用ができれば良いと考えます。

今のままでも健康づくりや社会参加はできるのでかえる必要はないと思います。J Rやタクシーにも使えるようにしてほしいです。

WEB回答だけからの抽選は不公平です。

住んでいる地域により交通費の負担が大きく敬老バスがなければ、外出は経済的に大きい。夫婦二人だとしても大変。上限金額が減ると外出しない事を考え、病院、買い物等々。住まいが街の中、便利な所では健康のためバスを使わず歩くのも良いので、使用しない方もいるのでしよう。それぞれの使用の仕方があると思います。私のように持病があり年金がギリギリだとして、敬老バスを有効に活用しています。

バスの減便で不便、J Rも利用出来たら通院に便利になります。

ポイント以外の違いがわからない。

現状のままを望みます。

敬老バスは個人の使用頻度において交付するようにしたい。例えば、少ない人は5,000円、多い人は70,000円、と個人によって額を変えても良いと思います。

私達年寄りには単純な方がよいと思います。今のままで結構です。変更があると外出しづらくなります。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	西区
85～89歳	南区
70～74歳	西区
85～89歳	豊平区
75～79歳	中央区
80～84歳	厚別区
75～79歳	東区
70～74歳	手稲区
75～79歳	西区
70～74歳	北区
70～74歳	北区
80～84歳	中央区
70～74歳	東区
70～74歳	厚別区
70～74歳	北区
75～79歳	厚別区
75～79歳	北区
70～74歳	豊平区
75～79歳	豊平区
90～94歳	豊平区
80～84歳	南区
75～79歳	西区
70～74歳	東区
75～79歳	南区

健康であるうちは夏は自転車で行動していますので、パスを3～4枚使用していますが、年間で使用している人は7枚では不足という人もいますので、不足の人たちにとって減ずるといのは痛手になると思います。

敬老パスがたくさん使用できれば郊外の公園や施設など友達と出かけたいと思います(百合が原公園など)。また敬老パスが少なくなってきたので出かけたくないようにしているという言葉はよく聞かれます。

新しい制度へ移行する場合、さまざまな問題点が生じてきますが、例となっている徒歩、介護予防活動とは具体案を示してほしい。体に不安を持つ人も多くなる年齢なので、全く使用しない人など敬老パスの目的となる健康づくりと社会参加のバランスも難しいが、私自身、友人を考えても、若々しく生きている人も多いのも事実。よい取り組みを願いたい。

現行(令和5年度)より低下は容認はできない。

まだ正確な内容がつかめないが、今までと同じく交通の補助があつて、さらにこれこれという制度の付加するのであれば良いと思いますが、それがある程度制限されるのであれば出歩く回数も減るかもしれません。

私のまわりをみてもスマホを持っている人は少なく、せめて携帯電話です。今のように市の方々(若い人)の考えは少しでも歩くことを考えているようですが、なかなか万歩計で体力をつけるのは少し困ります。

出来ればJRやタクシーでも利用できるようにしてご利用できないのではないかと。令和4年12月～5年12月まで1年バスを使い、今まで車で行ってたところにもバスと地下鉄で行く事が入金が郵便局だけでなく銀行やコンビニでもできないのか。令和4年12月～5年12月まで1年バスを使い、今まで車で行ってたところにもバスと地下鉄で行く事ができるようになったので、免許を返納しました。このままでもとても良い制度だと思います。

敬老パスがあれば街によく出ることができ。大通地下街を散歩できる。

札幌中心部に出かける場合、JRから始まるので、JRも使えることが第一に望みます。JRが利用可能であれば、市電、バス等利用する機会が増えると思います。

70才になり敬老パスを使わさせていただきたくになり、外出の際の交通費の経済的負担が減り、大変ありがたいと思っております。ただ健康増進が目的で敬老パスを使うというところまでは考えられません。ポイントの獲得も利用も面倒です。逆に使わなくなりそうです(残念ですが)。シンプルにしてください。

スマホを持たない自分としてはどういった方法でポイントカードが得られるのかも不明である。歩くこと、人とのふれあいを誰が証明し、ポイントにつながるのか分かりにくい。

私は携帯電話を持っていない。健康上、長い時間や距離の歩行には無理があり、外出時は体調を考え、休み休み歩いている。医者からも無理に歩かないいと言われている。よってポイントを得るために行動することはしない。歩行が心配な時はタクシーを使っている。新しくなる敬老パスについては、私には得るものはない。福祉の小化だが、高齢者が多くなくなっていく現状で予算で予算には限りもあり、仕方ないと思う。自分で無理なく現状維持ができるよう、体を動かしたり、努力をして生きていくつもりでいる。そうしている。現在の敬老パスには感謝しています。年金が少ないうちで助かります。どうもありがとうございます！

今は歩ける距離は歩いているが、荷物が重い時は駅まで帰りは地下鉄を利用してはいる。通院に地下鉄を利用してはいるため、今より自己負担額が増えても敬老パスはありがたい。7万利用されている方は元気で楽しんでいらっしゃる方だろう。私としてはうらやましい。財源が少ないのであれば、上限を低く設定して、タクシーJR利用者には広げられると良いと思う。いずれ歩くことが難しくなりタクシーを利用する日は必ず来るので。ポイント獲得のイメージがわかず、又ポイント活用は元気な人でスマホを自由に扱える人に限られる人が増える。敬老パスはあくまで交通手段にとどめ、健康づくりと社会参加は別に考えてほしい。

敬老パスがあるおかげで一杯のおいしいコーヒーが飲めたり、友達とあちこち市内をめぐることが出来ます。それが出来るのも80才くらいまでだと思いますが、それまで敬老パスを大事に使いたい。

現状の制度を希望する。負担額を増やしても良い。上限額を下げても、現状の使い勝手が良い。

この制度を大変ありがたいと思っています。ありがとうございます。ありがとうございます。

敬老健康パスの意味がよくわからなくないが楽しい。

上記のような活動にポイントがつくように。それから、百合が原公園、さとランド、豊平公園、モエレ沼公園などに行くが、温室など、フリーなのは助かる。お金を払ってまで入りたくないが楽しい。

歩くための環境整備をご検討願います。車中心の道路造りから歩行者自転車に優しい道路造りへシフトしていただければと思います。公共交通機関を利用するにも乗り場まで歩いて行かなくてはなりません。勾配のある道路、でこぼこした道路は高齢者にはそれだけでハードルが高いです。

今までは自転車に乗っていたが80才になり他の方々に乗るのをやめているようです。私もこれからは減ると思いますので、敬老パスをこれからはもっともつと使いたいと思えますので、減らさないでください、お願いします。

現在西区八軒に住んでいるが、JR琴似駅から札幌駅方面に外出する機会が多く、是非対象交通機関に「JR」を含めてほしい。

全ての方に合わせることは大変なことだと思いますが(現在は仕事をしているのでもそれほど感じないが)、少しでも負担少なく利用したい。

パスの利用金額を例えば7万円から5万円に減らすとしても、今までの敬老パスを継続してほしい。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	敬老パスにも所得制限が必要では。
75～79歳	利用手続を簡単にする工夫をお願いしたい。
80～84歳	札幌の福祉が良い方向に向いて行く事、又本当に困っている人たちの力になって下さい。役所の人達も口だけ文書だけの福祉ではなく、自分に置き替えられる、人の心のいたさのわかる人間になって下さい。
75～79歳	敬老パスにどのくらい税金が使われているか知りたい。1万円チャージの人は何名で投入金額は〇〇円になるとか、郵便局への委託料はどれくらいですか。その他経費明細を知りたい。敬老パス、ポイント率を上げて、サピカと同じように使えたら良いと思います。毎年の納付書の送料もかからない(敬老パスチャージ0円56.8%の方の送料もかからない)。経費削減の為、敬老パスを変えたいのなら仕方ありませんが、「きっかけの後押し」なんて思わせがましいのでしたら、ポイント2万円も増やしてください。
75～79歳	友人が心配して石狩の花川から12月の入居の時に会いに来てくれました。同じ77才ですが、働いて生きてきてきた人なので、すごく嬉しかったです。私は送迎バスなので助かってますが、お互い子どもたちの世話にならないで自分たちで生きていく約束をしました。
80～84歳	対象の活動に参加できないう高齢者はどうするのですか。
75～79歳	現状で助かっています。
70～74歳	J Rとタクシーが利用できるようになるとありがたい。特にタクシーは緊急時、暑い時、寒い時のたまの通院、また手持ちが少ない時には非常に助かります。
70～74歳	行政は市民に公平に税金を使うべきだ。敬老パスは公平ではない。病院に通院している人。J Rしか利用しない人のことも考えて制度をつくれ。
70～74歳	敬老パスをもっと目立つようにして、乗り物の優先席を活用してあげる。
90～94歳	論旨がずれられるかもしれませんが、現状では70才を越えて年金以外の収入を得られない人では少ないと思うので、何らかの割引はあった方が助かると思うが、財源が厳しいなら仕組みは変えるべき。小児のように半額とかそういう単純なことではむずかしいのでしょうか。または1か月使い放題のカードつくるとか。又、自家用車も手放してしまいましたが、住居のある区の区役所へ行くバスがありません。これではバスがあっても住みにくいのではと思います。
85～89歳	バスと電車が大好きですが、乗る機会がなく(通ってない)、J Rで駅前まで行ってしまいます。J Rは少々高いので、やはり今まで通り少しでも安く乗れるバスは最高です。
80～84歳	その場所に行ったらポイントって変ですよね。健康ってお金で買えるものではありません。またポイントで自由になるものではありません。福祉について、もう少し勉強してください。一生懸命考えていることに感謝いたします。
75～79歳	敬老パスの利用している人がほとんどいないと思います。利用しなかつたら商品券でも届けられたらみんな平等だと思う。敬老パスは必要なし。
80～84歳	現在の敬老パスはともありません。主人は散歩が大好きで、全部使い切っても足りなくなりました。主人は「社会参加」とやらは嫌いなので、敬老健康パスになると健康を害してしまおうです。私も出かけるのが減ると思います。少し負担が増えても今までの敬老パスであってほしいです。
70～74歳	チャージ額が多少減っても自由に公共交通機関を利用できるのが良い。
85～89歳	地下鉄、電車が通っている地域の人々の賛成でしょうか。その他の住民の方は反対と申すでしょう。どちらにしても自分たちの都合になってきます。アンケート調査も大変だと思えます。私は敬老パスに賛成です。アンケートの結果をもう少し少ないで決めないでください。
75～79歳	今回のアンケートについて(私の場合)。今回のアンケートの答えはコロナ前であれば全く違った回答になったと思います。5類になったとはいえ、完全終息となっていない今、公共交通機関を利用していない人がまわりにも多くいます。一種一級の高齢者がいるの未と暮らす私はいまだ自粛中です。高齢や基礎疾患を持つ友人たちも同じ思いで、なかなかランチャやジョギングにも行けていません。コロナが落ち着けばポイントなども多く利用します。早く安心して外出できる世の中になってほしいと願っています。
80～84歳	敬老パス、見直し案は反対です。現行通りでお願いします。複雑な使用は難しいです。
75～79歳	敬老パスは日常生活の移動手段としてとても助かった。敬老健康パスは福祉施策として、ポイント制にするとは疑問。活動してポイント獲得してチャージできるまでどのくらい必要なのか、交通機関利用と健康づくりは別であると思う。チャージ額を下げて、今まで通りの敬老パスで外出支援をお願いします。
75～79歳	地方ではバス無料化などが進んでいる。大都市札幌市も高齢者に優しい市になることを望んでいます。
75～79歳	感謝しています。
75～79歳	敬老パスがあることにより、車では行けないところ、まちなど、またバスをもらってから外出が多くなりました。会社の往復は車ですが、帰ってきてからにはよく妻と街に行ったり、病院へ行ったり(駐車場がなかったり、スペースが狭かったりして)、又バスに乗って、地下鉄に乗り降りして、車ではわからないところに行くのが楽しい。今は病院へも妻と一緒にいるが、車がなくなったりしたら、バス代も高くなるので、なかなか外に出なくなってしまう。散歩もなかなかなくなる。老人のひとりの楽しみなのもバスです。
80～84歳	制度を残してほしいので、ある程度の自己負担はやむを得ないと思う。上限30,000円位あると気楽に遠出もしやすいと思うのですが。
75～79歳	今のままで良い。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	厚別区
70～74歳	手稲区
70～74歳	手稲区
80～84歳	北区
70～74歳	西区
80～84歳	北区
75～79歳	南区
80～84歳	白石区
80～84歳	中央区
70～74歳	北区
70～74歳	北区
80～84歳	南区
80～84歳	東区
75～79歳	北区
75～79歳	豊平区
80～84歳	厚別区
70～74歳	厚別区
80～84歳	西区
70～74歳	中央区
75～79歳	北区
70～74歳	東区
70～74歳	白石区
70～74歳	南区
70～74歳	豊平区
75～79歳	豊平区
70～74歳	東区
70～74歳	西区
70～74歳	中央区
75～79歳	豊平区

自由記載意見

年齢	居住区	自由記載意見
70～74歳	手稲区	JRやタクシーにもポイント利用ができることになり、活動範囲が広がるかと思えます。省力化の観点から、ポイントの付与は健康増進に関する内容に限定し、チャージ方法はできるだけ簡素化して欲しいと思います。
70～74歳	中央区	敬老バスにはタクシーチケットも含まれると良いなと思ってます。
85～89歳	西区	とにかく使いやすい制度であってほしいです。
80～84歳	南区	同程度を続けていただきたい。
70～74歳	中央区	今後も敬老バスの継続をお願い致します。
90～94歳	西区	地区ごとの毎日のラジオ体操実施によるポイント付加。
70～74歳	手稲区	JRを追加すれば今のままで良い。
70～74歳	手稲区	現状より負担額が増えなければいいと思います。
80～84歳	南区	いつもありがとございます。通院が重なる人は足りなくなるとよく聞きます。受け皿があるといいと思います。
70～74歳	西区	制度維持のため自己負担額を増やす。
70～74歳	西区	健康バスは余計である。敬老バスの割引があれば自ずと運動、健康的な事に向かう。使い勝手を良くすることが一番大事。
75～79歳	手稲区	有効に利用させていたただいている私には、自己負担が漸増しても、今後も大いに活用させていただきたく思います。私のように免許を初めから所有してない者、近年の諸状況から免許を返納した方にとっても、財政上の困難を理解してもなお、やはりこの度の急激な変更案は、首肯できないものが正直言っております。
85～89歳	豊平区	使わない人にはタクシー券を。
75～79歳	西区	現行の敬老バスを維持してください。
80～84歳	東区	年間50億円の負担。使用される内容の分析をしますか。不正利用はないのですか。高齢になると通院以外に使用目的はないかと思いますが、健康維持財源として福祉の負担でお願いできることを望みます。
70～74歳	西区	現行で最高7万円相当の運賃を利用する者は、一般的に有職者が殆どと思慮します。従って一定の収入を有する者には手厚い助成と思われれますので、今回の改訂案は妥当な額と判断できる。以上のことから賛成するものです。
75～79歳	厚別区	当面70歳から敬老バス・敬老健康バスどちらかを選んで利用出来るようにして、一定期間利用状況を確認した上で最良のバス制度を作って頂ければと考えます。
70～74歳	中央区	市内の移動にJRが便利な方々も多いと思えますので、JRを含める事を希望します。
85～89歳	豊平区	介護認定を受けたら、とりあえず、タクシーチケットなど、送付してくれると有り難い。
70～74歳	中央区	敬老バスの利用状況からみて、10,000円（自己負担1,000円）だけにしたら良い。
80～84歳	豊平区	地下鉄敬老シート利用者が、堂々とスマホを操作する方がいることに、注意すべきかためらいを感じる。時々車内アナウンスで禁止を流していただきたい。
70～74歳	東区	利用金額最高額の引下げを、2万円をもう少し増やして欲しい。もしくは、2万円を払って乗り放題にする。
75～79歳	白石区	現行制度（上限引き下げもあり）で、必要とする本人の申請による給付としてはいかがかな。
70～74歳	厚別区	多くの高齢者に利用してほしい。
70～74歳	北区	専用アプリで利用できるようにしてほしい。
70～74歳	白石区	今の制度が良いと思う。
85～89歳	南区	アンケートにもありましたが、対象年齢は、もう少し引き上げてほしいと思います。今の70歳は、まだまだ若いですから。
70～74歳	東区	大変良い制度と思う。
70～74歳	中央区	思い切りやってみれば良いと思う。オリンピックの件から見ても、どうしたいのか、もう少し積極的な姿勢の見える化が必要と思われる。
70～74歳	東区	新しい案は、分かります。使う側の意見も、反映させて下さい。
70～74歳	北区	案にもあるJR、タクシーにも利用できるようにしてほしい。
75～79歳	手稲区	現在使用している敬老バスは大変使いやすく便利に利用させていただいておられますが利用先の拡大には、大変期待しております。
70～74歳	厚別区	多くの友人から聞くことですが、敬老バスでJRが使えれば、どんなに便利だろうかと思えます。
70～74歳	手稲区	敬老健康バスでスマートフォンを持っているが、ポイントカードも選択出来るようにして欲しい。
70～74歳	豊平区	よい制度なので多くの市民が活用できることを望む。
70～74歳	北区	外に出て人と付き合うことはとても大切ですが、ふれあいのできる場所も必要ですし、見守っていく人も増やしていくことも大事だと考えます。
70～74歳	西区	身障者への対応方策が、もっと見える形にして欲しい。
75～79歳	厚別区	JRも使えること。

自由記載意見	
年齢	居住区
75～79歳	南区
70～74歳	中央区
85～89歳	白石区
75～79歳	北区
70～74歳	厚別区
80～84歳	豊平区
70～74歳	白石区
70～74歳	中央区
70～74歳	白石区
70～74歳	中央区
70～74歳	北区
95～99歳	北区
70～74歳	豊平区
70～74歳	北区
75～79歳	中央区
95～99歳	中央区
75～79歳	清田区
75～79歳	清田区
75～79歳	中央区
70～74歳	手稲区
70～74歳	中央区
80～84歳	厚別区
80～84歳	厚別区
75～79歳	東区
75～79歳	西区
70～74歳	白石区
70～74歳	東区
75～79歳	清田区
75～79歳	厚別区
80～84歳	白石区
70～74歳	中央区
70～74歳	手稲区
85～89歳	手稲区
75～79歳	東区
70～74歳	北区
70～74歳	豊平区
70～74歳	南区
75～79歳	清田区
85～89歳	豊平区
90～94歳	西区

年齢を重ねて来ると、色々なところに参加すると、ボスの人が必ずいて、その人の機嫌を取らなければ、仲間外れにされるので、色々な集まりに参加しない事になっています。近くのスーパーにも行きますが、月に二回は地下鉄一駅位歩いて遠くのスーパーに行くようにしています。外出した時も、一駅位先の駅まで歩くようにしています。糖尿病なので、なるべく歩く様にしていますが、どこかの団体に所属しなければ、ポイントほもらえないのですか。それであれば、ポイント制度はいらないと思います。

出来れば、ポイント制ではなく、一律にパスを発行して欲しい。J Rも利用出来るようにして欲しい。

J Rも対象交通機関に加えていただければ最高ですが。

健康保険と同じで70歳3割負担75歳2割負担80歳1割としたら良い。

1回のチャージ金額は、妥当と思うが、それ以上を使用(チャージ)する場合は、負担額が少ないと思う。

利用限度50,000円位でいいと思う。

敬老パスを廃止してまで、無駄に税金を投入し、わざわざ新たな仕事を作り出し、敬老健康パスを作る必要性は感じない。

スマホアプリを使う時、ポイント獲得の手順(方法)が簡単であることが肝要と思う。

以前は負担が無かった。ほとんどが年金暮らしなら負担金は無い方がいい

私は今の所健康で自分の趣味や用事のある時にパスを利用して頂いて大助かっています。

J Rやタクシーが一定程度使用できること

高齢化がすすんでいるのだから、自己負担が少々増えるのは仕方がないと思う。対象年齢を下げて、対象者をひろげること健康な街づくりに繋げるのが良いと思う

制度を継続して健康寿命が延びる事に繋がれば良いと思います。

敬老健康パスのポイント枠の拡大、活動内容については体面と精神面で分け、平等にポイントを配分する事を望みます。

簡単なパスを望む。

車椅子生活の場合、正直殆ど利用性が無い。

年金での生活のため、この交通費の割引制度は必要であり、制度の継続を希望します。

現在のまま続けて欲しいです。

現状のままでも利用金額を減らせばよいと思う。

もつと高齢者まで働く仕組みづくり。

家族が同乗する場合は家族の分を支払える仕組みが必要だと思います。

敬老パスで札幌市内のJ Rやタクシーが利用できること助かる。敬老健康パスは、一回の利用でポイントがたくさんつくど皆やりの持っているとと思う。

利用上限額を約半分位の額にして、自己負担額も減らしたほうがよい。

近年70歳から少しずつ身体に変化を感じてきます。敬老パスは後期高齢の75歳からでいいと思います。

もつと金額を多くしてほしい。

病院へあまり行かないように動機づけられる方向で考えてもらいたい。安易に病院、薬を利用する人が多すぎ。G D Pは増大するが、健康は害される。医療過剰が健康増進に貢献したという夕張に学ばべきだ。

J Rも使用できたら助かります。即、利用します。

金額の負担は増やしても、当面現行制度で良いと思う。

サークルの仲間の話題を聞いていると、敬老パスがあると外出する機会が増えた話をいつも耳にしますし、月一会う仲間たちは皆さん車を置いてきて集まっています。

高齢者がサークルの参加したり、勉強会に参加したりすることはとても良いことだと思えます。一人暮らしの高齢者が増えていると思うので、孤独死のないように進めたいと思っています。

高齢化も有り、財源の事も考えると一律配布は止める等も必要かもしれない。

J Rも使えたら便利(料金又は距離に制限を設ける)。

市の財源にも限りがあるので、年齢の引き上げなども考慮してもいいのではないかと。

敬老パスの利用範囲を、J Rにも適用すれば高齢者の活動範囲も広がると思われる。

現行どおりで進めて欲しい。

ポイント制ではなく今の制度で自己負担額を増やした方が嬉しい。

現在の敬老優待乗車証の敬老の文字が大きすぎて目立ち過ぎ。使用する時は裏面を提示している。もう少し目立たないようデザインしてほしい。

継続されていくこと

超高齢者になると今迄通りの敬老パスで利用させて頂きたい。

70歳時点で既に介護を受けている。(公共交通機関が利用できない)方々にも利用できる仕組みを考えていただきたい。

自由記載意見	
年齢	居住区
70～74歳	北区
80～84歳	厚別区
75～79歳	東区
70～74歳	東区
85～89歳	白石区
75～79歳	厚別区
70～74歳	手稲区
75～79歳	北区
70～74歳	東区
70～74歳	中央区
70～74歳	豊平区
70～74歳	厚別区
75～79歳	清田区
70～74歳	中央区
80～84歳	厚別区
70～74歳	中央区
70～74歳	中央区
85～89歳	西区
80～84歳	中央区
75～79歳	中央区
70～74歳	手稲区
90～94歳	中央区
70～74歳	手稲区
75～79歳	西区
70～74歳	東区
70～74歳	厚別区
80～84歳	東区
85～89歳	北区
70～74歳	西区
現行制度の維持に加えて、ポイント制を導入するのなる理解します。	
チャージする場所が郵便局のみでなく、銀行やコンビニ等にも広げて欲しい	
時代の変化に合わせて、制度の変更は逐次行うべきである。	
一万円以上敬老パスチャージ者が45%いる限り今の制度を維持し、利用していない人がポイント制度を選択できるように変えていくこと。	
ポイントと言えど誰もがつかれる訳ではないと思う。いろいろな立場の人がやる気になる丁寧な広報をしてほしい。	
車の運転ができる間は敬老パスの必要性はあまり感じませんが、できなくなれば大いに活用させていただきます	
手稲地域では、街の中心部にでるのにJRを利用するので、是非JRを活用できるようにしていただきたい。対象年齢について65歳(国民年金支給開始年齢)に引き下げてもよいのでは。このような比較的若年者が対象になれば、福祉除雪などでは、対象の活動については、今後検討されると思いますが、例えばボランティア活動、市が認定した各種健康に関する講習会への参加、図書館の利用等(市、道、大学等)、様々な活動を対象にしたらよいのでは。	
年金だけでは生活が厳しいので今年仕事を探そう思っているところ。仕事に就いた場合、年齢的に疲労回復の為休みの日は自宅で休息を取りたいと思う。よって敬老パスのポイント取得の為に社会参加する気持ちにはならないかと思われる。全てがポイントにするのではなく、ポイントと今まで通りのものでなく、例えばボランティア活動、市が認定した各種健康に関する講習会への参加、図書館の利用等(市、道、大学等)、様々な活動を対象にしたらよいのでは。	
ポイント制だけにした場合、現在よりも明らかに利用者が減ると思われるが、これから高齢化社会になり、市の負担もさらに増えるので利用者を減らしたい目的も有るのでしよるか。その理由もあつたら、利用年齢をアップした対応の方が良いと思う。	
今回の制度変更について、一方的に決定されるのではなく、今回のように利用者の意見も聞いていただけの方法を取って。	
単純に一定の年齢以上は運賃割引にする方が公平だと思います。	
収入の少ない高齢者にとって交通費の補助があることで外出しやすくなる気が軽くなる。	
今までのとおりでいいと思う。二万円までの無償は必要ない。全く利用してない人にも発行する必要はない。	
現行の敬老パスの継続を望む(必要ない自己負担の増額と上限額を設定してもよい)。敬老健康パスとの希望による選択制も検討して頂きたい。	
上記と同じポイントの使い道が活動意欲の向上に繋がるような仕掛けを創出して欲しい。	
使いやすさを重視してほしい。	
現状維持。	
健康促進とか、多くの人が参加できるとか、逆だとも思います。きれいなことを並べても予算を削減したいだけとしか思えません。予算がないのでこれで我慢してくださいと言われた方が納得できますよ。私は「現状維持」を強く求めます。	
分かりません。	
現状維持を望みます。	
制度の継続を希望。	
年寄りの数が増えるので、限度額7万円を5万円に縮小したいのでご理解願います。この提案のほうがよく思っています。	
敬老パスは選択制にして、敬老パスを利用しない人にはタクシードライバー(割引券・ガソリン券含め)などで、公平にサービスを受けられるようにして欲しい。敬老パスではなく、車で外出して、買い物や会食の機会を作るのも、認知症や運動不足の解消に繋がります。高齢者として札幌市を元気にすることにも繋がります。敬老パスは選択制にして、敬老パスを利用しない人にはタクシードライバー(割引券・ガソリン券含め)などで、公平にサービスを受けられるようにして欲しい。敬老パスではなく、車で外出して、買い物や会食の機会を作るのも、認知症や運動不足の解消に繋がります。高齢者として札幌市を元気にすることにも繋がります。敬老パスは選択制にして、敬老パスを利用しない人にはタクシードライバー(割引券・ガソリン券含め)などで、公平にサービスを受けられるようにして欲しい。敬老パスではなく、車で外出して、買い物や会食の機会を作るのも、認知症や運動不足の解消に繋がります。高齢者として札幌市を元気にすることにも繋がります。	
優待料金のこと以外に活用方法があれば知るきっかけがほしい。	
敬老パスを利用できない人に対して新たな制度は必要だが、現行制度を後退させる事には反対する。	
自宅は地下鉄が遠くまで運転が出来ないので敬老パスを使う事が少ないです。年に数回地下鉄を利用するぐらいです。札幌市内だけでもJRが利用出来ると外出する機会が増えるので敬老健康パス(案)が身近に感じられるようになるのではありませんか。	
自動車免許の返納した場合のメリットなどもあればいい。	
上限を変えたら自己負担でも割引に使えるように考えて欲しい。ポイント獲得にはやる気を起こさせたい。	
手稲への地下鉄延伸を切望します。	
現行制度の中で自己負担等の改正。	
とにかく現状維持。	
ほどほどのサービスで良い。	
敬老健康パスは高齢者には解り難い仕組みだと思います。	
JR駅が近いので電車も利用できたら良い。	
回答者の特定を疑わせることはほしくない。現行と改定案についての具体的差異が判然としない。アプリ(スマホ)利用を前提とした制度にしない事(現に本調査でもWEB利用者に特典QUOカードの提供を与えている)。	

【② 70歳未満（問13：敬老バス及び敬老健康バスに関するご意見やご要望（充実を望むことなど）がありましたら、ご自由にお書きください。）】

自由記載意見	
年齢	居住区
20～29歳	厚別区
50～59歳	厚別区
65～69歳	豊平区
65～69歳	西区
40～49歳	北区
40～49歳	東区
65～69歳	東区
18～19歳	中央区
65～69歳	中央区
60～64歳	手稲区
50～59歳	東区
40～49歳	白石区
50～59歳	東区
50～59歳	北区
50～59歳	厚別区
40～49歳	豊平区
50～59歳	西区
60～64歳	西区
40～49歳	清田区
30～39歳	南区
60～64歳	西区
65～69歳	厚別区
65～69歳	中央区
65～69歳	東区
65～69歳	豊平区

金額を下げることを主に考えるのではなく、いかに利用してもらおう事を提案してはどうか。利用平均が1万円、2万円以下で85%でしたら、無理に一律2万円にする必要はないと思います。それより更にJR、タクシー他の地域特有の交通機関にも使用できれば利用増し、免許返上の増にもつながります。ポイント制は更に利用者は少なくなってしまう(5%も行かない)。

難病の母の介護をしております。私自身、運転ができませんので、通院時タクシーを利用しています。今の制度では介護の通院送迎は患者本人のみです。病院の中の付き添いは全額負担に近く、かなりの負担です。バスも車いすでも乗れる、家族も同伴時格安のパス券が発行されると助かります。

敬老健康バスは不要。

敬老の考え方には賛同するけど、バスが健康に直接つながるとは思えない。それよりもこれから先、札幌市民のほとんどが老人になるのだから、老人が住みやすい街づくり。若い人が住みやすい街づくり。

高齢ドライバーの事故も増えているのもっと積極的に交通機関を利用してもらうように広げてもらいたいのです。免許返納するとさらにポイントがつくとか。

一定で統一するのではなく、その人の収入によっての負担額変更をすることが今後も継続して行うなら必要ではないでしょうか。

年間50億というと大きく感じるような感じがしますが、老人の医療費が抑えられる(外出機会が増える)と出かけた先で食事したり購入したりという事を考えると安いと思います。これからも続けていただけを望みます。

高齢者だけを優先するのに少し疑問を感じる。若者をもう少し優遇すべきだと思う。

現行の敬老バスを維持して欲しいです。今回のアンケートは69歳以下の人だけです。今回のアンケートは70歳以上の方へのアンケート調査は実施されないのでしょうか。

ポイント交換など手続を簡単にしてほしい。

そもそも家の近くに駅やバス停が少なくてきた人の為に、タクシーを導入するともっと皆利用すると思います。

敬老バスも認知症だと行きたがらない人いもいので、病院までのタクシーも割引使えたら良いと思います。

現在、私の母が敬老バスを利用して、いろいろ自分で行動できることを自由に満喫できていると思えるので、私もぜひ活用できるように足腰の健康には気を付けている。でも母はスマホを持っていないため、行動によりポイントが付与されること、それがうまく活用できるとは思えない。利用に関しては家族が手伝ってポイントを利用できたりする単純かつ利用しやすい内容をもっとわかりやすく案内してもらえれば良いと思います。

敬老バス、敬老健康バスにつき、よく考えられていると思います。こういうのがあるから安く公共料金の負担が少なく外出できたり、人とのつきあいやいもできると思いますが。自分の未来においても、健康でいられて、使えたらいいなと思います。

タクシーの利用も検討してほしい。

物価も上がっているため、少しでも高齢者の負担を減らしてほしい。

敬老バスというものを身近で使っている人間が無く、改めてその存在を認識しました。敬老健康バスに制度が変更されると知り、札幌市の取組に敬意を表しますとともに、高齢者や未来の高齢者である私達がその趣旨を理解し、各々が健康でいられるよう務めることがこの制度の有効利用につながると感じました。

スマートフォンは持っていますが、アプリを使っても、アプリを使ってもというものはハードルが高くて使う人も減ると思います。シンブルにサビカにチャージくらいなら慣れている人も多いかと。何か新しくするのはなく、今あるもので便利に使えたいと思います。

今の老人は優遇されすぎている。これからどんどん高齢化し、この先の制度を続けていけるかどうかともわかない。もっと自己負担額は増えていいと思う。

老人は病院に行く機会が多いので、たくさんの人に知ってもらえるよう窓口の人からの案内を簡単にできたらいいのではないだろうか。どうにもこうにも敬老だけではななく、若者にも優しい制度がほしい。

札幌市に住んでいて良かったと思います。感謝しています。

Q6.2はとも良いと思う。Q7.スマホを持っていても操作が苦手。

これから貧富の差がますます大きくなった場合、貧も富も同じに優遇されるのはおかし。敬老バスで働かずに生活できない人とデパート歩きに使用する人と同じ金額負担はおかしい。高齢でも働かなければならない人が少しでも楽になることをしてもらわないと、生活保護受給者ばかり増えてお先真っ暗ですね。長く生きることは迷惑な時代で私は敬老バスで通院するようになら昇天したいです。生保を受ける前に。若い人が気の毒。

病院へ通うことが多くなるので、タクシーを利用するときにも敬老バスが使えるようにした方が良くと思います。

病院を沢山通っているの、敬老バスとても助かります。

自由記載意見	
年齢	居住区
40～49歳	手稲区
60～64歳	南区
65～69歳	清田区
50～59歳	東区
50～59歳	中央区
65～69歳	南区
20～29歳	東区
60～64歳	白石区
65～69歳	西区
65～69歳	南区
50～59歳	東区
65～69歳	中央区
40～49歳	手稲区
50～59歳	北区
60～64歳	手稲区
65～69歳	東区
30～39歳	北区
60～64歳	西区
50～59歳	北区
50～59歳	南区
50～59歳	中央区
65～69歳	豊平区
65～69歳	白石区
20～29歳	東区
40～49歳	豊平区
65～69歳	厚別区
60～64歳	北区
20～29歳	白石区

問12の回答にも書きまされたが、高齢者の自動車事故が後をたまたないため、返納を促すためにも便利な交通機関、例えばタクシーのように荷物も積める乗り物があれば、乗り降りも楽かと。特殊な車両はバスを持って人しか乗れないようにすれば、100%の人がバスを取得できると思う。

出歩くことが楽しくなるように負担額の少ない、そして還元率の高いものにしてほしい。

現在実施されている敬老バス利用者数は対象者の43%程度しか利用されていない中、健康パス(案)に変更した場合に更にご利用者が減少すると思われる、今回の目的とする健康寿命の延伸に寄与するとは考えづらい。また健康と社会とのつながりを増加、促進する施策は別途実施すべき(敬老バスとは切り離す)。増加し続ける高齢者による市の財政負担を軽減するためには、チャージ額を現在の半額程度に減らすべきだと思います。もっと若者や働き盛りの人達や環境整備に注力すべきです。

シンブルが一番だと思います。色々機能をつけても難しいと思います。いずれ自分たちもお世話になると思うので、長く続く制度となるように望みます。

敬老健康パスのアイデアはとても面白く良い発想だと感じました。市の社会貢献活動(地域の清掃活動、イベントとのボランティア活動)への参加してもポイントが加算されると高齢者の方の外出促進、生きがい創出につながると感じました。

今月から初めて敬老バスを利用させていただき、42年ぶりに働かない生活を先月から始めました。行きたいところがたくさんあります。敬老バスの追加ができるならありがたいです。

タクシーとの連携は難しいでしょうか。

高齢者を敬愛することも大切ですが、敬老バスチャージ者の割合が約半分が0円にとてもびっくりしました。それなら敬老バスをやめてもいいと思います。その分子どもに使用してほしいです。

バス利用よりも歩きやすい状況づくりを強く望みます。

敬老バス→敬老健康パスへ。健康でいることに努力したいと思います。

便利になる事はいいのだが、ポイント制など手続などが複雑化すると理解しづらくなるのでは。

バスモ、イコカ等の交通系カードと同様にコンビニ等でも使用可能な機能を付加し、さらに使い勝手の向上を図るべき。

ある程度の年齢で免許証の返納絶対にするのが先だと思います。

JRやタクシーも利用できるような方針は賛成です。石狩市など良いのでは。

敬老バスにおいてはチャージ額の上限をもっと下げた方がいいのでは。あまりにチャージがあるせいなのかどうかわからないが、バスの1区間でもバスに乗って歩くことをしたい方が多くなくなっているようにも思われます。

敬老バスを使用しない多くの方に毎年書類が送られてきていますが、区役所で配布するとかマイナカードでコンビニで取得できるようにすると印刷量、郵送料が削減できると思う。身体状況により活動が難しい方にはタクシー券で対応するのいいと思う。

敬老バスを配ることで車社会の札幌に住む高齢者がバスを使うとは考えにくい。冬は外出を控えるし、買い物は宅配を使う。バスを配って外出の機会が増えるという考えは安直なのではないか。札幌の地下鉄は値段が高い。私たちはそれを払っている。公共交通料金ぐらいい高齢者だって払えばいい。あと、ただで乗れて優先席に座れるのもおかしい。自己負担金を廃止するのはあり得ない。そのお金どこから出すのか。サピカのポイント還元が悪くなって敬老健康パスのポイントは増やすというのは公平性に欠ける。あとタクシーをバスで使用するようにしたら歩かなくなるので意味ないです。

制度の活用が図られるか疑問はあるが、まずは始めてみるのが第一と思う。導入に向けて、頑張っていたいただきたい。

市民の税金で賄われるもので、無駄な費用をかけるにいくらかかるのかきちんと報告してほしい。不正利用されないような仕組みをしっかり作ってほしい。江別市、北広島市や石狩市当別町など周辺自治体と行き来する場合についても制度を整えてほしい。

大変すばらしい取り組みを続けていくのは金額の面で大変だと思いますが、なくなる事は避けたいです。

市民(若年層) に対してのバランス。

ここまで来て、同封のチラシ拝見。使用していない人が半分以上いる。なのに利用促進のため、ポイント制度導入、予算余っているならともかく。抽選までしてポイント利用の仕組みする必要あるのかと思います。はたして7万まで配慮する根拠は何か。2～3万ぐらいいを夫はこの2年使用させてもらったと言っています。

年金生活者全員が利用できるようにしてほしい。

敬老バスは無駄。敬老バスに財源を割かないで子育て世帯へ。70歳以上にならなくてでけたり、歩いたり、人と触れ合ったところで元氣にならないのでこんな無駄なものに血税を使わない事。年寄りの医療費負担は少なすぎないので増やすこと。

両親がありがたく使用させていただいております。本当にありがたうございました。

多くの高齢者が利用できるように広報を周知徹底されることを望みます。

早く使って見聞を広めたい。

若者への税等優遇施策※若者へ消費意欲を増大させる。

自由記載意見

年齢	居住区	自由記載意見
60～64歳	豊平区	敬老パスの上限を2万円にして、継続する方がスムーズなのではと感じます。敬老健康パスの内容を再検討し、ポイントをとためられ上限ありで、敬老パスにさらにチャージできるようにするか。敬老パスも敬老健康パスもある程度元気に活動できるといいですね。まちづくりセンターなどでの介護予防教室の充実等に予算を使ったら健康寿命を伸ばすには効果的なのかも。
65～69歳	清田区	敬老パスは移動の手助けをしてくれる物と思ってましたが、敬老健康パスは参加しないポイントが付与されず逆に活動できなくなりそうに思います。高齢者の免許証の返納に関わってこれるのではないのでしょうか。
50～59歳	豊平区	平等の精神。
65～69歳	東区	現在に家用車を使っていますが、いつか返納したときに、外出に不自由がないよう公共交通機関とともにタクシーも使えれば安心です。
65～69歳	中央区	老人に手厚い支援より若者に支援すべき。老人は金を持っている。無駄である。
60～64歳	厚別区	敬老パスの上限を決めなくても繰り越してためていけるようにしてほしい。一度に使う分の上限を決めておいて、公共交通機関を利用してできなくなった時にタクシーや福祉タクシーに使えるようにしてほしいです。
60～64歳	厚別区	本人の位置などが解ると便利。
65～69歳	豊平区	以前使っていない人にも敬老パスが届いていると聞いています。たくさんバスを必要としている人がいることも大切です。それ以上に身近なところで体を動かしたり、対話もできる場もあることが健康につながると思います。無駄がないのか、他のことがないのかも考えていいのかもしれないかとも思います。大切に使うことでいいことを願います。
65～69歳	白石区	高齢者が増加しているため、財政を確保するのは困難なのはある程度理解できますが、無駄なところにも税金を使わず敬老パスを今まで通りにしてほしい。
50～59歳	清田区	せめて65歳からにした方が利用されやすくなると思う。年齢的な事よりも車使用を減らすため、又車数を減らすためにも交通機関を使う人を増やすべき。有効活用のためには、もう少し若い世代から車を手放す生活をしてもらった方がよい。
65～69歳	北区	自身の健康状態、交通事故防止を勧奨し、自動車運転免許を自主的に変更した高齢者に対して敬老パスの交付が無償でなされることについて検討されてもいいのではなにかと考えます。
60～64歳	東区	ポイント利用、交換上限を超えた分のポイント→抽選会の参加に使用できる仕組みが理解しづらい。
65～69歳	西区	拡大すべき。
30～39歳	白石区	今後どこでバスが使えるかは、高齢者に分かれるくらい明記しないとあそこでも使えないんだとなら使用してみようかとならないと思う。市を上げて広告の拡充が大切だと思ふ。
40～49歳	白石区	高齢者が外出する機会を増やしてくれる制度になってほしい。
60～64歳	清田区	フィットネスインストラクターをしています。他県の仲間のクラスはポイント対象になっているようのでクラスに参加することにお得感が得られるそうです。そういうの外出したくても一人では無理な人がたくさんいます。本人はバスがあっても付き添い人の負担が課題かと思っています。
65～69歳	中央区	昨今の高齢者については大金を持っているという思いをお持ちの方々がられる状況ですが、反面として今日の生活も大変。年金は少額で生活が日々困難という高齢者がおられるのが実情でもあります。それらを考慮いただいてポイント還元をするような方法はとれない物でしょうか。政策に苦悩している折、至らぬ意見を述べて申し訳ございません
65～69歳	南区	できるだけ公共交通機関を使い、自家用車利用を高齢者から減らしていければよい制度かなと思います。
65～69歳	厚別区	介護予防とか人との触れ合いの場を探して自分に合う所を選びたい。家の近くにあると便利ですね。
65～69歳	白石区	対象の活動に参加しない人は何も特がないのか。強制的な感じもする。
60～64歳	中央区	主目的が健康寿命アップによる医療費の削減であることをお忘れなきようお願いいたします。冬季オリンピック招致より有意義な税金の使用手法だと思いますので、是非とも進めてほしいです。
30～39歳	白石区	56.8%のチャージ0円の方の実態を把握しているのか疑問ですが、70歳以上の対象者が偏っていることは残念です。
30～39歳	北区	J.Rの利用者には適応なく残念である。J.Rでの通勤者は多いと思うので。
65～69歳	北区	高齢者の自動車事故による被害者を出さないために、敬老バスやバス路線、本数は充実した方が良いと思う。人手不足等難しいが、家にもちがりの人や車を手放さない人などが増え、健康を損なう人が増えるのは違うと思う。
50～59歳	北区	85%弱の人が2万円以内の利用額である。市の負担が多くなっているのだから上限を2万円とすべき。財源不足で市税が上がるなら本来転倒。
60～64歳	中央区	
65～69歳	南区	敬老健康パスの必要性を感じない。持病で歩くことが出来ない老人がいるし、自分も2回手術しているため、ポイントを獲得することが難しい。一部の健康な老人だけに特化するパスには平等性がないので反対。又アプリ(スマホ)も持っていないので不便。健康づくりと社会参加のきっかけを後押し、ポイントで評価には反対。現状の敬老バスで満足です。健康づくりというならもっと区民センターで体力づくり、認知症予防の教室の充実を多く得られるよう希望します。

自由記載意見	
年齢	居住区
40～49歳	西区
65～69歳	清田区
50～59歳	中央区
65～69歳	東区
65～69歳	東区
60～64歳	白石区
60～64歳	白石区
50～59歳	厚別区
65～69歳	北区
50～59歳	白石区
65～69歳	西区
60～64歳	中央区
50～59歳	南区
50～59歳	西区
40～49歳	東区
50～59歳	西区
40～49歳	北区
65～69歳	清田区
65～69歳	南区
65～69歳	豊平区
65～69歳	西区
50～59歳	西区
65～69歳	白石区
40～49歳	厚別区
50～59歳	中央区

ポイントで評価というのは、歩くこと、介護予防など1人で行った時ほどのポイントとなるのか？教室への参加と違い、誰が評価するのかわかりづらいです。スマホアプリ等なら歩数等はわかるので理解できますが、Q5のパスチャージ者の割合でも1万円～2万円がほとんどなので2万円という金額が妥当なのかとも思いますが、多くチャージする人もいますし、全員希望をきくという訳にもいかないと思います。70歳にはまだまだ遠いのですが、現役世代で敬老パスをもらおうと思ってる人は少ないと思います。50億と聞くと！！？！と思います。

敬老パスの利用が少ないため、利用増を図るため健康の施策を盛り込もうとしているが、敬老パスは敬老パスとして健康については別枠として一本化すべきではないかと思う

健康増進、地域社会の活性、医療費の削減なども視野に入っているなら、動けなくなってきたら（交付しても）あまり活用されない（できない）のでは？と思う。また、高齢者がただ（無償）で得する端的な極端な制度は望まない。また極力、不公平が生じないよう運用されると良いと思う。

現状のままが良いと思います。年を取ると足腰が悪くなり、歩くのも大変になり、車もなく、タクシース料金が高く、パスのみとなりそれも乗れなくなるのが不安です。

現行の制度を維持しつつタクシースの利用を可能とするなど、利便性を高めてほしい。特に後期高齢者や障がい者などが使いやすい制度に改善、拡充してほしい

前向きにとると、とても良いことだと思いますが、実際どうなのか考えさせられます。面倒なことと思えばお金を払って乗ります。

自己負担17,000円で70,000円も使えるなんてすごいサービスだと思う。これから高齢化にともない、市税が大変になってくるのもわかる。敬老健康パスって今バリバリ元気な老人を対象にしている、ちょっと動きづらい老人は対象外と感してしまった。

高齢者は足腰が弱くなり、買い物も困難になるケースが多くタクシースの利用は必須にしたいところ。

敬老パスのままでも必要な人にだけ交付したらよい。必要としない人も多く思う。車に乗る人はバスに乗ることを面倒に思っているようです。

この取り組みが周知され、活用されていくことがこれからの高齢化社会には重要になってくると思うので、より良い仕組みを作ってもらいたい。

敬老パスの対象年齢を上げたい事情はわかりますが、寿命は延びても健康が心配になる年齢、身体的というか心の健康（やる気等）がまだある年齢で開始するのが良いと思う。その年齢という境界目が70才くらいと考えています。

この制度を市民に広く伝えて欲しいです。

子育て世代の支援を増やして欲しい。

公共交通機関の利用と福祉は別ではないでしょうか。現在の制度も維持しながらポイント制度と少しづつ活用していく。

相談がしやすければよいなと思います。

年金額も減り、医療費もかかる高齢者にもう少し優しい社会であって欲しいです。私も自分がその年齢になった時に札幌に住んでいてよかった、北海道人でよかったと思いたいのので敬老パスや敬老健康パスは65歳からにしてほしいです。

利用する高齢者に時間や経路、料金を簡潔、明瞭に紙媒体やスマホ等で確認出来るようにした方が良いと思います。

敬老パスのチャージ者割合は50%を超えている事から、年間に1枚のバスを購入している割合が多いことが考えられます。多くの利用者を増やすことを考えた場合、交通機関の充実が必要であり、タクシースでの利用等を含んで増やしていただけたら、利用増も考えられるのではないのでしょうか。活動場所までタクシース等で行けるとなると参加者も増えると思います。

取得により負担額を減らす（一率ではない）。JR・タクシースも使用できるように（ポイント必要なし）。

良い制度だと思います。

町の中心部に住む方には便利だが、遠いと地下鉄バスなど乗り継いで出かけたくない。近くの公民館などで出来ることを増やしてほしい。

お年寄りも元気であれば、経済活動をします。予算は大変かと思いますが、経済界の支援してもらえれば良いなと思います。（アプリにクーポン券ついたり）

公共交通が充実よりも小されていくような状況になっている現状があり、交通の便が良い場所に住居している者だけが、利用しやすい状況になりそうな気がする。

ポイントがスーパーやドラッグストアで使用できるとより魅力的になり、使う人も増えると思います。

敬老パスの運営費、年度未でチャージバックするのやめませんか。予算との兼ね合いもあるのかもしれませんが、チャージした分は使えるようにしましょう！有効期限を2年、3年にしてはどうですか。持っているのが楽しくなるものにしたいですね。使うほどにステイタス？プレミアアム？特典。健康バス毎月15日無料にしてしまおう、年金の日の翌日でもいいですね。購買意欲は増しますね。逆に奇数月にする、免許返納特典。

自由記載意見	
年齢	居住区
60～64歳	中央区
20～29歳	西区
50～59歳	中央区
50～59歳	南区
40～49歳	南区
60～64歳	厚別区
50～59歳	豊平区
60～64歳	中央区
60～64歳	北区
50～59歳	豊平区
65～69歳	北区
50～59歳	北区
65～69歳	豊平区
65～69歳	厚別区
50～59歳	白石区
50～59歳	豊平区
50～59歳	豊平区
50～59歳	東区
65～69歳	中央区
50～59歳	西区
50～59歳	東区
50～59歳	手稲区
廃止した方がよい。なぜなら利用者が半数以下であり、税金を投入してのメリットを感じない。代替案としては公共交通機関の無料ゾーンを設け、全ての世代を対象に実施すべきだと思う。熊本市などの成果を参考にしたいかがか。経済効果を考えて、政策実施をすべきではないか。交通弱者の問題は切り離して考えたい。	
対象の方々が平等でありますように。	
自分の近い親族に80代ひとり暮らしの妹の世話をしに地下鉄を利用して通っている人がいます。病院や買い物など付き添いが必要なので、週に1回以上は通う必要があり。また、(介護とまではいかないのですが、行政のサービスは一切うけてない)なので、この敬老バスはとも重要だと感じています。今回の敬老健康バス(案)について、例えば80代と70代とで分けて対応できるようなことがあったらいいなと思います。70代と80代以上とではやはり身体的にも変わってくると思うので、70代前半はまだまだ若いイメージがある。	
体が不自由で自分で移動できない方もいます。そういう方のためにもバスが利用できる事を考えていただきたいと思っています。	
敬老バスがあるので私の母はバスや地下鉄を利用しています。なので非常に助かってますし、出歩くきっかけになっています。	
私のように、60才を過ぎてすぐ病気に色々となってしまう、通院と買い物くらいが外出となっていていられる方もいると思います。北海道の冬は危険もあるので、時には天候や路面ツルツルのためにタクシーの利用も必要になります。今はタクシーを呼んだときは+¥200かかります。(車の運転はさすがと前からやめています)すでに健康でない人への優しい健康バスをどうか、考える方が自分が老人になって行く時の事と思っは是非考えて下さい。どの会社のタクシーも利用できる敬老バスを宜しくお願いします。多くの人にやさしい配慮で、よりよい敬老バスとなりましますように、札幌市が優しい気持ちで考えて下さい。	
高齢者の免許返納などの問題等からも敬老バスは必要だろうと最近、特に思うようになった	
敬老バスの申込方法は今のまま変えない方が良くと思います。手続きの変更は、高齢者は対応できません。スマートフォンを持っていても、アプリは使えません。交付金額を減らすとか自己負担額を増やすなどの変更は仕方がないと思います。できれば70歳ではなく、65歳からにして欲しいです。	
敬老バスを負担額を上げてても年齢を下げてほしい。65歳以上に。	
地下鉄・バスの公共機関にプラスタクシー利用にも少し反映いただけると助かります。	
これから利用する立場ですが、今の計画では20,000円まで自己負担なしで利用でき、これ以上利用する場合はすべて自己負担になるようですが、年間額にしては少ない。自己負担額が今より多くなり不安があるものの、50,000円までチャージできるとしてほしい。運転免許を返納することや、バスを返納する人も、バスの便数が減る等、行動するうえでの交通機関に不安があるが、多くの人が交通機関を利用できることを考えてほしい。市内でもJRが交通手段の人々もいるのでは?健康と敬老バスを無理に結びつけることはないと思う。ポイントを獲得できるのは交通の便が良い人と元気な人だけです。貯まったポイントをJRやタクシーで利用できるのも良いが、病院に通う人はタクシー利用者も多いと思うので、敬老バスを見せるだけで割引してもらえらる方が良いでしょう。	
外出する人もいれば、しない人もいる。バスを利用する人もいれば、しない人もいる。	
現在60代後半で、車の運転を今まではしていますが、70才になったら免許を返納して公共交通機関を利用して公共交通機関を利用しようと思っています。最高バス額70,000円ではなくてもいいので、今まで通り自己負担と補助でバスを運営してほしい。	
高齢ドライバーの減少に向けても本制度は重要だと思います。	
私の親も敬老バスを持っているが、近くのバス停に来るバスが1時間以上本数少ないので使いたくない。JRが使えればよいと思う。バス料金を敬老料金を作った方が良いでしょう。敬老バスはいいと思う。敬老バスはいいと思う。よろしくお願ひします。	
スマホでうまく使えないのでポイントカードを使って参加したいと思っています。	
自分が対象年齢になった時には使用させせしてもらおうと思っていますので、ポイント制度があるといいと思います。ポイントの使用も楽な方法もある程度たまってからというよりは、1ポイントから使えたいと思いたいです。今回のアンケートで敬老バスを知りました。これくらい金額のままでいいか?というよりは、もちろん負担が廃止されるなら大いにありがたいですが、この先、負担が引かれないかという感想です。	
敬老バスは使う人使わない人が別れているし、チャージしても使わない人もいます。さらに使用目的が病院へ行くための交通費になっていることが多いと思うので、より高齢の方が外に出るきっかけになる制度になればいいと思う。	
他の自治体も着手しているようですが、なかなかうまくいっていない様子です。中央官庁にこの件に関する他自治体の取組はわかりませんか。またこの先バスや地下鉄、JRの料金もあがると思われ。その兼ね合いもあるのでは。	
安い自己負担で利用できる金額が多いのは良い事なのかは疑問です。年間50億円の市税を支払い、それに値する効果はあるのか?敬老バスがあるから出歩いている人がどれだけいるのか?活発な人はバスがなくても出歩けるのでは?それよりも歩くのが大変な人が大勢の人が買物に行く、病院に行く時に利用できるサービス(買い物代行やタクシーでの病院通い)に利用できないチケットなどがあれば本当に助かるのではと思います。	
デザインをもう少し明るくしたものにした方が良くと思います(原色を使うなど)	
区役所まで行って手続きするのも大変そうに思います	

自由記載意見	
年齢	居住区
50～59歳	手稲区
65～69歳	東区
40～49歳	西区
60～64歳	北区
60～64歳	豊平区
30～39歳	北区
30～39歳	北区
40～49歳	西区
50～59歳	南区
40～49歳	東区
50～59歳	手稲区
40～49歳	西区
65～69歳	東区
40～49歳	東区
60～64歳	西区
30～39歳	清田区
65～69歳	北区
65～69歳	中央区
40～49歳	白石区
65～69歳	手稲区
40～49歳	北区
30～39歳	東区
40～49歳	白石区

適切な自己負担なら多くの人に利用してもらえないのではないのでしょうか。

活動をポイントに変える案は良いアイデアだと思います。

敬老健康パスにおいて、ポイント活動対象の活動は、どのように周知されるのか分かりますか。広告にその旨を記載なのでしょう。多分、高齢者の方は、その旨あまり確認せずに行動しそうですね。周りのフオローや分かり易い提示をする必要がありますね。このポイント、ki tacaのように買い物も出来る形で出来るのでしょうか？ポイントカードの場合だと、規定の量に達したら交換でしか出来ないかと思いますが、ただ、その際は、その貯まる量の上限はある程度貯まりやすい、交換し易い上限にする必要があるかと思えます。

少子高齢化が進んでる時に、これ以上高齢者への給付等は控えるべき。敬老パスも段階的に縮小、廃止にするべき。

もっとシンプルに仕組みにしたい。

敬老パスの色がいかにもシニア向けであるので改善希望。現在の敬老パスの対象年齢になると身体的に出歩くのが難しい人もいますので、フレイル予防になるよう対象年齢を60歳まで引き下げて外出を促したほうがいい(0円の割合が56.8%もあるのはそれもあると思う)。

敬老健康パスの考え方そのものには賛成ですが、子育て世代の立場からは高齢者を優遇するのであれば子育て世代へのサポートについてもう少し拡充していただきたいです(例えば妊娠出産の際に同じようなパスを使える、など)。

普通の料金で交通機関を利用している人から見ると、あまりに自己負担が少ないと思う。その割に利用者は半数ほどなので、ポイント還元などで利用者を増やしたいのであれば、65才位なども少し若い人も利用できるようにしなければ、そもそもその仕組みを理解して活用出来ないのではないかと思います。そして自己負担はある程度必要だと思えます。パスの本数が減って不便になれば、なおさら車を持つ人は乗らないと思うので、自己負担分をバス運転手の賃金に回すなどしてほしいです。

乗り物繋がりでタクシーも何らかの割引で使えるようになれば目的の地までたやすく利用し易いと思う、例えば家から駅までタクシーなど。

免許返納した人への特典。

J.R (電車)も利用できると良い。

外出することが健康や交流につながるという前提で制度が存在しているが、認識が古いです。現在もすでにそうですが、今後さらにデジタル化・リモート化が進み、交流や健康づくりに場所は関係なくなっていくと思います。自分自身、在宅でネットを介した仕事・交流・TVゲームでのフィットネスで健康を含め生活がすべて賄えています。税金負担がそこまで増加傾向になっているのならば、なおさら制度自体必要なく、認識を改めていくべきだと思います。

健康な高齢者が増え続けると、支える成人者と反比例する点を考えると寿命を伸ばす事も申し訳なく思う。

誰でも簡単に利用でき、健康的に充実した老後を過ごせるのは良いことだと思います。

交通費であれ医療費であれ、サービスを受けたら応分の負担をすることは当然だと思います。その上で低所得者や障がい者、難病や高額医療など特定の弱者には手厚い配慮が必要。「70歳になったら一律に敬老パス」という常識(?)は、少子高齢化が進めば機能不全に陥らないでしょうか。

みんなが幸せになれる様な街づくりなら賛成します。

敬老パスは、男女の健康寿命の平均を取って、73歳からでも良いのではないかと思います。

ポイント用途は外出促進だけが目的のように思えるが、日々の生活を便利にするモノなどにも活用できた方が良いでしょう。(調理用便利品とか)

今までの敬老パスで良いのでは。もし、敬老健康パスとするならば、敬老健康パスと増やしてもいいのではないかとと思う。

あまり負担がかからないように取得したいです。

交通機関が不便な方への配慮が必要だと思います。

明るく豊かな老後の生活につながるが実施しているとあるが疑問です。高齢者になれば病気や怪我をしている人も増え身体的にも、精神的にも不自由な人が沢山いる。その人たちのことは見えていない、切り捨ててる感じがする。私もよくバスに乗る人が沢山いるので立って乗る高齢者をよく見る。更に運転がいつも荒いので30代の私もよろけてしまうほどだ。そんな乗り物に身体的精神的不自由な人が乗ることは困難だと思える。タクシーや、介護タクシーが利用できるようになり高齢者みなさんがそれを利用することによって楽しく過ごせ生きがいになるような制度になるといいなと思います。

持続可能、必要な人に必要な支援が届けられることを考えて、対象者を厳選する。

自由記載意見	
年齢	居住区
65～69歳	白石区
65～69歳	清田区
60～64歳	豊平区
65～69歳	白石区
50～59歳	北区
30～39歳	南区
50～59歳	豊平区
30～39歳	東区
65～69歳	厚別区
50～59歳	豊平区
60～64歳	白石区
40～49歳	西区
30～39歳	西区
18～19歳	北区
20～29歳	豊平区
50～59歳	手稲区
40～49歳	西区
40～49歳	東区
40～49歳	厚別区
50～59歳	豊平区
20～29歳	豊平区
40～49歳	北区
60～64歳	東区
40～49歳	西区
20～29歳	西区
50～59歳	豊平区

<p>細かくわかりやすく説明することが大事。 敬老健康パスの名前を変更したほうがいい。 ポイントについて理解不足だったので、もっと広く知ってもらいたい。実母も知らないと思います。 交通機関が、無料または定額なのは、嬉しい。 乗り物以外でもポイントを使えるようにしてほしい。(買い物など) 同制度とも、税金を用いているということ、継続的に議論をしていく必要がある。ただ、税金は現役世代(若者を含む)から徴収されているので、高齢者ばかり優遇される状態に陥ってはならないと思う。 上限額を引き上げた方がよい。 行政の手続きは難しく面倒だと感じている方も多くいます。市から対象家庭に送付して、返送するだけで発行可能なような仕組みにできれば理屈がなと思います。 また、高齢者の方に免許の返納を勧めることと並行して行うのも一つかと思いますが、手続きを簡略化すると不正受給の可能性が高まるかと思いますが、複雑化して防げる被害額と、不正受給対策の費用を天秤にかけて慎重に検討されることを望みます。 せっかくの制度なのに利用率が低いのは、適年齢になっても公共交通機関の利用そのものが多くないからか、それによって出掛けにくい。</p>	<p>健康寿命を延ばすのは施策を考えるのは良いが、移動の自由を引き換えに強制的に運動させるなどの施策ではだめだ。現行のSAPICAのポイント付与の割合は下がってしまっているが、現行の敬老パスのシステムはそのままに、自主的に能動的に参加できるイベントや運動機会を考え、それに参加したらSAPICAポイントを追加できるならば良いのではないかと、健康促進で言うのであればまず医療制度に参入できない。手術の回数及び内容や薬の量や通院回数で病院にお金が入ってくる制度が間違っているし健康寿命を延ばすことや健康に戻すことを成し得た病院がお金を得るよう改善すべき。マイナンバーカードも健康保険証にとつて代わる方針であれば、病院と行政が市民の健康寿命を延ばすため協力できるよう改善すべき。移動の自由を優遇する敬老パスは良い制度である。自分でポイントを使えない限り優遇しない敬老健康パスは反対である。バスが札幌駅に行かず地下鉄終点駅をハブ化するのには2024年問題もあるから賛成するしかない。昼間の運行バスを小型化することなどで運転手を確保しバス路線を確保してほしい。健康だった近所の95歳のおばあさんが地下鉄一駅分なのにバスに乗って遠回りして同じ駅に行っていた。時間はかかっても良く、同じ駅でも地下鉄よりバスの方が歩く距離が少ないから。関心した事例だった半面そんな人が敬老バスを使っていることを役所の人間は十分に認識しないといけない。スマホは買い替え頻度も高く通信費も高額で高齢者が全員持てるのを前提に制度を作るべきではない。若者でさえ何かを切り詰めて小間運代を確保している。</p>
<p>コンビニなどでチャージ出来たりすると便利。 タクシー利用についても支援があるといいと思う。バスのダイヤ改正で便数が減って不便だと思うので。 子どもを持つ身としては同じようなパスが子育て家庭にもあると良いなと思っています。</p>	<p>私はいつも登下校にバスを利用しているのですが、バスを利用していらないバスを増やすことだと、冬になり何人かの高齢者の方々が何十分とバスを待っていたり、バスのステップで転倒しているのを見ました。近年ではバスの運転手不足も大きな問題となっているのをニュースでよく目にします。バスは高齢者の方々にはもちろん、通勤通学にもよく利用されています。敬老健康バスを導入するのにかかると予算をバスの補助に回す方が、高齢者の方々を含めた皆んなに利益があると思います。公共交通機関がバスの設備、本数の面で利用しやすくなれば、自ずと活動的になる高齢者の方々も多くなるのではないかと考えています。</p>
<p>電子カードは複雑になりがちなので高齢者でもわかりやすい利用方法があれば改善していくと良いと思います。 60歳まで下げると希望。 タクシーでも利用できたり、J Rも利用できるといいです。高齢者の運転による事故を減らすにはもっと便利になってほしいです。 免許返納した人を優先した方がいいと思う。 敬老健康バス、とてもいい案だと思います。操作や参加方法、できるだけ簡単にわかりやすくできたらいいなと思います。 制度は素晴らしいと思うので、継続して運用できる仕組みを整えて欲しい。 高齢者向けの対応があまりにも多い。子育て世代などより先の未来に目を向けるべき。 現金給付の方がいいと思う。 高齢者が残りの人生を楽しむことができよう制度の充実を希望します。 マイナンバーカードとかと一緒にしてほしい、何故もカードもって管理するのは歳をとると難しい家族も把握しきれない。 これからも続けてほしいと思います。 支出の削減だけが目的であるのに「さらに良い制度」という大嘘はやめてほしい。</p>	

自由記載意見

年齢	居住区	自由記載意見
30～39歳	豊平区	私は主人の転勤に付いて札幌へ来たので老後はこちらにはもういないかと思えます。今回このアンケートが届き初めて敬老パスについて知りました。核家族世帯が増え老人だけで過ごす方も多いいと思います。このような優待があれば外に出かけたくなくお年寄りも増えると思えますし、公共交通機関を利用すれば最近多い高齢者の自動車事故なども減るよう感じるとも良いなと思えます。自分の帰る故郷でもこのような取り組みがあれば良いなと思えます。
50～59歳	豊平区	お年寄りがポイント獲得の仕方が理解できるようにしないと意味がない
30～39歳	北区	札幌市は道内でも公共交通機関が充実しているの、敬老パスの継続とセットで免許返納の働きかけを速やかに強化すべき。そうでないなら敬老パスの対象年齢の引き上げや自己負担額の増加はやむを得ない。チャージ額が増えるほど自己負担額の割合が増えていく仕組みはどういう考えで設定しているのか。制度の詳細は分からないが、こまめ10,000円チャージするのが最もコストが高いという理解で合っているか。商売じゃないので一律設定で良いのでは。もしくは利用促進したいならチャージ額が増えるほど自己負担額が減るべきなのでは。
20～29歳	豊平区	多くの人が活用できるように、周知を工夫して欲しい。病院との連携など。
40～49歳	南区	手続きなど、わかりやすくしてほしい。
50～59歳	手稲区	とても良い制度だと思います。自分は早々に免許を返納して利用したいです。
50～59歳	東区	高齢者でも操作がすぐできるようアプリなどの設定や利用がし易く、ポイントへの返還もわかりやすい造りにしてほしい。
65～69歳	手稲区	基本的には無料。
65～69歳	西区	上限額の引き下げが検討されているが、年間7万相当は必要です。
65～69歳	北区	ポイントの対象活動を増やしてほしい。
30～39歳	手稲区	その他にも書かせていただきましたが、①市民の個人情報を守られる、安心感あるサービスの提供②ウェアラブル端末による健康情報の取得を推進して、孤立化、超高齢社会の課題改善につながるようなサービス提供を望みます。
50～59歳	厚別区	JRも利用できるようにしてほしい。
40～49歳	東区	デイサービスで使えるところと良いですね。旅行やツアーで使えたら、利用者が増えるのも何かサービスがあると思えるのではないかと思います。
20～29歳	東区	敬老パスによって、高齢者の免許返納が早まり、事故が減ることに繋がると思う。しかし、市民の税金を使っているのにも関わらず、認知度が低いことが問題だと思うため、もっとマスメディアで取り上げて、認知を広げてもらいたい。
40～49歳	東区	年齢を引き上げないでほしい。心身体が動きやすい年齢から利用し健康を維持できる仕組みにしてほしい。
50～59歳	東区	高齢者が簡単に使用可能な仕組みを作ってもらいたい。
40～49歳	厚別区	老後も大事だけど、子育てしやすい制度を作れないものかと思議に思う。老人と子供にかかる病院代や学費は全て無料にすべき。そうしたら、市民や道民は喜んで税金払うよ。
65～69歳	北区	対象年齢の引下げ、範囲を広げて頂きたい。それ相応の負担は止むを得ないと思います。
40～49歳	西区	高齢者が外に出て活動することは非常に大切であると思う。車の運転ができなくなったり、身体が不自由になってきてても、明るく前向きに社会とのつながりが持てる取組があったら大変ありがたいことだと思。老人になるのが怖い世の中ではないかと。老人も楽しみ活躍できる世の中を目指した取組だといいいです。
50～59歳	南区	同封文書に記載されている現敬老パスの利用実績から計算すると、実際に対象者に還元された(チャージ額-負担額)総額は約40億円となる。運営費が50億円ということなので、運営費の2割が制度の維持コストとなるが、新制度では維持コストをそれ以下にできるのだろうか。自治体が「やってくる感」を出すための本末転倒な制度にならないことを望む。
50～59歳	北区	この取組が継続し発展していくよう事業の充実を図ってほしい
60～64歳	白石区	使いやすいものを作ってください。
18～19歳	西区	現在の敬老パスは交付されても半分以上の方が全く利用していない。必要な人に必要な支援を届けるためにも、まずはこの制度をどのように高齢者に周知させ、浸透させるかを考えなければいけない。
40～49歳	中央区	介護予防になる活動につながる方がいいと思います。ボランティア活動でポイントが貯まると皆のためになると思います。
40～49歳	白石区	利用する人と利用しない人の差が激しく、一部の人のみに恩恵があるように見えてしまう。
60～64歳	手稲区	高齢者向けのサービス施策については直接的な医療福祉事業以外は縮小見直しを進めることは仕方がないのでは。
40～49歳	豊平区	敬老パスがあるから外出をする訳ではなく、そもそも公共交通を利用している人の補助に過ぎず、廃止をするべきです。

自由記載意見	
年齢	居住区
60～64歳	西区
40～49歳	西区
20～29歳	東区
50～59歳	西区
50～59歳	北区
20～29歳	東区
20～29歳	白石区
18～19歳	豊平区
40～49歳	東区
50～59歳	北区
20～29歳	豊平区
30～39歳	豊平区
20～29歳	豊平区
40～49歳	西区
30～39歳	中央区
65～69歳	北区
30～39歳	白石区
30～39歳	東区
20～29歳	豊平区
20～29歳	中央区
30～39歳	中央区
20～29歳	中央区
20～29歳	白石区
65～69歳	西区
60～64歳	東区
50～59歳	北区
60～64歳	手稲区
60～64歳	豊平区
60～64歳	西区
60～64歳	北区
所得制限をもうけるべきだと思う。	
敬老パスは今後も続けていくべきだと思う。	
札幌市に高齢者が多いのはわかるが、道外出身の私を感じたのは、あまりにも高齢者への援助が多すぎることである。なぜ子育て世帯に援助しないのか。札幌市は子育て世帯の税金を搾取してまでも高齢者へ援助したいのか。自分の払っている税金がこのような形で高齢者に還元されすぎている状況を、知らなかった自分を恥じたいと思う。	
前述したように環境作りをして欲しい。	
今後タクシーにも使えるようになれば利用する方も増えると思います。	
高齢者の方でも簡単に手続きができるように、わかりやすく、簡単にした方が良いと思います。	
制度の主旨は理解したが、自己負担ゼロは不公平感が強く、受け入れられない。	
自己負担金を廃止について、今後高齢者が増加するのに対して、大幅に予算を確保する必要が有ると考えるため、自己負担金を廃止にすることは現実的に不可能ではと感じた。	
自分の母がよく利用して出かけている。車に乗らなくなった。大変ありがたい。やはり高齢者の運転は危険だと思う。	
積極的なアピール、PR活動を望みます。	
自己負担額がとてもなく便利な制度なのに利用していない高齢者が多いというデータを見て、健康寿命を伸ばすためには利用者を増やして高齢者の活動機会を増やすことが大切だと感じた。	
幅広い人が利用できるような活動を期待しています。	
高齢者が不安なく出かけたいと思えるように公共交通機関の利用の仕方・エレベーターの場所、駅周辺の施設の案内（ポイント獲得できる活動に使う施設等）などもスマホがなくてもわかりやすい仕組みがあるとより利用者が増えるのではないかと思います。	
高齢者が自分の力で行きたい所に行くことをサポートする事が、制度の基礎として必要だと思います。私としては、敬老パスは今の制度を維持し、それに乗せる形で敬老健康パス制度を導入するのが良いと思います。	
単純に税金をジャブジャブ投じるのではなく、徹底的に無駄をなくして、現在の予算で最大限の効果が出る効率的な運営をしてください。	
前問でも述べましたが、高齢者は市に依存しすぎです。税金の有効活用を。別の話ですが、今年度から国保に加入していますが、保険料の高さに驚いています。内容を見ると後期高齢者の支援金も払っています。私は健康で会社勤務しており、今年病院に一度も行っていない。それなのに自分の保険料のほかに支援金を支払うのは納得がいきませんが、決まっていることなので支払っています。このことから、私は高齢者を優遇しすぎたと考えています。	
よくわからぬ。	
ポイント獲得やポイント利用は、今の70代以上に魅力的なのか疑問に思う。わかりやすい説明と周知が必要。電子化に慣れ出しているのは今の50代くらいからだと思うし、同じお金を使うなら商品券渡すとかの方がわかりやすく、いい道にそんなに選択肢を広げなくてもよいのでは。	
もう少し使える人の制限をつけた方がいいと思う。	
高齢者のタクシー負担額を減額。	
老人が増えている分、自己負担額が増えるのは仕方がない。また、使用できる時間帯の制限をして欲しい。通勤時間帯が混雑している、老人が多すぎて優先席以外も座れない。10～16時などで良いのでは。	
物価の高騰、札幌ドームや冬季オリンピック誘致のための費用で市はお金が少ないと市民は思っています。問10にも示されていたように平均年齢の上昇を踏まえ、対象年齢の上昇や自己負担額を上げないと、若者への負担はとてつもないものになると思います。若者としては未来を担う時代になって市の費用がとても少なかつたら今の40、50代がお年寄りになった時に敬老パスなどの事業が上手いかなと思う。それなら今のうちから未来を考え現在に変化を起こすことが重要だと思えます。	
高齢化社会な現実を受け止めて、世間の値上がりに伴い敬老料金も様々ありますが、増加するのやむを得ないことなので上手くバランスを取って需要と供給を示して行けたら良いと思います。	
税金です、慎重に検討願います。	
年齢に応じて利用金額を変えるなど60歳から使用出来るようにすると良いと思う(60歳→チャージ10,000=自己負担3,000とか)	
大きい病院や、中心地に行くのには無くてはならないものです。できれば自分の年まで金額引き上げ無しでいてもらえればうれしいです。	
公共交通機関が充実していない地域への配慮、タクシー利用とかももっと考えるべき。	
高齢者であっても、所得の高い人に敬老パスは必要ないと思います	
所得制限必須。裕福な高齢者には不要。	
パスを使う方はほぼ元気な状態で本当に使いたい人はタクシーなど病院に行く時に使いたいはず。健康寿命の為というのは違和感があります。健康な方はそれなりにお金もあるのでは。	

自由記載意見	
年齢	居住区
40～49歳	北区
60～64歳	清田区
40～49歳	東区
65～69歳	北区
60～64歳	北区
65～69歳	豊平区
60～64歳	厚別区
60～64歳	中央区
50～59歳	北区
50～59歳	手稲区
60～64歳	西区
40～49歳	北区
30～39歳	厚別区
65～69歳	北区
30～39歳	豊平区
30～39歳	西区
50～59歳	西区
50～59歳	北区
50～59歳	豊平区
50～59歳	中央区
50～59歳	北区
30～39歳	白石区
65～69歳	手稲区
40～49歳	南区
65～69歳	西区
20～29歳	西区
65～69歳	西区
50～59歳	厚別区
運転免許を持っている人は、免許返納したのちこの制度を使えるようにして欲しい。	
手続きの簡素化。	
郊外だとバスが減便され公共交通機関の利用も大変です。タクシーの利用も控除していただけたらと大変助かります。	
今は自己管理の問題だと思っでいるので、何を望んだらという事は分かりません。	
交付も返還もつとわかりやすく、やりやすく年寄りに理解出来る単純な方法を望みます	
長く住んでいる人が不公平だと感じないようにしてほしい。	
70才からだと、まだ運転している方が多いと思います。返納してからなら、身体が思う様に動けない状況になってたり、理解も困難になってるかも知れません。その頃合いが難しいですが、ポイントの魅力が多いと、使おうかなという気になるかも知れません。	
自分は現在あまり敬老バスに関する意識はありませんでしたが、親が紙のバスの時も使えてなかった事を思い出します。マイナンバーカードに連携して、少しでも多くの人が利用できるものを希望します。	
年金が上がらないのに物価は確実に上がっています。引きこもりがちな高齢者も増えているのではないのでしょうか。出来ることなら自己負担を下げてほしいところですが、また、バスのシステムは出来るだけ簡素する必要があると思います。誰もがスマホを使いこなせるわけではあります。誰でもわかりやすいシンプルで身近なシステムが普及のカギになると思います。	
歳を取れば取るほど面倒なこととはしたくなくなくなるので、ポイント制も単純簡単でないと利用者は増えないと思う。スマホのアプリで管理できる人も少ないのでは。敬老バスがJRでも利用できるようになるのはいいことだと思います。	
70歳になったら詳しい情報が札幌市から送ってくるのでしょうか。対象でないその他の市民は敬老バスの存在を知らない人がほとんどです。	
若者で知ってる人は少ないと思う。もう少し周知してもよいのではと思う。	
そもそもあまり社会との関わりを持っていない人にはかなりハードルが高い制度だと思いました。	
①でできるだけ、単純明快な制度を。②高齢化社会が進む中、若い世代への負担が重くならない制度設計をお願いしたい。	
財源をしっかりと確保して、若い世代が高齢者になった時にも残る制度にしてほしい。	
高齢者向けのこういったサービスは既に充実していますので、もっと若い世代（ヤングケアラー、子育て世代、学生、保育系など）へ向けたサービス、予算を充実させてください。今後札幌市を支える世代の困りごとにももう少し目をむけ、簡単にアクセスしやすい環境づくりをして頂きたいと強く感じます。行政のこういったサービスはとにかくアクセスしにくいものが多いです。	
自己負担はなく、すべて無料になると思っています。でも財政が厳しいと自己負担も仕方ないですね。	
年寄の自立につながる制度になるといい。	
敬老バスというより高齢者が出かける時の経済的補助として認識していました（例えば病院の往復のバス代）。敬老健康バスと言うのであれば行先も健康的なものを提案できれば良いかも知れません。	
JRやタクシーに利用できる仕組みになることは、非常によいと思う。特に、足腰が弱くなると（特に冬期は）駅やバス停まで行くことも困難なので、タクシーのお陰で外出できている。他の自治体で、交通系ICカードでの支給もあると聞いていて、バス・鉄道・タクシー・コンビニ等、使い勝手が良いと思う。他地域の知り合いと話すと「札幌っていいね。」と羨ましがられるような制度を作ってほしい。	
お金のある人も無い人も同率の負担が出来れば良いと思います。	
その年齢になったら、使わせていただきます。	
あと、2年ほどで敬老バスが利用できると思っでいるように思っでいます。今より外出も増えるとも思っでいます。でも財政的には厳しい事も理解しています。	
20,000円チャージを2,000円にしてほしい。	
ポイント獲得するための活動は近所ですること、遠くまで行かなくても良い場所が良いと思います。	
現在の高齢者へのサービスを軽減し高齢者がいる家族へのサービスを充実、一緒に出かける家族は一部負担をしてくれるなど高齢者を外出に連れ出す存在のサービスの充実も大切だと思う。	
使いやすいものにして下さい。	
老人にも分かりやすく簡素化した方がいいと思います。チケット制とか。	

自由記載意見	
年齢	居住区
30～39歳	西区
50～59歳	東区
30～39歳	北区
30～39歳	豊平区
60～64歳	厚別区
40～49歳	中央区
50～59歳	豊平区
50～59歳	白石区
60～64歳	中央区
60～64歳	東区
50～59歳	手稲区
30～39歳	豊平区
50～59歳	東区
30～39歳	西区
40～49歳	北区
30～39歳	北区
40～49歳	西区
20～29歳	中央区
30～39歳	西区
20～29歳	東区
30～39歳	中央区
20～29歳	豊平区
50～59歳	中央区
40～49歳	手稲区
40～49歳	清田区
50～59歳	南区
50～59歳	西区
50～59歳	中央区
65～69歳	白石区
60～64歳	北区
60～64歳	西区
40～49歳	北区

正直、敬老パスの充実より子育て支援に予算を回してほしいです。私は来年結婚予定です。子供も欲しいと思っています。ですが本当は2人欲しいと思っています、保育園幼稚園に預けられるのかの不安や経済面で育てられるのは子供1人が限界かもしれないと感じています。子育て支援をお願いしたいです。

やはり簡単便利をお願いします。
近年、高齢者の交通事故がよく報道されているように感じるので、敬老パスの利用が広がって、運転に不安を感じている方が免許返納しやすくなると思います。

とてもいい取組だとは思いますが、何せあまり認知されておりません。免許返納したら1年間分のパスをプレゼントする等、まずは車の運転と切り離させることもいいかもしれません。高齢ドライバーの課題も多いので、運転を辞めてパスの利用が普及すればもっと利用率も高くなると思いますし、バス会社も待遇改善ができるのでよいと思います。

タクシーも検討して欲しい。
廃止をお願いします。
良い制度だと思います。

敬老パスのポイント獲得は脳トレ、筋トレ等幅広い活動内容を希望します。
今現在の高齢者は、まだまだITの進歩についていけない方が多いと思うので、簡単な仕組みづくりが大事かと思う。

運転免許返納による感傷措置。
公共交通機関で使えるポイントに上限を定めず…公共交通機関での利用をしない人には賞品と交換できるなど利用の幅があつたららもつと楽しそう。
年金額や働いている人はその場所などに応じてチャージ額が少しでも増量されたりする制度があれば、助かると思う。

家族が使用している場合もあるのかと思う。
高齢者が増える中、車の事故防止(免許返納)にも役立っているのでは、敬老パスの自己負担額を増やしてほしい。これからは、高齢者を支える子どもたちのことを1番に考えた交通費免除を考えたほしい。

ポイントを公共交通機関だけではなくスーパーやコンビニなどで使えるようになると、そちらの方みんな活動を積極的に頑張るのではないのでしょうか。公共交通機関を使用しない地域の方や、老人ホームのような所において送迎があるから電車に乗らない、身体的に電車などに乗れないという人達も参加しやすいかと思います。

高齢者の健康寿命の延伸はとて大切な政策だと思います。ぜひ利用率の向上に努めてほしいです。
チャージの方法がわからないが、それが簡単なことが1番重要。

疑問に思つた事をすぐに聞ける体制を整える事が大切だと思います。
ポイントの使い道を一般の企業にも広める。

貧困世帯では敬老パスの改定により外出を諦める方がいると聞いたことがある。
全く知らなかったのも、もっと周知して欲しいら良いと思う。
敬老パスのまま自己負担をなくすのが1番良いと思います。
わかりやすい仕組みで、使いやすいつツルを将来的に導入したほうが良いと思います。

この制度自体は良いのですが年金受給額での繰引きやその分、本当に生活に困難な方への支援の拡充、若い世代への支援をお願いしたい。今の若い世代の将来は今以上に貧困差が激しくなると感じています。

年金支給の年齢もじわじわ引き上げられていく中で、敬老パスの70歳というラインは維持した方がよいと思います。あんまり年老いて体が本当に弱ってからも活用できない。それより、元気なお年寄りに大いに使って健康維持や活発な生活に役立ててもらおう方が、制度の趣旨に沿うものと思います。

健康維持の為の動機付けになるような取組みもあつた方がよい。健康パスと連動しなくても良いが、高齢者はモチベーションがない。または外出しなくて良い理由が見つかると歩かなくなり、それを機会に衰えてしまう。自身の母親がその傾向だった。

日々の活動は個々の資質であり、バスがあるから出かけよう、友達を作ろうという高齢世代がどの程度存在するのでしよう。個人的には、これからの世代のために予算を使つて欲しいと思うのですが。

改革するのでしたら高齢者の負担増があまりないようにしてほしいです。又、高齢者が理解できるように説明の機会を作つてほしいです。
他市ですが、北広島市のエスコンフィールド行きにも使えたら嬉しい。
60代でも足腰が不自由で、冬道は歩くのに困難なので、希望者だけ70歳までは半額位にしてもらえると助かると思います。障害者手帳があれば利用可能なバスがあるとありますが、そこまできかない人の為に検討してほしいと思います。通院、買い物の際に安心します。
老人がもつと活躍できることが有れば良いなと思います。
車の運転において高齢者の認知的な大事故が増えているので、被害者加害者が増える前に免許を返納したあとにも生活に支障をきたさない充実した状態での公共交通機関への移行を望む。

自由記載意見	
年齢	居住区
60～64歳	北区
20～29歳	東区
50～59歳	白石区
60～64歳	中央区
40～49歳	中央区
65～69歳	東区
65～69歳	中央区
60～64歳	白石区
50～59歳	中央区
60～64歳	北区
50～59歳	中央区
20～29歳	東区
50～59歳	中央区
30～39歳	東区
40～49歳	厚別区
65～69歳	中央区
30～39歳	清田区
20～29歳	西区
40～49歳	西区
30～39歳	西区
60～64歳	東区
65～69歳	白石区
60～64歳	中央区
40～49歳	厚別区
40～49歳	豊平区
40～49歳	豊平区
40～49歳	厚別区
50～59歳	西区
40～49歳	西区
30～39歳	北区
20～29歳	東区

旅行の格安パックがあるといいですね。

身体的状況による活動が難しい方のポイント獲得手段に、訪問リハビリや通所リハビリテーション事業の利用があるとより参加拡大が見込めると思います。また、病院への通院といったことでのポイント獲得が小さくなるのではないのでしょうか。

廃止してよい。

維持は大変かもしれないけれど、公共機関の交通費が元々本州と比べて高いし、70歳になったら免許の返還も視野に入れる年齢なので、制度はあって欲しいです。

高齢者（母）にきいてもサピカ使えるのタクシードで使えるのかや、小樽や定山溪に行くバスで使えるのかわからないよう。車乗ってる高齢者は、自分に関係ないからか、全く内容を知らない。連れ出す高齢者以外の年齢の人にわかるように案内すれば、便利なバスあるから使いな、申請しなと利用を促進できると思う。サピカの様に、対応バス（郊外）に乗れたり買物など、普通に出来たらいいのは（札幌の税金だから難しいのか。）。

私の母のところにはバスが届いていないのを見えています。うちの母は何年も前からまったく使っていないので、何か無駄を省力化できる方法はないものではないかと思いません。老人にデジタル化は難しいのですが、何か無駄を省力化できる方法はないものではないか。

敬老健康パスは興味ある企画なので色々楽しみをつくって欲しいです

市と市民が共に好循環を生む街づくりに取り組めるように敬老バスを使う方々からの意見も多く吸い上げて参考にしていただきたいです。70代なら多くの方が興味や趣味のためにイベント参加や施設利用等に自らされているし、意見もあると思います。

敬老パスの自己負担額は、対象者の所得に応じて段階的にするというのは難しいのでしょうか。

使い方をサポートする体制整備。

敬老バス、チャージしないで持ってるだけの人が半数以上なことに驚いた。申請するだけの車利用者が多いのか外出しない、できない方が多いのか分かりませんが、利用拡大を促進する意味はあるのでしょうか。敬老健康パスがJRやタクシーでも利用できないのはいい案ですが。

若い人の負担が減るように考えていただけただけなら良いと思います。

高齢者の活動を支える環境整備についての検討が必要かと思えます。

活動的になる反面で、行方不明（道がわからず帰ってこないなど）が心配。何か見守り機能があれば良いと思う。

アプリは簡単が良いと思う。

割引額を減額して、若い世代に回して欲しい。

チャージの上限額は5万円くらいでいいと思う。

敬老健康パス(案)にスマホを持っていない方でもポイントカードで、ポイント利用できるのが良いと思った。やはり60代の親でもスマホにも苦手意識があり、使い方を聞かれることが少なくなっているので、ペーパーレスの時代とはいえ、デジタル化についていけない、苦手意識のある高齢の方でも利用できる制度を今後も継続して欲しいと思います。

タクシーにも使えたら良いかもしれない。

自己負担額がもう少し安価でも良いと考えます。年金収入のみの利用者が多い為、この負担額は高いと思います。

買い物や通院など定期的なバスの運行。

自動運転技術が一般化されて、無人バスができるまでのものだと考える

少子化対策は進んでいるのに高齢者の生きがい対策は無いのではと思うくらいです。元気で成熟した高齢者を活用できる施策に予算をかけるようお願いいたします。

とにかくシンプルに。ポイントついたらコンビニとかのレジが無駄に混み出すと思います。

周知の仕方や費用をかけた方が良く思う。

北海道という土地柄上、冬場の移動手段が限られています。交通機関の無償化よりも、地下都市空間の充実を図るべきでは。

運転免許証の返還増に繋がるような特典を考えることも大切だと思います。

ある程度自己負担は必要。

最低でも今の制度は保持してほしい。

敬老パスのことではなく申し送らないのですが、高齢者ばかりに目を向けた今の社会だと「若者が将来高齢者になった時」ではなく、若者が高齢者になることすら難しくなっています。全世代を救済する仕組みづくりをお願いしたいです。

上記と同じになります。とにかくどの高齢者でも使えるようなものでなければ意味がないと思います。

自由記載意見		
年齢	居住区	
50～59歳	中央区	とても良い案だと思うのですが、スマホを持っていない方はポイントカードの事も何枚も持つ事は高齢者には紛失や忘れなどストレスがある気がします。敬老パスと離れませんが、SAPICAも札幌市しか使えず不便でKitacaを別に持ったりということもあるのでは？
30～39歳	南区	対象年齢の引き下げ、年金受給と同時に開始するなど早ければ早いほど、健康的なうちにサポーターが受けられ健康寿命も延びていきそう。
30～39歳	白石区	家に配られる市の資料に分かりやすく仕組みの記載をして欲しい。
30～39歳	北区	敬老パスはタダで使えたらいい。
30～39歳	厚別区	使用先を増やす。コンビニとかでも使用できる。
40～49歳	西区	とても良い制度だと思います。自分だったら積極的に利用したいです。
40～49歳	清田区	敬老パスは運転免許証の返納に貢献すると思うので継続の方がいいと思う。
50～59歳	東区	対象年齢を下げることににより活動期間が増えつつ健康寿命が伸びると思います。68才くらいが希望。
50～59歳	北区	地域の地区センターで2回の編み物サークルをしています。70代の方もいて、サークルに参加することでポイントが獲得できるといいなと思う。サークルを主催している側も参加者が増えると活気づきます。遠くのイベントに敬老パスを使って行くのもいいけど近くの地区センターや体育館、図書館に「ちよつと歩いて行ってくる」場所にポイント獲得場所があると、私とその年齢になった時に活用したいです。
60～64歳	西区	いまのままの敬老パスであって欲しい。
20～29歳	手稲区	免許の返納を促す一助となるので良いと思います。
40～49歳	白石区	70歳人口割合で割引率変動とかでもいいかもしれません。
20～29歳	北区	老人にお金を使用するより未来のある子どもたちにもつとお金をかけるべきだと思います。
40～49歳	西区	直ぐに使いたい場合、将来的に必要な場合など、ケースを分けて情報が欲しいです。
40～49歳	清田区	サピカ、キタカなどのICカードとの連携は必須だと思います。
30～39歳	豊平区	上限額が下がることについて、引き続き説明を尽くしていただければと思います(自己負担金は廃止とのことだが)。
60～64歳	厚別区	健康で積極的に参加出来る人にとっては、とても、魅力的ですが何らかの病で、活動出来ない人にとっては、関心が薄れてしまふ様な気がします。
65～69歳	東区	高齢者に平等に利用出来る制度であってほしい。
30～39歳	豊平区	活動に応じたポイントがつけられれば還元率がいいなあと思えました。
20～29歳	南区	高齢者による交通事故が増加しているのでパスを公共交通機関で利用することで特典がいろいろ増えるという人が増えると考えました。
40～49歳	豊平区	高齢者施設や病院にPRの紙を配布して制度を広く知って、利用してもらうことが重要だと思います。
50～59歳	西区	高齢者が公共交通機関を利用しやすくなることで、高齢者の交通事故を減らしたいです。それには、高齢者への支援の充実も大切ですが、公共交通機関網の拡充が必要だと思います。
60～64歳	西区	全般的には敬老健康パス(案)は良いと思う。
20～29歳	北区	自己負担額が増えるほどチャージ額の効率が落ちるのは不思議だと思います。
40～49歳	手稲区	現在、地下鉄やバスのみとなっているのでJR利用者圏居住者には不公平に感じる。札幌市内のみJRでも利用出来るようにすべき。
40～49歳	手稲区	高齢者の免許返納を促すためにも、早い段階の年齢から割り引き制度を活用出来るようになるのが公共の乗り物に乗る不安が軽減されます。車が無くとも自分の足で生活出来る自信を持てるような制度になることを希望します。
50～59歳	厚別区	老人より子育て世代の方が金銭的に支援した方がよい。老人は電車賃くらい払えると思う。
65～69歳	厚別区	チャージ方法を簡単に出来れば良い。
40～49歳	厚別区	活動範囲を増やすためには良い制度ですが、予算との兼ね合いをしっかりと思量して取り組んで欲しい。
40～49歳	中央区	敬老パスがより多くの人に積極的に活用されると共に、札幌市の経済と社会がより潤うものとなるように利用結果に基づいた変更をお願いしたいです。
50～59歳	西区	公共交通の維持という観点も必要。
40～49歳	白石区	公共交通機関が不便な地域に高齢者が住んでいる傾向があります。この部分のサポーター。充実してもらいたいです
65～69歳	西区	公共交通機関の収支が赤字であれば、現行の敬老パスの利用者負担を5割負担まで引き上げて良いと思う。また、70才未満の者が、敬老パスを不正使用出来ないような制度設計も必要と思う。
40～49歳	北区	簡単、手軽に使用出来るようにして頂きたい
50～59歳	中央区	健康増進や社会との接点(映画鑑賞等)など戸外に出る動機付けが最優先で、敬老パスはその促進策の一つとして、セットで企画するべき。
40～49歳	北区	敬老健康パスは、高齢者の行動意欲を増すためにも良いと思います。免許を返納して車の運転も控えるようになって欲しいです。

自由記載意見

年齢	居住区	自由記載意見
50～59歳	豊平区	公共交通機関の促進をしても、交通機関そのものが充実しないと効果や利用者が限定的になることも懸念される。地下鉄の延長は難しいとしても、バスの減便な路線の廃止など、運転手確保が難しいのだから、充実させるべきと考えます。自動運転やライドシェアなども併せて検討をしなければならないのかもしれないですね。
40～49歳	豊平区	高齢者が公共交通機関でスムーズに移動できるようなサポートしてほしい。特にバスの運行に関してはもっと充実してあげてほしい。高齢者の自動車事故がより増加することが予想されるため、高齢者が自動車を運転する機会が減るように取り組みを行ってほしい。そういうことも含め、敬老バスを考えたしてほしい。
65～69歳	厚別区	私はもうすぐ70歳になります。敬老バスを利用したいと思っています。それは友人(80歳)がこのバスを使い、ボランティア、コンサート等元気に行動している姿を見ているからです。でも、札幌市の財政を教えると、自己負担の割りにチャージ額が高過ぎるのではないですか。もう少し自己負担しても、ありがたみを感じ出かけようと思う気持ちになります。このバスを続けてほしいと思います。
50～59歳	北区	複雑でわかりにくいので、単純にしてほしい。
40～49歳	白石区	現役世代の負担増が心配です。
40～49歳	中央区	ポイント管理や利用方法は、使いやすいのが1番と思う。
65～69歳	北区	敬老バスが財政圧迫の一因になっているので新制度へ移行するという感想を持っています。現行の敬老バスの自己負担額が低く、もし敬老バスチャージャー割合で0円が低率なら、すぐに破綻するのではないかと思います(そもそも敬老バスチャージャー割合で0円が50%台というのも、札幌市が敬老バス利用を促進しているとは思えない数値なのですが)。個人的には、自己負担額5,000～7,000円ぐらいでチャージ額が10,000円でも利用したいと思います。
40～49歳	豊平区	高齢者の余暇活動も大切だが、学校建替えや先生の配置など、子供の教育にしっかりとお金を使って欲しい。
40～49歳	中央区	両親の差はわずか4歳ですが、父が70歳になった時には体力が激減し外出があまり出来なくなりました。母は敬老バスを楽しみにしていましたが、70歳になった時には父と一緒に出掛けられることもできず、又母も急な体調不良などでお出かけしたい時に出来なくなりました。寿命が伸びていても本来に元気でいられたら70歳は当たり前ではありませんでした。もう少し早く敬老バスが発行されれば、二人でお出掛けする楽しみになっていったかな…と、寂しく感じることがあります。車を運転するのは心配ですし、タクシー等の買い物の補助があれば安心です。
18～19歳	厚別区	インターネット等の買い物も可能にできると良いがよりいっそう税金が増えるため、老人ができるような仕事を増やし、ポイントを増やす仕組みにしてはどうだろうか。
60～64歳	手稲区	積極的に外出することを奨励するのであれば冬期の歩道除雪ももっと行なってほしい。
20～29歳	北区	需要を考えると、年配者の交通利用によって、同行者への割引も提供可能の方は理解しやすく、家庭の絆を促進できるので、多分いい方法だと思います。
40～49歳	豊平区	周知の必要性を強く思う。地下鉄掲示板やCM及び新聞広告等を活用して欲しい。
50～59歳	清田区	市営バスも、敬老バスを宣伝したほうが、よいと思う。
60～64歳	南区	簡単で誰でも、身体に障がいのある人でも利用出来るシステムを作ってもらいたい。
30～39歳	中央区	高齢者が健康で長生きしていける未来のために色々課題はあると思いますが頑張ってもらいたい。
65～69歳	厚別区	敬老バスの自己負担は現状を維持して欲しい。
40～49歳	厚別区	敬老健康バスはあってもいいと思う。その分敬老バスのチャージ金額の上限を下げれば、下がった分を敬老健康バスで補ってもらえば良いと思う。
40～49歳	厚別区	デジタル化に追い付いていない方々が多いと思う。
60～64歳	南区	現状のままがいい。

年齢	居住区	自由記載意見
50～59歳	手稲区	<p>問12)に回答した通りですが、さらに意見します。ポイント付与例をIPで拝見しましたが、2万ポイントを貯めるのに見合った活動内容なのかしっかり検討すべきだと思います。</p> <p>2万円分ならアルバイトの方が少ない労力で得られると考える方もいると思います。そう思っで勤労してくれることが目的でもあるということでしょうか。今現在、ポイントの対象になるような活動をしている人（通院中とか、フィットネスに通っているとか、ネットではなく店頭で買物するとか）なら、この制度を利用することで、新たな層を取り込めるか疑問です。</p> <p>現行制度でチャージ額ゼロ円の方達は、そもそも活動しないし、交通機関を利用しないし、という方なのではないでしょうか。自己負担金なしだからポイント貯めて交通機関を利用しようかな、なんて思うのでしょうか？JRやタクシーやタクシー利用者の利用は増えるかもしれませんが、敬老健康パスに移行したら、今より健康寿命を延ばす活動が増えるのか疑問です。アプリでダウンロードして、買い物やタクシーの支払いがポイントが貯まるのですから、今まで以上に健康寿命伸ばす活動をするということにつながるのでしょうか。現行制度から大幅に事業費が削減出来る見込みもありません。そうなる、健康寿命がどれほど延ばせるか、総合的に経済的、財政的メリットがどれだけ見込めるのか、そのためのプラン内容もまだ不明確で、すぐに手放しで賛成という状況ではありません。</p> <p>毎日、何かのランキングに参加して、日々の健康状態を自己管理させようということでしょうか？たまたま2万円のポイントで、どこまで効果が上がるか疑問に感じます。</p> <p>社会活動に参加したり、外出促進したり、という点では、勤労世帯をサポートするようなボランティア活動を推進していくことは一案ではないかと思っています。小中学校のPTA活動に、父兄に代わり参加するなど。交差点での旗振りなどの見守り活動や、窓拭き清掃、バザーの運営など、共働き世帯にはかなりの負担です。これらに、高齢者がボランティアなどで参加することで、双方にとつてwin-winなのではないかと考えています。</p> <p>地元の小中学校であれば、徒歩圏内です。誰かと一緒にPTA活動を行うなかで、人との交流も生まれるでしょうし、PTA活動のついでなどで、学校の図書館や体育館を利用して歩く運動が出来れば、より健康寿命を延ばす活動へ参加しやすくなると思います。現に取り組んでいる地域もあるかもしれませんが、我が地域ではまだです。個人的には、自分が現役リタイア後は、このような活動に参加して、子育て世代を応援したいと思っていますが、制度として整っていると非常に参加しやすいと感じています。学童保育のお手伝いや、学校や習い事からの送迎、付き添いなど、地元地域で参加できそうな活動もあるように思います。</p> <p>健康寿命を伸ばす！という目的を前面に出して取り組むよりも、生きがいが増えたり、人との交流を促したり、外出や運動の機会が必然的に増えたり、という効果が生まれやすいのではないかと思っています。歩きなさい、社会参加しなさい、と云うよりも、生きがいが増えたり、人との交流を促したり、というほうが参加してはならないか。</p> <p>地元地域でのボランティア的な活動が、制度として整い、参加しやすいようお膳立てがあれば、誰もが抱えている「誰かに必要とされている」ことを実感でき、より生きがいを生む活動となつて、非常に有効ではないかと思ひます。</p>
20～29歳	南区	<p>敬老パスで社会的にメリットがあると思えない。関係ないのかもしれないが、バス運転手不足で運行バスも減る中、高齢者の負担を減らすより、今働いている公共交通機関の人手の給与を上げてあげてほしい。</p>
50～59歳	豊平区	<p>敬老パスを使う世代はスマホ人口が少なく感じるのでアプリは不要だと思う。ポイントカードで色々な事が簡単にできる方が利用が増えると感じる。</p>
50～59歳	南区	<p>敬老健康パス。ネーミングは案だけにしてほしい。自分が高齢になつて使用する時が来るにしても、このネーミングは恥ずかしくない。</p>
40～49歳	西区	<p>高齢化に向けて負担増、チャージ額の削減を検討すべき。</p>
40～49歳	東区	<p>積極的に使用してもらい、外出の機会を増やし、交通渋滞を減らしてほしい、高齢者の危険運転を減らしてほしい（免許返納への促し）。</p>
30～39歳	北区	<p>敬老パスと敬老健康パス(案)は一体化できないのか。カード管理がめんどうきそう。</p>
40～49歳	南区	<p>敬老パスが、タクシードライバーの方がいいに決まっています。お年寄りが病院行くまでも歩いて行ければ、きつと、皆んなそうしているとおもいます。でも、それがしんどいんです。それだけではなく、病院の中で動いたり、待ったり、薬局まで行ったり、若い人はそんなしんどくなくても、お年寄りはしんどい人も多い。だから、タクシードライバーの方がよくないですか。負担額が札幌の財政を圧迫しているなら、減額も仕方ないですが、自由な使い方を選んでくれた方がよいと思います。</p>
40～49歳	北区	<p>JRが最寄り駅の方も大勢いらっしゃると思うので、地下鉄に限らずJR、タクシーにも利用先の拡大をはかるのは賛成です。</p>
65～69歳	白石区	<p>敬老パスをたくさん使った方は、日ハムの試合や日帰り温泉に招待するなど、利用促進につながりそうかな、魅力的な商品への還元もご検討ください。</p>
40～49歳	北区	<p>実際に利用させて頂いている訳ではないので、実感が湧かないです。要望も出せません。</p>
60～64歳	北区	<p>正直少子化対策のほうが大事では。</p>
60～64歳	豊平区	<p>単純にお年寄りが使いやすい。</p>
40～49歳	東区	<p>良い取り組みだと思います。</p>
40～49歳	東区	<p>認知度をもっと上げるべき。そこに対する取り組みと支援をもっとすべき。</p>

自由記載意見	
年齢	居住区
40～49歳	清田区
50～59歳	北区
30～39歳	北区
40～49歳	西区
40～49歳	白石区
65～69歳	中央区
60～64歳	北区
65～69歳	厚別区
50～59歳	西区
40～49歳	清田区
20～29歳	豊平区
65～69歳	東区
50～59歳	白石区
60～64歳	豊平区
40～49歳	手稲区
60～64歳	北区
50～59歳	厚別区
40～49歳	中央区
30～39歳	厚別区
50～59歳	豊平区
20～29歳	東区
30～39歳	西区
40～49歳	中央区
50～59歳	東区
50～59歳	中央区
60～64歳	東区
50～59歳	西区
30～39歳	東区
60～64歳	豊平区
30～39歳	豊平区

今後のことを考えることでも興味深いです。敬老健康パスが若者とお年寄りや若者、また札幌だけではなく、他市町村にも旅行に行きたいので全道での取り組みにしてほしいかなとも思いますが、地元が札幌ではないため、自分の地元にも帰りやすいよう、また札幌だけではなく、他市町村にも旅行に行きたいので全道での取り組みにしてほしいかなとも思いますが、

敬老パスの事は詳しく知らないが、利用者に特典を沢山つけると良いと思う。
使っている人は今の状態でも使うのだから、使わない人への調査を詳しくやるべき。
敬老パスの税金の負担が多いのである程度は自己負担額が増えようがない。浮いた財源は子供のワークベンチや医療費などまだ無料になっていない事にあてておくべきである。

北海道は特に冬道の状態が悪く、転倒し骨折しその後の生活に影響の出る高齢者が少なくない。また、地下鉄やバスを利用するには身体的に難しい高齢者もたくさんいらっしゃる。ですので、敬老パスがタクシーにも使用できるようになると思う。そうであれば、健康な公共機関を利用できる人のみがバスを利用できて、身体の不自由な人は自費でタクシー代を支払わなくてはならないという偏りができてしまうと思う。

敬老パスのチャージを年に1回ではなく、何回かに分けてできるようにしてもらおうと気軽に利用出来ると思います。
財政面で制度継続が困難なら、自己負担額を増やして、現行制度の継続を希望します。

使いかたなど理解できないうちにサポートを。
金額を下げてほしいので最初に払ってお金をなくして欲しい。
現在の敬老パスのチャージ制度を維持しつつ、より充実できるように、ポイントを加算などで金額を増やすこともできればポイント制に反対される方がいても大丈夫かと思いましたが、

これからも続けていって欲しいです。
路面バスの路線が廃止、減便が増えた昨今、また今後も増えたなら、敬老パスがあっても無意味に。そこを考慮して、コミュニティバスの運行も考えるのは如何でしょうか、

ポイントを獲得できる活動の種類が充実して欲しい。
あくまでも敬老健康パスは、希望者のみで良いと思います。

チャージ最低額が一万円以下もあればよい。一万以上だと交通機関をそこまで利用しない人はバスを活用しようと思わない。70歳以上で自動車免許強引返納。車がある以上は公共交通機関を使って出かけることは少ない。自身の老化認識も甘く、家族の返納促しも聞かない。住んでいる地域の交通機関の充実度によって緩和制度を設ける(過疎地は検討。札幌市は充実しているのが緩和できない等)。

不公平感のない制度設計を望みます。
どれくらいの割合で使用されるのか、使用されていないから、もっと活用してもらおうということなのか、説明がないから、状況がわからない。健康増進を考えている方とそうでない方は、高齢者といっても真逆に存在しているから、敬老パスで解決することでもないと思う。

高齢者の生活が本人にも社会にも生産性のある仕組み作りを期待します。
バスや地下鉄に乗る方が増えたら嬉しいと思います。
少なくとも私も私自身はポイントを増やすために活動はあまりしませんが、負担額が少し多くなっても現状バスで自分の好きな所、必要である所に出かけたいです。

若い世代の方々にもどのような仕組みか説明の機会がほしい。
あらゆる層の意見を聞くのも重要とは思いますが、いつかは必ず全員が使用する制度である。現在使用している人の意見を重視するべきだと思います。そしてもっと広報してください。長く使用しうる制度を作ってくださいませようよろしくお願いします。

将来的にライドシェアを札幌市で検討されているのなら導入段階から敬老パスも使用できるようにすれば良いかと思えます。
利用頻度のない人についても、公平な恩恵を受けられるようにしたら良い。
敬老パスの利用を促進するにしても、公共交通機関の本数が減って不便になると魅力が下がると思えます。人手不足もあるため減便は仕方ないとは思っています。

65歳からにして欲しい。
まだよくわかりません。
もっと周知できる取り組みをしていかなないとダメだと思う。

敬老パスについては年金生活で少しでも自己負担が少なく交通機関を利用できるのであれば利用したいと思う。地下鉄やバスだけでなく、とくにバスは本数が減り、地下鉄やJRなどは階段ばかり、今後はタクシーの利用が増えると思う。敬老パスの導入を希望する。敬老健康パスについては、その時自分の体力次第で参加もあるかも。

敬老健康パス、良いと思います。ポイントは交換上限が設定されていますが、この上限は一回での上限なのか、月単位などになるのか等詳しく取り決めていただけたらと思います。また、ポイント交換はアプリなどで即時反映できるようになれば嬉しいですね。

自由記載意見	
年齢	居住区
50～59歳	白石区
30～39歳	北区
30～39歳	白石区
20～29歳	中央区
50～59歳	西区
18～19歳	北区
65～69歳	手稲区
20～29歳	北区
30～39歳	東区
40～49歳	東区
30～39歳	東区
50～59歳	豊平区
40～49歳	北区
50～59歳	北区
40～49歳	中央区
30～39歳	西区
20～29歳	豊平区
40～49歳	白石区
20～29歳	手稲区
50～59歳	手稲区
60～64歳	北区
65～69歳	中央区
50～59歳	白石区
50～59歳	北区
65～69歳	北区
50～59歳	西区
定年が65歳なので、敬老バス適用年齢までの5年間、仕事がない人などは、外出を控えるかもしれない。その間に引きこもりになり歩けなくなったり、認知症になるリスクもある。退職後の適用が望ましい。	
高齢者による自家用車の運転に不安があるため、免許返納または不所持の高齢者は優遇するなどあったら返納率が上がるのでは。	
利用対象をJRやタクシーにも広げるのは賛成です。ただポイントのために活動をしろというのは無茶です。年齢を考えると今の制度と合わせて行った方が良いでしょう。経費削減が目的なら別ですが。どうしてもやめるなら今の制度と合わないと思います。活動していい人(やる気のない人)にポイントがもたらされるから活動しませんか？と言ってもやれません。現在敬老バス大変だから敬老バスを使用していないのです。活動していい人(やる気のない人)にポイントがもたらされるから活動しませんか？と言ってもやれません。現在敬老バスを使っているから。敬老バスにそこまでの効果も期待するのは酷かなと思います。活動の恩恵をふるさと納税の返礼品みたいなやつにした方が喜ばれる気がしなくとも思いません。無料送迎や訪問の形で活動をしたりきつかけを作ったりは増えなければ活動する人は増えないかと思いません。長い目で見る必要があると思います。	
近年、高齢者の自動車事故が増えているので敬老バス等の仕組みを若いうちから知らずには困らないと思う。もともとたくさんの方が知るべきであると思う。そしてみんなが住みやすい環境をつくりたいと思う。	
自己負担額を多くして使える年齢を引き下げる事は出来ないか。	
今まで聞いたことがなかったのも、もともとその存在を伝えていくべきだと思う。	
高齢者の移動手段として最も利用や希望が多いと思われるタクシー等の利用先拡大の早期実現。	
年間予算が高額なため、対象の年齢の引き上げや所得に応じた限度額の設定が必要だと感じるが、それに対応するためにはさらに予算がかかるため難しいですね。	
優遇が過ぎると思う。	
この制度自体の廃止も視野に入れた健全で公正な議論を行って頂きたいと願います。	
障がいがある人もない人も活用出来るといい。	
国の費用が少なくなってくる、災害対策が急務であるがゆえに、致し方がない。	
せつかくマイナカードも普及してきているのでどちらへ一本化するなどで経費削減し予算をポイント配布に使うなどが良いかと思えます。	
アプリを連携されたスマートフォンを希望者全員に付与すると管理が楽でポイントの加算も明確になると思う。	
歳をとってからではなく若いうちからの健康意識で健康寿命は変わらなく、健康パスは70歳以上ではなく、幅広い年齢がポイント活用していいのではと思う。	
自動車免許の返納が義務化された場合を除き、年金等の給付が充実している高齢者に対する支援ではなく子供に対してバスや交通の給付を行うべきであり、敬老バスについては廃止の議論も必要ではないか。	
昨今道内においても、高齢者の交通事故の問題が取り沙汰されており、実際に私は高齢者に免許返納を促した方が良く考えている。そこで、免許返納した方に対し、敬老健康パスのポイントの上限を引き上げたり、多くのポイントを付与することで、高齢者の足として公共交通機関を利用するハードルを下げて、高齢者の健康づくりと社会参加のきっかけの後押しを前提とした制度ではあるが、個人的には免許返納の足掛かりにしてもらえないかと思っています。	
高齢になるとバスの乗り降りも大変な足が不自由などでタクシーを利用される方も多い。タクシーに対して一回500円までとか利用できるようにしたいのは。バスとは違うかもしれないがバスの乗り降りも安全に出来れば利用される方も増えるのではないか。	
地下鉄やバスだけでなくJR北海道でも利用出来るようにしてほしいです。敬老バスが利用出来ないのは不便でJRに乗らず、地下鉄やバスを使わざるを得ない人もいます。	
タクシーにも使えるようにしてほしい。	
高齢化はしばらく続く、財政の負担は大きい。健康寿命が伸びるのはみんなにとってメリットだが、敬老バスと健康寿命を短絡的に結びつけるのは、違和感を感じる。財政負担を減らすのなら、上限を下げる、負担を増やす。実際、たくさん利用しているのは、元氣な層だと思う。半分しか利用してないって、統計の母集団には、覆たきりや施設にいる高齢者も含まれているとしたら、解釈が変わる。	
前問でも記述したが一律に配布するのではなく、使用者への扶助として半額程度の負担を求めるといいと思います。	
これからはマイナンバーなどで紐付けも出て来るといいと思います。その他、礼儀は生活保護がどんどん増えているので改善しないと税金を支払っている人の負担が多くなると思っています。	
本制度を、公共交通及び個人のドライブバノー無人化への支援金を捻出できるといいですね。ドライブバノー不足解消、賃金削減、行動範囲の飛躍的拡大による経済効果など、交通手段のみを見ても公共が率先して支援してほしい課題ではないでしょうか。	
制度改変は経費削減が目的だと思うので、面倒な制度にせよ負担額を増額すればいい。	
敬老バスなどが利用しやすくなるので、高齢者の免許返納率も上がり、事故も減るのではないかと思っています。実際、事故が起きていなくても危ない場面は見かけます。私も自身も車を運転するので、免許返納後、わかつたりやすく利用しやすいうい状況になっている事を願っています。	

自由記載意見		
年齢	居住区	
50～59歳	豊平区	健康で楽しい老後を過ごすためのサークル施設や、趣味を満喫できる場所などがたくさん増えて高齢者が生き生きと楽しめるような街になったらいいと思います。
30～39歳	厚別区	これから高齢者が増える傾向。予算が足りなくなるとは、新しい制度でそれが解消される要素は見当たらず、ポイント制とは健康な人でなければポイント活用が難しい制度であると思う。多少弱者に対しての配慮があったとしても、病気を抱えたものは切り捨てる制度に感じる。ただ予算を減らすため、ポイント活に乗っかって制度を作ろうとしているように思われる。高齢者が健康で社会参加ができる期間を長く持てる社会を築くのは大切であり、高齢者が健康で過ごしたいと考えていたとしても、この制度でそれが果たせるのか不明。結局は偏りがある制度となると思う。
50～59歳	北区	敬老バスチャージャーズの割合が、半数以上が0円というデータに驚きました。高齢者の自動車事故が増えているので、免許返納にあたり、もう少し魅力的な特典が付与され、早期返納を促し、敬老バスへの誘導に尽力してほしいです。
30～39歳	北区	敬老バスの取り組みは良いと思います。両親も使用していて使いやすいと言っています。
50～59歳	中央区	身のまわりでも、敬老バスで自家用車を手放し、いままで行かなかった(知らなかつた)場所を見つけて喜んでくれる人も多い。またdoor-to-doorで移動する手段も必要と思う。
40～49歳	西区	高齢だから誰でも一律支援しますという考えではなく、こういう活動をするため、交通費が必要になるので、その分を支援するというような目的のある支援の方が良いかと思います。健康を増進するのであれば、歩くのも自転車でも良いと思うので、交通費を安くできるといいのを見えないかと思いましたが、クーポン券などだと思いません。ポイントだと目に見えないのかわかりにくいですが、クーポン券などだと思いません。
60～64歳	中央区	運転免許証を返納した人は、ポイントアップする。
40～49歳	厚別区	とにかく分かりやすく。
40～49歳	西区	周りに聞いてみると驚くほどに「人それぞれ、でした。フルで使い倒して「足りない」とまて言っている叔母。以前は使えるときは「あくまでも交通手段の補助として」使っていた妻の親。今まで全然使ってなかつたけど、せつかく届いてるんだから使えそうなきはこれを使得ってバスと地下鉄で移動しましょう(普段は車)となり始めていた親。聞く話によると「JR組はあまり使わない/使えない」と言っている人もいたので、今度何かしらの形でJRやタクシー利用にも使えるようになると思う。いい人は増えると思います。ポイント獲得、←これがイマイチ具体的なものが分かっていないので、もう少し幅広い周知活動があると良いのではないのでしょうか。
20～29歳	北区	色んなところで、チャージャーズできるといいと思う。
20～29歳	白石区	こんな制度があるということを知らなかつたです。若い人にも知ってもらって家族に伝えてももらう以外にも高齢者の事故による不幸が少なくなるような気がするのと、広まってほしいです。
50～59歳	東区	バス停1つでも気軽に乗れる雰囲気になればもっと利用してくれるかと。そうなればバスの本数も減らなくなるので助かる。
50～59歳	豊平区	本音を言えない制度。それよりその予算を路線バス会社の運転手不足解消に使った方が良い。そもそもバスの運行ができれば、公共交通機関の利用ができなくなるのではないのでしょうか。先ず、可能な限りバス会社の運行状況を改善すべき。そもそも市の財政は大丈夫なのか疑問。札幌ドームの日ハム撤退後の市民の負担増大等、財政を取り巻くハードルは高いのでは。
50～59歳	北区	70歳以上でも車を運転している方が多いと感じております。75歳になったら免許証を返納した方に敬老バスを渡す等、できるだけ早く運転手および歩行者の安全につながるといういいなと思っております。
40～49歳	手稲区	札幌市民にとって美益があり、将来私自身も利用したいと思えるような制度づくりをよろしくお願い致します。
65～69歳	南区	今実際に有効に活用されている方にと、あまりにも極端に利用メトリックが減少します。段階をおいて利用上限を引き下げすべきと思います。
40～49歳	清田区	温暖化で札幌も夏は危険な暑さ、冬は足元が悪くて長時間歩くのは酷。タクシーにも利用できるようにするのは絶対必要。理想はスーパーや病院など生活の中で利用できる身近な交通手段として循環バスがあると嬉しい。
40～49歳	白石区	運転免許証返納し、公共交通機関にシフトされる方にはプラスで恩恵があってもいいように思います。
40～49歳	豊平区	70～79歳、80歳～、と年齢を2段階に分けて自己負担額も2段階にしてもいいように感じる。70～79歳は1000円で5000円チャージ、80歳～は1000円で10000円チャージなどのように。70代はまだ車に乗れる人もいるので、少し自己負担額を上げてもいいかと。このことで財政負担も多少減ると思う。
30～39歳	中央区	いきなり自己負担金を廃止するのではなく、まずは自己負担金を増やし、それにプラスアルファとして健康ポイント付与を始めてみるのが良いのではないか。自己負担金を廃止することにより、今まで敬老バスを利用して公共交通機関などを利用していた方が、車に切り替えてしまうことにより交通事故や渋滞の増加につながるのではないか。環境にも良くない。

自由記載意見	
年齢	居住区
65～69歳	白石区
50～59歳	西区
50～59歳	中央区
40～49歳	西区
65～69歳	中央区
30～39歳	厚別区
40～49歳	西区
60～64歳	中央区
20～29歳	南区
50～59歳	東区
60～64歳	西区
50～59歳	北区
60～64歳	北区
30～39歳	西区
40～49歳	北区
50～59歳	西区
30～39歳	西区
40～49歳	中央区

働いている人は敬老パスはととても便利だと思う。利用できる人を増やして行こうという考えは賛成できるけど、自己負担がこれ以上増えるのはこれから年金生活者になる身としては余り賛成出来ない。

この敬老優待が、高齢者ドライバーの免許返納を促す効果に繋がってほしいと思います。改善すると、今以上に返納者が減る恐れがあるのでそれは絶対に避けて欲しいと思います。これからのますますの高齢化で、高齢者ドライバーによる事故はもっと増えるのではと不安が大きいです。特に他者が巻き込まれる痛ましい事故は絶対に起きてほしくないです。人々が車を手放しても大丈夫だと思える優待、あるいは公共交通機関の充実が必要だと考えます。

利用時間帯に応じた料金値引。
廃止。高齢者が優遇されすぎ。

1年にどれだけ外出できるかわからないので、一度だけの購入で、使用出来なかった分の返金がないのは不便。都度チャージ可能とした上で、累計購入金額データにより負担額が自動的に請求されるような仕組みが良い。敬老パスを満額購入して通勤利用し、通勤手当を浮かせている人もいるので、限度額減額の方針に不満を漏らしている人もいた。

仕組みは単純にするべき。高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活してもらおうと言う世の中の流れの中で難しい仕組みや、理解できない仕組みになると、利用しないうで終わるだけだと思う。今のシステムでさえ対象の高齢者全体が理解し、利用していることはないと思う。利用する高齢者がサポートを求め電話したり、窓口相談することほはその対応を誰かがしなくてははいけないことになり、その事自体が無駄であり、業務を圧迫するのではないか。

車が使えなくなってきた人の唯一の交通手段なので料金の問題で使用頻度が限られてしまいう事のない様にして欲しい。
散々税金を払ってきた筈、自分がいざ使う段階になってこんな制度に改悪されることには非常に不愉快です。

必要の方にとっては命綱のようなもので、そこへの経費は減らさないでほしい。使っていない方もいるが不公平との声もあるらしいが使わなくても生活できるのなら不公平では無いと思うし、使わない人は何かしらの移動手段があるという事ではないか。
運転免許証を返納した方々も全て無料にするべきだと思います。

高齢者の車の免許証返納を促す為にも移動手段でもある敬老健康パスは大事だと思います。
公共交通機関を使うのにも不便な場所に住んでいる方や、軽度に身体的に不自由な方がタクシーを使えるように、タクシーも敬老パス対象だと良いと思います。

バスが減便となってきたりしている現状であり、バスの利用が多い方は、どうだろう、と思う。
子育て世帯への待遇もお願いします。

高齢者がどんどん増えている中、自己負担金をなくすと、その分使われる市税が増えますね。生きているので、ある程度の自己負担金は仕方ないと思います。高齢者も大事ですけど、できるだけその予算は抑えて、もっと子育て世代に使用してもらいたいのです。

高齢者に使い易いわかりやすいもの。割引制度は嬉しいけど、使えない市民みんなにも行き渡りやすいパスもあった方がいいと思う。健康を考えるなら別の制度もありかと思う。

高齢の方が最期まで自分らしく生きて欲しいとは願いますが、今後日本を担う子たちに投資しないと日本は良くならないのでは。

まず最初に断り書きではありませんが、問6の回答で「2 知らなかった」とお答えさせていただきましたが、なんとなくは知っていました。1 回来礼した際、この敬老パスを提示して公共交通機関利用していた乗客の方に会ったことがあるので、ただ詳細はよくわからず、もともと出身も地元なこともあって、この様に回答させて頂きました。この敬老パス(敬老健康パスも含めて)、私は未だ安然ながら所持した経験もないので、詳細は不明なのですが、何か障害者手帳とかいうのもちらっと聞いたことはあるのですが、そちらのほうは違うので、なにか福祉関連のテーマとして共通してきてますよね…? 私どもの方としては、私事で恐縮ではございますが、もう何十年も前の昔ことではあるのですが、以前それなりに大きな病氣、大病に罹患した経験があったりするので、今回は敬老パスに特化した話だったので、関係はございませんでしたが、こちらの障害者手帳のほうにより身近に感じます。実際病院入院をし、車椅子にも乗せて頂いた経験もあるので、幸い今現在は特にこれといった不便性は感じていないものの、いつどうなるかわからないし、予期せぬ事態も起こりうることなので、より障害者よりのサービスもよりパワーアップしたものにしてくださいとお願いいたします。ただそちらの方も障害者も実際に所持したことはないもので、サービス内容などがよくわからないのが現状ですが…何か言う事がめっちゃやちゃやで、矛盾だらけになってしまいました。

第 4 章 調査票

アンケート同封文

アンケート調査にご協力ください!

札幌市では、市民の健康寿命を延ばしていくための取組を進めており、とりわけ高齢者の方々の明るく豊かな老後の生活につながる取組として、「敬老優待乗車証（敬老バス）制度」を実施しているところです。

このたび、本市ではこの敬老バスを、健康づくりと社会参加のきっかけを後押しし、これまでよりも多くの人に参加いただける「敬老健康バス」として、さらにより良い制度へ発展させていきたいと考えています。

このアンケート調査は、幅広い世代の市民の皆様からご意見を伺い、市民の皆様とともに、敬老健康バスをより良い制度とするために実施するものです。



敬老バスをもう少し詳しくどういったの?

健康寿命って何だろう?

健康を重ねることは誰にでも訪れる未来です。あなた自身や家族等の身近な高齢者の方々、そしてさっぼろの未来と一緒に考えてみませんか

詳しくは次のページをご覧ください

札幌市では、誰もがいつまでも自分らしく活躍できる社会を実現できるよう、**健康寿命の延伸**に向けた取り組みを推進しています。

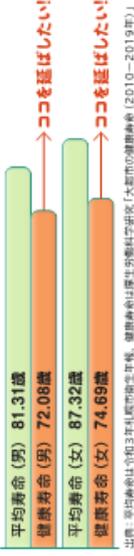
Q1. 健康寿命って何だろう?

日常的に介護などを必要とせず、自立した生活を送れる期間のことをいいます。

Q2. どうして健康寿命が延びることが大切なの?

一人一人が長く、健やかで心豊かな生活を送るために、健康寿命を延ばすことが大切です。

札幌市の平均寿命（2019年）と健康寿命（2019年推定値）



Q3. 健康寿命を延ばすために大切なことは?

徒歩や人との交流など、健康づくりや社会参加につながる活動を無理なく生活に取り入れることが大切です。その結果、自然と健康な期間が延びているのが理想です。

Q4. 敬老バスってどんな制度?

高齢者を敬愛するともに、外出を支援し、明るく豊かな老後の生活を営むことを目的とした制度です。

市内にお住まいの70歳以上の方を対象に発行。自己負担金に応じたチャージ額を対象交通機関でご利用いただくことができます。

※対象交通機関：市営地下鉄、市電、中央バス、ジェイ・アール北海道バス、じょうてつバス、夕暮バス、ばんけいバス（市内の乗り降りのみ）

チャージ額	自己負担額
10,000円	1,000円
20,000円	3,000円
30,000円	6,000円
40,000円	8,000円
50,000円	10,000円
60,000円	13,500円
70,000円(上限)	17,000円

Q5. 敬老バスってどのくらい利用されているの?

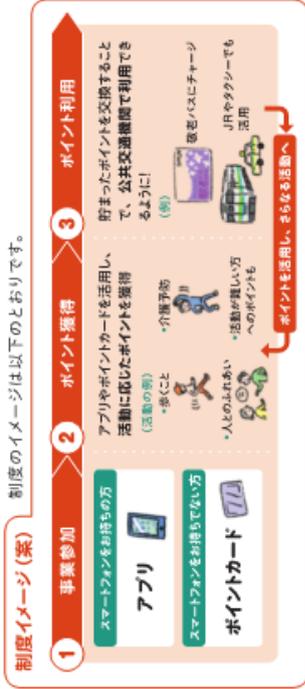


同封の調査票では現行の敬老バスに関するもののほか、**敬老健康バス(案)**のあるべき姿や期待することなどをお尋ねしています。

Q6. 敬老バスを良くするってどういうこと?

- 健康づくりと社会参加のきっかけを後押し
公共交通機関を利用した活動の支援に加えて、身近な地域で取り組む健康づくりや人とのふれあい活動を後押しし、ポイントで評価します。
- これまでよりも多くの人に参加いただけるように
敬老バスの利用先の拡大(JR、タクシー等)、身体的な状況により活動が難しい方にもご参加いただけるようにするほか、自己負担金を廃止します。

Q7. 敬老健康バス(案)ってどんな制度なの?



- 事業参加 以下のいずれかの方法で、事業に参加いただくことができます。
スマートフォンをお持ちの方 専用のアプリをインストール
市からポイントカードを郵送
スマートフォンをお持ちでない方
- ポイント獲得
●対象の活動に参加すると**ポイント**が貯まります。
●ポイントは、専用アプリ又はポイントカードで管理をします。
(例) 敬老バス等へのチャージ、JRやタクシー等
- ポイント利用
●貯まったポイントは**交換(上限:2万円)**することで、公共交通機関等で利用できます。
●交換上限を超えた分のポイントについても抽選会の参加に使用できる仕組みを検討していきます。

アンケートの回答について

■ 回答方法

郵送の場合

調査票に回答をご記入のうえ、同封の返信用封筒(切手不要)でご返送ください。

WEBの場合

同封の調査票に記載のURLにアクセスいただき、同調査票右上に記載の「WEB回答用コード」を入力のうえ、ご回答ください。

さらに…/

WEBからご回答いただいた方(希望者のみ)を対象に、抽選で15名に**QUOカード(2,000円分)**をプレゼントいたします!

抽選の申込みをご希望される方はWEBフォームの最後に氏名・送付先・連絡先等をご入力ください。

アンケート回答期限

令和6年1月17日(水)

お問い合わせや各種制度の詳細はこちらから

- アンケートや敬老健康バスに関するお問い合わせ
050-3662-4042 受付時間:9:00~18:00 (土日祝、12/29~1/3を除く)
- 敬老健康バスに関する詳細(札幌市公式HP)
健康寿命延伸に向けた新たな高齢者施策について
<https://www.city.sapporo.jp/koreitukushi/kenkoh/kenkohjumyo2.html>
- 敬老バスに関する詳細(札幌市公式HP)
敬老優待乗車証
<https://www.city.sapporo.jp/koreitukushi/ikigai/ikigai4.html>
- 敬老優待乗車証の事業概要
<https://www.city.sapporo.jp/koreitukushi/ikigai/ikigai19.html>



II 70歳以上調査表

70歳以上調査票

敬老パスの利用実態等に関するアンケート

アンケートの回答方法について

◆アンケートの回答に当たっては、同封文書「アンケート調査にご協力ください！」についてもご一読ください。

◆郵送またはWEBからご回答をお願いします。

【郵送の場合】

アンケート調査票に回答をご記入のうえ、同封の返信用封筒（切手不要）でご返送ください。

【WEBの場合】

WEBから回答された方には抽選（15名）でQUOカード（2,000円分）をプレゼント！

下記URLにアクセスいただき、調査票右上に記載の「WEB回答用コード（※）」を入力のうえご回答ください。

※このコードは、有効回答を確認するためのものであり、個人が特定されるものではない
 ございません。

《回答フォーム》

・ <https://forms.gle/UEFwxjD3cmkBBhVf7>

右の読み取りコードからもアクセスできます。

（回答フォームからご回答いただく方は、紙の調査票を送付する必要はありません。）



◆封筒の宛名に記載のあるご本人様をご記入ください。ただし、ご事情により、ご本人様の記入が難しい場合には、ご家族の方に代筆していただいても構いません。

◆回答締め切り

令和6年1月17日（水）（郵送の場合は当日の消印有効）

1 あなたとご家族の状況について

問1 あなたの健康状態について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 健康である
- 2 どちらかといえば、健康である
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、健康ではない
- 5 健康ではない

問2 あなたは、どのくらいの頻度で病院に通院されていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 ほぼ毎日（週5日以上）
- 2 週に数回
- 3 月に数回
- 4 年に数回
- 5 入院中である
- 6 通院していない

問3 あなたは、あなたの現在の暮らしを経済的に見てどのように感じていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 ゆとりがある
- 2 どちらかといえば、ゆとりがある
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、ゆとりがない
- 5 ゆとりがない

問4 あなたご自身の昨年1年間の収入について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※収入には、給与や年金のほか、生活保護費などを含みます。
 ※1年間の金額が分からない場合は、1か月分の金額を12倍するなどして計算してください。

- 1 50万円未満
- 2 50万円以上100万円未満
- 3 100万円以上150万円未満
- 4 150万円以上200万円未満
- 5 200万円以上250万円未満
- 6 250万円以上300万円未満
- 7 300万円以上400万円未満
- 8 400万円以上500万円未満
- 9 500万円以上

4 外出や公共交通機関の利用の状況について

問12 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------|--------|
| 1 ほぼ毎日 (週5日以上) | 2 週に数回 | 3 月に数回 |
| 4 年に数回 | 5 外出していない | |

問13 あなたは、どのくらいの頻度で公共交通機関(市電、地下鉄、バスなど)を利用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------|--------|
| 1 ほぼ毎日 (週5日以上) | 2 週に数回 | 3 月に数回 |
| 4 年に数回 | 5 利用していない | |

問14 あなたは、下記の交通機関や移動手段をどのくらいの頻度で利用していますか。アンケートそれぞれについて、「ほぼ毎日利用している」、「週に数回利用している」、「月に数回利用している」、「ほぼ利用していない」のいずれか1つに○をつけてください。

記載例	ほぼ毎日利用している	週に数回利用している	月に数回利用している	ほぼ利用していない
地下鉄	○			
ア. 地下鉄				
イ. バス				
ウ. 市電				
エ. JR (鉄道)				
オ. タクシー				
カ. 自家用車				
キ. 自転車				
ク. その他 ()				

問15 あなたが、公共交通機関(市電、地下鉄、バスなど)を利用される目的について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------------|------|
| 1 買い物 | 2 通院 | 3 趣味 |
| 4 家族や友人と会う | 5 ボランティア活動 | 6 通勤 |
| 7 その他 () | 8 公共交通機関を利用していない | |

問16 公共交通機関(市電、地下鉄、バスなど)を利用する頻度について、あなたは、5年前と比べてどのように変化していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 増えた | ⇒ 「問17」へ |
| 2 やや増えた | ⇒ 「問17」へ |
| 3 どちらともいえない | ⇒ 「問18」へ |
| 4 やや減った | ⇒ 「問18」へ |
| 5 減った | ⇒ 「問18」へ |
| 6 覚えていない | ⇒ 「問18」へ |

<問16で「1 増えた」または「2 やや増えた」と回答された方にお尋ねします>

問17 公共交通機関(市電、地下鉄、バスなど)の利用が増えた理由について、主なものに1つだけ○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 敬老バス(紫色のICカード)を利用するようになったため |
| 2 通院する回数が増えたため |
| 3 趣味などで外出する機会が増えたため |
| 4 自家用車の利用を減らした、もしくは、やめたため |
| 5 タクシーの利用を減らした、もしくは、やめたため |
| 6 その他 () |

5 敬老優待乗車証(敬老バス)の制度について

札幌市では、明るく豊かな老後の生活につながる取組として、「敬老優待乗車証(敬老バス)制度」を実施しております。

このたび、本市ではこの敬老バスを健康づくりと社会参加のきっかけを後押しし、これまでよりも多くの人に参加いただける「敬老健康バス」としてより良い制度へと発展させていきたいと考えております。

参考：回封文書「アンケート調査にご協力ください！」Q4～7

問18 あなたは、敬老バス(紫色のICカード)の交付を受けていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------|----------|
| 1 受けている | ⇒ 「問21」へ |
| 2 受けていない | ⇒ 「問19」へ |

<ここから問20までは、問18で「2 受けていない」と回答された方にお尋ねします>

問19 あなたが、敬老パス（紫色のICカード）の交付を受けていない理由は何ですか。あてはまるものにすべて○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------------|----|------------------|
| 1 | 身体的な事情から利用できないため | 2 | あまり外出しないため |
| 3 | 主に自家用車を利用しているため | 4 | 主にタクシーを利用しているため |
| 5 | JR（鉄道）を利用しているため | 6 | 福祉乗車証を使用しているため |
| 7 | 手続きが面倒なため | 8 | 敬老パスの制度を知らなかったため |
| 9 | ICカードの使い方が分からないため | 10 | その他（ ） |

問20 あなたが、1か月間に公共交通機関（市電、地下鉄、バスなど）を利用する金額について最も近いものはどれですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---|---------------------|--------|
| 1 | 1,000円未満 | 「問27」へ |
| 2 | 1,000円以上 3,000円未満 | |
| 3 | 3,000円以上 5,000円未満 | |
| 4 | 5,000円以上 10,000円未満 | |
| 5 | 10,000円以上 15,000円未満 | |
| 6 | 15,000円以上 20,000円未満 | |
| 7 | 20,000円以上 | |
| 8 | ほとんど利用しない | |

<ここから問26までは、問18で「1 受けている」と回答された方におたずねします>

問21 あなたが、昨年度（令和4年4月～令和5年3月）に、敬老パス（紫色のICカード）にチャージした金額について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|------------------------|---|------------------------|
| 1 | 10,000円分（自己負担 1,000円） | 2 | 20,000円分（自己負担 3,000円） |
| 3 | 30,000円分（自己負担 6,000円） | 4 | 40,000円分（自己負担 8,000円） |
| 5 | 50,000円分（自己負担 10,000円） | 6 | 60,000円分（自己負担 13,500円） |
| 7 | 70,000円分（自己負担 17,000円） | 8 | チャージしなかった |
| 9 | 昨年度は対象者ではなかった（70歳未満） | | |

問22 あなたが、昨年度（令和4年4月～令和5年3月）に、敬老パス（紫色のICカード）を利用した金額について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------------------|---|---------------------|
| 1 | 10,000円未満 | 2 | 10,000円以上 20,000円未満 |
| 3 | 20,000円以上 30,000円未満 | 4 | 30,000円以上 40,000円未満 |
| 5 | 40,000円以上 50,000円未満 | 6 | 50,000円以上 60,000円未満 |
| 7 | 60,000円以上 70,000円未満 | 8 | 70,000円（上限額金額） |
| 9 | 昨年度は対象者ではなかった（70歳未満） | | |

問23 あなたは、敬老パス（紫色のICカード）を利用して外出される際、どのくらい歩きますか。1回に出かけた際の平均の歩行時間を記入してください。

※ 歩行時間は、自宅から駅やバス停までの移動、買い物先などの目的地での移動を含めた合計の時間としてください。

分

問24 あなたは、敬老パス（紫色のICカード）を利用して外出される際、買い物代や飲食代、娯楽費などに、どのくらいのお金を使いますか。最近1か月間を振り返っていただき、1回に出かけた際に使う平均の金額を記入してください。

※ 買い物代や飲食代、娯楽費などの合計額とし、交通費と医療費のみ除いてください。

円

問25 敬老パスが、あなたの外出にどのように影響があると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 外出をする機会が増えている |
| 2 | 遠くまで出かける機会が増えている |
| 3 | 家族や友人と出かける機会が増えている |
| 4 | タクシーや自家用車を利用する機会が減っている |
| 5 | その他（ ） |
| 6 | 特に影響があるとは思わない |

問26 もしも、敬老パスを利用できる金額が少なくなった場合、あなたの「市電」「地下鉄」「バス」を利用する頻度は、どのように変化すると思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|---|----------|---|----------------|
| 1 | 減ると思う | 2 | どちらかといえば、減ると思う |
| 3 | 変わらないと思う | 4 | 分らない |

くみなさまにお尋ねします>

問27 敬老パスの制度が及ぼす効果について、あなたはどのような効果があると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 高齢者への敬愛が示され、市民に敬老の心を広める効果
- 2 高齢者の外出意欲が高まり、健康増進や介護予防を推進する効果
- 3 高齢者の公共交通機関の利用機会が増え、交通渋滞や交通事故を減らす効果
- 4 高齢者の買い物や外食をする機会が増え、消費を増やす効果
- 5 高齢者の社会参加が促進され、生きがいを増やす効果
- 6 その他 ()
- 7 特に効果があるとは思わない

問28 あなたは、敬老パスの運営に年間約50億円(令和5年度予算)の市税が使用されており、高齢化の進展に伴い、運営費は増加傾向にあることをご存知でしたか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

問29 現在、敬老パスは1,000円～17,000円の自己負担で年間10,000円～70,000円分のチャージが可能となっていますが、あなたは、この自己負担について、どのようなにお考えですか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

- 1 現在よりも自己負担割合を減らしたほうがいいと思う
- 2 現在の自己負担割合を維持したほうがいいと思う
- 3 ある程度の自己負担割合の増はやむを得ないと思う
- 4 現在よりも自己負担割合を増やしたほうがいいと思う

問30 敬老パスは、札幌市内の70歳以上の方が利用できる制度ですが、札幌市の平均寿命は制度開始当初の昭和50年から、男性で81.5歳、女性で10歳延びています。

敬老パスの対象年齢について、あなたはどのようにお考えですか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※ 参考 札幌市における平均寿命 (男性) 昭和50年：72.8歳 → 令和2年：81.3歳
(女性) 昭和50年：77.4歳 → 令和2年：87.4歳

- 1 現行の年齢(70歳)よりも引き下げたほうがいいと思う
- 2 現行の年齢(70歳)のままがいいと思う
- 3 現行の年齢(70歳)よりも引き上げたほうがいいと思う
- 4 わからない
- 5 その他 ()

<同封文書「アンケート調査にご協力ください!」Q6及びQ7をご一読のうえ、回答ください。>
問31 あなたは「敬老健康パス」について、どのような仕組み等があれば多くの方が利用できると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 制度の仕組みが単純であること
- 2 友人や家族等と一緒に参加ができること
- 3 サポート体制が整備されていること
- 4 ポイントを獲得できる活動の種類が充実していること
- 5 身体状況等により活動が難しい方も参加ができるよう配慮がされていること
- 6 ポイント交換先が魅力的であること
- 7 ポイント交換の上限額(現案：2万円)を引き上げること
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問 32 敬老健康パスの素案について課題と感じた点があれば、ご自由にお書きください。

--

問 33 敬老パス及び敬老健康パスに関するご意見やご要望(充実を望むことなど)がありましたら、ご自由にお書きください。

--

《裏面に続きます。》

6 最後に

F1 あなたの性別は

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

F2 あなたの年齢は (令和5年12月1日時点)

1 70歳～74歳	2 75～79歳	3 80歳～84歳	4 85～89歳	5 90～94歳
6 95歳～99歳	7 100歳以上			

F3 あなたは現在何区にお住まいですか

1 中央区	2 北区	3 東区	4 白石区	5 厚別区
6 豊平区	7 清田区	8 南区	9 西区	10 手稲区

F4 あなたの現在のお住まいは

1 ご自宅 (借家や親族との同居を含む)	2 老人ホーム等の施設
3 その他 ()	

F5 あなたの同居しているご家族は (あてはまるものにくつでもOをつけてください。)

1 親	2 配偶者	3 子	4 孫	5 兄弟姉妹
6 友人・知人	7 いない	8 その他 ()		

F6 あなたのご職業 (あてはまるものにくつでもOをつけてください。)

1 会社員	2 公務員	3 自営業	4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫	6 学生	7 無職	8 その他

F7 あなたは現在要介護認定を受けていますか。

1 要支援1	2 要支援2	3 要介護1	4 要介護2
5 要介護3	6 要介護4	7 要介護5	8 受けていない
9 過去に受けていたが、今は受けていない			

《調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。》

III 70歳未満調査

70歳未満調査票

敬老パスの利用実態等に関するアンケート

アンケートの回答方法について

◆アンケートの回答に当たっては、同封文書「アンケート調査にご協力ください！」についてもご一読ください。

◆郵送またはWEBからご回答をお願いします。

【郵送の場合】

アンケート調査票に回答をご記入のうえ、同封の返信用封筒（切手不要）でご返送ください。

【WEBの場合】

WEBから回答された方には抽選（15名）でQUOカード（2,000円分）をプレゼント！

下記URLにアクセスいただき、調査票右上に記載の「WEB回答用コード（※）」を入力のうえご回答ください。

※このコードは、有効回答を確認するためのものであり、個人が特定されるものではない

《回答フォーム》

・<https://forms.gle/xsDbDqhg4Jr6MXU8>

右の読み取りコードからもアクセスできます。

（回答フォームからご回答いただく方は、紙の調査票を送付する必要はありません。）



◆封筒の宛名に記載のあるご本人様をご記入ください。ただし、ご事情により、ご本人様の記入が難しい場合には、ご家族の方に代筆していただいても構いません。

◆回答締め切り

令和6年1月18日（木）（郵送の場合は当日の消印有効）

1 健康に関する考え等について

問1 あなたは、健康寿命という言葉を知っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 知っていた
- 2 聞いたことはあったが、意味は知らなかった
- 3 知らなかった

参考：同封文書「アンケート調査にご協力ください！」Q1

問2 あなたは、家族や近所にお住まいの高齢者などの身近な高齢者の方々にどのような人生を過ごしてほしいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 趣味等の生きがいを持ち、自分らしく生き生きと過ごしてほしい
- 2 友人や家族等、他者との繋がりを持ってほしい
- 3 健康に気を配り、長生きしてほしい
- 4 いつもまでも働き続けてほしい
- 5 培った知識や経験を、若い世代へ伝えてほしい
- 6 身の回りのこと等、困ったときには遠慮なく周囲に助けを求めてほしい
- 7 その他（ ）
- 8 特にない

問3 あなたが将来にわたって健康になっていくと、どのようなよい変化があなたや周囲の方、札幌のまちに起こると思いますか。ご自由にお書きください。

問9 現在、敬老バスは1,000円～17,000円の自己負担で年間10,000円～70,000円分のチャージが可能となっていますが、あなたは、この自己負担について、どのようにお考えですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 現在よりも自己負担割合を減らしたほうがいいと思う
- 2 現在の自己負担割合を維持したほうがいいと思う
- 3 ある程度の自己負担割合の増はやむを得ないと思う
- 4 現在よりも自己負担割合を増やしたほうがいいと思う

問10 敬老バスは、札幌市内の70歳以上の方が利用できる制度ですが、札幌市の平均寿命は制度開始当初の昭和50年から、男性で8.5歳、女性で10歳延びています。

敬老バスの対象年齢について、あなたはどのようなようにお考えですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

※ 参考 札幌市における平均寿命 (男性) 昭和50年：72.8歳 → 令和2年：81.3歳
(女性) 昭和50年：77.4歳 → 令和2年：87.4歳

- 1 現在の年齢(70歳)よりも引き下げたほうがいいと思う
- 2 現在の年齢(70歳)のままがいいと思う
- 3 現在の年齢(70歳)よりも引き上げたほうがいいと思う
- 4 わからない
- 5 その他 ()

<同封文書「アンケート調査にご協力ください！」Q6及びQ7をご一読のうえ、回答ください。>

問11 あなたは、「敬老健康バス(案)」について、どのような仕組み等があれば多くの方が利用できると思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

- 1 制度の仕組みが単純であること
- 2 友人や家族等と一緒に参加ができること
- 3 サポート体制が整備されていること
- 4 ポイントを獲得できる活動の種類が充実していること
- 5 身体状況等により活動が難しい方も参加ができるよう配慮がされていること
- 6 ポイント交換先が魅力的であること
- 7 ポイント交換の上限額(現案：2万円)を引き上げること
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問12 敬老健康バスの素案について課題と感じた点があれば、ご自由にお書きください。

問13 敬老パス及び敬老健康パスに関するご意見やご要望（充実を望むことなど）がありましたら、自由にお書きください。

--

4 最後に

F1 あなたの性別は

- | | |
|---|-----|
| 1 | 男性 |
| 2 | 女性 |
| 3 | その他 |

F2 あなたの年齢は（令和5年12月1日時点）

- | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～19歳 | 2 | 20～29歳 | 3 | 30～39歳 | 4 | 40～49歳 | 5 | 50～59歳 |
| 6 | 60～64歳 | 7 | 65～69歳 | | | | | | |

F3 あなたは現在何区にお住まいですか

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|----|---|-----|----|-----|
| 1 | 中央区 | 2 | 北区 | 3 | 東区 | 4 | 白石区 | 5 | 厚別区 |
| 6 | 豊平区 | 7 | 清田区 | 8 | 南区 | 9 | 西区 | 10 | 手稲区 |

F4 あなた現在の住まいは

- | | | | |
|---|-------------------|---|-----------|
| 1 | ご自宅（借家や親族との同居を含む） | 2 | 老人ホーム等の施設 |
| 3 | その他（
） | | |

F5 あなたの同居しているご家族は（あてはまるものはいくつでも○をつけてください。）

- | | | | | | | | |
|---|------|---|-------|---|-----|---|-----------|
| 1 | 親 | 2 | 配偶者 | 3 | 子 | 4 | 孫 |
| 5 | 兄弟姉妹 | 6 | 友人・知人 | 7 | いない | 8 | その他（
） |

F6 あなたのご職業（あてはまるものはいくつでも○をつけてください。）

- | | | | | | | | |
|---|-------|---|-----|---|-----|---|-----------|
| 1 | 会社員 | 2 | 公務員 | 3 | 自営業 | 4 | パート・アルバイト |
| 5 | 主婦・主夫 | 6 | 学生 | 7 | 無職 | 8 | その他 |

《調査は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。》

**令和5年度敬老優待乗車証利用実態等調査
報告書**

市政等資料番号

01-F03-24-1403

令和6年（2024年）7月発行

発行：札幌市

編集：札幌市保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL (011) 211 - 2976 FAX (011) 218 - 5179